

業績目録（大内憲明）

| | |
|-----|---|
| 著者 | 東北大学史料館 |
| 雑誌名 | 東北大学定年退職教員業績目録 |
| 号 | 2016-05 |
| 発行年 | 2017-03 |
| URL | http://hdl.handle.net/10097/00134809 |

東北大学定年退職教員業績目録第 2016-05 号

大内 憲明 教授 業績目録

平成 29 年 3 月
東北大学史料館

大内 憲明

OHUCHI Noriaki

最終所属部局

大学院医学系研究科_ 医学部医科学専攻外科病態学講座 (腫瘍外科学分野)

職名 教授

生年月日

1951年5月3日

出身学校

東北大学・医学部

1978年卒業

出身大学院

東北大学・医学研究科・外科学博士課程

1984年修了

取得学位

医学博士東北大学

1984年

略歴

1984年-1986年 米国国立衛生研究所_ 国立がん研究所 (NCI,NIH) 研究員

1999年-2017年 東北大学教授

2002年-2004年 東北大学病院 副病院長

2011年-2012年 東北大学病院 がんセンター長

2012年-2015年 東北大学医学部長・大学院医学系研究科長 (二期)

2015年-2017年 東北大学リサーチプロフェッサー

<研究活動に関する情報>

専門分野

外科学一般、腫瘍学、乳腺内分泌外科学、分子生物学、がん疫学、ナノ医科学

研究キーワード

腫瘍外科学, 医工学, ナノメディシン, がん検診, 分子生物学

研究課題

- ・ 乳癌に対する乳房温存療法の病理ならびに分子生物学的研究
- ・ マンモグラフィを用いた新しい乳癌検診システムの確立に関する研究
- ・ 非浸潤性乳管癌の組織学的ならびに生物学的特性に関する研究
- ・ 高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業：がん検診
- ・ 乳癌の遺伝子診療体系の確立に関する研究
- ・ 乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究 (J-START)
- ・ ナノサイズセンシングカプセルの新規開発と医療応用
- ・ ナノ・バイオテクノロジー基盤がんの分子イメージング (ナノ・バイオ医工学)

研究経歴

1995年-1999年 マンモグラフィを導入した乳がん検診システムの確立に関する研究 (厚生省) 研究班長

1997年-2000年 非浸潤癌(DCIS) の組織学的ならびに生物学的特性に関する研究 (日本乳癌学

- 会) 研究班長
- 1999年-2001年 マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する研究(厚生省) 研究班長
- 2001年-2002年 先進的IT 医療ネットワーク:宮城県における医療ASP 網の構築(経済産業省) 研究班委員長
- 2001年-2002年 高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業(厚生労働省) 研究班長
- 2001年-2004年 乳癌の遺伝子診療体系の確立に関する研究(文部科学省高度先進医療) 主任研究者
- 2002年-2005年 ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用(厚生労働省萌芽的先端医療技術推進事業,ナノバイオ分野) 研究リーダー
- 2002年-2007年 バイオナノテクノロジー基盤未来医工学(東北大学21世紀COEプログラム) 事業推進担当者
- 2003年-2007年 乳がん検診の精度および効率の向上に関する研究(厚生労働省) 研究班長
- 2005年-2006年 シリカコーティングAgI ナノビーズを用いた新規X線造影剤の開発(文部科学省特別研究経費) 主任研究者
- 2006年-2009年 生体超微細1分子可視化技術によるナノDDS とがん標的治療(厚生労働省科研費萌芽的先端医療技術推進事業) 主任研究者
- 2006年-2011年 超音波検査による乳がん検診の有効性を検証する比較試験(厚生労働省第三次対がん総合戦略研究事業「がん対策のための戦略研究 J-START」) 研究リーダー
- 2007年-2011年 新世紀世界の成長焦点に築くナノ医工学拠点(東北大学グローバルCOE) 事業推進担当者
- 2010年-2014年 1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断システムの研究開発(経済産業省(NEDO)「がん超早期診断治療機器の研究開発」主要研究者
- 2013年-2018年 JSPS 日中韓 A3 フォーサイト事業「ナノバイオ材料を用いた高分解能イメージングによるがん生物学の主要分子機序の解明」研究代表者
- 2014年-現在 日本医療研究開発機構(AMED)革新的がん医療実用化研究事業「乳がん検診における超音波検査の有効性検証に関する研究」主任研究者

主な学会活動

- 評議員：日本外科学会、日本癌学会(名誉会員)、日本乳癌学会(2002-2011年理事、2011年会長)、日本乳癌検診学会(2002年～理事)、日本内分泌外科学会(特別会員)、日本がん検診診断学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、他
- 理事：日本乳癌検診学会(2012年～理事長、2006年会長)、日本内分泌外科学会、宮城県対がん協会、他

主な学会及び行政関係役職

- 国際委員等：国際がん検診ネットワーク ICSN 日本代表
- 国内委員等：厚生労働省がん検診のあり方に関する検討会委員長、日本学術振興会科学研究費委員会専門委員、大学評価・学位授与機構教育研究評価委員会専門委員、独立行政法人科学技術振興機構医療・医科学研究評価委員、日本対がん協会賞朝日がん大賞選考委員、(独)宮城県立病院機構評価委員長、岩手県医療顧問、(独)山形県・酒田市病院機構評価委員会副委員長、宮城県医師会代議員、宮城県対がん協会理事、他

国際会議 主催・運営(～2017年2月)

20th International Association for Breast Cancer Research (IANBCR), Sendai, 1994年9月 [主催]
3rd International Symposium on Nanomedicine(2009年11月4日-- 2010年11月6日, 岡崎) [主催]
大会長

国内会議 主催・運営 (～2017年2月)

第16 回日本乳癌検診学会(2006年11月18日-- 2006年11月18日, 仙台市) [主催] 大会長
第7 回日本乳癌学会東北地方会 (2010年3月6日-- 2010年3月6日, 仙台) [主催] 大会長
第19 回日本乳癌学会学術総会 (2011年9月2日-- 2011年9月4日, 仙台市) [主催] 大会長

学術受賞(～2017年2月)

1985年 東北大学医学部奨学賞 (銀賞)
1992年 第3回黒川利雄がん研究基金賞
1993年 第21回三越医学賞
1997年 第8回黒川利雄がん研究基金賞
1998年 東北大学医学部奨学賞 (金賞)
2001年 第27回手術手技研究会奨励研究賞
2001年 第1回朝日がん大賞
2006年 日本医師会医学研究助成費賞
2012年 観光庁長官賞

知的財産

国内特許

1. 権田幸祐, 樋口秀男。がん細胞運動およびがん細胞浸潤抑制剤。2008年3月27日出願 (東北大学), 特願2008-083588
2. 日景允, 権田幸祐, 武田元博, 亀井尚, 大内憲明, 郷田秀樹, 中野寧。輸入リンパ管流入部検出方法及び特定細胞同定方法。2009年6月26日出願 (東北大学, コニカミノルタエムジー株式会社), 特願2009-152781
3. 高橋優, 高梨健作, 星野秀樹, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。半導体ナノ粒子集積体。2010年8月27日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-190352
4. 星野秀樹, 高橋優, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。半導体ナノ粒子集積体及び半導体ナノ粒子集積体の製造方法。2010年8月27日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-190354
5. 相宮拓司, 郷田秀樹, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。生体物質検出方法。2010年8月31日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-161921
6. 高梨健作, 郷田秀樹, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。生体物質検出方法。2010年8月31日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-193154
7. 郷田秀樹, 相宮拓司, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。組織評価方法。2010年8月31日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-193153
8. 郷田秀樹, 相宮拓司, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。組織評価方法及び組織評価方法。2010年8月31日出願 (コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2010-193155
9. 権田幸祐, 宮下穰, 武田元博, 大内憲明。がん発症又はがん発症リスクの判定方法。2010年9月2日出願 (東北大学), 特願2010-196442
10. 宮下穰, 権田幸祐, 大内憲明, 武田元博。抗体を成分として含む医薬品の有効性の判定方法。2010年9月17日出願 (東北大学), 特願2010-209322

11. 高野敬三, 星野秀樹, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。免疫組織化学染色方法及び反応試薬。2011年3月16日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2011-057345
12. 岡田尚大, 郷田秀樹, 高梨健作, 相宮拓司, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。組織評価方法。2011年3月16日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2011-057343
13. 岡田尚大, 郷田秀樹, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。組織の自家蛍光と蛍光物質内包ナノ粒子の蛍光を利用した免疫組織化学法。2011年3月17日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2011-059172
14. 郷田秀樹, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。免疫組織染色法, およびこれを用いた抗体医薬の有効性を判定する方法。2011年3月25日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), 特願2011-067448

国外特許

1. 権田幸祐, 樋口秀男, 武田元博, 大内憲明。がん細胞運動およびがん細胞浸潤抑制剤。2009年3月19日出願(東北大学), PCT/JP2009/055479
2. 日景允, 権田幸祐, 武田元博, 亀井尚, 大内憲明, 郷田秀樹, 中野寧。輸入リンパ管流入部検出方法及び特定細胞同定方法。2010年3月11日出願(東北大学, コニカミノルタエムジー株式会社), PCT/JP2010/54083
3. 高橋優, 高梨健作, 星野秀樹, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。半導体ナノ粒子集積体。2011年3月15日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), PCT/JP2011/055993
4. 星野秀樹, 高橋優, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。半導体ナノ粒子集積体及び半導体ナノ粒子集積体の製造方法。2011年3月15日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), PCT/JP2011/056000
5. 相宮拓司, 郷田秀樹, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。組織染色方法, 組織評価方法および生体物質検出方法。2011年3月15日出願(コニカミノルタエムジー株式会社, 東北大学), PCT/JP2011/055991

海外出願

1. 渡辺泰宏, 磯田武寿, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか「画像処理装置、病理診断支援システム、画像処理プログラム及び病理診断支援方法」、PCT/JP2014/067146、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2014年6月27日出願)
2. 高梨健作, 郷田秀樹, 高野敬三, 星野秀樹, 中野寧, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか「生体物質検出方法」、PCT/JP2013/059374、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年3月28日出願)
3. 角森昭教, 岡田尚大, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか「医用画像処理装置及びプログラム」、PCT/JP2013/058919、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年3月27日出願)
4. 郷田秀樹, 高梨健作, 星野秀樹, 中野寧, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか「組織染色方法」、PCT/JP2013/058701、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年3月26日出願)
5. 星野秀樹, 郷田秀樹, 高梨健作, 中野寧, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか「生体物質の検出法」、PCT/JP2013/058607、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年3月25日出願)
6. 高梨健作, 岡田尚大, 中野寧, 権田幸祐, 大内憲明, 渡辺みか、「生体物質検出方法」、

- PCT/JP2012/072496、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012 年 9 月 4 日出願)
7. 郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「組織染色方法」、PCT/JP2012/072445、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012 年 9 月 4 日出願)
 8. 古澤直子、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、大内憲明、中川智彦、「X線吸収蛍光ナノ粒子」、PCT/JP2012/062062、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012 年 5 月 10 日出願)
 9. 郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「免疫組織染色法、およびこれを用いた抗体医薬の有効性を判定する方法」、PCT/JP2012/057191、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012 年 3 月 21 日出願)
 10. 岡田尚大、郷田秀樹、高梨健作、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「組織評価方法」、PCT/JP2012/056689、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012 年 3 月 15 日出願)
 11. 高梨健作、郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「生体物質検出方法」、PCT/JP2011/069553、コニカミノルタ株式会社、国立大学法人東北大学 (2011 年 8 月 30 日出願)
 12. 宮下穰、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「抗体を成分として含む医薬品の有効性の判定方法」、PCT/JP2011/004763、国立大学法人東北大学 (2011 年 8 月 26 日出願)
 13. 権田幸祐、宮下穰、武田元博、大内憲明、「がん発症又はがん発症リスクの判定方法」、PCT/JP2011/004762、国立大学法人東北大学 (2011 年 8 月 26 日出願)
 14. 相宮拓司、郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「生体物質検出方法」、PCT/JP2011/055991 コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011 年 3 月 15 日出願)
 15. 星野秀樹、高橋優、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「半導体ナノ粒子集積体及び半導体ナノ粒子集積体の製造方法」、PCT/JP2011/056000 コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011 年 3 月 15 日出願)
 16. 高橋優、高梨健作、星野秀樹、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「半導体ナノ粒子集積体」、PCT/JP2011/055993 コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011 年 3 月 15 日出願)
 17. 日景允、権田幸祐、武田元博、亀井尚、大内憲明、郷田秀樹、中野寧、「輸入リンパ管流入部検出方法及び特定細胞同定方法」、PCT/JP2010/54083、国立大学法人東北大学 & コニカミノルタエムジー株式会社 (2010年3月11日出願)
 18. 権田幸祐、樋口秀男、武田元博、大内憲明、「がん細胞運動およびがん細胞浸潤抑制剤」、PCT/JP2009/055479、国立大学法人東北大学 (2009年3月19日出願)

[国内出願]

1. 相宮拓司、古澤直子、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、川岸直樹、村上圭吾、「ソラフェニブを含有する標識剤」、特願2014-149569、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2014年7月23日出願)
2. 郷田秀樹、磯田武寿、渡辺泰宏、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「多重免疫染色法に基づく生体物質の定量方法」、特願 2014-059883、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2014 年 3 月 26 日出願)
3. 渡辺泰宏、一谷修司、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「画像処理装置、病理診断支援システム、画像処理プログラム及び画像処理方法」、特願 2013-260769、コニカミノルタ株

- 式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年12月18日出願)
4. 高橋優、中野寧、岡田文徳、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「染色方法」、特願2013-260732、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年12月18日出願)
 5. 岡田文徳、相宮拓司、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「組織切片における生体物質の定量法」、特願2013-199782、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年9月26日出願)
 6. 渡辺泰宏、磯田武寿、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「画像処理装置、病理診断支援システム、画像処理プログラム及び病理診断支援方法」、特願2013-139898、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2013年7月3日出願)
 7. 郷田秀樹、高梨健作、星野秀樹、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「DABと蛍光の重ね合わせ染色方法に関する出願」、特願2012-080782、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012年3月30日出願)
 8. 高梨健作、郷田秀樹、高野敬三、星野秀樹、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「有機系封入剤に適した退色防止剤の構成」、特願2012-080781、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012年3月30日出願)
 9. 角森昭教、岡田尚大、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「細胞当たりの輝点ヒストグラムを算出するための方法」、特願2012-078722、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012年3月30日出願)
 10. 角森昭教、岡田尚大、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「細胞当たりの平均輝点数の計測方法」、特願2012-078717、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012年3月30日出願)
 11. 星野秀樹、郷田秀樹、高梨健作、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「PID用ブロッキング剤の構成」、特願2012-074216、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2012年3月28日出願)
 12. 岡田尚大、郷田秀樹、高梨健作、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、角森昭教、石光義幸、「組織評価方法」、特願2011-229315、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年10月19日出願)
 13. 岡田尚大、郷田秀樹、中野寧、角森昭教、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「病理診断情報生成方法及び病理診断情報生成システム」、特願2011-229314、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年10月19日出願)
 14. 相宮拓司、角森昭教、郷田秀樹、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「生体物質発現レベル評価システム」、特願2011-197341、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年9月9日出願)
 15. 古澤直子、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「蛍光物質内包ナノ粒子およびこれを用いた生体物質の検出方法」、特願2011-197340、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年9月9日出願)
 16. 高梨健作、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「生体物質検出方法」、特願2011-197339、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年9月9日出願)
 17. 郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、大内憲明、渡辺みか、「組織染色方法」、特願2011-197338、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年9月9日出願)
 18. 古澤直子、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、大内憲明、中川智彦、「X線吸収蛍光ナノ粒子」、特願2011-107307、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年5月12日出願)
 19. 郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「免疫組織染色法、およびこれを用いた抗体医薬の有効性を判定する方法」、特願2011-067448、コニカミノルタ

- 株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年3月25日出願)
20. 岡田尚大、郷田秀樹、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「組織の自家蛍光と蛍光物質内包ナノ粒子の蛍光を利用した免疫組織化学法」、特願 2011-059172、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年3月17日出願)
 21. 高野敬三、星野秀、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「免疫組織化学染色方法及び反応試薬」、特願 2011-057345、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年3月16日出願)
 22. 岡田尚大、郷田秀樹、高梨健作、相宮拓司、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「組織評価方法」、特願2011-057343、コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2011年3月16日出願)
 23. 宮下穰、権田幸祐、大内憲明、武田元博、「抗体を成分として含む医薬品の有効性の判定方法」、特願 2010-209322、国立大学法人東北大学 (2010年9月17日出願)
 24. 権田幸祐、宮下穰、武田元博、大内憲明、「がん発症又はがん発症リスクの判定方法」、特願 2010-196442、国立大学法人東北大学 (2010年9月2日出願)
 25. 郷田秀樹、相宮拓司、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「組織評価方法及び組織評価方法」、特願 2010-193155、コニカミノルタエムジー株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月31日出願)
 26. 高梨健作、郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「生体物質検出方法」、特願 2010-193154、コニカミノルタエムジー株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月31日出願)
 27. 郷田秀樹、相宮拓司、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「組織染色方法及び組織評価方法」、特願 2010-193153 国立大学法人東北大学 & コニカミノルタ株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月31日出願)
 28. 相宮拓司、郷田秀樹、岡田尚大、中野寧、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「生体物質検出方法」、特願 2010-191621、コニカミノルタエムジー株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月30日出願)
 29. 高橋優、高梨健作、星野秀樹、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「半導体ナノ粒子集積体」、特願 2010-190352、コニカミノルタエムジー株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月27日出願)
 30. 星野秀樹、高橋優、権田幸祐、武田元博、大内憲明、「半導体ナノ粒子集積体及び半導体ナノ粒子集積体の製造方法」、特願 2010-190354、コニカミノルタエムジー株式会社 & 国立大学法人東北大学 (2010年8月27日出願)
 31. 日景允、権田幸祐、武田元博、亀井尚、大内憲明、郷田秀樹、中野寧、「輸入リンパ管流入部検出方法及び特定細胞同定方法」、特願2009-152781、国立大学法人東北大学 & コニカミノルタエムジー株式会社 (2009年6月26日出願)

【書類名】 特許願 【整理番号】 B31208JP01 【提出日】 平成25年 7月 3日 【あて先】 特許庁長官 殿 【国際特許分類】 G01N 33/483

G06T 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 コニカミノルタ株式会社 内

【氏名】 渡辺 泰宏

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 コニカミノルタ株式会社内 【氏名】
磯田 武寿

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学 内

【氏名】 権田 幸祐

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学内 【氏名】
大内 憲明

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学 内

【氏名】 渡邊 みか

【特許出願人】

【識別番号】 000001270

【氏名又は名称】 コニカミノルタ株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 504157024

【氏名又は名称】 国立大学法人東北大学

【代理人】

【識別番号】 110001254 【氏名又は名称】 特許業務法人光陽国際特許事務所 【代表者】 荒
船 博司 【電話番号】 03-5251-5721

【連絡先】 担当は荒船博司

【国等の委託研究の成果に係る記載事項】平成25年度独立行政法人新エネルギー・産業技術
総合開発機構「がん超早期診断・治療機器の総合研究開発/超早期高精度診断システムの研究
開発:病理画像等認識技術の研究開発/病理画像等認識基礎技術の研究開発(1粒子蛍光ナノイメ
ージングによる超高精度がん組織診断技術)」委託研究、産業技術力強化法第19条の適用を受
ける特許出願

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 435028

【納付金額】 15,000 円 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 特許請求の範囲 1

【物件名】 要約書 1

【物件名】 図面1 【書類名】明細書

【発明の名称】画像処理装置、病理診断支援システム、画像処理プログラム及び病
理診断支援方法

【技術分野】

【0001】 本発明は、画像処理装置、病理診断支援システム、画像処理プログラ
ム及び病理診断支援方法に関する。

【背景技術】

【0002】 病理診断では、採取した組織を固定するために脱水し、パラフィンによるブロック化といった処理を行った後、2~8 μ mの厚さの薄片に切り、パラフィンを取り除き、染色して顕微鏡観察を行う。病理医は、この顕微鏡像の中で、細胞の核の大きさや形の変化、組織としてのパターンの変化等の形態学的な情報、染色情報をもとに診断を行っている。例えば、特許文献1では、顕微鏡像において細胞の核面積、核濃度等の形態学的特徴値と細胞悪性度を算出して、これら形態学的特徴値及び細胞悪性度を細胞画像としてモニターで観察できるようにしている。

【書類名】 特許願 【整理番号】 B31799JP01 【提出日】 平成25年 9月26日 【あて先】 特許庁長官 殿 【国際特許分類】 B82B 1/00

C09K 11/06

C09K 11/08

G01N 21/64

G01N 33/53

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 コニカミノルタ株式会社 内

【氏名】 岡田 文徳

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 コニカミノルタ株式会社内

【氏名】 相宮 拓司

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学 内

【氏名】 権田 幸祐

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学 内

【氏名】 大内 憲明

【発明者】

【住所又は居所】 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号 国立大学法人東北大学 内

【氏名】 渡邊 みか

【特許出願人】

【識別番号】 000001270

【氏名又は名称】 コニカミノルタ株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 504157024

【氏名又は名称】 国立大学法人東北大学

【代理人】

【識別番号】 11000107

競争的資金獲得状況

科学研究費補助金獲得実績(文科省・学振)

基盤研究(C) 1990年4月－1992年3月
 [乳癌肝転移に対する局所免疫療法－肝動脈内IL-2 投与による治療成績向上の試み、特にin vivo killer 誘導を目的として]

特定領域研究1992年4月－1993年3月
 [抗原の相補的発現に基づく癌の診断と治療－癌のHeterogeneity の克服]

基盤研究(C) 1992年4月－1994年3月
 [癌遺伝子および癌関連抗原の発現に基づく乳癌進展の3次元解析]

基盤研究(C) 1994年4月－1996年3月
 [乳癌における乳管内進展病巣の生物学的特性と治療反応性の研究]

基盤研究(C) 1996年4月－1998年3月
 [新しい画像処理による乳癌進展の解析と乳房温存療法への応用]

基盤研究(C) 1998年4月－2000年3月
 [乳癌における血管新生とMRI 画像特性に関する研究]

基盤研究(C) 1999年4月－2001年3月
 [コンベンショナル核医学_PET による乳癌の放射線感受性_耐性に関する基礎研究]

基盤研究(C) 2001年4月－2003年3月
 [CT およびMRI を用いた乳癌の三次元術前拡がり診断による手術システムの開発]

(挑戦的) 萌芽研究2002年4月－2004年3月
 [病児保育の社会的意義と費用_質的向上に関する研究]

基盤研究(B) 2003年4月－2006年3月
 [マーシャル諸島住民の甲状腺癌および肺癌発生に対する低線量被曝の関与]

(挑戦的) 萌芽研究2004年4月－2007年3月
 [新規蛍光物質CdSe ナノクリスタルによる食道癌細胞の生体内イメージング]

基盤研究(A) 2004年7月－2007年3月
 [早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための研究]

特別推進研究2005年4月－2006年3月
 [シリカコーティングAgI ナノビーズを用いた新規X 線造影剤の開発]

基盤研究(C) 2005年4月－2007年3月
 [プロテオーム解析による放射線感受性規定因子の探求－感受性に基づいた食道癌の治療]

基盤研究(C) 2005年4月－2007年3月
 [乳癌の新たな分子機能診断に向けたDNA チップ開発]

基盤研究(C) 2006年4月－2008年3月
 [個人の乳房構成に基づいた乳がん検診法の確立]

基盤研究(C) 2006年4月－2008年3月
 [蛍光変調検出法によるがんの高感度センチネルリンパ節生検法]

基盤研究(B) 2007年4月－2010年3月
 [多機能センシングナノビーズを用いた乳がん手術の開発]

基盤研究(C) 2007年4月－2010年3月
 [CdSe ナノクリスタルを用いた食道癌組織の生体内リアルタイムイメージング]

基盤研究(B) 2008年4月－2011年3月
 [1 分子DDS イメージングによる腫瘍滞留性名の粒子の新規開発]

基盤研究(C) 2009年4月－2011年3月
 [乳癌組織中エストロゲン濃度_合成能と乳癌罹患に関する症例対照研究]

基盤研究(C) 2009年4月－2012年3月
 [マンモグラフィ精度管理－診断精度の底上げを目指す基盤整備]

(挑戦的) 萌芽研究2010年4月－2011年3月
 [蛍光ナビゲーション内視鏡による消化器癌手術システムの開発]

基盤研究(C) 2010年4月－2013年3月

[トリプルネガティブ乳癌の生物学的特性の解明と治療戦略の構築]

基盤研究(C) 2010年4月－2013年3月

[ナノスケール傾向粒子を新規センチネルリンパ節生検法の開発]

基盤研究(A) 2010年4月－2013年3月

[早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立と適応決定に関する研究]

(挑戦的) 萌芽研究2011年4月－2014年3月

[多光子励起顕微鏡によるDDS 製剤体内動態の新規評価法の開発]

基盤研究(C) 2011年4月－2014年3月

[ヒトバソヒビンの新たな抗血管新生薬、血管新生マーカーの研究]

基盤研究(B) 2011年4月－2015年3月

[ストレス関連ホルモンと乳がん罹患_ 予後に関する分析疫学研究]

科学研究費補助金挑戦萌芽2011年4月－2012年3月

[多光子励起顕微鏡によるDDS製剤体内動態の新規評価法の開発]

基盤研究(A)2013年4月－2016年3月

[乳癌HER familyの高感度ナノ定量化による分子標的治療効果予測の基盤整備]

(挑戦的) 萌芽研究2014年4月－2015年3月

[金ナノ粒子を用いた腫瘍のCTイメージング]

JSPS A3フォーサイト事業 (日中韓) 2013年4月－2017年3月

[ナノバイオ材料を用いた高分解能イメージングによるがん生物学の主要分子機序の解明]

JSPS 研究成果公開促進費2013年4月－2017年3月

[防災科学を推進する総合医学雑誌としての編集体制の構築と国際競争力の強化]

その他の競争資金獲得実績

厚生労働科学研究費補助金1999年4月－2003年3月

[50歳未満の画像による乳がん検診の有効性に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金2001年4月－2003年3月

[科学的根拠に基づく乳がん診療ガイドライン作成に関する研究]

特色ある大学教育支援プログラム2001年4月－2004年3月

[乳癌の遺伝子診療体系の確立に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金2002年4月－2003年3月

[がん検診に関する効果的な推進手法の開発に関する検討]

厚生労働科学研究費補助金2002年4月－2005年3月

[ナノサイズ_ センシングカプセルの新規開発と医療応用]

厚生労働科学研究費補助金2002年4月－2005年3月

[知識発見型大規模診療情報自動解析(データマイニング) システムの開発と各政策医療ネットワークへの応用に関する研究]

学際科学研究センタープログラム2002年4月－2005年3月

[フォトリック微粒子のセンシング機能とナノ医療]

21世紀COEプログラム2002年4月－2007年3月

[バイオナノテクノロジー基盤未来医工学工学]

科学技術振興調整費2004年4月－2009年3月

[医療工学技術者創成のための再教育プログラム]

厚生労働科学研究費補助金2005年4月－2007年3月

[乳がん検診の精度と効率に関する研究]

厚生労働科学研究費補助金2006年4月－2009年3月

[生体超微細1分子可視化技術によるナノDDSとがん標的治療]

厚生労働科学研究費補助金2006年4月－2011年3月
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]
 NEDO がん超早期診断治療機器の総合研究開発2010年4月－2014年3月
 [1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断システムの研究開発]
 厚生労働科学研究費補助金2011年4月－2013年3月
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]
 経産省 がん超早期診断・治療機器の総合研究開発2010年4月－2014年3月
 [1粒子蛍光ナノイメージングによる超高精度がん組織診断システムの研究開発]
 厚生労働科学研究費補助金2013年度
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]
 厚生労働省 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業2014年4月－2016年3月
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]
 厚生労働省 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業2015年4月－2016年3月
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]
 厚生労働省 (AMED) 革新的がん医療実用化研究事業2016年4月－2017年3月
 [乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験]

<教育活動に関する情報>

担当授業科目(～2017年2月)

(全学教育)

- [講義] 体と健康(1 セメスタ) 2006年－2006年
- [実習_ 少人数教育] 基礎ゼミ：がんを知る2006年－2006年
- [講義] 体と健康(1 セメスタ) 2007年－2007年
- [実習_ 少人数教育] 基礎ゼミ：がんを知る2009年－2009年
- [講義] 体と健康(1 セメスタ) 2010年－2010年
- [講義] 体と健康(1 セメスタ) 2011年－2011年

(学部教育)

- [実習] -医学部医学科-1900年－現在
- [講義] 医_ 外科学II (移植_ 腫瘍_ 一般) 2002年－2016年
- [臨床医学修練] 医_ 臨床医学修練 (3次) 2002年－2016年
- [講義] 医_ 外科学II (移植_ 腫瘍_ 一般) 2003年－2016年
- [臨床医学修練] 医_ 臨床医学修練 (3次) 2003年－2016年

(大学院教育)

- [講義] 医_ 分子イメージング特論2007年－2008年
- [講義] 医_ 分子イメージング特論2008年－2009年
- [他大学及び他研究科の講義等] 東北大学グローバルCOE「新世紀世界の成長焦点に気づくナノ医工学拠点」

2009年－2010年

- [他大学及び他研究科の講義等] 東北大学REDEEM プロジェクト「医療工学技術者創成のための再教育システム」2009年－2010年
- [講義] 医_ がん科学 (保健学専攻_ 修士) 2009年－2010年
- [講義] 医_ 外科学概論2009年－2010年
- [講義] 医_ 分子イメージング特別講義2009年－2010年
- [講義] 医_ がん医科学セミナー2009年－2010年
- [他大学及び他研究科の講義等] 東北大学REDEEM プロジェクト「医療工学技術者創成のための再教育システム」2010年－2011年

[他大学及び他研究科の講義等] 東北大学グローバルCOE「新世紀世界の成長焦点に気づくナノ医工学拠点」2010年－2011年

[講義] 医_ 外科学概論2010年－2011年

[講義] 医_ 分子イメージング特論2010年－2011年

[講義] 医_ がん科学 (医科学専攻_ 修士) 2010年－2011年

[最終講義]がんへの挑戦：病理に基づく手術、ナノバイオ、J-START 2017年2月10日

<大学運営に関する情報>

学内委員(～2017年2月)

| | |
|---|-------------------|
| [管理運営関連] 医_ 建築委員会委員 | 2001年4月－2003年3月 |
| [全学] 百年史編集委員会委員 | 2001年4月－2003年3月 |
| [管理運営関連] 医_ 医学部自己評価委員会委員 | 2001年10月－2005年3月 |
| [管理運営関連] 医_ 医学系研究科自己評価委員会委員 | 2001年10月－2005年3月 |
| [管理運営関連] 医_ 医学部自己評価委員会 学部専門委員会委員 | 2001年10月－2005年3月 |
| [全学] 広報委員会委員 | 2002年4月－2004年3月 |
| [全学] 情報基盤委員会委員 | 2002年4月－2004年3月 |
| [全学] 情報公開委員会情報公開審査委員会委員 | 2002年4月－2004年3月 |
| [管理運営関連] 病_ 将来計画委員会委員長 | 2002年4月－2004年3月 |
| [管理運営関連] 医_ WHO 協力センター委員 | 2002年4月－2005年3月 |
| [管理運営関連] 医病_ 定例会議副委員長 | 2002年11月－2004年11月 |
| [全学] サイクロトロン_ ラジオアイソトープセンター運営委員会委員 | 2003年4月－現在 |
| [管理運営関連] 医病_ 部局化に関する検討委員会委員長 | 2004年4月－2005年3月 |
| [管理運営関連] 医病_ ME機器中央管理検討委員会委員長 | 2004年12月－現在 |
| [管理運営関連] 医_ 医学系研究科将来構想検討委員会委員 | 2004年12月－現在 |
| ・新外来棟整備検討プロジェクト委員長として、東北大学病院の将来設計、運用、企画立案等に從事 | 2005年4月－2006年3月 |
| ・医学部外科学教授として、医学部学生の教育指導に從事 | 2005年4月－2006年3月 |
| ・東北大学医工学研究科設置構想専門委員会委員 | 2006年4月－2007年3月 |
| 東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授として、1) 大学院生の研究指導、教育に從事 2) 医学部外科学教授として、医学部学生の教育指導に從事 3) 東北大学病院乳腺_ 内分泌外科科長として、診療及び臨床研究に從事、ならびに東北大学病院研修医等の指導に從事 4) 東北大学病院ME センター長として医療機器全般に関する管理 | 2006年4月－2011年3月 |
| ・新外来棟整備検討プロジェクト委員会委員長 | (2005年～2011年) |
| ・東北大学医学部外科学教授として、医学部学生の教育指導に從事 | |
| ・東北大学病院乳腺_ 内分泌外科科長として、診療及び臨床研究に從事、ならびに東北大学病院研修医等の指導に從事 | 2006年4月－現在 |
| ・東北大学病院のME センター長として、医療機器全般に関する管理監督業務に從事 | 2006年4月－2007年3月 |
| ・新外来棟整備検討プロジェクト委員長として、東北大学病院の将来設計、運用、企画立案等に從事 | 2006年4月－2011年3月 |
| ・東北大学病院の医療安全推進委員会委員として、病院における医療安全活動に從事 | |
| 2004年4月－2007年3月 | |
| [管理運営関連] 医_ 医学部自己評価委員会委員長 | 2006年4月－2008年3月 |
| [管理運営関連] 医_ 医学系研究科自己評価委員会委員長 | 2006年11月－2008年3月 |
| ・東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授として、大学院生の研究指導、教育等の運 | |

| | |
|---|-----------------|
| 営に従事 | 2007年4月－現在 |
| ・医学部外科学教授として医学部学生の教育指導に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・東北大学病院の乳腺_内分泌外科科長として、診療、臨床研究及び運営に従事、ならびに東北大学病院研修医等の指導及び運営に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・東北大学病院の新外来棟整備検討プロジェクト委員長として、将来設計、運営、企画立案等に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・東北大学病院のME センター長として、医療機器全般に関する管理運営に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・東北大学病院医療安全推進委員会委員として、病院における医療安全管理運営に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・東北大学病院がんセンターの研究部会長として、がんセンター運営に従事 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・病院_新外来棟整備検討プロジェクト委員会委員長 | 2007年4月－2008年3月 |
| ・病院_外来診療棟整備計画委員会委員長 | 2007年4月－2008年3月 |
| 医学系研究科_評価委員会委員長 | 2007年4月－2008年3月 |
| 医学系研究科_採用等小委員会委員長 | 2007年4月－2008年3月 |
| [管理運営関連] 医_運営会議委員 | 2007年4月－現在 |
| [管理運営関連] 医_医学系研究科運営委員会委員 | 2007年4月－現在 |
| 医学系研究科 評価室 室長 | 2008年4月－2009年3月 |
| 病院 外来棟整備検討委員会 委員長 | 2008年4月－2009年3月 |
| [教育関連] 医_医学科運営委員会委員 | 2008年4月－2009年3月 |
| [管理運営関連] 医_評価室委員長 | 2008年4月－現在 |
| [管理運営関連] 医_人事制度委員会副委員長 | 2008年4月－現在 |
| [大学院入試関連] 医_研究科委員会委員 | 2010年4月－2011年3月 |
| 1) がんセンター長として腫瘍評議会等を統括し大学病院におけるがん診療レベルを向上させている。都道府県がん診療連携拠点として宮城県における病院機能向上に貢献。2) 乳腺内分泌外科長として、乳癌、甲状腺癌を主体に診療_教育および臨床研究を推進している。この10年間で乳癌の外来患者数および手術件数が約2倍以上に達するなど経営面でも大きく変化 | 2011年4月－2012年3月 |
| [管理運営関連] 医_寄附講座活動状況等評価小委員会副委員長 | 2011年4月－現在 |

<社会活動に関する情報>

行政機関・企業・NPO等参加(～2017年2月)

| | |
|---|-----------------|
| [日本国内] 宮城県医師会(その他) 乳がん検診精度管理委員会委員 | 2000年4月-現在 |
| [日本国内] 仙台市医師会(その他) 乳がん検診委員会委員 | 2000年4月-現在 |
| [日本国内] 大阪商工会議所(その他) バイオビジネスコンペJAPAN 審査員 | 2002年4月-現在 |
| [日本国内] 日本遺伝子研究所(民間企業) 顧問 | 2005年4月-現在 |
| [日本国内] 日本消化器がん検診学会(NPO) 精度管理委員会委員 | 2005年4月-2008年3月 |
| [日本国内] 日本学術振興会(国) 科学研究費委員会専門委員会委員 | 2007年4月-現在 |
| [日本国内] 文部科学省(国) 国立大学教育研究評価委員会専門委員 | 2007年4月-現在 |
| [日本国内] 厚生労働省3(国) 厚生労働省医師国家試験委員会委員 | 2007年4月-現在 |
| [日本国内] 宮城県3(地方公共団体) がん対策協議会委員 | 2007年4月-現在 |
| [日本国内] 宮城県医師会2(その他) 代議員会代議員 | 2007年4月-現在 |
| [日本国内] 日本医師会(その他) がん対策推進委員会委員 | 2007年4月-2008年3月 |
| [日本国内] 大学評価学位授与機構(国) 教育研究評価委員会専門委員会委員 | 2008年4月-現在 |
| [日本国内] 独立行政法人科学技術振興機構(国) 科学技術振興調整費研究評価委員会委員 | |

[日本国内] 日本医師会（その他） がん対策推進委員会委員 2008年4月-現在
2008年4月-現在

報道(～2017 年2 月)

- [日本国内] 注目の抗体ガン治療法 米国で最先端の情報探る (資料提供 新聞 読売新聞)
1986年8月2日
- [日本国内] 若手研究者8人に 黒川がん基金 (資料提供 新聞 河北新報)
1992年6月26日
- [日本国内] 乳がん特有の抗原発見 東北大医学部第2外科グループ (資料提供 新聞 河北新報)
1993年4月15日
- [日本国内] 乳がんに対する乳房温存手術の現状と将来 (出演_執筆 雑誌 仙台市医師会報)
1994年7月1日
- [日本国内] 健康 X線撮影で乳がん早期発見 (生活欄) (企画協力 新聞 産経新聞)
1995年7月10日
- [日本国内] 社説: 乳がん検診 命と乳房を守るために (企画協力 新聞 西日本新聞)
1999年2月10日
- [日本国内] 乳がん X線で画像診断:宮城県 新検査事業を推進 (資料提供 新聞 河北新報)
1999年2月24日
- [日本国内] Editorial マンモグラフィによる乳がん検診に向けて (出演_執筆 雑誌 ラージュ 第270号 (薬業時報社))
1999年10月11日
- [日本国内] みんなの健康: 乳がん検診にもX線検査 (資料提供 新聞 朝日新聞)
2000年7月2日
- [日本国内] 乳がん検診におけるマンモグラフィ その現状と展望 (出演_執筆 新聞 週刊医学界新聞 第2397号)
2000年7月24日
- [日本国内] 特集「大内憲明東北大学教授に聞くーこれからの乳がん検診_マンモグラフィ併用検診のすすめ方」 (出演_執筆 その他 よぼう医学 (東京都予防医学協会誌))
2000年9月15日
- [日本国内] 暮らし: 乳がん早期発見 積極。気軽に検診受けよう (資料提供新聞 河北新報)
2000年11月4日
- [日本国内] マンモグラフィによる乳がん検診がなぜ必要か (出演_執筆 雑誌 ヘルスビュー (北陸予防医学協会誌) No. 21)
2001年1月1日
- [日本国内] 東北大と県内20 医療機関 患者情報ネット化 (資料提供 新聞 河北新報)
2001年4月28日
- [日本国内] インタビュー_ がん最新情報 東北大学教授大内憲明氏に聞く「マンモグラフィで見つける早期の乳がん」 (出演_執筆 雑誌 AFLAC Report No.101)
2001年5月1日
- [日本国内] 医師会とがん検診 検診のquality を保には? (出演_執筆 雑誌 宮城県医師会報 No.667)
2001年8月1日
- [日本国内] 地域医療連携へIT 活用推進を 仙台でフェア 「みやぎメディカルモール」 (資料提供 新聞 河北新報)
2001年8月3日
- [日本国内] 乳がん検診の実力診断 X線技術 合格施設、ネット公表 (一面準トップ) (資料提供 新聞 読売新聞)
2001年8月19日
- [日本国内] がん大賞に大内教授 (その他 新聞 朝日新聞)
2001年9月1日
- [日本国内] 2001 年から新設「朝日がん大賞」大内憲明氏が受賞 (資料提供 雑誌 月刊 もっといい日)
2001年9月1日
- [日本国内] 朝日がん大賞は大内教授 日本対がん協会特別賞 (その他 日本対がん協会報 第

- 445 号) 2001年9月1日
 [日本国内] がん大制圧へ1300 人集いs 大会 長崎：東北大学大学院医学系研究科の大内憲明
 教授に朝日がん大賞贈呈式 (資料提供 新聞 朝日新聞) 2001年9月15日
 [日本国内] ひと「第1回朝日がん大賞を受賞した東北大学大学院教授大内憲明さん」(出演_ 執
 筆 新聞 朝日新聞) 2001年9月15日
 [海外_ 国際] Cancer doctor bucked trend to save lives by Teruko Tanibe (HomoSapiens)
 (企画協力 新聞 Herald Tribune) 2001年10月5日
 [日本国内] データでわかる良い病院 (企画協力 雑誌 サンデー毎日) 2001年12月23日
 [日本国内] 乳がんの診断と治療は新しい時代へ (出演_ 執筆 その他 茅ヶ崎医師会報 第61
 号) 2002年1月1日
 [日本国内] 大内教授が特別講演、今年度の全国大会 (企画協力 その他 日本対がん協会報
 第456 号) 2002年7月1日
 [日本国内] がん制圧全国大会特集 記念講演 (資料提供 新聞 山形新聞) 2002年9月22日
 [日本国内] 力強く山形アピール、全国大会 (企画協力 その他 日本対がん
 協会報 第459 号) 2002年10月1日
 [日本国内] 記念講演、がん制圧は質の高い検診から～マンモグラフィ検診と精度管理、東北大
 学教授 大内憲明 (出演_ 執筆 その他 日本対がん協会報第461 号) 2002年12月1日
 [日本国内] ぐらし 乳房X線受診を 大内東北大教授に聞く (資料提供 新聞 河北新報) 2003年4月29日
 [日本国内] 受診率向上が大きな課題、大内憲明教授が特別講演 (出演_ 執筆 その他 健康か
 ながわ 第424 号) 2003年7月15日
 [日本国内] ナノテクキーパーソンインタビュー 東北大学教授 大内憲明
 「ナノテクノロジーが取り持つ医学と工学の未 (資料提供 新聞 週刊ナノテク) 2003年8月18日
 [日本国内] 乳がん検診 市区町村は X線撮影導入5割止まり (1面トップ) (資料提供 新
 聞 朝日新聞) 2003年9月5日
 [日本国内] ぐらし 検診の改革 壁高く 人員_ 装置など足りず (資料提供 新聞 朝日新聞) 2003年10月23日
 [日本国内] 乳がんX線検診「40 歳代から」厚労省研究班が指針 (資料提供 新聞 朝日新聞) 2003年11月7日
 [日本国内] 乳がん検診100 万人を突破、宮城県支部 (企画協力 その他 日本対がん協会報
 第464 号) 2003年12月1日
 [日本国内] マンモ、40 歳代にも効果、大内教授が研究紹介 (資料提供 その
 他 日本対がん協会報 第477 号) 2004年2月1日
 [日本国内] がん検診 受けやすい環境整備必要 東北大学院教授 大内憲明さん (資料提供
 新聞 北海道新聞) 2004年2月8日
 [日本国内] 乳がん検診 X線併用、40 歳以上に 厚生労働省検討会 30 代、視触診のみ (第
 1面) (資料提供 新聞 朝日新聞) 2004年2月27日
 [日本国内] 乳がん、40 歳代もマンモ併用 (資料提供 その他 日本対がん協会報 第478 号) 2004年3月1日
 [日本国内] 30 歳代の乳がん検診廃止：視触診単独「意味ない」、厚労省検討会 (資料提供 新
 聞 朝日新聞) 2004年3月12日
 [日本国内] 30 歳代乳がん検診 廃止を正式決定 (資料提供 新聞 朝日新聞)

- 2004年3月19日
[日本国内] 乳癌マンモグラフィ検診、「40 歳以上」の船出、40 歳以上を対象とすることの妥当性 (資料提供 雑誌 ASAHI Medical)
- 2004年7月1日
[日本国内] 乳房温存療法、第12 回日本乳癌学会総会 (資料提供 新聞 MedicalTribune)
- 2004年7月1日
[日本国内] 9月はがん制圧月刊 (資料提供 その他 日本対がん協会報第483号)
- 2004年8月1日
[日本国内] 論説「変わる乳がん検診」:マンモグラフィ受診率向上カギ (出演_執筆 新聞 朝日新聞)
- 2004年10月23日
[日本国内] 30 歳代後半の乳がん検診:「超音波検診導入、検討を」厚労省研究班が見解 (資料提供 新聞 朝日新聞)
- 2004年10月30日
[日本国内] 医療のリスクマネジメント (出演_執筆 雑誌 宮城県医師会報 No.706)
- 2004年11月1日
[日本国内] 転換期のがん検診 (資料提供 その他 日本対がん協会報第487号)
- 2004年12月1日
[日本国内] 乳がん検診の新指針—マンモグラフィ検診の推進を— (出演_執筆 雑誌 Human Imaging No.47)
- 2005年1月1日
[日本国内] 変わる乳がんの診療 (出演_執筆 その他 かけはし (市立酒田病院公報))
- 2005年3月1日
[日本国内] 東北大学、蛍光ナノ粒子を用いた新しいガン診断法を開発。患者への負担を大幅軽減 (企画協力 新聞 日経ナノテクノロジーNewsNo.83)
- 2005年3月5日
[日本国内] 人「大内憲明氏」東北大学腫瘍外科学教授 (出演_執筆 雑誌 週刊 日本医事新報No.4230)
- 2005年5月21日
[日本国内] スペシャルフィーチャー インタビュー 多難な医工の融合に挑む 医工連携プロジェクトに関する取組と課 (企画協力 新聞 日経ナノテクノロジーNo.41)
- 2005年5月30日
[日本国内] 宮婦連_健康と医療を考える中央集会 (資料提供 雑誌 ともしび (宮城県対がん協会) 第121 号)
- 2005年8月1日
[日本国内] 9月はがん制圧月間 がん講演会 大内憲明氏 (企画協力 新聞 河北新報)
- 2005年9月1日
[日本国内] マンモグラフィの乳がん検診を全国初の導入:地域からの発想、豊かな地域づくり、仙台市 (企画協力 雑誌 厚生労働)
- 2006年4月1日
[日本国内] 質疑応答 (企画協力 雑誌 週刊 日本医事新報No.4277)
- 2006年4月15日
[日本国内] マンモグラフィ併用でも乳がん「見落とし」40代3割 (資料提供 新聞 朝日新聞)
- 2007年2月5日
[日本国内] 東北大学、がん腫瘍まで抗がん剤が運搬される様子をナノメーターレベルで観察に成功 (資料提供 その他 NIKKEINET)
- 2007年2月5日
[日本国内] 抗がん剤 細胞内異動の様子とらえた (資料提供 新聞 読売新聞)
- 2007年2月6日
[日本国内] 分子レベルで抗がん剤動き把握 (資料提供 新聞 河北新報)
- 2007年2月8日
[日本国内] 抗がん剤動き把握分子レベルで画像化 東北大 (資料提供 その他 河北新報ウェブサイト)
- 2007年2月8日
[日本国内] 東北大 抗がん剤の異動追跡、蛍光微粒子使い動画撮影 (資料提供 新聞 日経産業新聞)
- 2007年2月9日

- [日本国内] 東北大 抗がん剤の到達過程 ナノレベルでの観察に成功 (資料提供
新聞 科学新聞) 2007年2月16日
- [日本国内] 半導体ナノ粒子と結合し抗がん剤の動き観測 (資料提供 新聞
東北大学生新聞) 2007年2月20日
- [海外_ 国際] Delivery of anticancer agent to malignant tumor: observation at nanometer level (資料提
供 新聞 Tohoku University News) 2007年2月27日
- [日本国内] 「X線+超音波」有効か、乳がん検診、12万人調査 (資料提供
新聞 読売新聞) 2007年4月14日
- [日本国内] 40代の乳がん検診 エコー検査の有効性を検証 厚労省 (資料提供 新聞 朝日
新聞) 2007年5月24日
- [日本国内] がんナビ「超音波による乳がん検診の有効性を問う多施設ランダム化試験がスター
ト、検診希望者の7割が参加 (資料提供 新聞 日経BP) 2007年7月20日
- [日本国内] 検証：乳がん検診 視触診廃止論に徹底抗戦 なぜ、日医は視触診にこだわったの
か (企画協力 雑誌 医薬経済) 2007年9月15日
- [日本国内] 乳癌検診にエコー導入か 日本での有効性に期待、課題は検査の標準化 (企画協力
雑誌 日経メディカル) 2007年10月10日
- [日本国内] 仙台でシンポジウム開催 講演や闘病体験 500人が聞き入る (出演_ 執筆 新聞
朝日新聞) 2007年10月22日
- [日本国内] 医療 (がん検診の課題) : 超音波 乳がん見える? 国、有効性の検証開始 (出演
_ 執筆 新聞 朝日新聞) 2007年11月25日
- [日本国内] 第2回ピンクリボンスマイルウォークが開催された (出演_ 執筆 雑誌 ともしび
(宮城県対がん協会) 第126号) 2008年1月1日
- [日本国内] 超音波装置搭載乳がん検診車「ほほえみ1号」完成 (出演_ 執筆 雑誌 ともしび
(宮城県対がん協会) 第126号) 2008年1月1日
- [日本国内] 病院の実力 乳がん 積極的に検診参加を (出演_ 執筆 新聞 読売新聞)
2008年1月6日
- [日本国内] がん検診50%目標困難 (出演_ 執筆 新聞 朝日新聞) 2008年1月6日
- [日本国内] 乳がんの予防と治療を考える：いばらき乳がん県民フォーラム (出演_ 執筆 新聞
茨城新聞) 2008年2月28日
- [日本国内] 健康づくりQ&A：乳がんの早期発見の方法や予防法は? (出演_ 執筆 雑誌 健康
づくり) 2008年4月1日
- [日本国内] ドクターズファイル：医師が選ぶ「あなたの町の名医」300人図鑑
(企画協力 雑誌 プレジデント) 2008年4月14日
- [日本国内] 仙台市で全国がん制圧大会 (出演_ 執筆 雑誌 日本対がん協会報)
2008年8月1日
- [日本国内] がん克服へ知恵絞ろう「超音波の有効性調査」 (出演_ 執筆 新聞
河北新報) 2008年9月23日
- [日本国内] 超音波検査の有効性 検証したい (出演_ 執筆 新聞 朝日新聞)
2008年9月29日
- [日本国内] シンポジウム「受診率50%達成のために」討論 (企画協力 雑誌
日本対がん協会報) 2008年10月1日
- [日本国内] 乳がんとう闘う21歳女性、映画化 早期検診訴え (出演_ 執筆 新
聞 朝日新聞) 2008年10月3日
- [日本国内] ピンクリボン運動 闘病映画上映会 監督らがトーク (出演_ 執筆 新聞 河北新
報) 2008年10月3日
- [日本国内] 東北大の大内教授 超音波検診の有効性を検証 12万人調査協力

を訴え (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2008年10月23日

[日本国内] 乳がん対策訴え 仙台ピンクリボンスマイルウォーク (出演_執筆 新聞 河北新報) 2008年10月26日

[日本国内] 「杜の都」2600人歩く 「検診を」願い込め (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2008年10月26日

[日本国内] 乳がん検診 大切なあなたに (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2008年11月19日

[日本国内] 40歳代の女性を対象に超音波検査を検証 10万人の参加 厚労働呼びかけ (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2008年11月19日

[日本国内] がん制圧50年さらなる挑戦へ「受診率50%達成のために」 (出演_執筆 新聞 日本対がん協会報 第540号) 2008年12月1日

[日本国内] がん検診 受診者減った (出演_執筆 新聞 読売新聞) 2009年3月3日

[日本国内] 乳がん 乳房温存率65% (出演_執筆 新聞 読売新聞) 2009年4月5日

[日本国内] 乳がん検診 比較試験を全国で実施 (出演_執筆 新聞 中日新聞) 2009年7月31日

[日本国内] 10月31日に会いましょう 乳がん早期発見 ピンクリボンフェスティバル スマイルウォーク開催 (出演_執筆 新聞 河北ウィークリー (1面)) 2009年9月24日

[日本国内] 教えてプロフェッサー! 乳がん プチ 講義 (出演_執筆 新聞 河北ウィークリー (3面)) 2009年9月24日

[日本国内] がんて困ったときに開く本(特別協力) (企画協力 雑誌 週刊朝日MOOK) 2009年10月15日

[日本国内] 鳥越俊太郎 医療の現場! シリーズ がんと闘う 乳がん 検査編 (出演_執筆 テレビ BS朝日) 2009年10月17日

[日本国内] 鳥越俊太郎 医療の現場! シリーズ がんと闘う 乳がん 治療闘病編 (出演_執筆 テレビ BS朝日) 2009年10月24日

[日本国内] 乳がんを予防するための最良の方法は「マンモグラフィ検診を受けること」 (出演_執筆 その他 リビング仙台) 2009年10月24日

[日本国内] スーパーJ チャンネルみやぎ「乳がんについて」 (出演_執筆 テレビ 東日本放送) 2009年10月27日

[日本国内] ナノ医療語る公開国際シンポ 岡崎で4日から (出演_執筆 新聞 中日新聞) 2009年10月30日

[日本国内] ニュース:ピンクリボンスマイルウォーク仙台 (出演_執筆 テレビ 東日本放送) 2009年10月31日

[日本国内] 乳がん対策 歩いて訴え ピンクリボン、仙台で大会 (出演_執筆 新聞 河北新報) 2009年11月1日

[日本国内] がん検診受診率、一層の向上をめざして～がん制圧全国大会シンポジウム～ (その他 その他 日本対がん協会報 第553号) 2009年12月1日

[日本国内] ピンクリボンフェスティバルin 仙台 (出演_執筆 その他 ともしび (宮城県対がん協会) 第130号) 2010年1月1日

[日本国内] 東北大学がん転移の仕組みをナノメートルレベルで可視化することに成功 (その他 NIKKEINET) 2010年1月12日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見 転移を効率的に進行か (出演_執筆 神戸新聞 WEB) 2010年1月18日

[日本国内] がん転移のたんぱく質を撮影 (出演_執筆 テレビ NHKニュース (全国版)) 2010年1月19日

[日本国内] がん転移のたんぱく質を撮影_3 (出演_執筆 テレビ NHKニュース (BS))

2010年1月19日
 [日本国内] がん転移のたんぱく質を撮影_2 (出演_執筆 テレビ NHKニュース(宮城版))

2010年1月19日
 [日本国内] がん細胞転移 動画で撮影 (出演_執筆 新聞 読売新聞) 2010年1月19日
 [日本国内] がん転移の様子 マウス使い観察 東北大など (出演_執筆 新聞 日本経済新聞)

2010年1月19日
 [日本国内] がん転移「足」くつきり 東北大グループ解析装置開発, 成功 (出演_執筆 新聞 河北新報) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化発見 東北大など研究チーム 転移進行を促す? (出演_執筆 新聞 東奥日報) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か (出演_執筆 新聞 岩手日報) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_2 (出演_執筆 新聞 7 山形新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_3 (出演_執筆 新聞 福島民報) 2010年1月19日

[日本国内] がんの流動化発見 東北大チーム 診断, 新薬開発に有効 (出演_執筆 新聞 上毛新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_4 (出演_執筆 新聞 茨城新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見 (出演_執筆 新聞 山梨日日新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞 転移時に流動化現象 東北大チーム マウスで発見 新薬開発一助に (出演_執筆 新聞 新潟日報) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_5 (出演_執筆 新聞 東京新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_6 (出演_執筆 新聞 神奈川新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_7 (出演_執筆 新聞 福井新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_12 (出演_執筆 新聞 京都新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_8 (出演_執筆 新聞 大阪日日新聞) 2010年1月19日

[日本国内] ん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_9 (出演_執筆 新聞 西日本新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見_2 (出演_執筆 新聞 神戸新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化発見 東北大研究チーム (出演_執筆 新聞 静岡新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_10 (出演_執筆 新聞 山陰中央新報) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か_11 (出演_執筆 新聞 山陽新聞) 2010年1月19日

[日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か13 (出演_執筆 新聞 中日新聞) 2010年1月19日

- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見2 (出演_執筆 新聞 四国新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞表面の流動化現象発見, 東北大教授らチーム2 (出演_執筆 新聞 愛媛新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] 癌細胞の流動化確認 東北大チーム 転移勧める働きか (出演_執筆 新聞 高知新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞 流動化現象を発見 東北大究チーム 転移, 効率的に進行か (出演_執筆 新聞 徳島新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞表面の流動化現象確認 東北大教授ら 悪性度診断に一役 (出演_執筆 新聞 南日本新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見3 (出演_執筆 新聞 長崎新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か14 (出演_執筆 新聞 下野新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か15 (出演_執筆 新聞 熊本日新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] 効率的に転移進行か がん細胞流動化現象 東北大研究チーム発見 (出演_執筆 新聞 佐賀新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か16 (出演_執筆 新聞 岐阜新聞Web) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞転移, 動画の撮影装置開発 (読売新聞) (出演_執筆 新聞 YahooJapan web ニュース) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞転移, 動画の撮影装置開発 (読売新聞) 2 (出演_執筆 新聞 infoseek 楽天web ニュース) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見転移を効率的に進行か17 (出演_執筆 新聞 Japan press network 47NEWS (web)) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化現象発見 転移を効率的に進行か (出演_執筆 新聞 47NEWS) 2010年1月19日
- [日本国内] 東北大学, がん転移の仕組みをナノメートルレベルで可視化することに成功 (出演_執筆 新聞 がんニュース) 2010年1月19日
- [日本国内] がん転移の現象を発見 (出演_執筆 新聞 がんの最新治療) 2010年1月19日
- [日本国内] ラジオニュース (出演_執筆 その他 NHK 第1放送) 2010年1月19日
- [日本国内] がん細胞の流動化発見 (出演_執筆 新聞 北日本新聞) 2010年1月19日
- [日本国内] がん転移時 細胞が流動 東北大教授ら発見 (出演_執筆 新聞 中国新聞) 2010年1月22日
- [日本国内] がん転移時 細胞が流動 東北大教授ら発見2 (出演_執筆 新聞 中国新聞) 2010年1月22日
- [日本国内] Cancer metastasis mechanism at nanometer level (出演_執筆 新聞NanoWiki) 2010年2月5日
- [日本国内] 乳がんマンモ検診の限界 米政府と学会が出した勧告の波紋 (出演_執筆 雑誌 朝日新聞週刊 アエラ) 2010年2月8日
- [日本国内] “がんの謎” 解明へ前進 (出演_執筆 新聞 伊豆新聞) 2010年2月13日
- [日本国内] 乳がん検診 日本どうする 米の勧告「40歳代女性にマンモ推奨しない」 (出演_執筆 雑誌 朝日新聞) 2010年2月18日
- [日本国内] 今日の人物: “旬” な人物を紹介! (出演_執筆 雑誌 ジャパン

ナレッジ) 2010年3月16日

[日本国内] 東北大学の新世紀 ナノスケールでがんに迫る！_1 (出演_執筆 テレビ
東日本放送) 2010年6月7日

[日本国内] 東北大学の新世紀 ナノスケールでがんに迫る！2 (出演_執筆 テレビ CNN)
2010年6月11日

[日本国内] 東北大学の新世紀 ナノスケールでがんに迫る！3 (出演_執筆 テレビ BS 朝
日) 2010年6月

[日本国内] 東北大学の新世紀 ナノスケールでがんに迫る！4 (出演_執筆 テレビ CNN)
2010年6月

[日本国内] 乳がんチャンネル「この人のために」 (出演_執筆 テレビ がんの魅せ技 (ネッ
ト手術動画配信)) 2010年6月25日

[日本国内] がん医療の現場vol.3 乳がんの再発リスクと闘う。 (出演_執筆 テレビ フジテ
レビニュースJAPAN) 2010年7月7日

[日本国内] 体重増で乳がんリスク増加 閉経後なりやすく 東北大調査 (出演_執筆 新聞
日経) 2010年9月24日

[日本国内] 「県立3病院黒字化を」来春独法化 県が中期目標案策定 (出演_執筆
新聞 河北新報) 2010年9月29日

[日本国内] 乳がんラジオ波手術に要注意 (一面見出し) (出演_執筆 新聞
朝日新聞) 2010年10月3日

[日本国内] 乳房を切らないラジオ波治療 学会「がん残る恐れ」 (出演_執筆
新聞 朝日新聞) 2010年10月3日

[日本国内] ピンクリボンウォーク、仙台で大会 (出演_執筆 新聞 河北新報)
2010年10月31日

[日本国内] 乳がんの早期発見 ピンクリボンフェスティバルin 仙台 (出演_執筆
新聞 朝日新聞) 2010年11月1日

[日本国内] あさいち「乳がん検診 最新情報」 (出演_執筆 テレビ NHK)
2010年11月22日

[日本国内] 「米国ほどの不利益なし」日本の乳がん検診 (出演_執筆 その他
日本対がん協会報 第565号) 2010年12月1日

[日本国内] あさいち「ちゃんと知りたい 乳がん検診」 (出演_執筆 テレビNHK)
2010年12月20日

[日本国内] 乳がんかもといわれたら：スペシャルインタビュー「乳がん診療実態から読み解け
ること」 (出演_執筆 雑誌 日経BPMック) 2011年5月16日

[日本国内] 乳がんのこと、心のケアのこと、もっと知りたいあなたへ (その他 新聞 河北新
報) 2011年7月

[日本国内] 検診、手術、心のケア 乳がん専門家が講演 (その他 雑誌 河北ウィークリーせ
んだい) 2011年8月

[日本国内] 乳がんのこと、心のケアのこと、もっと知りたいあなたへ (出演_執筆 新聞 河
北新報) 2011年8月

[日本国内] 東北大学、血管内皮増殖因子受容体のわずかな発現量の差が持続的な血管新生を誘
導するメカニズムを (出演_執筆 新聞 日経プレスリリース
日経経済新聞 電子版) 2011年9月29日

[日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見2 (出演
執筆 新聞 Goo ニュースweb) 2011年9月30日

[日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見3 (出演
執筆 新聞 Yahoo ニュース) 2011年9月30日

- [日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見4 (出演_執筆 新聞 Goo ビジネスE X web) 2011年9月30日
- [日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見5 (出演_執筆 新聞 マイコミジャーナル エンタープライズweb) 2011年9月30日
- [日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見6 (出演_執筆 新聞 コブスニュース マイコミジャーナルコブスオンライン) 2011年9月30日
- [日本国内] 東北大、動脈硬化性疾患の治療に向けた血管新生の誘導メカニズムを発見7 (出演_執筆 新聞 メディアジャムweb) 2011年9月30日
- [日本国内]ピンクリボン：乳がん検診大切さ訴え (出演_執筆 新聞 河北新報) 2011年10月2日
- [日本国内]ピンクリボン：乳がん月間 仙台の街彩る (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2010年10月2日
- [日本国内]血管の新生1分子まで観察 (出演_執筆 新聞 日経産業) 2010年10月10日
- [日本国内]東北大、血管新生の仕組み解明ーたんぱく質量、場所ごとに変更 2010年10月18日
- [日本国内] スーパーJ チャンネルみやぎ「乳がん早期発見の大切さ」 (出演_執筆 テレビ 東日本放送) 2011年10月26日
- [日本国内] 第19 回日本乳癌学会 死亡率低下に向け多様な取組み (出演_執筆 雑誌 Medical Tribune, 44(43)) 2011年10月27日
- [日本国内] ピンクリボンスマイルウオーク 乳がん早期発見 1600 人歩いて訴え (出演_執筆 新聞 朝日新聞) 2011年10月30日
- [日本国内] ピンクリボフェス「乳がん早期発見を」 仙台でウオーク (出演_執筆 新聞 河北新報) 2011年10月30日
- [日本国内]第19回日本乳癌学会 2009年度班研究課題最終報告、2010年度班研究課題中間報告 (その他 Medical Tribune,44(44)) 2011年11月3日
- [日本国内]セミナー「乳がん 共にたたくい共に生きる」開催 (出演_執筆 仙台リビング) 2011年11月5日
- [日本国内]正しい情報で予防・治療 乳がんを知るセミナー 12月3日仙台 東北大教授らが講演 (出演_執筆 新聞 河北新報) 2011年11月22日
- [日本国内]第21回日本乳癌検診学会学術総会 (その他 Rad Fan ONLINE) 2011年11月22日
- [日本国内]血管新生を誘導するメカニズム発見 (その他_雑誌 まなびの杜No.58) 2011年12月26日
- [日本国内]次期部局長選出 東北大 (出演_執筆 河北新報) 2012年2月21日
- [日本国内]後期研修医、いまだ大学に戻らず (その他 m3.com) 2012年4月19日
- [日本国内]被災3県医大が医学部新設けん制する要望書 (その他 CBnews) 2012年4月20日
- [日本国内]がん検診の有効性検証へ、まずは子宮頸がんー厚労省検討会が初会合 (その他 Yahoo!News Headlines) 2012年5月28日
- [日本国内]がん検診の有効性検証へ、まずは子宮頸がんー厚労省検討会が初会合 (その他 Career Brain News) 2012年5月28日
- [日本国内]5/28に開催された厚労省「がん検診のあり方に関する検討会」に関して (その他 m3News) 2012年5月28日
- [日本国内]生命科学の先端研究拠点 東北ART 大内憲明研究科長から 次世代医療発展の基礎気鋭の若者つどう場に (出演_執筆 科学新聞) 2012年6月22日

- [日本国内]【この人に聞く】科学的根拠に基づくがん検診の実施が重要 大内憲明氏（がん検診のあり方に関する検討会 座長）（その他_雑誌_週間社会保障6/25号） 2012年6月25日
- [日本国内]日本対がん協会から（出演_執筆_新聞_朝日新聞） 2012年7月17日
- [日本国内]朝日がん大賞 静岡県立静岡がんセンターに がんよろず相談10年の活動を評価（その他_対がん協会報_第588号） 2012年9月1日
- [日本国内]子宮頸がん検診にHPV検査導入案 厚生労働省がん検診検討会で議論（その他_対がん協会報_第588号） 2012年9月1日
- [日本国内]マンモグラフィ併用 早期発見期待 死亡率低下へ 国が有効性確認研究（出演_執筆_新聞_読売新聞） 2012年10月2日
- [日本国内]徳島ピンクリボン2012集会開催記念「がんとうまく付き合う方法」（出演_執筆_新聞_徳島新聞） 2012年10月8日
- [日本国内]乳がんの再発リスクを高精度診断（出演_執筆_新聞_化学工業日報） 2015年9月28日
- [日本国内]マンモ+エコーで乳がん発見率1.5倍（出演_執筆_新聞_朝日新聞） 2015年11月5日
- [日本国内]マンモグラフィと超音波検査併用で 乳がん発見率1.5倍に拡大（出演_執筆_新聞_夕刊信濃毎日新聞） 2015年11月5日
- [日本国内]乳がん発見率 マンモグラフィ併用 超音波検査で1.5倍（出演_執筆_新聞_夕刊東京新聞） 2015年11月5日
- [日本国内]マンモグラフィと超音波検査で乳がん発見率向上（NKH NEWS WEB） 2015年11月5日
- [日本国内]マンモ+超音波 乳がん発見1.5倍（夕刊大分合同新聞） 2015年11月5日
- [日本国内]マンモ+超音波検査 乳がん発見率1.5倍に（夕刊中日新聞） 2015年11月5日
- [日本国内]乳がん超音波検査併用で発見増 7万人調査 マンモ単独の1.5倍 2015年11月6日
- [日本国内]マンモ+エコー40代発見率1.5倍（産経新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]乳がん検査に超音波 マンモと併用で発見率1.5倍（毎日新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]マンモグラフィ+超音波検査 乳がん発見1.5倍に（琉球新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]マンモグラフィと超音波検査併用40代乳がん発見率1.5倍（宮崎日新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]40代マンモに超音波併用 乳がん発見率1.5倍（佐賀新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]超音波で発見率1.5倍 乳がん検診、マンモに併用（山口新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]マンモグラフィと超音波検査併用 40代乳がん発見率1.5倍に（四国新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]マンモに超音波併用 乳がん発見率1.5倍（室蘭新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]乳がん発見率超音波で向上 マンモグラフィ併用で1.5倍（神戸新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]乳がん発見率超音波で1.5倍 マンモと併用、死亡率低下を追跡へ（長崎新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]マンモに超音波併用 乳がん発見率1.5倍（南日本新聞） 2015年11月6日
- [日本国内]エコー併用で乳がん発見率が上昇（じほう） 2015年11月11日
- [日本国内]マンモ+超音波の有用性を証明 国の乳がん検診の在り方にも影響（Medical Tribune） 2015年11月12日
- [日本国内]日本人の乳癌検診、マンモ+超音波で感度上昇（日経メディカル） 2015年11月24日
- [日本国内]「マンモグラフィ検査+超音波検査」でがん発見率は1.5倍に（対がん協会報）

| | |
|--|-------------|
| | 2015年12月1日 |
| [日本国内]マンモグラフィ推奨年齢 日本40歳以上2年に1回 超音波併用も (夕刊読売新聞) | 2015年12月17日 |
| [日本国内]乳がん治療・支援の最前線 効果的な超音波併用 (東京新聞) | 2016年1月11日 |
| [日本国内]マンモグラフィ検診の課題、克服なるか 40代の検査精度高める研究 (山口新聞) | 2016年1月18日 |
| [日本国内]マンモグラフィ検診40代精度向上なるか (デーリー東北) | 2016年1月18日 |
| [日本国内]乳がんマンモ検診 40代の検査精度向上に光 超音波併用で発見率向上 (秋田さきがけ) | 2016年1月21日 |
| [日本国内]精度落ちる40代の検査 課題の克服なるか? (奈良新聞) | 2016年1月21日 |
| [日本国内]マンモの課題克服なるか 40代の精度高める研究 (伊勢新聞) | 2016年1月21日 |
| [日本国内]乳がん発見へ有望研究 超音波併用で精度向上 (高知新聞) | 2016年1月22日 |
| [日本国内]乳がん検診マンモグラフィ 40代の精度向上へ光 超音波併用発見率1.5倍 (新潟新聞) | 2016年1月25日 |
| [日本国内]マンモの課題克服へ 40代の精度高める研究 (神奈川新聞) | 2016年1月25日 |
| [日本国内]40代の検査精度が課題 克服狙い超音波併用(上毛新聞) | 2016年1月25日 |
| [日本国内]マンモの課題克服なるか 40代の検査精度改善へ (東奥新聞) | 2016年1月25日 |
| [日本国内]40代の乳がん検診 超音波併用併用で精度向上 (長崎新聞) | 2016年1月25日 |
| [日本国内]マンモグラフィ40代検査 精度向上へ研究着々 (宮崎日日新聞) | 2016年1月26日 |
| [日本国内]マンモの課題克服なるか 40代の精度高める研究 (佐賀新聞) | 2016年1月26日 |
| [日本国内]マンモの課題、克服なるか 40代の精度高める研究 乳がん検診超音波検査を追加 (山陰中央新報) | 2016年1月28日 |
| [日本国内]乳がんマンモグラフィ検診 超音波併用で精度向上へ (茨城新聞) | 2016年1月28日 |
| [日本国内]超音波で克服なるか マンモ検診、精度に課題 (四国新聞) | 2016年1月29日 |
| [日本国内]マンモの課題克服なるか 乳がん検診40代で精度やや低下 (山陽新聞) | 2016年1月31日 |
| [日本国内]マンモ検診精度向上へ (愛媛新聞) | 2016年2月2日 |
| [日本国内]40代の精度克服なるか (北海道新聞) | 2016年2月4日 |
| [日本国内]マンモグラフィ課題克服を (熊本日日新聞) | 2016年2月5日 |
| [日本国内]乳がん超音波で早期発見 (沖縄タイムズ) | 2016年2月8日 |
| [日本国内]課題克服へ大規模研究 (室蘭民報) | 2016年2月10日 |
| [日本国内]マンモの課題克服なるか 40代の精度高める研究 (中部経済新聞) | 2016年2月12日 |
| [日本国内]マンモグラフィ推奨年連 日本40歳以上2年に1回 (夕刊読売新聞) | 2016年2月17日 |
| [日本国内]課題克服なるか 40代精度上げる超音波の併用も (埼玉新聞) | 2016年2月17日 |
| [日本国内]「J-START」試験が与えるインパクトとは (日経メディカル) | 2016年3月15日 |
| [日本国内]マンモの課題克服手応え 40代の乳がん検診精度向上狙い 超音波追加し検証 (西日本新聞) | 2016年3月19日 |
| [日本国内]乳がん判別困難伝えず マンモグラフィ 自治体の7割 (読売新聞) | 2016年6月12日 |
| [日本国内]乳がん検診 マンモ、高濃度乳腺が弱点 (河北新報 (共同)) | 2016年7月6日 |

- [日本国内]乳房タイプ知らせる施設も 学会、対応を検討へ (神奈川新聞) 2016年7月10日
- [日本国内]乳房タイプ マンモ向かない人に通知 (琉球新報) 2016年7月12日
- [日本国内]「乳腺濃度は重要情報」乳がん検診でタイプ理解 高濃度マンモ精度に影響 (愛媛新聞) 2016年7月12日
- [日本国内]あなたの乳房タイプは? 乳腺濃度の対応検討へ (埼玉新聞) 2016年7月13日
- [日本国内]乳房タイプ知らせる施設も 学会、対応を検討へ (山陰中央新報) 2016年7月14日
- [日本国内]あなたの乳房タイプは?マンモ受診者へ告知も 検査の弱点を考慮 (東奥日報) 2016年7月25日
- [日本国内]乳がん見つけにくい乳房タイプも 通知する医療機関も/学会、対応検討へ (京都新聞) 2016年7月26日
- [日本国内]乳房タイプ知らせる施設も マンモ検査の弱点考慮 学会、対応を検討へ (佐賀新聞) 2016年7月26日
- [日本国内]乳がん 見落とし防ぐ 超音波検査整備を議論 高濃度乳腺 (読売新聞) 2016年10月18日
- [日本国内]「がんへの挑戦」、東北大腫瘍外科教授の大内氏、最終講義 (m3.com) 2017年2月12日
- [日本国内]自治体が通知 超音波併用も マンモグラフィに向かない高濃度乳房 2017年2月19日

学外の社会活動(～2017年2月)

- [日本国内] 河北新報_ 良稜財団共催 健康の医学教室講演 (講演会_ セミナー) 2007年7月—2007年7月
- [日本国内] 朝日新聞社等共催 ピンクリボン (その他) 2007年10月—2007年10月
- [日本国内] いばらぎ乳がん県民フォーラム (講演会_ セミナー) 2008年1月—2008年1月

外部機関における活動(～2017年2月)

- 米国国立がん研究所_ 国際乳がん検診ネットワーク理事 (日本代表) 1997年04月—現在
- 国立大学病院広報問題検討小委員会作業部会委員 2001年04月—2003年03月
- UICC 国内委員会委員 2003年04月—現在

業績リスト

I. 著書・編書

英文(～2017年2月)

1. Kasai M, Ohi R and **Ohuchi N**. Reversibility and aggravation of portal hypertension in biliary atresia patients. In: M Kasai (ed), Biliary Atresia and Its Related Disorders. Excerpta Medica, Amsterdam, pp. 291-296, 1983.
2. Schlom J, Thor A, **Ohuchi N**, Horan Hand P, Wunderlich D, Muraro R, Colcher D, Page DL, Szpak CA and Johnston WW. Translation of tumor-associated and protooncogene products in mammary carcinoma cell populations. In: J Gest (ed), Breast Diseases, IV International Congress on Serology, Paris, Imprimerie Louis-Jean, 1986, pp. 181-185.
3. Thor A, **Ohuchi N**, Szpa CA, Johnston WW and Schlom J. Monoclonal antibodies and immunopathology: application to human carcinomas. In: BC Gosh, L Gosh (eds), Tumor Markers and Tumor-associated Antigens. McGraw Hill Pub 1987, pp. 238-268.

4. Thor A, **Ohuchi N**, Horan Hand P, Weeks MO, Johnston, WW, Szpak CA and Schlom J. Tumor-associated antigens and oncogene products defined by monoclonal antibodies. In: DJ Ruitter, GJ Fluereen, SO Warnar, (eds), Applications of Monoclonal Antibodies in Tumor Pathology, Martinus Nijhoff Pub 1987, pp. 283-296.
5. Colcher D, Simpson JF, **Ohuchi N**, Carrasquillo JA, Reynolds JC, Larson SM and Schlom J. Potential use of monoclonal antibody B72.3 for the diagnosis and management of gastrointestinal malignancies. In: K Sugahara (ed), New Trends of Gastroenterology 1987. The Second International Symposium of the Japanese Society of Gastroenterology, 1987. pp. 153-165.
6. Horan Hand P, Weeks MO, Colcher D, Thor A, **Ohuchi N**, Muraro R, Wunderlich D, Vilasi V and Schlom J. Colon carcinoma populations as defined by monoclonal antibodies. In: MP Moyer, GH Poste (eds), Colon Cancer Cells, Academic Press Inc, New York, 1989, pp. 397-428.
7. Thor A, Simpson JF, **Ohuchi N**, Horan Hand P, Szpak CA, Johnston WW and Schlom J. Monoclonal antibodies and human carcinomas: diagnostic and experimental applications. In: R Delellis (ed), Advances in Immunohistochemistry.
8. **Ohuchi N**, Akimoto M, Mori S, Kufe D and Schlom J. Complementation of monoclonal antibodies DF3 and B72.3 in the reactivity to breast carcinoma. In: R Ceriani (ed), Breast Cancer Immunodiagnosis and Therapy. Plenum Press, New York, 1989, pp. 171-181.
9. **Ohuchi N**, Merino M, Carter D, Simpson JF, Kennedy S, Kufe D and Schlom J. Differential expression of DF3 antigen between papillary carcinoma and benign papillary lesions of the breast. In: R Ceriani (ed), Breast Cancer Immunodiagnosis and Therapy. Plenum Press, New York, 1989, pp. 183-192.
10. Masuda M, Nishihira T, Hirayama K, **Ohuchi N**, Takano R, Sato Y, Itoh K, Mizugaki M, Ishida N and Mori S. An immunohistochemical analysis for cancer of the esophagus using monoclonal antibodies specific for modified nucleosides. In: MK Ferguson, AG Little and DB Skinner (ed), Diseases of the Esophagus, Futura Publishing Company Inc, New York, 1990, pp. 11-16.
11. Schlom J, Colcher D, Millenic DE, Horan Hand P, Greiner JW, Kuroki M, Thor A, Molinolo A and **Ohuchi N**. TAG-72 as a tumor marker. In: S Sell (ed), Serological Cancer Markers, The Human Press, Totowa, NJ. 387-416. 1992
12. **Ohuchi N**, Ishida T, Ohnuki, Takeda M. Advances in diagnosis of breast cancer: mammography for screening and mri for breast-conserving surgery. R. Ros, T Kakizoe (eds,) "Innovative achievements in cancer imaging". The 33rd International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund. pp. 30-34, 2003.
13. Ichihara S, Endo T, Niwa T, Morita T, **Ohuchi N**. Ductal caicinoma in situ of the breast: Ductal carcinoma in situ of the breast: The pathological reason for the diversity of its clinical imaging. E. Ueno, T. Shiina, M. Kubota, K. Sawai (eds.) Research and Developoment in Breast Ultrasound, Springer-Verlag, Tokyo, pp. 104-113, 2005.
14. Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H, et al. Intratumoral production of sex steroids in human breast and prostate cancer. Endocrine-Related Cancer (In press)
15. **Ohuchi N**, Guidelines revision for breast cancer screening in Japan and cancer registry. JACR Monograph No. 10, pp. 9-15, 2005
16. **Ohuchi N** (ed.), Japanese guidelines for quality assurance in mammography screening. Researches on Quality and Efficacy Improvement of Breast Cancer Screening, Grant-in-aid for Cancer Research supported by the Ministry of Health, Labour and Welfare, Japan, March 2005
17. Sakurai Y, Takeda M, Kobayashi Y, **Ohuchi N**. Generation of nanosized silver-iodide beads for medical application. In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 505-508, 2006.
18. Cong Liman, Kobayashi Y, Takeda M, **Ohuchi N**. Development of silica coated silver iodide nano-particles in different sizes for novel x-ray contrast media. In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 311-315, 2006.

19. Ito M, Moriya T, Kasajima A, Ishida T, **Ohuchi N**. Lymphatic vessel invasion in primary breast cancer using lymphatic endothelium marker, d2-40 and podoplanin. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 341-348, 2006.*
20. Kawai M, Higuchi H, Watanabe TM, Tada H, **Ohuchi N**. In vivo visualization of metastasis of human breast cancer cells labeled with Quantum dots in mice. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 369-376, 2006.*
21. Li S, Higuchi H, **Ohuchi N**. Effects of Trastuzumab and paclitaxel in HER2-overexpressing breast cancer. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 395-400, 2006.*
22. Nakajima M, Takeda M, Kobayashi M, **Ohuchi N**. Nano-sized fluorescent particles as new tracers for sentinel node detection: an experimental model for decision of appropriate size and wavelength. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 465-472, 2006.*
23. Oguma M, Moriya T, Fukushige S, Ishida T, Horii A, **Ohuchi N**. Fluorescence in situ hybridization analysis of breast cancer: positive association between loss of 17p13 and her2 overexpression. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 489-494, 2006.*
24. Tada H, Higuchi H, Watanabe T, **Ohuchi N**. In vivo breast cancer cell imaging using quantum dot conjugated with anti-her2 antibody. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 515-520, 2006.*
25. Usami S, Moriya T, Ishida T, **Ohuchi N**. Pathological problems regarding core needle biopsy for non-palpable tumors of the breast. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 541-549, 2006.*
26. **Ohuchi N**, Nakajima M, Tada H, Ishida T, Takeda M, Higuchi H. Nano-sensing capsules for medical application: nano-particles for sentinel navigation and quantum dots conjugation with anti-her2 antibody for molecular imaging of cancer. *In: M Esashi, K Ishi, N Ohuchi, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, pp. 245-259, 2006.*
27. M Esashi, K Ishi, N **Ohuchi**, N Osumi, M Sato, T Yamaguchi, (eds), Future Medical Engineering Based on Bionanotechnology. Proceedings of the Final Symposium of the Tohoku University 21st Century Center of Excellence Programme. Imperial College Press, 2006. (Total 1115 pages)
28. Ishida T, Takeda M, Suzuki A, Amari M, Moriya T, Ohuchi N. Significance of irradiation in breast-conserving treatment: comparison of local recurrence rates in irradiated and nonirradiated groups. *Int J Clin Oncol*, 13(1): 12-7, 2008.
29. **Ohuchi N**, Kawai M, Sakurai Y, Higuchi H, Kobayashi Y, Gonda K, Takeda M, Development of bio-imaging with Functional nano-objects. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2009, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 361-372, 2009. (total 465 pages)*
30. Cong L, Takeda M, Watanabe M, Kobayashi Y, Kobayashi M, **Ohuchi N**, Sentinel lymph node biopsy and mapping by silica-coated fluorescence beads. *In: Yamaguchi T (editor),*

- Nano-Biomedical Engineering 2009, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 421-426, 2009. (total 465 pages)
31. Hamanaka Y, Kawai M, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, *In vivo* real-time tracking of single particle in tumors of mice. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2009, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 427-432, 2009. (total 465 pages)*
 32. **Ohuchi N**, Gonda K, Tada H, Amari M, Takeda M. Nanomedicine in cancer: development of fluorescence nano-imaging to visualize mechanism of cancer metastasis in vivo. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 531-542, 2012. (total 660 pages)*
 33. Cong L, Takeda M, Hamanaka Y, Gonda K, Watanabe M, Kobayashi Y, Kobayashi M, **Ohuchi N**. Silica coating of fluorescence nano-particles prolongs enhancement of sentinel lymph nodes. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 587-592, 2012. (total 660 pages)*
 34. Hamada Y, Gonda K, Takeda M, Yambe T, **Ohuchi N**. In vivo molecular imaging of ischemic model mice. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 593-598, 2012. (total 660 pages)*
 35. Hamanaka Y, Gonda K, Shiraishi K, Yokoyama M, Tada H, **Ohuchi N**. In vivo real-time tracking of polymeric micelles for drug delivery system visualization. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 599-604, 2012. (total 660 pages)*
 36. Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, Kobayashi Y, Kamei T, **Ohuchi N**. Use of silica-coated nanoparticles as a contrast agent in mice. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 625-632, 2012. (total 660 pages)*
 37. Niizuma N, Gonda K, Tada H, Li-Shishido S, Higuchi H, **Ohuchi N**. Development of an immunostaining method with quantum dots. *In: Yamaguchi T (editor), Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 642-647, 2012. (total 660 pages)*
 38. **Ohuchi N**, Gonda K, Tada H, Amari M, Takeda M. Nanomedicine in cancer: Development of fluorescence nano-imaging to visualize mechanism of cancer metastasis in vivo. *Nano-Biomedical Engineering 2012, Proceedings of the Tohoku University Global Centre of Excellence Programme, Imperial College Press, pp. 531-542, 2012*
 39. Kobayashi Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Imaging Processes Using Core-Shell Particle Colloid Solutions for Medical Diagnosis. *Athens Journal of Natural & Formal Sciences*, Vol 1 (1): 31-41, 2014
 40. Kobayashi Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Imaging processes using core-shell particle colloid solutions for medical diagnosis. *Athens Journal of Sciences, The Natural & Formal Sciences Division of the Athens Institute for Education and Research*, pp. 31-41, 2014

<http://www.atiner.gr/journals/sciences/Cover-2014-01sciences.pdf>

著書・編書

和文(～2017年2月)

1. 久道茂、有末太郎、大内憲明、金子昌弘、伊藤良彌、渡辺決、小菅浩文、最上博。諸臓器がんの集団検診の間に存する共通の問題点に関する研究、厚生省がん研究助成金による研究報告。平成4年度、国立がんセンター、1992, pp. 418-423
2. 久道茂、有末太郎、大内憲明、伊藤良彌、黒石哲生、渡辺決、最上博。諸臓器がんの集団検診の間に存する共通の問題点に関する研究、厚生省がん研究助成金による研究報告。平成5年度、国立がんセンター、1993, pp. 224-229

3. 鈴木昭彦、大内憲明、金村政輝、里見進。乳癌患者血清における腫瘍関連抗原 TPA の発現とその有用性に関する検討。遠藤啓吾(TRA-M 研究会)編、TPA の臨床応用 (ISBN 4-915525-23-6 C3047)、自然科学社、東京、pp. 20-22,1996.
4. 大内憲明、遠藤登喜子、辻一郎、松本徹、森本忠興、福田護。マンモグラフィ導入による乳がん検診の精度管理の確立に関する研究(7-8)厚生省がん研究助成金による研究報告。平成7年度、国立がんセンター、1996、pp. 282-287.
5. 大内憲明、遠藤登喜子、辻一郎、松本徹、森本忠興、福田護。マンモグラフィ導入による乳がん検診の精度管理の確立に関する研究(7-8)厚生省がん研究助成金による研究報告。平成8年度、国立がんセンター、1997、PP. 101-106.
6. 大内憲明。乳管小葉区域切除術、「乳癌の手術(改訂第2版)」(霞富士雄、植野映編)。南江堂、東京、1998、pp. 186-193.
7. 大内憲明、dochoctomy、「乳腺外科の要点と盲点」(霞富士雄編)。文光堂、pp. 262-264, 1998
8. 大内憲明。人間ドックで行う乳房の検査、(久道茂 編)「人間ドックの新知識」。日本評論社、123-127、1998
9. 大内憲明、遠藤登喜子、辻一郎、東田善治、福田護、森本忠興。マンモグラフィ導入による乳がん検診の精度管理の確立に関する研究(9-6)厚生省がん研究助成金による研究報告。平成9年度、国立がんセンター、pp. 279-283, 1998.
10. 富永祐民、阿部力哉、木戸長一郎、小池昭彦、寺田央、永井宏、山田達哉、大内憲明、黒石哲生。画像診断による乳がん検診モデル事業実施結果報告書。厚生省「画像診断による乳がん検診モデル事業実施検討委員会」発行、平成10(1998)年8月
11. 大内憲明、森本忠興、大貫幸二、飯沼武、黒石哲生、安斎千恵、永井宏。乳がん検診の有効性評価に関する研究。がん検診の有効性評価に関する研究班報告書(総括委員長、久道茂)。pp.173-216、日本公衆衛生協会、東京、1998.
12. 大内憲明、佐藤信二、辻一郎、久道茂、樋渡信夫、深尾彰、藤村重文。成人病検診管理指導協議会のあり方に関する調査研究。(久道茂編)「平成9年度厚生省老人保健健康増進等事業報告書」、日本公衆衛生協会、1998.
13. 大内憲明、遠藤登喜子、東田善治、堀田勝平、館野之男、飯沼武、黒石哲生、辻一郎、今村恵子、福田護、森本忠興。マンモグラフィを導入した乳がん検診の実施体制についての調査研究。(大内憲明編)「平成9年度厚生省老人保健福祉に関する調査研究事業報告書」、日本公衆衛生協会、1998.
14. 大貫幸二、大内憲明。乳がん検診の有効性(久道茂編)「がん検診」。日本評論社、1999。pp.77-80.
15. 大内憲明。乳癌検診:マンモグラフィを導入した乳癌検診システムの展望。(森宏之編)新女性医学大系 20:乳房とその疾患。中山書店、東京、pp.341-351, 1999.
16. 大内憲明。乳がん検診に関する評価。平成10年度厚生省老人保健健康増進等事業「がんの原因となる微生物等を発見する検診の有効性に関する文献学的調査」研究報告書(主任研究者、久道茂)。日本公衆衛生協会、pp.63-70, 1999.
17. 大内憲明、遠藤登喜子、辻一郎、東田善治、福田護、森本忠興。マンモグラフィを導入した乳がん検診システムの確立に関する研究(9-6)。厚生省がん研究助成金による研究報告。平成10年度、国立がんセンター、pp. 642-644, 1999.
18. 大内憲明、佐藤信二、辻一郎、久道茂、樋渡信夫、深尾彰、藤村重文。がん検診の精度評価に関する手引き。平成9年度厚生省老人保健健康増進等事業「成人病検診管理者指導協議会のあり方に関する調査研究」研究報告書、日本公衆衛生協会、1998
19. 大内憲明。厚生省がん研究助成金による「マンモグラフィ導入を導入した乳がん検診システムの確立に関する研究」平成10年度研究報告書、1999
20. 大内憲明、飯沼武、今村恵子、遠藤登喜子、大貫幸二、佐々木正寿、菅原暢、鈴木聡長、辻一郎、角田博子、永井宏、原田雄功、東田善治、福田護、堀田勝平、森本忠興、横江隆夫、石橋

- 忠司、市原周、岩瀬拓士、小田切邦雄、寺田央、東野英利子、松本満臣。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き(精度管理マニュアル)。老人保健強化推進特別事業「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」報告書。日本公衆衛生協会、1999
21. 森谷卓也、大内憲明。稀な組織型の乳腺腫瘍、今日の腫瘍外科。外科治療、永井書店、82: 385-390,2000.
 22. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き:精度管理マニュアル。日本医事新報社、2000、総ページ数 166
 23. 大内憲明。マンモグラフィによる乳がん検診の精度管理マニュアル。平成 11 年度厚生省老人保健健康増進等事業「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する研究」、日本公衆衛生協会、東京、2000.
 24. 大内憲明。厚生省老人保健健康増進等事業「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する研究」平成 11 年度報告書、日本公衆衛生協会、東京、2000.
 25. 遠藤登喜子、大内憲明、辻一郎、東野英利子、福田護、藤田広志。50 歳未満の適正な乳がん検診のあり方に関する研究。厚生省がん研究助成金による研究報告集。平成 11 年度、国立がんセンター、2000 年 9 月、pp. 481-485
 26. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、改定第2版。日本医事新報社、東京、2001、総ページ数 178
 27. 遠藤登喜子、大内憲明、辻一郎、東野英利子、福田護、藤田広志。50 歳未満の適正な乳がん検診のあり方に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告集。平成 12 年度、国立がんセンター、2001 年 9 月、pp. 393-398
 28. 大内憲明、大貫幸二、堀田勝平、寺田央、今村恵子、鈴木隆二、鈴木聡長、朝原正喜、真田茂藤田広志、岡崎正敏。マンモグラフィによる乳がん検診の適正実施のための研究。平成 12 年度厚生省老人保健事業推進費等補助金・がん検診の適正化に関する調査研究報告書、2001
 29. 大内憲明。乳がん検診、平成 12 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金によるがん検診の適正化に関する調査研究「新たながん検診手法の有効性評価」研究報告書。日本公衆衛生協会、東京、pp. 247-276 2001.
 30. 遠藤登喜子、大内憲明、辻一郎、東野英利子、福田護、藤田広志。50 歳未満の適正な乳がん検診のあり方に関する研究。厚生省がん研究助成金による研究報告。平成 13 年度、国立がんセンター、2002、pp. 239-245.
 31. 大内憲明(編)。平成 13 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)高齢者に対する老人保健事業のあり方と効果的な実施に関する研究事業「我が国におけるこれまでの老人保健事業等の評価、検討及び関連する医療福祉分野の施策・研究に関する調査研究—がん検診—」研究報告書、日本公衆衛生協会、2002.
 32. 大内憲明(編)。がん検診の精度評価のためのコンピュータ・プログラム:データベース入力マニュアル。「平成 13 年度厚生労働省老人保健健康増進等事業」報告書2、日本公衆衛生協会、2002
 33. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、改定第2版増補、日本医事新報社、東京、2002、総ページ数 177
 34. 大内憲明、吉田龍一。ホルモン療法—乳癌を中心に。Medical Practice 編集委員会(編):治療薬ガイド 2003-2004、文光堂、東京、pp.877-883, 2003
 35. 大内憲明。Cancer Information Physician Date Query (PDQ) 監訳—乳癌治療、NCI Japan, Inc. <<http://www.ncijapan.com>>, 2003.
 36. 大内憲明。Current Medical Diagnosis & Treatment (CMDT) 2003, 42nd edition。監訳—乳房、McGraw-Hill., 2003.
 37. 大内憲明。CMDT 2003、カレント・メディカル 診断と治療、第 42 版。監訳、日経BP、2003
 38. 大内憲明、野口眞三郎、坂元吾偉(編)。乳癌治療の新たな潮流。The 5th Breast Cancer Up-date Meeting、ライフ・サイエンス、東京、2002 年 8 月 pp. 1-99

39. 小山博樹、霞富士雄、飯野祐一、大内憲明(編)。先端医療シリーズ 21「乳癌の最新医療」。先端医療技術研究所、東京、2003
40. 大内憲明、石田孝宣、大平広道、増田真幸。乳房温存療法:整容性を目指した乳房温存手術の手技。小山博樹、霞富士雄、飯野祐一、大内憲明(編)。先端医療シリーズ21「乳癌の最新医療」先端医療技術研究所、東京、pp.262-265, 2003。総ページ数 453
41. 大貫幸二、大内憲明。マンモグラフィ。小山博樹、霞富士雄、飯野祐一、大内憲明(編)先端医療シリーズ 21「乳癌の最新医療」。先端医療技術研究所、東京、pp.87-92, 2003、総ページ数 453
42. 高嶋成光、池田正、大内憲明、伊藤良則、佐伯俊昭、下妻晃二郎、中村清吾、平岡真寛、渡辺亨。厚生労働科学研究費補助金(医療技術評価総合研究事業)「科学的根拠に基づく乳がん診療ガイドライン作成に関する研究」報告書。厚生労働省、2003年3月。総ページ数 261
43. 大内憲明、武田元博、川添良幸、粕谷厚生、佐竹正延、小林正樹、石田孝宣。厚生労働科学研究費・萌芽的先端医療技術推進研究事業—ナノメディシン分野「ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用」平成 14 年度総括研究報告書、2003 年 3 月。総ページ数 284
44. 青木大輔、大内憲明、佐川元保、辻一郎、堀田勝平、深尾彰。平成 14 年度厚生労働省老人保健事業推進費等補助金(老人保健健康増進等事業分)高齢者に対する老人保健事業の在り方に関する調査研究事業「がん検診に関する効果的な推進手法の開発に関する検討」報告書、日本公衆衛生協会、2003 年 3 月。総ページ数 228
45. 大内憲明、武田元博、川添良幸、粕谷厚生、山家智之。ナノテクノロジーの医学・医療応用への期待第2回メディカルインフォマティクスシンポジウム、2003 年 3 月 27 日、東京、pp99-114, 2003 総ページ数 176
46. 大内憲明。がん検診。臨床腫瘍学第3版、癌と化学療法、日本臨床腫瘍学会(編)pp. 443-449, 2003、総ページ数 1245
47. 堀田勝平、大内憲明、遠藤登喜子、岡崎正敏、藤田広志、小寺吉衛。デジタルマンモグラフィを含めての dense breast への技術的対応。「がん検診に関する効果的な推進手法の開発に関する検討」報告書、日本公衆衛生協会、pp. 51-70, 2003 年 3 月
48. 大貫幸二、宇佐美伸、大内憲明。40 歳代のマンモグラフィ導入・精検の精度評価:精密検査機関の医師に対する読影講習会の教育効果。「がん検診に関する効果的な推進手法の開発に関する検討」報告書。日本公衆衛生協会、pp. 45-50, 2003 年 3 月
49. 遠藤登喜子、大内憲明、辻一郎、東野英利子、福田護、藤田広志。50 歳未満の適正な乳がん検診のあり方に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告集。平成 14 年度、国立がんセンター、2003 年 9 月、pp. 147-153
50. 鈴木昭彦、石田孝宣、大貫幸二、武田元博、大内憲明。乳房の診察に必要な解剖学的知識、(石塚文平編)産婦人科医の知っておくべき乳癌の知識。金原出版、2004
51. 武田元博、石田孝宣、大貫幸二、大内憲明。乳癌手術におけるリスクマネジメント(松野正紀、押田茂寛、根岸七雄編)。外科病棟・手術室のリスクマネジメント、中外医学社、pp.183-194 2004、総ページ数 323
52. 大貫幸二、大内憲明。マンモグラフィ検診で要精検率を下げるには(光山昌珠編)乳癌診療二頁の秘訣、金原出版、pp30-31、2004、総ページ数 329
53. 大内憲明。乳房温存手術と Lateral tissue-flap。(霞富士雄編)乳癌診断治療のコツと落とし穴、中山書店、pp. 110-111, 2004
54. 大内憲明。乳腺標準手術—乳房温存療法を中心に。日本外科学会編、Postgraduate Course, pp. 64-67, 2004、総ページ数 150
55. 大内憲明、遠藤登喜子、東野英利子、栗山進一、福田護、藤田広志。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成 15 年度厚生労働省がん研究助成金による研究報告書。国立がんセンター、pp. 426-430, 2004、総ページ数 156
56. 大内憲明。CMDT 2004、カレント・メディカル 診断と治療。第 43 版。監訳、日経BP、2004

57. 大内憲明. PDQ 日本語版:Current Medical Information 最新がん情報. 監訳. CCI Japan, 2004
58. 大内憲明. 乳房温存手術における腋窩郭清とLTF作成のコツ。(光山昌珠編)乳癌診療二頁の秘訣、金原出版、pp. 166-167, 2004、総ページ数 329
59. 大内憲明. 乳癌検診—現在のコンセンサス。(伊藤良則、戸井雅和編)別冊・医学のあゆみ・乳腺疾患—State of arts、医歯薬出版、pp73-75、2004、総ページ数 638
60. 石田孝宣、大内憲明. ホルモン補充療法、経口避妊薬と乳癌リスク。(伊藤良則、戸井雅和編)別冊・医学のあゆみ・乳腺疾患—State of arts、医歯薬出版、pp576-578、2004、総ページ数 638
61. 武田元博、大内憲明. MRI による乳癌診断および臨床利用。(伊藤良則、戸井雅和編)別冊・医学のあゆみ・乳腺疾患—State of arts、医歯薬出版、pp.99-101、2004、総ページ数 638
62. 大内憲明、武田元博、川添良幸、粕谷厚生、佐竹正延、小林正樹、石田孝宣. 厚生労働科学研究費・萌芽的先端医療技術推進研究事業—ナノメディシン分野「ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用」平成 15 年度総括研究報告書、2004 年 3 月。総ページ数 187
63. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、改定第3版、日本医事新報社、東京、2004、総ページ数 195
64. 大内憲明。「乳癌の遺伝子診療体系の確立:有効性、効率性の検証、および生命倫理に基づく基盤整備」研究報告書、平成 13~15 年度文部科学省高度先進医療開発経費、2004 年 3 月。
65. 大内憲明。現在の乳がん検診の問題点とこれからの検診計画。三木一正、渡邊能行(編)がん検診計画ハンドブック。南江堂、東京、pp. 131-137、2004、総ページ数 189
66. 大内憲明。科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン:検診・診断(日本癌学会編)。金原出版、東京、2005。総ページ数 81。
67. 鈴木昭彦、大内憲明。腫瘍マーカー:CA15-3 とその他の乳癌マーカー。臨床検査ガイド 2005-2006(和田攻、大久保昭行、矢崎義雄、大内尉義編)、pp. 859-862、2005。文光堂、総ページ数 1052
68. 大内憲明。充填法、Lateral tissue-flap。乳癌の手術(改訂第3版)(霞富士雄、植野映編)、南江堂、東京、2005、pp.120-127、総ページ数 284
69. 大内憲明、石田孝宣。Lateral tissue-flap。乳腺外科要点と盲点、Knack & Pitfalls 第2版、(霞富士雄編)、文光堂、2005、pp. 263-265、総ページ数 352
70. 山口隆美、大内憲明、尾股定夫、野坂大喜、吉田博。東北地域における医療関連産業の新事業創出に関する調査研究～医工連携ネットワークの形成に向けて～報告書、経済産業省東北経済産業局、2005 年3月、総ページ数 245
71. 大内憲明。乳がん検診ガイドライン作成の経緯とがん登録。辻一郎、大島明(編)、JACR Monograph No. 10、地域がん登録協議会、pp. 9-15、2005。
72. 大内憲明、武田元博、川添良幸、粕谷厚生、佐竹正延、小林正樹、石田孝宣。厚生労働科学研究費・萌芽的先端医療技術推進研究事業—ナノメディシン分野「ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用」平成 16 年度総括研究報告書。2005 年 3 月。総ページ数 260
73. 大内憲明、武田元博、川添良幸、粕谷厚生、佐竹正延、小林正樹、石田孝宣。厚生労働科学研究費・萌芽的先端医療技術推進研究事業—ナノメディシン分野「ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用」平成 14-16 年度総合研究報告書。2005 年 3 月。総ページ数 406
74. 大内憲明(編)。厚生労働省がん研究助成金による乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成 16 年度研究報告、仙台、2005、総ページ数 67
75. 大内憲明。Breast Care guidebook:乳がんからあなた自身を守るために。リノ・メディカル、東京、2005
76. 伊藤弘人、大内憲明(編)。精神科医療安全管理ポケットマニュアル。日本医事新報社、2005、総ページ数 58。
77. 鈴木昭彦、大内憲明。マンモグラフィ併用検診。(飯野佑一、園尾博司編)よくわかる乳癌のすべて」永井書店、pp. 419-425、2006。総ページ数 569

78. **大内憲明**、遠藤登喜子、東野英利子、栗山進一、福田護、藤田広志。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告書・平成16年度。国立がんセンター、pp. 308-312, 2005, 総ページ数 786
79. **大内憲明**。世界における乳癌集団検診の考え方と現状。(坂元吾偉、野口昌邦編) 乳腺疾患の臨床、金原出版、2006、pp. 106-111, 総ページ数 482
80. 甘利正和、**大内憲明**。腫瘍マーカー:CA15-3
中井利昭、尾崎由基男、小田原雅人、小室一成、野村文男(編)
検査値のみかた 改定第3版、中外医学社、pp. 695-697, 2006. 総ページ数 999
81. 甘利正和、**大内憲明**。腫瘍マーカー: BCA225
中井利昭、尾崎由基男、小田原雅人、小室一成、野村文男(編)
検査値のみかた 改定第3版、中外医学社、pp. 698-700, 2006. 総ページ数 999
82. 甘利正和、**大内憲明**。腫瘍マーカー:シアリル LeX(CSLEX)
中井利昭、尾崎由基男、小田原雅人、小室一成、野村文男(編)
検査値のみかた 改定第3版、中外医学社、pp. 701-703, 2006. 総ページ数 999
83. 甘利正和、**大内憲明**。腫瘍マーカー: NCC-ST-439。中井利昭、尾崎由基男、小田原雅人、小室一成、野村文男(編)
検査値のみかた 改定第3版、中外医学社、pp. 744-747, 2006. 総ページ数 999
84. 甘利正和、**大内憲明**。腫瘍マーカー:エストロゲンレセプター・プロゲステロンレセプター
中井利昭、尾崎由基男、小田原雅人、小室一成、野村文男(編)
検査値のみかた 改定第3版、中外医学社、pp. 748-751, 2006. 総ページ数 999
85. **大内憲明**(編)。実践デジタルマンモグラフィ:基礎から診断まで。中山書店、東京、2006、総ページ数 193
86. 鈴木昭彦。デジタルマンモグラフィの読影のポイント。**大内憲明**(編)、実践デジタルマンモグラフィ:基礎から診断まで。中山書店、東京、pp. 116-125, 2006、総ページ数 193
87. 鈴木昭彦、山田隆之、宇佐美伸、森谷卓也:画像と病理の対比。**大内憲明**(編)、実践デジタルマンモグラフィ:基礎から診断まで。中山書店、東京、pp. 128-187, 2006、総ページ数 193
88. **大内憲明**、内山菜智子、東野英利子、栗山進一、福田護、山田隆之。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告書・平成17年度、国立がんセンター、pp. 191-195, 2006, 総ページ数 723
89. **大内憲明**(編)。厚生労働省がん研究助成金による乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究、平成17年度研究報告書、2006
90. **大内憲明**、武田元博、石田孝宣:手術と放射線。山田章吾(編)、早期のがん治療法の選択:放射線治療。金原出版、pp. 46-51, 2006、総ページ数 200
91. 淡河恵津世、角藤芳久、石田孝宣、**大内憲明**。乳癌。山田章吾(編)、早期のがん治療法の選択:放射線治療。金原出版、pp.116-130, 2006、総ページ数 200
92. 鈴木昭彦、**大内憲明**。マンモグラフィ併用検診。よくわかる乳癌のすべて。飯野佑一、園尾博司(編)、永井書店、pp. 419-425, 2006
93. **大内憲明**。世界における乳癌集団検診の考え方と現状。(稲治英生、平岡眞寛、黒住昌史、伊藤良則編) 乳腺疾患の臨床、金原出版、pp.106-111, 2006
94. **大内憲明**(編)。厚生労働省がん研究助成金による乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成18年度研究報告書、2006
95. **大内憲明**(編)。乳癌:基礎・臨床研究のアップデート、日本臨床社、東京、2007
96. 鈴木昭彦、**大内憲明**。腫瘍マーカー:CA15-3 とその他の乳癌マーカー。臨床検査ガイド 2007-2008(和田攻、大久保昭行、矢崎義雄、大内尉義編)、pp. 873-876, 2007。文光堂、総ページ数 1070
97. **大内憲明**。がんの予防と効果的ながん検診。垣添忠生(編)がんの新事典、日本臨床社、142-148, 2007

98. 大内憲明、内山菜智子、東野英利子、栗山進一、福田護、山田隆之。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告書・平成18年度。国立がんセンター、pp. 102-106, 2007, 総ページ数 681
99. 大内憲明、内山菜智子、東野英利子、栗山進一、福田護、山田隆之。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。厚生労働省がん研究助成金による研究報告書・平成18年度(総合研究報告)。国立がんセンター、pp. 563-565, 2007, 総ページ数 681
100. 大内憲明(監修)。もっと知りたい乳がん—あなたを守る検診のすすめ。厚生労働科学研究(がん臨床研究)推進事業、日本対がん協会、2007
101. 大内憲明。乳がん制圧へ向けた基本戦略と国民の責務。山中學、矢富豊、亀田治男、河合忠(編)「21世紀の対がん戦略:がん診療の最前線」、メディコピア 48, pp.108-127, 2007.
102. 大内憲明。日本医師会がん対策推進委員会編、がん性疼痛治療のエッセンス。日本医師会監修、2008
103. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、第4版、日本医事新報社、東京、2008、総ページ数 189
104. 鈴木昭彦、大内憲明。腫瘍マーカー:CA15-3 とその他の乳癌マーカー。臨床検査ガイド 2009-2010(和田攻、大久保昭行、矢崎義雄、大内尉義編)、pp. 909-912, 2009。文光堂、総ページ数 1106
105. 武田元博、権田幸祐、大内憲明。ナノ DDS と乳癌標的治療。(稲治英生編)乳癌テーラーメイド治療の理論と実践、pp. 83-91, 2009。金原出版、東京、総ページ数 184
106. 甘利正和、石田孝宣、大内憲明。経口フッ化ピリミジンをを用いた化学療法:トラスツズマブとの併用療法。(佐伯俊昭編)乳がん標準化学療法の実際、pp. 114-118, 2009 金原出版、東京、総ページ数 156
107. 甘利正和、石田孝宣、大内憲明。手術:乳房温存術。(福富隆志編)乳癌診療ハンドブック、改定2版、pp. 123-135, 2009。中外医学社、東京、総ページ数 386
108. 甘利正和、大内憲明。主な腫瘍マーカーとその特徴:CA72-4 (TAG72)。(石井勝編)腫瘍マーカーハンドブック、改定版、pp. 63-65, 2009。医薬ジャーナル社、東京、総ページ数 295
109. 鈴木昭彦、大内憲明。乳癌マーカー(CA15-3, BCA225, NCC-ST-439, HER2)。臨床検査ガイド 2011-2012(和田攻、大久保昭行、矢崎義雄、大内尉義編)、pp. 913-916, 2011。文光堂、総ページ数 1106
110. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、第5版、日本医事新報社、東京、2011、総ページ数 186
111. 多田寛、権田幸祐、大内憲明。がんの in vivo 1分子イメージング。(日本化学会編)ここまで進んだバイオセンシング・イメージング:1分子から細胞、脳まで。P.166-171, 化学同人、2012
112. 大内憲明(編)。マンモグラフィによる乳がん検診の手引き-精度管理マニュアル、第6版、日本医事新報社、東京、2016、総ページ数 187
113. 鈴木昭彦、石田孝宣、大内憲明。乳がん検診の現状と超音波検診の将来性:Dense Breast にどう向き合うか。(園尾博司、福田護編)「これからの乳癌診療 2016-2017」。pp.2-7, 2016、金原出版、東京、総ページ数 180

II. 論文等

研究論文(～2017年2月)

英文(原著)

1. Ohuchi N, Abe R, Tezuka F, Takahashi T. Origin and extension of intraductal papilloma of the breast: a 3-D reconstruction study. *Breast Cancer Res Treat*, 4:117-128, 1984.
2. Ohuchi N, Abe R, Kasai M. Possible cancerous change of intraductal papillomas of the breast: a 3-D reconstruction of 25 cases. *Cancer*, 54: 605-611, 1984.

3. **Ohuchi N**, Nose M, Abe R, Kyogoku M. Lectin-binding patterns of breast carcinoma: significance on structural atypism. *Tohoku J Exp Med* 143:491-499, 1984.
4. **Ohuchi N**, Abe R, Takahashi T, Tezuka F. Origin and extension of intraductal papillomas of the breast: a three-dimensional reconstruction study. *Breast Cancer Res Treat.* 4(2): 117-28. 1984
5. **Ohuchi N**, Abe R, Takahashi T, Tezuka F, Kyogoku M. Three-dimensional atypical structure in intraductal carcinoma differentiating from papilloma and papillomatosis of the breast. *Breast Cancer Res Treat*, 5(1): 57-65, 1985.
6. **Ohuchi N**, Ohi R, Takahashi T, Kasai, M. Postoperative changes of intrahepatic portal veins in biliary atresia-A 3-D Reconstruction Study. *J Pediatr Surg*, 21:10-14, 1986.
7. Thor A, Gorstein F, **Ohuchi N**, Szpak CA, Johnston WW, Schlom J. Tumor-associated glycoprotein (TAG-72) defined by monoclonal antibody B72.3. *J Natl Cancer Inst*, 76:995-1006, 1986.
8. **Ohuchi N**, Thor A, Page DL, Horan Hand P, Halter SA, Schlom J. Expression of the 21,000 molecular weight ras protein in a spectrum of benign and malignant mammary tissues. *Cancer Res*, 46(5): 2511-2519, 1986.
9. Thor A, **Ohuchi N**, Szpak CA, Johnston WW, Schlom J. Distribution of oncofetal antigen tumor-associated glycoprotein 72 defined by monoclonal antibody B72.3. *Cancer Res* 46(6): 3118-3124, 1986.
10. **Ohuchi N**, Thor A, Nose M, Fujita J, Kyogoku M, Schlom J. Tumor associated glycoprotein (TAG-72) detected in adenocarcinomas and benign lesions of the stomach. *Int J Cancer* 38(5): 643-650, 1986.
11. Thor A, **Ohuchi N**, Horan Hand P, Callahan R, Weeks MO, Theillet C, Lidereau R, Escot C, Page DL, Vilasi V, Schlom J. ras gene alterations and enhanced levels of ras p21 in a spectrum of benign and malignant human mammary tissues. *Lab Invest*, 55(6): 603-615, 1986.
12. Thor A, Gorstein F, **Ohuchi N**, Szpak CA, Johnston WW, Schlom J. Tumor-associated glycoprotein (TAG-72) in ovarian carcinomas defined by monoclonal-antibody B72.3. *J Natl Cancer Inst* 76(6): 995-1006, 1986.
13. Thor A, Muraro R, Gorstein F, **Ohuchi N**, Viglione MJ, Szpak CA, Johnston WW, Schlom J. Adjunct to the diagnostic distinction between adenocarcinomas of the ovary and the colon utilizing a monoclonal antibody (COL-4) with restricted CEA reactivity. *Cancer Res*, 47(2): 505-512, 1987.
14. **Ohuchi N**, Horan Hand P, Merlo G, Fujita J, Mariani-Costantini R, Thor A, Nose M, Callahan R, Schlom J. Enhanced Expression of c-Ha-ras p21 in Human stomach adenocarcinomas Defined by immunoassays using monoclonal antibodies and in situ hybridization. *Cancer Res*, 47(5): 1413-1420, 1987.
15. Horan Hand P, Vilasi V, Thor A, **Ohuchi N**, Schlom J. Quantification of Harvey ras p21 enhanced expression in human breast and colon carcinomas. *J Natl Cancer Inst*, 79(1):59-65, 1987.
16. **Ohuchi N**, Page DL, Merino M, Viglione MJ, Kufe D, Schlom J. Expression of tumor-associated antigen (DF3) in atypical hyperplasias and in situ carcinomas of the human breast. *J Natl Cancer Inst*, 79(1): 109-117, 1987.
17. Thor A, Viglione MJ, Muraro R, **Ohuchi N**, Schlom J and Gorstein F. Monoclonal antibody B72.3 reactivity with human endometrium: a study of normal and malignant tissues. *Int J Gynecol Pathol*, 6(3): 235-247, 1987.
18. **Ohuchi N**, Wunderlich D, Fujita J, Colcher D, Muraro R, Nose M, Schlom J. Differential expression of carcinoembryonic antigen in early gastric adenocarcinomas versus benign gastric lesions defined by monoclonal antibodies reactive with restrictive antigen epitopes. *Cancer Res*, 47(13): 3565, 3571, 1987.
19. **Ohuchi N**, Simpson JF, Colcher D, Schlom J. Complementation of anti-CEA and anti-TAG-72 monoclonal antibodies in reactivity to human gastric adenocarcinomas. *Int J Cancer*, 40(6): 726-733, 1987.
20. Carter D, **Ohuchi N**, Kacinsky B, Merino M, Schlom J. Oncogene expression in adenocarcinomas of the lung as determined by insitu hybridization and immunohistochemistry. *Laboratory Investigation* 56(1): 11-14.1987.

21. Fujita K, **Ohuchi N**, Yao T, Okumura M, Nakayama H, Onoue H, Fujita J. Frequent Overexpression, but Not Activation by Point Mutation, of ras Genes in Primary Human Gastric Cancers. *Gastroenterology*, 93(6): 1339-1345, 1987.
22. Thor A, **Ohuchi N**, Horan Hand P, Weeks MO, Johnston WW, Szpak CA, Schlom J. Tumor associated antigens and oncogene products defined by monoclonal antibodies. *Dev Oncol* 50:283-296, 1987.
23. Hand PH, Vilasi V, Thor A, **Ohuchi N**, Schlom J. Quantitation of Harvey ras p21 enhanced expression in human breast and colon carcinomas. *J Natl Cancer Inst.* 79(1): 59-65. 1987.
24. Thor A, Viglione MJ, **Ohuchi N**, Simpson JF, Steis R, Cousar J, Lippman M, Kufe D, Schlom J. Comparison of monoclonal antibodies for the detection of occult breast carcinoma metastasis in bone marrow. *Breast Cancer Res Treat* 11(2):133-145, 1988.
25. Fujita J, **Ohuchi N**, Ito N, Reynolds S, Yoshida O, Nakayama H, Kitayama Y. Activation of H-ras oncogene in rat bladder tumors induced by N-butyl-N-(4-hydroxybutyl)-nitrosamine. *J Natl Cancer Inst.* 80(1): 37-43, 1988.
26. Duray PH, Palazzo J, Gown, **Ohuchi N**. Melanoma cell heterogeneity: a study of two monoclonal antibodies compared with S-100 protein in paraffin sections. *Cancer* 61(12): 2460-2468, 1988.
27. Ohtani H, **Ohuchi N**, Sasano N, Simpson JF, Mori S, Schlom J. Comparison of TAG-72, CA19-9 and CEA in serum assays for gastrointestinal carcinomas. *J Tumor Marker Oncol* 4:23-41, 1989.
28. **Ohuchi N**, Ohtani H, Schlom J, Mori S. Immunohistochemical analyses of tumor-associated glycoprotein in gastric and breast carcinomas. *J Tumor Marker Oncol* 4:383-388, 1989.
29. Callahan R, Weeks MO, **Ohuchi N**, Schlom J. Retroviral-related genes, proto-oncogenes, and breast cancer. *Immunol Res* 43: 623-642, 1989.
30. **Ohuchi N**, Takahashi K, Matoba N, Sato T, Taira Y, Sakai N, Masuda M, Mori S. Comparison of serum assays for TAG-72, CA19-9 and CEA in gastrointestinal carcinoma patients. *Jpn J Clin Oncol.* 19(3): 242-8. 1989.
31. **Ohuchi N**, Mori S, Gero E, Akimoto M, Matoba N, Hirayama K, Nishihira T, Colcher D, Schlom J. Clinical evaluation of CA72-4 immunoradiometric assay for serum TAG-72 antigen in patients with carcinoma. *J Tumor Marker Oncol* 5:1-10, 1990.
32. **Ohuchi N**, Sato S, Takahashi K, Taira Y, Matoba N, Akimoto M, Mori S. The correlation between the immunohistochemical expression of DF3 antigen and serum CA15-3 in breast cancer patients. *Jpn J Surg* 21(2): 129-137, 1991.
33. Ohtani H, **Ohuchi N**, Nagura H. Immunoelectron microscopic localization of DF3 cancer-associated antigen in human breast cancer. *Pathol Res Pract* 187(8): 1014-1019, 1991.
34. Matano S, **Ohuchi N**, Hirakawa H, Nishihira T, Abe M, Mori S and Akimoto M. Establishment of an estrogen-receptor-positive cell line (HMA-1) derived from human breast carcinoma. *Tohoku J Exp Med* 164(2): 169-182, 1991.
35. Hiraizumi S, Takasaki S, **Ohuchi N**, Harada Y, Nose M, Mori S, Kobata A. Altered glycosylation of membrane glycoproteins associated with human mammary carcinoma. *Jpn J Cancer Res* 83(10): 1063-1073, 1992.
36. **Ohuchi N**, Yoshida K, Kimura M, Ouchi A, Kamioki S, Shiiba K, Matoba N, Kojima S, Takahashi K, Matsuno S, Fukao A, Abe R, Mori S. Improved detection rate of early breast cancer in mass screening combined with mammography. *Jpn J Cancer Res*, 84(7): 807-812, 1993.
37. Kanda T, Segawa K, **Ohuchi N**, Mori S and Ito Y. Stimulation of polyomavirus DNA replication by wild-type p53 through the DNA binding site. *Mol Cell Biol* 14(4): 2651- 2663, 1994.
38. **Ohuchi N**, Taeda Y, Yaegashi S, Harada Y, Mori S. Membrane glycoproteins and oncogenes as markers in breast cancer. *Cancer Mol Biol* 1:179-192, 1994.
39. **Ohuchi N**, Furuta A, Mori S. Management of ductal carcinoma in situ with nipple discharge: intraductal spreading of carcinoma is unfavorable pathologic factor for breast conserving surgery. *Cancer* 74(4): 1294-1302, 1994.
40. Abe R, **Ohuchi N**. 20th international-congress on breast-cancer research (IABCR), Sendai, Japan - preface. *Cancer Letters*90(1): U7-U7, 1995.
41. **Ohuchi N**. Harada Y, Masuko T, Matano S, Mori S. Characterization of cell surface antigens expressed in HMA-1 breast cancer cell line. *Surg Today* 25(3): 244-250, 1995.

42. **Ohuchi N**, Yoshida K, Kimura M, Ouchi A, Shiiba K, Ohnuki K, Fukao F, Abe R, Matsuno, S, Mori S. Comparison of false negative rates among breast cancer screening modalities with or without mammography: Miyagi trial. *Jpn J Cancer Res* 86(5): 501-506, 1995.
43. Yaegashi S, Sachse R, **Ohuchi N**, Mori S, Sekiya T. Low incidence of a nucleotide sequence of the neurofibromatosis 2 gene in human breast cancers. *Jpn J Cancer Res* 86(10): 929-933, 1995.
44. Taeda Y, Nose M, Hiraizumi S, **Ohuchi N**. Expression of L-PHA-binding protein in breast cancer: reconstitution and molecular characterization of b1-6 branched oligosaccharides in three-dimensional cell culture. *Breast Cancer Res Treat* 38(3): 313-324, 1996.
45. Nomizu T, Kanno M, Watanabe T, Watanabe F, Suzuki S, Tsuchiya A, Yamaki Y, Taeda Y, **Ohuchi N**, Saito T, Abe R. A case of breast cancer metastatic to the pituitary gland. *Breast Cancer* 3: 71-74, 1996.
46. Harada Y, **Ohuchi N**, Masuko T, Funaki Y, Mori S, Hashimoto Y. Characterization of a new breast cancer-associated antigen and its relationship to MUC1 and TAG-72 antigens. *Tohoku J Exp Med* 180(3): 273-288, 1996.
47. Minami Y, **Ohuchi N**, Fukao A, Hisamichi S. Risk factors for breast cancer: A case-control study of screen-detected breast cancer in Miyagi Prefecture, Japan. *Breast Cancer Res Treat* 44(3): 225-233, 1997.
48. Ikegaki H, **Ohuchi N**, Masuko T, Suzuki S, Mori S, Hashimoto Y. Characterization and in vitro cytotoxic effect of Adriamycin-conjugated monoclonal antibodies prepared against breast cancer cell line. *Breast Cancer* 4(2): 85-92, 1997.
49. Suzuki A, Fukushige S, Nagase S, **Ohuchi N**, Satomi S, Horii A. Frequent gains on chromosome arms 1q and/or 8q in human endometrial cancer. *Human Genetics*, 100(5-6): 629-636, 1997.
50. Kong D, Suzuki A, Zou TT, Sakurada A, Kemp LW, Wakatsuki S, Yokoyama T, Yamakawa H, Furukawa T, Sato M, **Ohuchi N**, Sato S, Yin J, Wang S, Abraham JM, Souza RF, Smolinski KN, Meltzer SJ, Horii A. PTEN1 is frequently mutated in primary endometrial carcinomas. *Nature Genetics*, 17(2): 143-144, 1997.
51. Sakurada A, Suzuki A, Sato M, Yamakawa H, Orikasa K, Ueno S, Ono T, **Ohuchi N**, Fujimura S, and Horii A. Infrequent genetic alterations of the PTEN/MMAC1 gene in Japanese patients with primary cancers of the breast, lung, pancreas, kidney, and ovary. *Jpn J Cancer Res* 88(11): 1025-1028, 1997.
52. **Ohuchi N**, Harada Y, Ishida T, Kiyohara H, Satomi S. Breast Conserving Surgery for Primary Breast Cancer: Immediate Volume Replacement Using Lateral Tissue Flap. *Breast Cancer*. 4(3): 135-141.1997
53. Ikeda T, Akiyama F, Hiraoka M, Inaji H, **Ohuchi N**, Takatsuka Y, Yoshimoto N. The current status of the treatment of ductal carcinoma in situ of Japanese women, especially breast conserving operation in relation to the surgical margin and short-term outcome. *Breast Cancer*, 5: 53-58, 1998.
54. Minami Y, **Ohuchi N**, Taeda Y, Fukao A, Hisamichi S. Risk factors for benign breast disease according to histopathological type: Comparisons with risk factors for breast cancer. *Jpn J Cancer Res*, 89(2): 116-123, 1998.
55. Takeda M, Tanno Y, Kobayashi M, Usa M, **Ohuchi N**, Satomi S, Inaba H. A novel method of assessing carcinoma cell proliferation by biophoton emission. *Cancer Letters*, 127(1-2): 155-160, 1998.
56. Kijima G, Murakami Y, **Ohuchi N**, Satomi S, Sekiya T. Nonsense mutation at codon 63 of the BRCA1 gene in Japanese breast cancer patients. *Jpn J Cancer Res*, 89(8): 837-841, 1998.
57. Suzuki A, Shao X, Song XQ, Hanaoka T, Irie S, Kashiwada M, Ghassan S, Close LG, Aoki T, Fujimori M, Ishikawa Y, Hatori M, Hosaka M, Sakurada A, Sato M, **Ohuchi N**, Satomi S, Fukushige S, Horii A, Sato T. Identification of a 5-cM region of common allelic loss on 8p12-p21 in human breast cancer and genomic analysis of the hEXT1L/EXTR1/EXTL3 gene in this locus. *Int J Oncol*, 15(3): 443-51, 1999.
58. Minami Y, **Ohuchi N**, Taeda Y, Takano A, Fukao A, Satomi S, Hisamichi S. Risk of breast cancer in Japanese women with benign breast disease. *Jpn J Cancer Res*, 90(6): 600-606,1999.
59. Kanemura S, Tsuji I, **Ohuchi N**, Takei H, Yokoe T, Koibuchi Y, Ohnuki K, Fukao A, Satomi S, Hisamichi S. A Case control study on the effectiveness of breast cancer screening by clinical breast examination in Japan. *Jpn. J Cancer Res*, 90(6): 607-613, 1999

60. Ikeda T, Akiyama F, Hiraoka M, Inaji H, **Ohuchi N**, Takatsuka Y, Yoshimoto N. Surgical margin status as a cause of local failure after breast conserving therapy. *Breast Cancer*, 6: 93-98, 1999.
61. **Ohuchi N**. Breast-conserving surgery for invasive cancer: A principle based on segmental anatomy. *Tohoku J Exp Med*, 188 (2): 103-118, 1999.
62. Amari M, Suzuki A, Moriya T, Yoshinaga K, Amano G, Sasano H, **Ohuchi N**, Satomi S, Horii A. LOH analyses of premalignant and malignant lesions of the human breast: Frequent LOH in 8p, 16q, and 17q in atypical ductal hyperplasia. *Oncology Reports*, 6(6): 1277-1280, 1999.
63. Minami Y, **Ohuchi N**, Fukao A, Hisamichi S. Determinants of infant feeding method in relation to risk factors for breast cancer. *Preventive Medicine*, 30(5): 363-370, 2000.
64. Ariga N, Moriya T, Suzuki T, Kimura M, **Ohuchi N**, Satomi S, Sasano N. 17b-hydroxysteroid dehydrogenase type 1 and type 2 in ductal carcinoma in situ and intraductal proliferative lesions of the human breast. *Anticancer Res*. 20(2B): 1101-1108, 2000.
65. Amano G, **Ohuchi N**, Ishibashi T, Amari M, Satomi S. Correlation of three-dimensional magnetic resonance imaging with precise histopathological map concerning carcinoma extension in the breast. *Breast Cancer Res Treat*, 60(1): 43-55, 2000.
66. Ohira H, Kubota K, **Ohuchi N**, Harada Y, Fukuda H, Satomi S. Comparison of intratumoral distribution of 99mTc-MIBI and deoxyglucose in mouse breast cancer models. *J Nucl Med*. 41(9): 1561-1568, 2000.
67. Imamura K, Terada H, Hagiwara A, Higashida Y, Ehara N, **Ohuchi N**. Inconsistencies of microcalcification specks in phantoms approved by the American College of Radiology for mammography accreditation. *Jpn J Med Phys*, 20: 46-55, 2000.
68. Moriya T, Kasami M, Akiyama F, Ichihara S, Kurosumi M, Tsuda H, Umemura S, Akashi-Tanaka S, Imamura H, Iwase H, Shin E, Harada Y, Mitsuyama S, **Ohuchi N**. A proposal for histopathological diagnosis of ductal carcinoma in situ of the Breast. *Breast Cancer*, 7: 321-325, 2000.
69. Ariga N, Moriya T, Suzuki T, Kimura M, **Ohuchi N**, Sasano H. Retinoic acid receptor and retinoid X receptor in ductal carcinoma in situ and intraductal proliferative lesions of the human breast. *Jpn J Cancer Res*, 91(11): 1169-1176, 2000.
70. Ariga N, Sato E, **Ohuchi N**, Nagura H, Ohtani H. Stromal expression of fibroblast activation protein (FAP)/Seprase, a cell membrane serine proteinase and gelatinase, is associated with a longer survival in patients with invasive ductal carcinoma of the breast. *Int J Cancer*, 95(1): 67-72, 2001.
71. Yoshida R, Kimura N, Harada Y, and **Ohuchi N**. The loss of E-cadherin, a- and b-catenin expression is associated with metastasis and poor prognosis in invasive breast cancer. *Int J Oncol*, 18(3): 513-520, 2001.
72. Ariga N, Suzuki T, Moriya T, Kimura M, Inoue T, **Ohuchi N**, Sasano H. Progesterone receptor A and B isoforms in the human breast and its disorders. *Jpn J Cancer Res*, 92(3): 302-308, 2001.
73. Moriya T, Suzuki T, Pillichowska M, Ariga N, Kimura N, **Ohuchi N**, Nagura H, Sasano H. Immunohistochemical expression of gonadotropin releasing hormone receptor in human breast carcinoma. *Pathology International*, 51:333-337, 2001.
74. Amari M, Moriya T, Harada Y, Ishida T, Ohnuki K, **Ohuchi N**. Asynchronous LOH analysis of ductal carcinoma in situ from patients who subsequently developed invasive ductal carcinoma. *Breast Cancer Research*. 3:1-1. 2001
75. Kimura N, Yoshida R, Shiraishi S, Pilichowska M, **Ohuchi N**. Chromogranin A and chromogranin B in noninvasive and invasive breast carcinoma. *Endocrine Pathology* 13 (2): 117-122, 2002.
76. Yoshida R, **Ohuchi N**, Kimura N. Clinicopathological study of chromogranin A, B and BRCA1 expression in node-negative breast carcinoma. *Oncology Reports*, 9(6): 1363-1367, 2002.
77. Suzuki T, Moriya T, Ishida T, Kimura M, **Ohuchi N**, Sasano H. In situ production of estrogens in human breast carcinoma. *Breast Cancer*, 9 (4): 296-302, 2002.
78. Klabunde CN, Sancho-Garnier H, Taplin S, Thoresen S, **Ohuchi N**, Ballard-Barbash R. Quality assurance in follow-up and initial treatment for screening mammography programs in 22 countries. *Int J Qual Health Care*, 14(6): 449-461.2002.
79. Ishida T, Moriya T, Ohnuki K, Takeda M, **Ohuchi N**. Pathological assessment of intraductal spread of carcinoma in relation to surgical margin state in breast conserving surgery. *Jpn J Clin Oncol*, 33 (4): 161-166. 2003.

80. Yang M, Moriya T, Oguma M, de la Cruz C, Endoh M, Ishida T, Hirakawa H, Orita Y, Sasano H, **Ohuchi N**. Microinvasive ductal carcinoma (t1mic) of the breast: the clinicopathological profile and immunohistochemical features of 28 cases. *Pathol Int*, 53 (7): 422-428, 2003.
81. Suzuki T, Moriya T, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Intracrine mechanism of estrogen synthesis in breast cancer. *Biomed Pharmacother*, 57 (10), 460-462, 2003.
82. Sakayori M, Kawahara M, Shiraishi K, Nomizu T, Shimada A, Kudo T, Abe R, **Ohuchi N**, Takenoshita S, Kanamaru R, Ishioka C. Evaluation of the diagnostic accuracy of the stop codon (SC) assay for identifying protein-truncating mutation in the BRCA1 and BRCA2 genes in familial breast cancer. *J Hum Genet*, 48(3): 130-137, 2003.
83. **Ohuchi N**. Current status and perspectives of mammography screening in Japan. *Acta Obst Gynaec Jpn*, 55(8): 513-519, 2003.
84. Suzuki T, Nakata T, Miki Y, Kaneko C, Moriya T, Ishida T, Akinaga S, Hirakawa H, Kimura M, **Ohuchi N**, Sasano H. Estrogen sulfotransferase and steroid sulfatase in human breast carcinoma. *Cancer Res*, 63 (11); 2762-2770, 2003.
85. Amari M, Moriya T, Harada Y, Ishida T, Ohnuki K, Takeda M, Sasano H, Horii A, **Ohuchi N**. LOH analyses of asynchronous lesions of ductal carcinoma in situ and invasive ductal carcinoma. *Jpn J Clin Oncol*, 33 (11): 556-562 2003.
86. Yamashita T, **Ohuchi N**. Present and future of the ductal carcinoma in situ of the breast: Foreword. *Jpn J Clin Radiol*, 48 (7): 801, 2003
87. Minami Y, Tsubono Y, Nishino Y, **Ohuchi N**, Hisamichi S. The increase of female breast cancer incidence in Japan: Emergence of birth cohort effect. *Int J Cancer*, 108(6):901-906, 2004.
88. De La Cruz C, Moriya T, Endoh M, Watanabe W, Takeyama J, Ming Y, Oguma M, Sakamoto K, Suzuki T, Hirakawa H, Orita O, **Ohuchi N**, Sasano H. Invasive micropapillary carcinoma of the breast. Clinicopathological and immunohistochemical study. *Pathol Int*, 54(2): 90-96, 2004.
89. Shiraishi K, Kato S, Han S-Y, Liu W, Otsuka K, Sakayori M, Ishida T, Takeda M, Kanamaru R, **Ohuchi N**, Ishioka C. Isolation of temperature-sensitive p53 mutations from a comprehensive missense mutation library. *J Biol Chem*, 279 (1): 348-355, 2004.
90. Takeda M, Ishida T, Ohnuki K, Suzuki A, Sakayori M, Ishioka C, Nomizu T, Noguchi S, Matsubara Y and **Ohuchi N**. Collaboration of breast cancer clinic and genetic counseling division for BRCA1 and BRCA2 mutation family in Japan. *Breast Cancer*, 11 (1): 30-32, 2004.
91. Moriya T, Usami S, Tada H, Kasajima A, Ishida K, Kariya Y, **Ohuchi N**, Sasano H. Pathological evaluation of sentinel lymph nodes for breast cancer. *Asia J Surg*, 27(4): 256-261, 2004.
92. Moriya T, Hirakawa H, Suzuki T, Sasano H, **Ohuchi N**. Ductal carcinoma *in situ* and related lesions of the breast: Recent advances on pathology practice. *Breast Cancer*, 11(4): 325-333, 2004.
93. Suzuki T, Miki Y, Moriya T, Shimada N, Ishida T, Hirakawa H, **Ohuchi N**, Sasano H. Estrogen-related receptor α in human breast carcinoma as a potent prognostic factor. *Cancer Res*, 64(13): 4670-4676, 2004.
94. Takeda M, Kobayashi M, Takayama M, Suzuki S, Ishida T, Ohnuki K, Moriya T and **Ohuchi N**. Biophoton detection as a novel technique for cancer imaging. *Cancer Science*, 95 (8): 656-661, 2004.
95. Kawahara M, Sakayori M, Shiraishi K, Nomizu T, Takeda M, Abe R, **Ohuchi N**, Takenoshita S, Ishioka C. Identification and evaluation of 55 genetic variations in the BRCA1 and the BRCA2 genes of patients from 50 Japanese breast cancer families. *J Hum Genet*, 49(7): 391-395, 2004.
96. Kobayashi Y, Misawa K, Kobayashi M, Takeda M, Konno M, Satake M, Kawazoe Y, **Ohuchi N**, Kasuya A. Slica-coating of fluorescent polystyrene microspheres by a seeded polymerization technique and their photo-bleaching property. *Colloids and surfaces A: Physicochem. Eng. Aspects*, 242(1-3): 47-52, 2004.
97. Kobayashi Y, Misawa K, Takeda M, Kobayashi M, Satake M, Kawazoe Y, **Ohuchi N**, Kasuya A, Konno M. Slica-coating of AgI semiconductor nanoparticles. *Colloids and Surfaces A: Physicochem Engin Aspects*, 251(1-3): 197-201, 2004.
98. Yamada T, Saito M, Ishibashi T, Tsuboi M, Matsuhashi T, Sato A, Saito H, Takahashi S, **Ohuchi N**. Comparison of screen-film and full-field digital mammography in Japanese population-based screening. *Radiat Med*, 22 (6): 408-412, 2004.

99. Suzuki T, Miki Y, Moriya T, Shimada N, Ishida T, Hirakawa H, **Ohuchi N**, Sasano H. Estrogen-related receptor alpha in human breast carcinoma as a potent prognostic factor. *Cancer Res.* 64(13): 4670-6. 2004
100. Amano G, Yajima M, Moroboshi Y, Kuriya Y, **Ohuchi N**. MRI accurately depicts underlying DCIS in a patient with Paget's disease of the breast without palpable mass and mammography findings. *Jpn J Clin Oncol*, 35 (3): 149-153, 2005.
101. Takeda M, Ishida T, Ohnuki K, Suzuki A, Kiyohara H, Moriya T, **Ohuchi N**. Breast conserving surgery with primary volume replacement using a lateral tissue-flap. *Breast Cancer*, 12(1): 16-20, 2005
102. Nakajima M, Takeda M, Kobayashi M, Suzuki S, **Ohuchi N**. Nano-sized fluorescent particle as a new tracer for sentinel node detection: An experimental model for decision of appropriate size and wavelength. *Cancer Science*, 96 (6): 353-356, 2005.
103. Zhou X, Kobayashi Y, **Ohuchi N**, Takeda M and Kasuya A. Strong Luminescence of CdSe Nanoparticles by Surface Modification with Cadmium (II) Hydrous Oxide. *International Journal of Modern Physics B*, 19(15-17): 2835-2840, 2005.
104. Zhou X, Kobayashi Y, Romanyuk V, **Ouchi N**, Takeda M, Tsunekawa S and Kasuya A. Preparation of silica encapsulated CdSe quantum dots in aqueous solution with the improved optical properties. *Applied Surface Science*, 242(3-4): 281-286, 2005.
105. Kasuya A, Noda Y, Dmitruk I, Romanyuk V, Tohji K, Kumar V, Belosludov R, Kawazoe Y, **Ohuchi N**. Stoichiometric and ultra-stable nanoparticles of II-IV compound semiconductors. *Eur Physical Journal D*, 34(1-3): 39-41, 2005.
106. Kobayashi Y, Misawa K, Kobayashi M, Takeda M, Konno M, Satake M, Kawazoe Y, **Ohuchi N**, Kasuya A. Silica-coating of fluorescent polystyrene microspheres by a modified Stober method and their stability against photo-bleaching. *e-Polymers*, no. 052, 1-8, 2005.
107. Suzuki T, Miki Y, Nakamura Y, Moriya T, Ito K, **Ohuchi N**, Sasano H. Sex-steroid producing enzymes in human breast cancer. *Endocrine-Related Cancer*, 12(4): 701-720, 2005.
108. Usami S, Moriya T, Kasajima A, Suzuki A, Ishida T, Sasano H, **Ohuchi N**. Pathological aspects of core needle biopsy for non-palpable breast lesions. *Breast Cancer*, 12 (4): 272-278, 2005
109. Shimauchi A, Nemoto K, Ogawa Y, Kakuto Y, Sakayauchi T, Takai Y, Ishida T, **Ohuchi N**, Takahashi S, Yamada S. Long-term outcome of breast-conserving therapy for breast cancer. *Radiat Med*, 23(7): 485-490, 2005.
110. Shibata A, Takahashi T, **Ouchi N**, Fukao A. Evaluation of service screening for breast cancer by clinical breast examination using regional cancer registry data. *Jpn J Public Health*, 52: 128-136, 2005
111. Uchiyama N, Moriyama N, Yamada T, **Ohuchi N**. The impact of computer-aided detection and human observers. *International Workshop on Digital Mammography (IWDM) 2006*, Springer, 315-323, 2006
112. Ohnuki K, Kuriyama S, Shoji N, Nishino Y, Tsuji I, **Ohuchi N**. Cost-effectiveness analysis of screening modalities for breast cancer in Japan with special reference to women aged 40-49. *Cancer Sci*, 97(11): 1242-1247, 2006.
113. Ishioka C, Takahashi S, Ishida T, Moriya T, **Ohuchi N**. Expression signature of p53 status (p53 signature) for the prediction of TP53 mutation and prognosis in breast cancer. *J Clin Oncol*, 24(18): 40S-40S, 2006.
114. Li-Shishido S, Watanabe TM, Tada H, Higuchi H, **Ohuchi N**. Reduction in nonfluorescence state of quantum dots on an immunofluorescence staining. *Biochem Biophys Res Com*, 351 (1): 7-13, 2006.
115. Miki Y, Suzuki T, Kitada K, Yabuki N, Shibuya R, Moriya T, Ishida T, **Ohuchi N**, Blumberg B and Sasano H. Expression of the steroid and xenobiotic receptor (SXR) and its possible target gene, organic anion transporting polypeptide-A (OATP-A) in human breast carcinoma. *Cancer Res*, 66 (1): 535-542, 2006.
116. Suzuki T, Hayashi S, Miki Y, Nakamura Y, Moriya T, Sugawara A, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Peroxisome proliferator-activated receptor g PPARg in human breast carcinoma a modulator of estrogenic actions. *Endri Relat Cancer*, 13(1): 233-250, 2006.

117. Park YS, Liz-Marzán LM, Kasuya A, Kobayashi Y, Nagao D, Konno M, Mamykin S, Dmytruk A, Takeda M, **Ohuchi N**. X-ray absorption of the gold nanoparticles with thin silica shell. *J Nanosci Nanotechnol*, 6 (11): 3503-3506, 2006.
118. Tonotsuka N, Hosoi Y, Miyazaki S, Miyata G, Sugawara K, Mori T, **Ohuchi N**, Satomi S, Matsumoto Y, Nakagawa K, Miyagawa K Ono T. Heterogeneous expression of DNA-dependent protein kinase in esophageal cancer and normal epithelium. *Int J Mol Med*, 18(3): 441-7, 2006.
119. Tada H, Watanabe T, Higuchi H, **Ohuchi N**. In vivo real-time tracking of single quantum dots conjugated with monoclonal anti-HER2 antibody in tumors of mice. *Cancer Res*, 67 (3): 1138-1144, 2007.
120. Miki Y, Suzuki T, Tazawa C, Yamaguchi Y, Kitada KHonma S, Moriya T, Hirakawa H, Evans DB, Hayashi S, **Ohuchi N**, Sasano H. Aromatase localization in human breast cancer – possible interactions between intratumoral stromal and parenchymal cells. *Cancer Res*, 67(8): 3945-3954, 2007.
121. Mamykin S, Kasuya A, Dmytruk A, **Ohuchi N**. Photocurrent of nanoassembled Si film in contact with electrolyte. *J Alloys Compounds*, 434-435: 718-720. 2007.
122. Usami S, Moriya T, Amari M, Suzuki A, Ishida T, Sasano H, **Ohuchi N**. Reliability of prognostic factors in breast carcinoma determined by core needle biopsy. *Jpn J Clin Oncol*, 37(4): 250-255, 2007.
123. Kobayashi Y, Imai J, Nagao D, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A, Konno M. Preparation of multilayered silica-Gd-silica core-shell particles and their magnetic resonance images. *Colloids and Surfaces A: Physicochem Eng Aspects*, 308(1-3): 14-19, 2007.
124. Geller BM, Zapka J, Hofvind SS, Scharpantgen A, Giordano L, **Ohuchi N**, Ballard-Barbash R. Communicating with Women About Mammography. *J Cancer Educ.*, 22(1): 25-31, 2007.
125. Park YS, Kasuya A, Dmytruk A, Yasuto N, Takeda M, **Ohuchi N**, Sato Y, Tohji, K Uo M, Watari F. Concentrated colloids of silica-encapsulated gold nanoparticles: colloidal stability, cytotoxicity, and X-ray absorption. *J Nanosci Nanotech*, 7 (8): 2690-2695, 2007.
126. Muto M, Onogawa T, Suzuki T, Ishida T, Rikiyama T, Katayose Y, **Ohuchi N**, Sasano H, Abe T, Unno M. Human liver specific organic anion transporter-2 is a potent prognostic factor for human breast carcinoma. *Cancer Science*, 98 (10): 1570-1576, 2007.
127. Suzuki T, Miki Y Moriya T, Akahira J, Hirakawa H, **Ohuchi N**, Sasano H. In situ production of sex steroids in human breast carcinoma. *Medical Molecular Morphology*, 40(3): 121-127, 2007.
128. Ito M, Moriya T, Ishida T, Usami S, Kasajima A, Sasano H, **Ohuchi N**. Significance of pathological evaluation for lymphatic vessel invasion in invasive breast cancer. *Breast Cancer*, 14(2): 381-7, 2007.
129. Park YS, Dmytruk A, Dmitruk I, Noda Y, Kasuya A, **Ohuchi N**. Aqueous-phase synthesis of ultra-stable small CdSe nanoparticles. *J Nanosci. Nanotech*. 7: 3750-3753, 2007.
130. Zhou XP, Shao ZY, Kobayashi Y, Wang XQ, **Ohuchi N**, Taketa M, Kasuya A. Photoluminescence of CdSe and CdSe/CdO center dot nH(2)O core/shell nanoparticles prepared in aqueous solution. *Optical Materials*, 29(8): 1048-1054, 2007.
131. Kobayashi Y, Misawa K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A, Konno M. Control of Shell Thickness in Silica-Coating of AgI Nanoparticles. *Advanced Materials Research*. 29-30: 191-194. 2007
132. Takahashi S, Moriya T, Ishida T, Shibata H, Sasano H, **Ohuchi N**, Ishioka C. Prediction of breast cancer prognosis by gene expression profile of TP53 status. *Cancer Science* 99(2): 324-332, 2008.
133. Ishida T, Takeda, M, Suzuki A, Amari M, Moriya T, **Ohuchi N**. Significance of irradiation in breast-conserving therapy: Comparison of the local recurrence rate between irradiated and non-irradiated group. *Int J Clin Oncol*, 13 (1): 12-17, 2008.
134. Takeda M, Tada H, Higuchi H, Kobayashi M, Sakurai Y, Ishida T, **Ohuchi N**. In vivo single molecular imaging and sentinel node navigation by nanotechnology for molecular targeting drug-delivery systems and tailor-made medicine. *Breast Cancer*, 15(2): 145-152, 2008.
135. Suzuki T, Miki Y, Akahira J, Moriya T, **Ohuchi N**, Sasano H. Aromatase in human breast carcinoma: a key regulator of intratumoral sex steroid concentrations. *Endocrine J*, 55 (3): 455-463, 2008.
136. Yamada T, Suzuki A, Uchiyama N, **Ohuchi N**, Takahashi S. Diagnostic performance of detecting breast cancer on computed radiographic (CR) mammograms: Comparison of hard copy film,

- 3-megapixel liquid-crystal-display (LCD) monitor and 5-megapixel LCD monitor. *European Radiology* 18(11): 2363-2369, 2008.
137. Suzuki T, Miki Y, **Ohuchi N** Sasano H. Intratumoral estrogen production in the breast carcinoma: significance of aromatase. *Breast Cancer* 15 (4): 270-277, 2008.
 138. Kobayashi Y, Shimizu N, Misawa K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A, Komno M. Preparation of amine free silica-coated AgI nanoparticles with modified Stober method. *Surface Engineering*,24(4): 248-252, 2008.
 139. Kohno M, Takeda M, Niwano Y, Saito R, Emoto N, Tada M, Kanazawa T, **Ohuchi N**, Yamada R. Early diagnosis of cancer by detecting the chemiluminescence of hematoporphyrins in peripheral blood lymphocytes. *Tohoku J Exp. Med.*, 216(1): 47-52, 2008.
 140. Suzuki A, Kuriyama S, Kawai M, Amari M, Takeda M, Ishida T, Ohnuki K, Nishino Y, Tsuji I, Shibuya D, **Ohuchi N**. Age specific interval breast cancers in Japan: estimation of the proper sensitivity of screening using a population-based cancer registry. *Cancer Science*, 99 (11): 2264-2267, 2008.
 141. Shibuya R, Suzuki T, Miki Y, Yoshida K, Moriya T, Ono K, Akahira J, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Intratumoral concentration of sex steroids and expression of sex steroid-producing enzymes in ductal carcinoma in situ of human breast. *Endocrine-Related Cancer*; 15: 113-124. 2008
 142. Suvitha A, Belosludov RV, Mizuseki H, Kawaoe Y, Takeda M, Kohno K, **Ohuchi N**. TD-DFT studies on hematoporphyrin and its dimers. *Materials Transactions*, 49 (11), 2416-2419, 2008.
 143. **Ohuchi N**, Suzuki A, Sakurai Y, Kawai M, Narikawa Y, Narimatsu H, Ishida T. Current status and problems of breast cancer screening. *JMAJ* 52(1): 45-49, 2009
 144. Harada-Shoji N, Yamada T, Ishida T, **Ohuchi N**. Usefulness of lesion image mapping with multidetector-row helical computed tomography using a dedicated skin marker in breast-conserving surgery. *European Radiology*, 19(4): 868-874, 2009.
 145. Tamaki K, Moriya T, Sato Y, Ishida T, Maruo Y, Yoshinaga K, **Ohuchi N**, Sasano H. Vasohibin-1 in human breast carcinoma: a potential negative feedback regulator of angiogenesis. *Cancer Science*, 100 (1): 88-94, 2009.
 146. Ishida T, Kiba T, Takeda M, Matsuyama K, Teramukai S, Ishiwata R, Masuda N, Takatsuka Y, Noguchi S, Ishioka C, Fukushima M, **Ohuchi N**. Phase II study of capecitabine and trastuzumab combination chemotherapy in patients with HER2 overexpressing metastatic breast cancers resistant to both anthracyclines and taxanes. *Cancer Chemotherapy and Pharmacology*, 64(2): 361-369, 2009.
 147. Nagasaki S, Suzuki T, Miki Y, Akahira J, Shibata H, Ishida T, Handa H, **Ohuchi N**. Sasano H. Chicken ovalbumin upstream promoter transcription factor II in human breast carcinoma: possible regulator of lymphangiogenesis via vascular endothelial growth factor-C expression. *Cancer Science*, 100(4): 639-645, 2009.
 148. Nagasaki S, Suzuki T, Miki Y, Akahira J, Kitada K, Ishida T, Handa H, **Ohuchi N**. Sasano H. 17 β -hydroxysteroid dehydrogenase type 12 in human breast carcinoma: A prognostic factor via potential regulation of fatty acid synthesis. *Cancer Research*, 69 (4): 1392-99, 2009.
 149. Kawai M, Kuriyama S, Suzuki A, Nishino Y, Ishida T, Ohnuki K, Amari M, Tsuji I, **Ohuchi N**. Effect of screening mammography on breast cancer survival in comparison to other detection methods: a retrospective cohort study. *Cancer Science*, 100 (8): 1479-84, 2009.
 150. Kawai M, Higuchi H, Takeda M, Kobayashi Y, **Ohuchi N**. Dynamics of different-sized solid-state nanocrystals as tracers for a drug-delivery system in the interstitium of a human tumor xenograft. *Breast Cancer Res*, 11 (4): R43. Epub 2009 Jul 3. 2009.
 151. Loo WT, Chow LW, Suzuki T, Ono K, Ishida T, Hirakawa H, **Ohuchi N**, Sasano H. Expression of thymidine phosphorylase and dihydropyrimidine dehydrogenase in human breast carcinoma cells and tissues. *Anticancer Res*, 29 (7): 2525-30, 2009.
 152. Watanabe G, Kato S, Nakata H, Ishida T, **Ohuchi N**, Ishioka C. alpha B-crystallin: a novel p53-target gene required for p53-dependent apoptosis. *Cancer Science*, 100 (12): 2368-75, 2009.
 153. Takeda M, Tada H, Kawai M, Sakurai Y, Higuchi H, Gonda K, Ishida T, **Ohuchi N**. Bio-imaging by functional nano-particles of nano to macro scale. *IFMBE Proceedings* (23): 2272-2274. 2009

154. Kawai M, Takeda M, **Ohuchi N**. The feature of the interstitial nano drug delivery system with fluorescent nanocrystals of different sizes in the human tumor xenograft in mice. *IFMBE Proceedings* (23) : 2241-2243, 2009
155. Ming Yang, Ishida T, Takeda M, **Ohuchi N**. Utility of an upright-type 11-gauge stereotactic vacuum-assisted biopsy device (Mammotome®) for the diagnosis of breast microcalcifications. *The Chinese-German Journal of Clinical Oncology*. (8), Issue 10: 567-571.2009
156. Hamanaka Y, Kawai M, Gonda K, Takeda M, and **Ohuchi N**. In vivo real-time tracking of single particle in tumors of mice. *Nano-Biomedical Engineering*. 427-432. 2009
157. Amari M, Ishida T, Takeda M, **Ohuchi N**. Capecitabine monotherapy is efficient and safe in all line settings in patients with metastatic and advanced breast cancer. *Jpn J Clin Oncol*, 40 (3): 188-93, 2010.
158. Tamaki K, Sasano H, Maruo Y, Takahashi Y, Miyashita M, Moriya T, Sato Y, Hirakawa H, Tamaki N, Watanabe M, Ishida T, **Ohuchi N**. Vasohibin-1 as a potential predictor of aggressive behavior of ductal carcinoma in situ of the breast. *Cancer Sci*. 101(4): 1051-8. 2010.
159. Gonda K, Watanabe TM, **Ohuchi N**, Higuchi H. In vivo nano-imaging of membrane dynamics in metastatic tumor cells using quantum dots. *J Biol Chemist*, 285(4): 2750-2757, 2010.
160. Park YS, Dmytruk A, Dmytruk I, Kasuya A, Takeda M, **Ohuchi N**, Okamoto Y, Kaji N Tokeshi M, Baba Y. Size-selective growth and stabilization of small CdSe nanoparticles in aqueous solution. *ACS Nano*, 4(1): 121-128, 2010.
161. Kawai M, Minami Y, Kuriyama S, Kakizaki M, Kakugawa Y, Nishino Y, Ishida T, Fukao A, Tsuji I, **Ohuchi N**. Reproductive factors, exogenous female hormone use and breast cancer risk in Japanese: the Miyagi Cohort Study. *Cancer Causes Control*, 21 (1): 135-145, 2010.
162. Kawai M, Minami Y, Kuriyama S, Kakizaki M, Kakugawa Y, Nishino Y, Ishida T, Fukao A, Tsuji I, **Ohuchi N**. Adiposity, adult weight change and breast cancer risk in postmenopausal Japanese women: the Miyagi Cohort Study. *Br J Cancer*. 103 (9): 1443-1447. 2010.
163. Fukamachi K, Ishida T, Usami S, Takeda M, Watanabe M, Sasano H, **Ohuchi N**. Total-circumference intraoperative frozen section analysis reduces margin-positive rate in breast-conservation surgery. *Jpn J Clin Oncol*. 40(6): 513-520. 2010.
164. Suzuki T, Miki Y, Takagi K, Hirakawa H, Moriya T, **Ohuchi N**, Sasano H. Androgens in human breast carcinoma. *Med Mol Morphol*. 43 (2): 75-81. 2010.
165. Hikage M, Gonda K, Takeda M, Kamei T, Kobayashi M, Kumasaka M, Watanabe M, Satomi S, **Ohuchi N**. Nano-imaging of the lymph network structure with quantum dots. *Nanotechnology*, 21 (18): 185103. 2010.
166. Suvitha A, Venkataramanan NS, Mizuseki H, Kawazoe Y, **Ohuchi N**. Theoretical insights into the formation, structure, and electronic properties of anticancer oxaliplatin drug and cucurbit n urils n=5 to 8. *J Incl Phenom Macrocycl Chemist* 66 (3-4): 213-218, 2010.
167. Kobayashi Y, Nozawa T, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Direct silica-coating of quantum dots. *J Chem Engin Jpn*, 43(6): 490-493, 2010.
168. Tamaki K, Sasano H, Ishida T, Miyashita M, Takeda M, Amari M, Tamaki N, **Ohuchi N**. Comparison of core needle biopsy (CNB) and surgical specimens for accurate preoperative evaluation of ER, PgR and HER2 status of breast cancer patients. *Cancer Sci*. 101 (9): 2074-9. 2010.
169. Cong L, Takeda M, Hamanaka Y, Gonda K, Watanabe M, Kumasaka M, Kobayashi Y, Kobayashi M, **Ohuchi N**. Uniform silica coated fluorescent nanoparticles: synthetic method, improved light stability and application to visualize lymph network tracer. *PLoS One* .5(10): e13167.2010.
170. Onodera Y, Miki Y, Suzuki T, Takagi K, Akahira JI, Sakyu T, Watanabe M, Inoue S, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Runx2 in human breast carcinoma: its potential roles in cancer progression. *Cancer Sci*. 101(12): 2670-5. 2010.
171. Tamaki K, Sasano H, Ishida T, Ishida K, Miyashita M, Takeda M, Amari M, Harada-Shoji N, Kawai M, Hayase T, Tamaki N, **Ohuchi N**. The correlation between ultrasonographic findings and pathologic features in breast disorders. *Jpn J Clin Oncol*. 40 (10): 905-12. 2010.
172. Moriya T, Kanomata N, Kozuka Y, Hirakawa H, Kimijima I, Kimura M, Watanabe M, Sasano H, Ishida T, **Ohuchi N**, Kurebayashi J, Sonoo H. Molecular morphological approach to the pathological

- study of development and advancement of human breast cancer. *Med Mol Morphol.* 43(2):67-73. 2010.
173. Kobayashi Y, Minato M, Ihara K, Sato M, Suzuki N, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Synthesis of silica-coated AgI nanoparticles and immobilization of proteins on them. *J Nanosci Nanotechnol.* 10 (11): 7758-61. 2010.
 174. Kobayashi Y, Nozawa T, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**. Direct coating of quantum dots with silica shell. *J Sol-Gel Sci Techn* 55(1): 79-85, 2010.
 175. Saika K, Saito H, **Ohuchi N**, Sobue T. Screening for Breast Cancer. *Ann Intern Med.* 153 (9): 618-619, 2010.
 176. Miyashita M, Ishida T, Ishida K, Tamaki K, Amari M, Watanabe M, **Ohuchi N**, Sasano H. Histopathological subclassification of triple negative breast cancer using prognostic scoring system: five variables as candidates. *Virchows Arch.* 458(1): 65-72. 2011.
 177. **Ohuchi N**, Ishida T, Kawai M, Narikawa Y, Yamamoto S, Sobue T. Randomized Controlled Trial on Effectiveness of Ultrasonography Screening for Breast Cancer in Women Aged 40-49 (J-START): Research Design. *Jpn J Clin Oncol.* 41 (2): 275-277, 2011.
 178. Oka K, Suzuki T, Onodera Y, Miki Y, Takagi K, Nagasaki S, Akahira JI, Ishida T, Watanabe M, Hirakawa H, **Ohuchi N**, Sasano H. Nudix-type motif 2 (NUDT2) in human breast carcinoma: A potent prognostic factor associated with cell proliferation. *Int J Cancer.* 128(8): 1770-82. 2011.
 179. Imamura J, Suzuki Y, Gonda K, Roy CN, Gatanaga H, **Ohuchi N**, Higuchi H. Single particle tracking confirms that multivalent Tat protein transduction domain-induced heparan sulfate proteoglycan cross-linkage activates Rac1 for internalization. *J Biol Chem.* 286(12): 10581-92. 2011.
 180. Matsubara Y, Sakabayashi S, Nishimura T, Ishida T, **Ohuchi N**, Teramukai S, Fukushima M. Surrogacy of tumor response and progression-free survival for overall survival in metastatic breast cancer resistant to both anthracyclines and taxanes. *Int J Clin Oncol.* 16 (6): 623-9. 2011.
 181. Kobayashi Y, Inose H, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Control of shell thickness in silica-coating of Au nanoparticles and their X-ray imaging properties. *J Colloid Interface Sci.*, 358(2): 329-333, 2011.
 182. Kawai M, Minami Y, Kakizaki M, Kakugawa Y, Nishino Y, Fukao A, Tsuji I, **Ohuchi N**. Alcohol consumption and breast cancer risk in Japanese women: The Miyagi Cohort Study. *Breast Cancer Res Treat.* 128(3): 817-825. 2011.
 183. Ayame T, Kobayashi Y, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**. Preparation of silica-coated AgI nanoparticles by an amine-free process and their X-ray imaging properties. *J Ceramic Society of Japan*, 119 (1390): 397-401, 2011.
 184. Morimoto H, Minato M, Nakagawa T, Sato M, Kobayashi Y, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, Suzuki N. X-ray Imaging of Newly-Developed Gadolinium Compound/Silica Core-Shell Particles. *J Sol-Gel Sci Technol*, 59(3): 650-657, 2011.
 185. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, **Ohuchi N**, Tamaki N, Sasano H. The correlation between mammographic findings and the corresponding histopathology: A potential predictors for biological characteristics of breast diseases. *Cancer Sci.* 102(12): 2179-85. 2011.
 186. Hamada Y, Gonda K, Takeda M, Sato A, Watanabe M, Yambe T, Satomi S, **Ohuchi N**. In vivo imaging of the molecular distribution of the VEGF receptor during angiogenesis in a mouse model of ischemia. *Blood.* 118 (13): e93-e100. 2011.
 187. Matsubara Y, Sakabayashi S, Nishimura T, Ishida T, **Ohuchi N**, Teramukai S, Fukushima M. Surrogacy of tumor response and progression-free survival for overall survival in metastatic breast cancer resistant to both anthracyclines and taxanes. *Int J Clin Oncol*, 16(6): 623-629, 2011.
 188. Tohno E, Takahashi H, Tamada T, Fujimoto Y, Yasuda H, **Ohuchi N**. Educational program and testing using images for the standardization of breast cancer screening by ultrasonography. *Breast Cancer.* 19(2): 138-46. 2012.
 189. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, **Ohuchi N**, Uehara K, Kamada Y, Tamaki N, Sasano H. Retrospective analysis of mammographic findings in Japanese women: A potential predictor for breast malignancies. *Cancer Sci.* 103 (3): 472-6. 2012.
 190. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, Mori N, **Ohuchi N**, Tamaki N, Sasano H. Multidetector row helical computed tomography for invasive ductal carcinoma of the breast: correlation between

- radiological findings and the corresponding biological characteristics of patients. *Cancer Sci.* 103 (1):67-72. 2012.
191. Kobayashi Y, Nozawa T, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**. Fabrication and fluorescence properties of multilayered core-shell particles composed of quantum dot, gadolinium compound, and silica. *J Mater Sci* 47 (4): 1852-1859, 2012.
 192. Kobayashi Y, Inose H, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Synthesis of Au-silica core-shell particles by sol-gel process. *Surface Engineering*, 28 (2): 129-133, 2012.
 193. Kawai M, Kakugawa Y, Nishino Y, Hamanaka Y, **Ohuchi N**, Minami Y. Reproductive factors and breast cancer risk in relation to hormone receptor and menopausal status in Japanese women. *Cancer Sci.* 103 (10): 1861-70. 2012.
 194. Ebata A, Suzuki T, Takagi K, Miki Y, Onodera Y, Nakamura Y, Fujishima F, Ishida K, Watanabe M, Tamaki K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Oestrogen-induced genes in ductal carcinoma in situ: their comparison with invasive ductal carcinoma. *Endocr Relat Cancer.* 19 (4): 485-96. 2012.
 195. Kawai M, Minami Y, Nishino Y, Fukamachi K, **Ohuchi N**, Kakugawa Y. Body mass index and survival after breast cancer diagnosis in Japanese women. *BMC Cancer.* 12 (1): 149. 2012.
 196. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, **Ohuchi N**, Kamada Y, Uehara K, Tamaki N, Sasano H. Breast ultrasonographic and histopathological characteristics without any mammographic abnormalities. *Jpn J Clin Oncol.* 42 (3): 168-74. 2012.
 197. Kobayashi Y, Minato M, Ihara K, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Synthesis of high concentration colloid solution of silica-coated AgI nanoparticles. *J Nanosci Nanotechnol*, 12 (8): 6741-5, 2012.
 198. Kobayashi Y, Fujisaku T, Mine E, Takezawa T, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**. Immobilization of magnetite on core-shell particles. *Intl J on Intelligent Electronic Systems*, Vol.6 (1) January, 2012
 199. Gonda K, Miyashita M, Watanabe M, Takahashi Y, Goda H, Okada H, Nakano Y, Tada H, Amari M, **Ohuchi N**. Development of a quantitative diagnostic method of estrogen receptor expression levels by immunohistochemistry using organic fluorescent material-assembled nanoparticles. *Biochemical and Biophysical Research Communications*, 426 (3): 409-14. 2012.
 200. Ma Q, Nakane Y, Mori Y, Hasegawa M, Yoshioka Y, Watanabe TM, Gonda K, **Ohuchi N**, Jin T. Multilayered, core/shell nanoprobes based on magnetic ferric oxide particles and quantum dots for multimodality imaging of breast cancer tumors. *Biomaterials*, 33 (33): 8486-94. 2012.
 201. Fukuda I, Hashimoto H, Suzuki Y, Satomi S, Unno M, **Ohuchi N**, Nakaji S. Operating room during natural disaster: lessons from the 2011 Tohoku earthquake. *Nihon Geka Gakkai Zasshi.* 113 (2): 241-51. 2012
 202. Kobayashi Y, Ayame T, Nakagawa K, Gonda K, **Ohuchi N**. X-ray imaging technique using colloid solution of AgI/silica/poly(ethylene glycol) nanoparticles. *Materials Focus*, 1 (2):127-130(4). 2012
 203. Kobayashi Y, Minato M, Ihara K, Nakagawa T, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**, Kasuya A. Synthesis of high concentration colloid solution of silica-coated AgI nanoparticles. *Journal of Nanoscience and Nanotechnology*, 12 (8): 6741-6745, 2012.
 204. Sakurai Y, Tada H, Gonda K, Takeda M, Cong L, Amari M, Kobayashi Y, Watanabe M, Ishida T, and **Ohuchi N**. Development of Silica-Coated Silver Iodide Nanoparticles and Their Biodistribution. *Tohoku J. Exp. Med.* 228 (4): 317-323, 2012.
 205. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, Mori N, **Ohuchi N**, Tamaki N, Sasano H. Multidetector row helical computed tomography for invasive ductal carcinoma of the breast: correlation between radiological findings and the corresponding biological characteristics of patients. *Cancer Sci.* 103 (1): 67-72, 2012.
 206. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, **Ohuchi N**, Uehara K, Kamada Y, Tamaki N, Sasano H. Retrospective analysis of mammographic findings for Japanese women: a potential predictor for breast malignancies. *Cancer Sci* 103 (3): 472-6. 2012.
 207. Masuda M, Miki Y, Hata S, Takagi K, Sakurai M, Ono K, Suzuki K, Yang Y, Abe E, Hirakawa H, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. An induction of microRNA, miR-7 through estrogen treatment in breast cancer. *J Translatl Med.* 10: 2-5, 2012.

208. Shibahara Y, Miki Y, Onodera Y, Hata S, Chan MS, Ylu CC, Loo TY, Nakamura Y, Akahara JI, Ishida T, Abe K, Hirakawa H, Chow LW, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Aromatase inhibitor treatment of breast cancer cells increases the expression of let-7f, a microRNA targeting CYP19A1. *J Pathol*, 227 (3): 357-366, 2012.
209. Ebata A, Suzuki T, Takagi K, Miki Y, Onodera Y, Nakamura Y, Fujishima F, Ishida K, Watanabe M, Tamaki K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Oestrogen-induced genes in ductal carcinoma in situ (DCIS): their comparison with invasive ductal carcinoma. *Endocr Relat Cancer*. 19 (4): 485-496, 2012.
210. Tamaki K, Ishida T, Miyashita M, Amari M, **Ohuchi N**, Uehara K, Kamada Y, Tamaki N, Sasano H. Retrospective analysis of mammographic findings for Japanese women: A potential predictor for breast malignancies. *Cancer Sci*. 103 (3): 472-6, 2012.
211. Kasahara Y, Kawai M, Tsuji I, Tohno E, Yokoe T, Irahara M, Tangoku A, **Ohuchi N**. Harms of screening mammography for breast cancer in Japanese women. *Breast Cancer*. 20 (4): 310-5, 2013.
212. Miyashita M, Amano G, Ishida T, Tamaki K, Uchimura F, Ono T, Yajima M, Kuriya Y, **Ohuchi N**. The clinical significance of breast MRI in the management of ductal carcinoma in situ diagnosed on needle biopsy. *Jpn J Clin Oncol*, 43 (6): 654-663, 2013.
213. Suzuki Y, Roy C, Promjunyakul W, Hatakeyama H, Gonda K, Imamura J, Pillai B, **Ohuchi N**, Kanzaki M, Higuchi H, Kaku M. Single quantum dot tracking reveals that an individual multivalent HIV-1 Tat protein transduction domain can activate machinery for lateral transport and endocytosis. *Molecular and Cellular Biology* 33: 3036-3049, 2013.
214. Okamoto H, Fujishima F, Nakamura Y, Zuguchi M, Ozawa Y, Takahashi Y, Miyata G, Kamei T, Nakano T, Taniyama Y, Teshima J, Watanabe M, Sato A, **Ohuchi N**, Sasano H. Significance of CD133 expression in esophageal squamous cell carcinoma. *World J Surg Oncol*, 11: 51-54, 2013.
215. Okamoto H, Fujishima F, Nakamura Y, Zuguchi M, Miyata G, Kamei T, Nakano T, Katsura K, Abe S, Taniyama Y, Teshima J, Watanabe M, Sato A, **Ohuchi N**, Sasano H. Murine Double Minute 2 and its Association with Chemoradioresistance of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Anticancer Research*, 33(4): 1463-1471, 2013.
216. Nishimura R, Nishioka S, Fujisawa I, Shiku H, Shimada M, Sekiguchi S, Fujimori K, Ushiyama A, Matsue T, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto A. Tacrolimus Inhibits the Revascularization of Isolated Pancreatic Islets. *PLoS One*, 8(4), e56799, 2013.
217. Nakano T, Sugawara K, Hirau K, Hirano Y, Hashimoto M, Kaiho T, **Ohuchi N**. Primary adenocarcinoma of the fourth portion of the duodenum: "A case report and literature review". *International Journal of Surgery Case Reports* 4, 619-622, 2013
218. Miyagi S, Kawagishi N, Nakanishi W, Fujio A, Miyazawa K, Maida K, Kashiwade T, Hara Y, Sekiguchi S, **Ohuchi N**, and Satomi S. Risk Factors for Hepatic Artery Thrombosis After Microsurgical Vascular Reconstruction in Liver Transplantation. *Transplantation Proceedings*. 45(5): 1994-96, 2013.
219. Miyagi S, Kawagishi N, Satoh K, Sekiguchi S, **Ohuchi N**, and Satomi S. A Patient With Hepatic Artery Thrombosis After Living-Donor Liver Transplantation Survived the Great East Japan Earthquake 3 Days After Reoperation: A Case Report. *Transplantation Proceedings*. 45(5): 2066-68, 2013.
220. Teshima J, Doi H, Fujimori K, Watanabe M, Nakajima N, Nakano T, Takahashi Y, **Ohuchi N** and Satomi S. A Human Thyroid Cancer Cell Line, DH-14-3, Newly Established from Poorly Differentiated Thyroid Carcinoma. *Tohoku J Exp Med*. 230 (2) : 75-82, 2013.
221. Teshima J, Miyata G, Kamei T, Nakano T, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Sato C, Nakagawa T, Ito S, **Ohuchi N**. Three cases of esophageal cancer with aberrant right subclavian artery treated by thoracoscopic esophagectomy. *Esophagus*, 10 (3): 165-169, 2013.
222. Suzuki Y, Chandra Nath Roy, Warunya Promjunyakul, Hatakeyama H, Gonda K, Imamura J, Biju Vasudevanpillai, **Ohuchi N**, Kanzaki M, Higuchi H, Kaku M. Single Quantum Dot Tracking Reveals that an Individual Multivalent HIV-1 Tat Protein Transduction Domain Can Activate Machinery for Lateral Transport and Endocytosis. *Molecular and Cellular Biology*. 33 (15): 3036-3049, 2013.

223. Nishimura R, Ushiyama A, Sekiguchi S, Fujimori K, **Ohuchi N**, Satomi S, and Goto M. Effects of Glucagon-like peptide-1 analog on the early phase of revascularization of transplanted pancreatic islets at subcutaneous site. *Transplantation Proceedings*, 45(5): 1892-1894. 2013.
224. Taniyama Y, Nakamura T, Mitamura A, Teshima J, Katsura K, Abe S, Nakano T, Kamei T, Miyata G, **Ohuchi N**. A Strategy for Supraclavicular Lymph Node Dissection Using Recurrent Laryngeal Nerve Lymph Node Status in Thoracic Esophageal Squamous Cell. *Annals of Thoracic Surgery*. 95(6):1930–7. 2013.
225. Shibahara Y, Miki Y, Ishida T, Nakamura Y, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Immunohistochemical analysis of aromatase in metastatic lymph nodes of breast cancer. *Pathology International*, 63(1):20-8. 2013.
226. McNamara KM, Yoda T, Miki Y, Chanplakorn N, Wongwaisayawan S, Incharoen P, Kongdan Y, Wang L, Takagi K, Mayu T, Nakamura Y, Suzuki T, Nemoto N, Miyashita M, Tamaki K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Androgenic pathway in triple negative invasive ductal tumours: its correlation with tumour cell proliferation. *Cancer Sci*. 104 (5): 639-46. 2013.
227. Kawai M, Kakugawa Y, Nishino Y, Hamanaka Y, **Ohuchi N**, Minami Y. Anthropometric factors, physical activity, and breast cancer risk in relation to hormone receptor and menopausal status in Japanese women: a case-control study. *Cancer Causes & Control*. 24(5):1033-1044. 2013.
228. Sato-Tadano A, Suzuki T, Amari M, Takagi K, Miki Y, Tamaki K, Watanabe M, Ishida T, Sasano H, **Ohuchi N**. Hexokinase II in breast carcinoma: a potent prognostic factor associated with hypoxia-inducible factor 1 α and Ki-67. *Cancer Sci*, 104 (10): 1380-8. 2013.
229. Kobayashi Y, Ayame T, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, and **Ohuchi N**. Preparation of Ag I/Silica/Poly (Ethylene Glycol) Nanoparticle Colloid Solution and X-Ray Imaging Using It. *ISRN Nanomaterials*, Article ID 670402, 5 pages. 2013
230. Asami K, Inagaki A, Imura T, Sekiguchi S, Fujimori K, Masutani H, Yodoi J, Satomi S, **Ohuchi N**, Goto M. Thioredoxin-1 attenuates early graft loss after intraportal islet transplantation in mice. *PLOS ONE*, 8 (8), e70259, 2013
231. Shibahara Y, Miki Y, Sakurada C, Uchida K, Hata S, Keely McNamara, Yoda T, Takagi K, Nakamura Y, Suzuki T, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Androgen and androgen-metabolizing enzymes in metastasized lymph nodes of breast cancer. *Human Pathology*, 44 (10): 2338–2345. 2013.
232. Kobayashi Y, Inose H, Nagasu R, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K and **Ohuchi N**. X-ray imaging technique using colloid solution of Au/silica/poly (ethylene glycol) nanoparticles. *Materials Research Innovations*, 17 (7):507-514. 2013.
233. Kobayashi I Y, Inose I H, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K and **Ohuchi N**. X-ray imaging technique using colloid solution of Au/silica core-shell nanoparticles. *Journal of Nanostructure in Chemistry* 3:62-67, 2013
234. Nakano K, Miki Y, Hata S, Ebata A, Takagi K, Keely M McNamara, Sakurai M, Masuda M, Hirakawa H, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Identification of Androgen-responsive microRNAs and Androgen-related Genes in Breast Cancer. *Anticancer Res*. 33 (11): 4811-4819. 2013
235. Hara Y, Akamatsu Y, Maida K, Kashiwadate T, Kobayashi Y, **Ohuchi N**, Satomi S. A new liver graft preparation method for uncontrolled non-heart-beating donors, combining short oxygenated warm perfusion and prostaglandin E1. *J Surg Res*. 184 (2): 1134-1142. 2013.
236. Takagi K, Ishida T, Miki Y, Hirakawa H, Kakugawa Y, Amano G, Ebata A, Mori N, Nakamura Y, Watanabe M, Amari M, **Ohuchi N**, Sasano H, Suzuki T. Intratumoral concentration of estrogens and clinicopathological changes in ductal carcinoma in situ following aromatase inhibitor letrozole treatment. *Br J Cancer*:109 (1): 100-108. 2013.

237. Kobayashi Y, Morimoto H, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Preparation of Gd complex-immobilized silica particles and their application to MRI. *ISRN Nanotechnology*, Volume 2013, Article ID 908614, 6 pages, <http://dx.doi.org/10.1155/2013/908614>, 2013
238. Kobayashi Y, Morimoto H, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Fabrication of hollow particles composed of silica containing gadolinium compound and magnetic resonance imaging using them. *Journal of Nanostructure in Chemistry*, 3:11-15, 2013
239. Tamaki K, Tamaki N, Kamada Y, Uehara K, Miyashita M, Sm Chan M, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H.
Non-invasive evaluation of axillary lymph node status in breast cancer patients using shear wave elastography. *Tohoku J Exp Med*. 231 (3): 211-6. 2013
240. Kobayashi Y, Matsudo H, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. In-vivo fluorescence imaging technique using colloid solution of multiple quantum dots/silica/poly(ethylene glycol) nanoparticles. *Journal of Sol-Gel Science and Technology*. 66 (1): 31-37. 2013.
241. Tamaki K, Tamaki N, Kamada Y, Uehara K, **Ohuchi N**, Miyashita M, Ishida T, Sasano H. Clinical significance following breast conservation therapy with or without irradiation in breast cancer patients. *Jpn J Clin Oncol*. 43(3): 251-257. 2013
242. Nakano T, Miyata G, Kamei T, Naoshima N, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Teshima J, **Ohuchi N**. Ib018-sun effects of low-carbohydrate enteral nutrition on stabilization of blood sugar levels after esophageal surgery: a randomized controlled trial. *Clinical Nutrition*. 32(1): S229-S230. 2013
243. Miyashita M, Amano G, Ishida T, Tamaki K, Uchimura F, Ono T, Yajima M, Kuriya Y, **Ohuchi N**. The clinical significance of breast MRI in the management of ductal carcinoma in situ diagnosed on needle biopsy. *Jpn J Clin Oncol*. 43 (6): 654-663. 2013
244. Miyazawa K, Miyagi S, Maida K, Murakami K, Fujio A, Kashiwadate T, Nakanishi W, Hara Y, Nakanishi C, Yamaya H, Kawagishi N, Goto M, **Ohuchi N**. Edaravone, a free radical scavenger, improve the graft viability on liver transplantation from non-heart-beating donors in pigs. *Transplant Proc*. 46 (4): 1090-1094. 2014
245. Kawai M, Suzuki A, Nishino Y, Ohnuki K, Ishida T, Amari M, Shibuya D, **Ohuchi N**. Effect of screening mammography on cumulative survival of Japanese women aged 40-69 years with breast cancer. *Breast Cancer*. 21(5): 542-549. 2014
246. Fujio A, Murayama K, Yamagata Y, Watanabe K, Imura T, Inagaki A, Ohbayashi N, Shima H, Sekiguchi S, Fujimori K, Igarashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Collagenase H is crucial for isolation of rat pancreatic islets. *Cell Transplant*. 23(10): 1187-98. 2014
247. Akamatsu D, Sato A, Goto H, Ohta H, Hashimoto M, Shimizu T, Tsuchida K, **Ohuchi N**. Sudden cardiac arrest immediately after stent-graft deployment during treatment of iliac aneurysm with ilio caval fistula. *Ann Vasc Surg*. 28(4): 1031.e11-3. 2014
248. Tamaki K, Ishida T, Tamaki N, Kamada Y, Uehara K, Miyashita M, Amari M, Tadano-Sato A, Takahashi Y, Watanabe M, McNamara K, **Ohuchi N**, Sasano H. Analysis of clinically relevant values of Ki-67 labeling index in Japanese breast cancer patients. *Breast Cancer*. 21(3): 325-33. 2014
249. Saito R, Miki Y, Hata S, Takagi K, Iida S, Oba Y, Ono K, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Aryl Hydrocarbon Receptor in Breast Cancer-A Newly Defined Prognostic Marker. *Hormones and Cancer*, 5(1) : 11-21. 2014
250. Jimbo T, Inagaki A, Imura T, Sekiguchi S, Nakamura Y, Fujimori K, Miyagawa Jun-ichiro, **Ohuchi N**, Satomi S, and Goto M. A Novel Resting Strategy for Improving Islet Engraftment in the Liver. *Transplantation*, 97 (3) :280-286. 2014
251. Sato K, Sekiguchi S, Kawagishi N, Akamatsu Y, Miyagi S, Yamaya H, Takeda I, Fukushima D, Sato A, **Ohuchi N**, Satomi S. Hepatic venous reconstruction using the superficial femoral vein in a right-lobe living donor transplant patient with interrupted inferior vena cava. *Pediatric Transplantation*, 18 (1): E13-E17. 2014
252. Dong Y, Yu JJ, Shibahara Y, Lu HS, He HY, Liu JD, Chen SF, Wang L, Zhang Y, Felizola SJ, Chan

- MS, Ono K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Intercellular adhesion molecule-1/2 and E-selectin in plasma-cell mastitis: immunohistochemical study of 35 cases. *Hum Pathol.* 45(3): 606-610. 2014
253. Ishida T, Suzuki A, Kawai M, Narikawa Y, Saito H, Yamamoto H, Tohno E, Sobue T, Fukuda M, **Ohuchi N**. A randomized controlled trial to verify the efficacy of the use of ultrasonography in breast cancer screening aged 40-49 (J-START): 76 196 women registered. *Jpn J Clin Oncol.* 44(2): 134-40. 2014
254. Okamoto H, Hara Y, Chin M, Hagiwara M, Onodera Y, Horii S, Shirahata Y, Kamei T, Hashizume E, **Ohuchi N**. An extremely rare case of pancreatic metastasis of esophageal squamous cell carcinoma. *World Journal of Gastroenterology*, 20(2):593-597. 2014
255. Miyagi S, Nakanishi W, Kawagishi N, Yoshida H, Unno M, **Ohuchi N**. The Effects of Endothelial Cells-Preserving Technique on Microsurgical Vascular Reconstruction in Biliary Tract Malignancy: Report of Twenty Cases. *Case Rep Gastroenterol*, 8(1): 18-25. 2014
256. Sato M, Kawai M, Nishino Y, Shibuya D, **Ohuchi N**, Ishibashi T. Cost-effectiveness analysis for breast cancer screening: double reading versus single + CAD reading. *Breast Cancer.* 21(5): 532-41, 2014
257. Fukutomi T, Takagi K, Mizushima T, **Ohuchi N** and Yamamoto M. Kinetic, Thermodynamic and Structural Characterizations of Association between Nrf2-DLGex Degron and Keap1. *Mol Cell Biol.* 34(5): 832-46. 2014
258. Murakami K, Kasajima A, Kawagishi N, Sekiguchi S, Fujishima F, Watanabe M, Sato Y, **Ohuchi N**, Sasano H. The prognostic significance of vasohibin-1-associated angiogenesis in patients with hepatocellular carcinoma. *Human Pathology*, 45 (3): 589-597, 2014.
259. Lynge E, Ponti A, James T, Májek O, Euler-Chelpin M, Anttila A, Fitzpatrick P, Frigerio A, Kawai M, Scharpantgen A, Broeders M, Hofvind S, Vidal C, Martinez M.G., Ascunce N, Trejo D.S., Bulliard Jean-Luc, Tomatis M, Kerlikowske K, Taplin S, Danes J, Ducros C, Falk RS, Fracheboud J, Martinez MG, Hakama M, Miranda J, Mooney T, **Ohuchi N**, Robert I, Saito H, Taskinen A, Timmers J, Ventura L, Wagnon MC, Zappa M. Variation in detection of ductal carcinoma in situ during screening mammography: A survey within the International Cancer Screening Network. *European J Cancer*, 50 (1):185-192, 2014.
260. Nakano T, Okamoto H, Maruyama S, **Ohuchi N**. Three-dimensional imaging of a thoracic duct cyst before thoracoscopic surgery. *Eur J Cardiothorac Surg.* 45 (3):585-588, 2014
261. Murakami K, Watanabe M, Nakashima N, Fujimori K, Ishida K, **Ohuchi N**, Sasano H. Water-clear cell adenoma associated with primary hyperparathyroidism: report of a case. *Surg Today.* 44 (4): 773-777, 2014
262. Tamaki K, Tamaki N, Terukina S, Kamada Y, Uehara K, Arakaki M, Miyashita M, Ishida T, McNamara K, **Ohuchi N**, Sasano H. The correlation between body mass index and breast cancer risk or estrogen receptor expression during premenopausal and postmenopausal periods in Okinawa. *Tohoku J Exp Med.* 234 (3): 169-174, 2014
263. Ozawa Y, Nakamura Y, Fujishima F, Saulo J. A. Felizola, Takeda K, Ito K, Okamoto H, Kamei T, Miyata G, **Ohuchi N**, Sasano H. Cytoplasmic hepatocyte growth factor immunoreactivity predicting lymph node metastasis in esophageal squamous cell carcinoma. *Esophagus*, 11:223-230, 2014
264. Kawagishi N, Takeda I, Miyagi S, Sato K, **Ohuchi N**. Donors' quality of life evaluated by short form-36 analysis after living donor liver transplantation in a single-center experience. *Transplant Proc.* 46 (3): 675-7, 2014
265. Nakanishi C, Kawagishi N, Sato K, Miyagi S, Takeda I, **Ohuchi N**. Impact at the 2011 great east japan earthquake on the resumption of alcohol consumption after living-donor liver transplantation for alcoholic cirrhosis. *Transplant Proc.* 46 (3): 992-994, 2014

266. Miyazawa K, Miyagi S, Maida K, Murakami K, Fujio A, Kashiwadate T, Nakanishi W, Hara Y, Nakanishi C, Yamaya H, Kawagishi N, Goto M, **Ohuchi N**. Edaravone, a free radical scavenger, improves the graft viability on liver transplantation from non-heart-beating donors in pigs. *Transplantation Proceedings* . 46 (4): 1090–1094, 2014
267. Miyagi S, Kawagishi N, Maida K, Nakanishi W, Hara Y, Nakanishi C, Takeda I, Satoh K, **Ohuchi N**, Satomi S. Risk Factors for Portal Vein Stenosis in Living-Donor Liver Transplantation. *Transplant Proc.* 46 (3): 689-691. 2014
268. Nishino Y, Minami Y, Kawai M, Fukamachi K, Sato I, **Ohuchi N**, Kakugawa Y. Cigarette smoking and breast cancer risk in relation to joint estrogen and progesterone receptor status: a case-control study in Japan. *SpringerPlus*. 3:65-69, 2014
269. Yamada M, Nakano T, Sato C, Nakagawa A, Fujishima F, Kawagishi N, Nakanishi C, Sakurai T, Miyata G, Tominaga T, **Ohuchi N**. The dissection profile and mechanism of tissue selective dissection of the piezo actuator-driven pulsed water jet as a surgical instrument: laboratory investigation using swine liver. *Eur Surg Res*. 53: 61-72, 2014
270. Nakano T, Miyata G, Onodera K, Ichikawa H, Kamei T, Hoshida T, Kikuchi H, Jingu K, **Ohuchi N**. Hyperosmolar hyperglycemic nonketotic coma after chemoradiotherapy for esophageal cancer. *Esophagus*. 11:273–276, 2014
271. Narikawa-Shiono Y, Zheng YF, Kikuya M, Kawai M, Ishida T, Kuriyama S, **Ohuchi N**. Participants' understanding of a randomized controlled trial (RCT) through informed consent procedures in the RCT for breast cancer screening, J-START. *Trials*. 15(1): 375-384, 2014, <http://www.trialsjournal.com/content/15/1/375>
272. Fujii R, Hanamura T, Suzuki T, Gohno T, Shibahara Y, Niwa T, Yamaguchi Y, **Ohnuki K**, Kakugawa Y, Hirakawa H, Ishida T, Sasano H, Ohuchi N, Hayashi SI. Increased androgen receptor activity and cell proliferation in aromatase inhibitor-resistant breast carcinoma. *J Steroid Biochem Mol Biol*. 144:513-522. 2014
273. Yoshida S, Yamagata Y, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Igarashi Y, Inagaki A, Fujimori K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. The influence of collagen III expression on the efficiency of cell isolation with the use of collagenase H. *Transplant Proc*. 46(6): 1942-4, 2014
274. Tokodai K, Amada N, Haga I, Nakamura A, Kashiwadate T, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Pretransplant HbA1c Is a Useful Predictor for the Development of New-Onset Diabetes in Renal Transplant Recipients Receiving No or Low-Dose Erythropoietin. *International Journal of Endocrinology*, 436725(7), 2014
275. Fujio A, Murayama K, Yamagata Y, Watanabe K, Imura T, Inagaki A, Ohbayashi N, Shima H, Sekiguchi S, Fujimori K, Igarashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Collagenase H is crucial for isolation of rat pancreatic islets. *Cell Transplantation* 23 (10): 1187-1198, 2014
276. Hara Y, Kawagishi N, Nakanishi W, Tokodai K, Nakanishi C, Miyagi S, **Ohuchi N**. Prevalence and risk factors of obesity, hypertension, dyslipidemia and diabetes mellitus before and after adult living donor liver transplantation. *Hepatol Res*. Jul; 45(7): 764-70, 2015
277. Yoda T, McNamara KM, Miki Y, Takagi M, Rai Y, Ohi Y, Sagara Y, Tamaki K, Hirakawa H, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Intratumoral androgen metabolism and actions in invasive lobular carcinoma of the breast. *Cancer Sci*. 105(11): 1503-9, 2014
278. Ponti A, Lynge E, James T, Májek O, von Euler-Chelpin M, Anttila A, Fitzpatrick P, Mano MP, Kawai M, Scharpantgen A, Fracheboud J, Hofvind S, Vidal C, Ascunce N, Salas D, Bulliard JL, Segnan N, Kerlikowske K, Taplin S, Miranda J, Mooney T, **Ohuchi N**, Robert I, Saito H, Sørum R, Taskinen A, Timmers J, Ventura L, Wagnon MC; ICSN DCIS Working group. International

- variation in management of screen-detected ductal carcinoma in situ of the breast. *Eur J Cancer*. 50 (15): 2695-704, 2014
279. Miura Y, Sato K, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Strangulated Small Bowel Obstruction After Renal Transplant With No History of Laparotomy. *Case Report. Exp Clin Transplant*. Jun; 13(3): 295-7, 2015
280. Fukushima D, Sato K, Kawagishi N, **Ohuchi N**, Satomi S. Epstein-Barr virus-associated posttransplantation lymphoproliferative disorder with tacrolimus metabolism deterioration in infants after living-donor liver transplantation. *Transplantation*. 15; 99(1): 114-9, 2014
281. Suzuki A, Ishida T, **Ohuchi N**. Controversies in breast cancer screening for women aged 40-49 years. *Jpn J Clin Oncol*. 244(7): 613-618, 2014
282. Chan MS, Chen SF, Felizola SJ, Wang L, Nemoto N, Tamaki K, Ishida T, Chow LW, **Ohuchi N**, Sasano H. Correlation of tumor-infiltrative lymphocyte subtypes alteration with neoangiogenesis before and after neoadjuvant chemotherapy treatment in breast cancer patients. *Int J Biol Markers*. 30;29(3):e193-203, 2014
283. McNamara KM, Yoda T, Nurani AM, Shibahara Y, Miki Y, Wang L, Nakamura Y, Suzuki K, Yang Y, Abe E, Hirakawa H, Suzuki T, Nemoto N, Miyashita M, Tamaki K, Ishida T, Brown KA, **Ohuchi N**, Sasano H. Androgenic pathways in the progression of triple-negative breast carcinoma: a comparison between aggressive and non-aggressive subtypes. *Breast Cancer Res Treat*. 145(2): 281-93, 2014
284. Nakanishi C, Kawagishi N, Sato K, Miyagi S, Takeda I, **Ohuchi N**. Impact of the 2011 Great East Japan Earthquake on the resumption of alcohol consumption after living-donor liver Transplantation for alcoholic cirrhosis: a report of two cases. *Transplant Proc*. 46(3): 992-4, 2014
285. Murakami K, Kawagishi N, Ishida K, Sekiguchi S, Fujishima F, Sasano H, **Ohuchi N**. Fibrosing cholestatic hepatitis developing within one month after living donor liver transplantation for chronic hepatitis C-related cirrhosis: a case report. *Transplant Proc*. 46(3): 995-8, 2014
286. Sato K, Sekiguchi S, Kawagishi N, Akamatsu Y, Miyagi S, Yamaya H, Takeda I, Fukushima D, Sato A, **Ohuchi N**, Satomi S. Hepatic venous reconstruction using the superficial femoral vein in a right lobe living donor liver transplant patient with interrupted inferior vena cava. *Pediatr Transplant*. 18(1): E13-7, 2014
287. Goto H, Hashimoto M, Akamatsu D, Shimizu T, Miyama N, Tsuchida K, Tajima Y, **Ohuchi N**. Surgical resection and inferior vena cava reconstruction for treatment of the malignant tumor: technical success and outcomes. *Ann Vasc Dis*. 7(2): 120-6, 2014
288. Sato F, Ishida T, **Ohuchi N**. The perioperative educational program for improving upper arm dysfunction in patients with breast cancer: a controlled trial. *Tohoku J Exp Med*. 232(2): 115-22, 2014
289. Tamaki K, Tamaki N, Terukina S, Kamada Y, Uehara K, Arakaki M, Miyashita M, Ishida T, McNamara KM, **Ohuchi N**, Sasano H. The Correlation between Body Mass Index and Breast Cancer Risk or Estrogen Receptor Status in Okinawan Women. *Tohoku J Exp Med*. 234(3): 169-74, 2014
290. Miyashita M, Sasano H, Tamaki K, Chan M, Hirakawa H, Suzuki A, Tada H, Watanabe G, Nemoto N, Nakagawa S, Ishida T, **Ohuchi N**. Tumor-infiltrating CD8+ and FOXP3+ lymphocytes in triple negative breast cancer: its correlation with pathological complete response to neoadjuvant chemotherapy. *Breast Cancer Res Treat*. 148(3): 525-534, 2014
291. Suzuki A, Ishida T, **Ohuchi N**. Role of ultrasonography in breast cancer screening. *Health Evaluation and Promotion*. 41(2): 315-321, 2014
292. Ito M, Yasuda Y, Furuta A, **Ohuchi N**. Evaluation of BRCA 1/2 mutation-carrier probability models, BRCAPRO and myriad in the Japanese population. *Cancer Research*, 73: P2-12-04, 2014

293. Sato K, Kawagishi N, Fujimori K, **Ohuchi N** and Satomi S. Renal function status in liver transplant patients in the first month post-transplant is associated with progressive chronic kidney disease. *Hepatol Res.* 45(2): 220-7, 2015
294. Fujio A, Kawagishi N, Echizenya T, Tokodai K, Nakanishi C, Miyagi S, Sato K, Fujimori K, **Ohuchi N**. Long-term Survival with Growth Hormone Replacement after Liver Transplantation of Pediatric Nonalcoholic Steatohepatitis Complicating Acquired Hypopituitarism. *Tohoku J Exp Med.* 235 (1): 61-67, 2015
295. Ozawa Y, Nakamura Y, Fujishima F, Felizola SJ, Takeda K, Okamoto H, Ito K, Ishida H, Konno T, Kamei T, **Ohuchi N**, Sasano H. Decreased Expression of ARID1A Contributes to Infiltrative Growth of Esophageal Squamous Cell Carcinoma. *Tohoku J Exp Med.* 235(3): 185-91, 2015
296. Murakami K, Kasajima A, Kawagishi N, **Ohuchi N**, Sasano H. Microvessel Density in Hepatocellular Carcinoma: Prognostic Significance and Review of the Previous published work. *Hepatol Res.* Dec; 45(12): 1185-94, 2015
297. Teshima J, Miyata G, Kamei T, Nakano T, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Sakurai T, Hikage M, Nakamura T, Takaya K, Zuguchi M, Okamoto H, Youhei O, **Ohuchi N**. Comparison of short-term outcomes between prone and lateral decubitus positions for thoracoscopic esophagectomy. *Surg Endosc.* 2014 Dec 6. 2015 Sep; 29(9): 2756-62
298. Sato K, Miyashita M, Ishida T, Suzuki A, Tada H, Watanabe G, Sato-Tadano A, Watanabe M, **Ohuchi N**. Prognostic significance of the progesterone receptor status in Ki67-high and-low Luminal B-like HER2- negative breast cancers. *Breast Cancer.* 2016 Mar; 23(2): 310-7
299. McNamara KM, Yoda T, Miki Y, Nakamura Y, Suzuki T, Nemoto N, Miyashita M, Nishimura R, Arima N, Tamaki K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Androgen receptor and enzymes in lymph node metastasis and cancer recurrence in triple-negative breast cancer. *Int J Biological Markers*, 2015 May 26; 30(2): e184-9.
300. Nemoto N, Shibahara Y, Tada H, Uchida K, McNamara KM, Chan MS, Watanabe M, Tamaki K, Miyashita M, Miki Y, Gonda K, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. Clinical significance of subtype classification in metastatic lymph nodes of breast cancer patients undergoing neoadjuvant chemotherapy. *Int J Biol Markers.* 2015 May 26; 30(2): e174-83.
301. Nakano T, Sakurai T, Maruyama S, Ozawa Y, Kamei T, Miyata G, **Ohuchi N**. Indocyanine green fluorescence and three-dimensional imaging of right gastroepiploic artery in gastric tubercular cancer. *World J Gastroenterol.* 21 (1): 369-72, 2015
302. Koseki Y, Ikuta Y, Murakami T, Onodera T, Oikawa H, Cong L, Tada H, Gonda K, **Ohuchi N**, and Kasai H. Cytotoxicity of pure nanodrugs of SN-38 and podophyllotoxin dimers in human cancer HepG2, KPL-4, and MCF-7 cells. *Molecular Crystals and Liquid Crystals*, 622:1, 1-5, DOI: 10.1080/15421406.2015.1096483, 2015
303. Dendo M, Maeda H, Yamagata Y, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Inagaki A, Igarashi Y, Katoh Y, Ebina M, Fujimori K, Igarashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Synergistic Effect of Neutral Protease and Clostripain on Rat Pancreatic Islet Isolation. *Transplantation.* 99: 1349-1355, 2015
304. Okamoto H, Fujishima F, Kamei T, Nakamura Y, Ozawa Y, Miyata G, Nakano T, Katsura K, Abe S, Taniyama Y, Sakurai T, Teshima J, Hikage M, Sasano H, **Ohuchi N**. Murine double minute 2 predicts response of advanced esophageal squamous cell carcinoma to definitive chemoradiotherapy. *BMC Cancer*, 15:208-10, 2015
305. Miyagi S, Nakanishi C, Kawagishi N, Kamei T, Satomi S, **Ohuchi N**. Pure Laparoscopic Hepatectomy Combined with a Pure Laparoscopic Pringle Maneuver in Patients with Severe Cirrhosis. *Case Rep Gastroenterol.* 9:101-105, 2015
306. Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Kamei T, Kawagishi N, **Ohuchi N**. An evaluation of the safety of pure laparoscopic hepatectomy in patients with liver cirrhosis: Investigations including serum albumin and ascites. *Surg Laparosc Endosc Percutan Tech.* 2015 Jun; 25(3): 209-11
307. Kondo T, Mori K, Hachisu M, Yamazaki T, Okamoto D, Watanabe M, Gonda K, Tada H, Hamada Y, Takano M, **Ohuchi N**, Ichianagi Y. Alternating current magnetic susceptibility and heat dissipation by $Mn_{1-x}Zn_xFe_2O_4$ nanoparticles for hyperthermia treatment. *J. Appl. Phys.* 117, 17D157, 2015

308. Ozawa Y, Nakamura Y, Fujishima F, Saulo J.A Felizola, Takeda K, Okamoto H, Ito K, Ishida H, Konno T, Kamei T, Miyata G, **Ohuchi N**, Sasano H. c-Met in esophageal squamous cell carcinoma: an independent prognostic factor and potential therapeutic target. *BMC Cancer*:15:4511-3, 2015
309. Kobayashi Y, Shibuya K, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Direct Immobilization of Gadolinium Complex on Silica Particles and Their MRI Properties. *e-Journal of Surface Science and Nanotechnology*, 13:42-46,2015
310. Kobayashi Y, Nagasu R, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Preparation of Au/silica/poly (ethylene glycol) nanoparticle colloid solution and its use in x-ray imaging process. *Nanocomposites*, 2: 83-88, 2015
311. Hara Y, Kawagishi N, Nakanishi W, Tokodai K, Nakanishi C, Miyagi S, **Ohuchi N**. Prevalence and risk factors of obesity, hypertension, dyslipidemia and diabetes mellitus before and after adult living donor liver transplantation. *Hepatol Res*. 2015 Jul;45(7):764-70, 2015
312. Kashiwadate T, Tokodai K, Amada N, Haga I, Takayama T, Nakamura A, Jimbo T, Hara Y, kawagishi N and **Ohuchi N**. Right versus left retroperitoneoscopic living-donor nephrectomy. *Int Urol Nephrol*. 2015 Jul;47(7):1117-21, 2015
313. Gonda K, Hamada Y, Kitamura N, Tada H, Miyashita M, Kamei T, Ishida T, **Ohuchi N**. Highly Sensitive Imaging of Cancer with Functional Nanoparticles. *Journal of Photopolymer Science and Technology* 28:701-706. 2015
314. Kakugawa Y, Kawai M, Nishino Y, Fukamachi K, Ishida T, **Ohuchi N**, Minami Y. Smoking and survival after breast cancer diagnosis in Japanese women: A prospective cohort study. *Cancer Science*, 2015 Aug;106(8):1066-74, 2015
315. Gonda K, Hamada Y, Kitamura N, Tada H, Miyashita M, Kamei T, Ishida T, **Ohuchi N**. Highly Sensitive Imaging of Cancer with Functional Nanoparticles. *Journal of Photopolymer Science and Technology* 28:701-706. 2015
316. Miyagi S, Nakanishi C, Kawagishi N, Kamei T, Satomi S, **Ohuchi N**. Pure Laparoscopic Hepatectomy Combined with a Pure Laparoscopic Pringle Maneuver in Patients with Severe Cirrhosis. *Case Rep Gastroenterol*. 9:101-105, 2015
317. Gonda K, Miyashita M, Higuchi H, Tada H, Watanabe TM, Watanabe M, Ishida T, **Ohuchi N**. Predictive diagnosis of the risk of breast cancer recurrence after surgery by single-particle quantum dot imaging. *Scientific Reports*, 5: 14322, DOI: 10.1038/srep14322, 2015.
318. Yoda T, McNamara KM, Miki Y, Onodera Y, Takagi K, Nakamura Y, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. KLF15 in breast cancer: a novel tumor suppressor? *Cell Oncol (Dordr)*, 2015 Jun; 38(3): 227-35
319. Watanabe G, Itoh M, Kyokutou D, Watanabe M, Ishida T, Suzuki A, Miyashita M, Tada H, Mori N, **Ohuchi N**. Abstract P1-02-12: High-resolution specimen-positron emission mammography (s-PEM) indicates the spread of cancer in breast-conserving surgery. *Cancer Research* 05/2015; 75(9 Supplement): P1-02-12-P1-02-12.
320. Yoda T, Kikuchi K, Miki Y, Onodera Y, Hata S, Takagi K, Nakamura Y, Hirakawa H, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H, Keely May McNamara KM. 11 β -Prostaglandin F 2α , a bioactive metabolite catalyzed by AKR1C3, stimulates Prostaglandin F receptor and induces Slug expression in breast cancer. *Molecular and Cellular Endocrinology*, 2015 Sep 15; 413:236-47
321. Watanabe G, Ishida T, Furuta A, Takahashi S, Watanabe M, Nakata H, Kato S, Ishioka C, **Ohuchi N**. Combined Immunohistochemistry of PLK1, p21, and p53 for Predicting TP53 Status. *Am J Surg Pathol*, 2015 Aug; 39(8): 1026-34, 2015
322. Ozawa Y, Fujishima F, Ito K, Okamoto H, Teshima J, Kamei T, Miyata G, **Ohuchi N**, Sasano H. Superficial esophageal carcinoma composed of basaloid, adenocarcinomatous and squamous components. *Esophagus*. 12:370-376, 2015

323. Sato C, Sekiguchi A, Kawai M, Kotozaki Y, Nouchi R, Tada H, Takeuchi H, Ishida T, Taki Y, Kawashima R, **Ohuchi N**. Postoperative Structural Brain Changes and Cognitive Dysfunction in Patients with Breast Cancer. *PLoS ONE* 10v (11): e0140655. doi:10.1371, 2015
324. Ishida H, Nakano T, Fujishima F, Kamei T, Taniyama Y, Sakurai T, Sato C, Fukutomi T, Kamiya K, Ozawaa Y, Sasano H, **Ohuchi N**. Surgical resection and chemoradiotherapy for metachronous pulmonary metastasis of basaloid squamous cell carcinoma of the oesophagus. *International Journal of Surgery Case Reports* 17; 151–154, 2015
325. Tokodai K, Amada N, Haga I, Nakamura A, Kashiwadate T, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Limited utility of blood cultures in the management of febrile outpatient kidney transplant recipients. *Journal of Microbiology, Immunology and Infection*, 2015 Dec 1. pii: S1684-1182(15)00917-2, 2015
326. **Ohuchi N**, Suzuki A, Sobue T, Kawai M, Yamamoto S, Zheng YF, Shiono YN, Saito H, Kuriyama S, Tohno E, Endo T, Fukao A, Tsuji T, Yamaguchi T, Ohashi Y, Fukuda M, Ishida T. Sensitivity and specificity of mammography and adjunctive ultrasonography to screen for breast cancer in the Japan strategic anti-cancer randomised trial (J-START): a randomised controlled trial. *Lancet*, 387: 341-348. 2016.
327. Kobayashi Y, Ayame T, Shibuya K, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Stabilization of Silica-Coated Silver iodide nanoparticles by ethanol-washing. *Pigment & Resin Technology*, 45(2): 99-105, 2016
328. Tokodai K, Kawagishi N, Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Fujio A, Kashiwadate T, Kanno A, Goto H, Kamei T, **Ohuchi N**. Indications and outcomes of an endoscopic approach under laparotomy for the treatment of bilioenteric anastomotic strictures. *Pediatric Transplantation*. 2016 Mar; 20(2): 316-20, 2016
329. **Ohuchi N**, Suzuki A, Yamamoto S, Kuriyama S, Ishida T. Adjunctive ultrasonography for breast cancer screening. *Lancet*, 387:2381-2382, 2016.
330. Nakanishi C, Nakano T, Nakagawa A, Sato C, Yamada M, Kawagishi N, Tominaga T, **Ohuchi N**. Evaluation of a newly developed piezo actuator-driven pulsed water jet system for liver resection in a surviving swine animal model. *BioMedical Engineering*, 2016 Jan 25; 15-19, 2016
331. Nakano T, Sato C, Sakurai T, Kamei T, Nakagawa A, **Ohuchi N**. Use of water jet instruments in gastrointestinal endoscopy. *World J Gastrointestinal Endoscopy* 8 (3): 122-127, 2016.
332. Kuriyama S, Yaegashi N, Nagami F, Arai T, Kawaguchi Y, Osumi N, Sakaida M, Yoichi Suzuki Y, Nakayama K, Hashizume H, Tamiya G, Kawame1 H, Suzuki K, Hozawa A, Nakaya N, Kikuya M, Metoki H, Tsuji I, Fuse N, Kiyomoto1 H, Sugawara1 J, Tsuboi1 A, Egawa S, Ito K, Chida K, Ishii T, Tomita H, Taki Y, Minegishi N, Ishii N, Yasuda J, Igarashi K, Shimizu R1,2, Nagasaki M1, Koshiba S1, Kinoshita K1, Ogishima S1, Takai-Igarashi T1, Tominaga T, Tanabe O, **Ohuchi N**, Shimosegawa T, Kure S, Tanaka H, Ito S, Hitomi J, Tanno K, Nakamura M8,9, Ogasawara K8,9, Kobayashi S, Sakata K, Satoh M, Shimizu A, Sasaki M, Endo R, Sobue K, the Tohoku Medical Megabank Project Study Group, and Masayuki Yamamoto. The Tohoku Medical Megabank Project: Design and Mission, *J Epidemiol*, 2016; 26(9): 493-511. doi:10.2188/jea.JE20150268, 2016
333. Maida K, Akamatsu Y, Hara Y, Tokodai K, Miyagi S, Kashiwadate T, Miyazawa K, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Short oxygenated warm perfusion with prostaglandin e1 administration before cold preservation as a novel resuscitation method for liver grafts from donors after cardiac death in a rat in vivo model. *Transplantation*. 2016 May; 100(5): 1052-8, 2016
334. Miyagi M, Shimizu K, Miyazawa K, Kakizaki Y, Fujio A, Hara Y, Nakanishi C, Goto H, Kamei T, Kawagishi N, **Ohuchi N**, and Satomi S. The reconstruction of hepatic arteries using extra-anatomical free autografts in living donor liver transplantation. *J Transplant Technol Res* 2016, 7:2, 157 doi.org/10.4172/2161-0991.1000157, 2016
335. Tokodai K, Narimatsu H, Nishida A, Takaya K, Hara Y, Kawagishi N, Hashizume E, **Ohuchi N**. Risk Factors for Recurrence in Stage II/III Colorectal Cancer Patients Treated With Curative Surgery: The Impact of Postoperative Tumor Markers and an Infiltrative Growth Pattern. *Journal of Surgical Oncology*, 2016 Sep; 114(3):368-74
336. Tokodai K, Kawagishi N, Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Fujio A, Kashiwadate T, Maida K, Goto H,

- Kamei T, **Ohuchi N**. The Significance of Screening for Human Leukocyte Antigen Antibodies in the Long-term Follow-up of Pediatric Liver Transplant Recipients. *Transplantation Proceedings*, 48, 1139-1141 (2016)
337. Tokodai K, Kawagishi N, Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Fujio A, Kashiwada T, Maida K, Goto H, Kamei T, **Ohuchi N**. Poor Long-Term Outcomes of Adult Liver Transplantation Involving Elderly Living Donors. *Transplantation Proceedings*, 48, 1130-1133, 2016.
338. Miyagi S, Kawagishi N, Kashiwada T, Fujio A, Tokodai K, Hara Y, Nakanishi C, Kamei T, **Ohuchi N**, Satomi S. Relationship Between Bile Duct Reconstruction and Complications in Living Donor Liver *Transplant Proc.* 48 (4): 1166-1169, 2016.
339. Miyagi S, Fujio A, Tokodai K, Hara Y, Nakanishi C, Goto H, Kamei T, Kawagishi N, **Ohuchi N**, Satomi S. Successful case of somatostatin analog stopping gastrointestinal bleeding, one of the most frequent complications after simultaneous pancreas-kidney transplantation. *Transplant Proc.* 48 (3):985-7, 2016.
340. Shimizu K, Miyagi S, Miyazawa K, Maida K, Kashiwada T, Hara Y, Goto M, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Resveratrol prevents warm ischemia-reperfusion injury in liver grafts from non-heart-beating donor rats. *Transplantation proceedings* 48(4)1221-1225, 2016
341. Nakagawa S, Miki Y, Miyashita M, Hata S, Takahashi Y, Rai Y, Sagara Y, Ohi Y, Hirakawa H, Tamaki K, Ishida T, Watanabe M, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Tumor microenvironment in invasive lobular carcinoma: possible therapeutic targets. *Breast Cancer Res Treat*, 155:65–75, 2016
342. Miyashita M, Gonda K, Tada H, Watanabe M, Kitamura N, Kamei T, Sasano H, Ishida T, **Ohuchi N**. Quantitative diagnosis of HER2 protein expressing breast cancer by single-particle quantum dot imaging. *Cancer Medicine*, 5 (10): 2813–2824, 2016
343. Nakano T, Sato C, Yamada M, Nakagawa A, Yamamoto H, Fujishima H, Tominaga T, Satomi S and **Ohuchi N**. A laser-induced pulsed water jet for layer-selective submucosal dissection of the esophagus. *Laser Therapy*, 25 (3): 185-191, 2016
344. Kobayashi Y, Morimoto H, Nakagawa T, Kubota Y, Gonda K, **Ohuchi N**. Fabrication of gadolinium hydroxide nanoparticles using ion-exchange resin and their MRI property. *J Asian Ceramic Societies* 4; 138-142, 2016
345. Sekiguchi A, Sato C, Matsudaira I, Kotozaki Y, Nouchi R, Takeuchi H, Kaiwa M, Tada H, Ishida T, Taki Y, **Ohuchi N**, Kawashima R. Postoperative hormonal therapy prevents recovery of neurological damage after surgery in patients with breast cancer. *Scientific Reports* 6:34671 | DOI: 10.1038/srep34671, 2016
346. Ohta M, Nakanishi C, Kawagishi N, Hara Y, Maida K, Kashiwada T, Miyazawa K, Yoshida S, Miyagi S, Hayatsu Y, Kawamoto S, Matsuda Y, Okada Y, Saiki Y, **Ohuchi N**. Surgical resection of recurrent extrahepatic hepatocellular carcinoma with tumor thrombus extending into the right atrium under cardiopulmonary bypass: a case report and review of the literature. *Surgical Case Report*, 2(1): 110. DOI 10.1186/s40792-016-0241-7, 2016
347. Miyashita M, Gonda K, Tada H, Watanabe M, Kitamura N, Kamei T, Sasano H, Ishida T, **Ohuchi N**. Quantitative diagnosis of HER2 protein expressing breast cancer by single-particle quantum dot imaging. *Cancer Medicine*, 5(10): 2813–2824, 2016
348. Hikage M, Kamei T, Nakano T, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Sakurai T, Teshima J, Ito S, Niizuma N, Okamoto H, Fukutomi T, Yamada M, Maruyama S, **Ohuchi N**. Impact of routine recurrent laryngeal nerve monitoring in prone esophagectomy with mediastinal lymph node dissection. *Surgical Endoscopy*, DOI 10.1007/s00464-016-5317-8, 2016
349. Iwabuchi E, Miki Y, Ono K, Onodera Y, Suzuki T, Hirakawa H, Ishida T, **Ohuchi N**, Sasano H. In situ detection of estrogen receptor dimers in breast carcinoma cells in archival materials using proximity ligation assay (PLA). *J Steroid Biochem Mol Biol.* pii: S0960-0760(16)30152-2. doi: 10.1016/j.jsbmb.2016.05.022. PMID: 27264933, 2016
350. Akamatsu D, Goto H, Kamei T, Miyagi S, Tsuchida K, Kawamura K, Tajima Y, Umetsu M, Watanabe T, **Ohuchi**

- N. Efficacy of iliac inflow repair in patients with concomitant iliac and superficial femoral artery occlusive disease. *Asian J Surg*. pii: S1015-9584 (16) 30176-2, 2016
351. Sato F, Arinaga Y, Sato N, Ishida T, **Ohuchi N**. The Perioperative Educational Program for Improving Upper Arm Dysfunction in Patients with Breast Cancer at 1-Year Follow-Up: A Prospective, Controlled Trial. *Tohoku J Exp Med*. 2016; 238(3): 229-36, 2016
 352. Takagi M, Miki Y, Miyashita M, Hata S, Yoda T, Hirakawa H, Sagara Y, Rai Y, Ohi Y, Tamaki K, Ishida T, Suzuki T, **Ohuchi N**, Sasano H. Intratumoral estrogen production and actions in luminal A type invasive lobular and ductal carcinomas. *Breast Cancer Res Treat*. 2016 Feb; 156(1): 45-55, 2016
 353. Ozawa Y, Kamei T, Nakano T, Taniyama Y, Miyagi S, **Ohuchi N**. Characteristics of Postoperative Recurrence in Lymph Node-Negative Superficial Esophageal Carcinoma. *World J Surg*. 40(7): 1663-71, 2016
 354. Ujiie N, Nakano T, Kamei T, Ichikawa H, Miyata G, Onodera K, **Ohuchi N**. Thoracoscopic esophagectomy for esophageal cancer with situs inversus totalis: a case report and literature review. *Gen Thorac Cardiovasc Surg*. 64(6): 359-62, 2016
 355. Saito R, Miki Y, Hata S, Ishida T, Suzuki T, Ohuchi N, Sasano H. Aryl hydrocarbon receptor induced intratumoral aromatase in breast cancer. *Breast Cancer Res Treat*, PMID: 27900579, 2016.
 356. Nakano T, Sato C, Sakurai T, Kamiya K, Kamei T, **Ohuchi N**. Thoracoscopic esophageal repair with barbed suture material in a case of Boerhaave's syndrome. *Journal of Thoracic Disease*, 8 (12): 1576-1580, 2016
 357. Uchida H, Machida M, Miura T, Kawasaki T, Okazaki T, Sasaki K, Sakamoto S, **Ohuchi N**, Kasahara M, Umezawa A, Akutsu H. A xenogeneic-free system generating functional human gut organoids from pluripotent stem cells. *JCI Insight*. 2017; 2(1) <<http://insight.jci.org/2/1>>:e86492. doi:10.1172/jci.insight.86492, 2017
 358. Kakugawa Y, Tada H, Kawai M, Suzuki T, Nishino Y, Kanemura S, Ishida T, **Ohuchi N**, Minami Y. Associations of obesity and physical activity with serum and intra-tumoral sex steroid hormone levels among postmenopausal women with breast cancer: analysis of paired serum and tumor tissue samples. *Breast Cancer Res Treat*, DOI 10.1007/s10549-016-4094-3, 2017
 359. Ishida H, Kasajima A, Kamei T, Miura T, Oka N, Yazdani S, Ozawa Y, Fujishima F, Sakurada A, Nakamura Y, Tanaka Y, Kurosumi M, Ishikawa Y, Okada Y, **Ohuchi N**, Sasano H. SOX2 and Rb1 in esophageal small-cell carcinoma: their possible involvement in pathogenesis. *Modern Pathol*, advance online publication, 20 January 2017; doi:10.1038/modpathol.2016.222, 2017
 360. Tamaki K, Fukuyama A, Terukina S, Kamada Y, Uehara K, Miwa Arakaki M, Yamashiro K, Minoru Miyashita M, Takanori Ishida T, McNamara KM, **Ohuchi N**, Tamaki N, Sasano H. Randomized trial of aromatherapy vs. conventional care for breast cancer patients during perioperative periods. *Breast Cancer Res Treat*, (in press)
 361. Tajima Y, Goto H, Ohara M, Hashimoto M, Akamatsu D, Shimizu T, Miyama N, Tsuchida K, Kawamura K, Umetsu M, Suzuki S, **Ohuchi N**. Positive correlation between oral steroids and the expansion of abdominal aortic aneurysms. *Circulation Journal* (in press)
 362. Sato K, Miyashita M, Ishida T, Ohuchi N, et al. Prognostic significance of the progesterone receptor status in Ki67-high and -low Luminal B-like HER2-negative breast cancers. *Breast Cancer*, 23 (2): 310-317, MAR 2016
 363. Akiyama M, Hayatsu Y, Sakatsume K, Ohuchi N, et al. Graft placement with an omental flap for ruptured infective common iliac aneurysm in a patient with a continuous flow left ventricular assist device: alternative surgical approach avoiding driveline injury and pathogen identification by 16S ribosomal DNA gene analysis. *J Artificial Organs*, 19(4): 383-386, DEC 2016
 364. Iwabuchi E, Miki Y, Ono K, Ohuchi N, et al. In situ detection of estrogen receptor dimers in breast carcinoma cells in archival materials using proximity ligation assay (PLA). *J Steroid Biochem Mol Biol*, 165: 159-169, JAN 2017

365. Shibahara Y, Sugawara Y, Miki Y, Ohuchi N, et al. Analysis of multiple primary cancer autopsy cases associated with breast cancer: 2002-2010. *Pathol International* 66 (12): 695-700, DEC 2016

研究論文(～2017 年2 月)

和文・原著

1. 大内憲明、手塚文明、高橋徹、京極方久、阿部力哉、葛西森夫。乳癌および関連病変の組織構築：3次元復構による構造異型の解析。癌の臨床、28:1716-1724, 1982.
2. 大内憲明、阿部力哉、葛西森夫、手塚文明、高橋徹。乳管内増殖性病変の次元復構：特に乳頭腫の発生部位と進展様式について。日本外科学会雑誌、84:500-507, 1983.
3. 阿部力哉、木村道夫、石井洋、中村隆、秋元実、上沖修三、沢野彰、大内憲明。局所進行乳癌に対する動脈内制癌剤注入の方法。手術、37:457-462, 1983.
4. 大内憲明、阿部力哉、高橋徹、手塚文明、京極方久。乳管内乳頭腫からの癌発生に関する研究。日本外科学会雑誌、85:175-181, 1984.
5. 阿部力哉、上沖修三、大内憲明。脂質分泌乳癌。癌の臨床、30:1713-1719, 1984.
6. 大内憲明。乳癌および乳頭腫の組織構築と発生部位：形態学的ならびに組織化学的研究。日本外科学会雑誌、85:1393-1404, 1984.
7. 丹正義、西平哲朗、大森典夫、蔵本純一、秋元実、大内憲明、岩崎秀康、阿部力哉、葛西森夫、藤本秀江、遠藤栄子、柿坂光彦。癌患者における acid soluble proteins (ASP) 測定の意義。最新医学、39:563-564, 1984.
8. 大内憲明、高橋堅治、的場直矢、森昌造。血清中における腫瘍関連抗原 TAG-72 の発現：RIA キット CA72-4 を用いた基礎的検討。癌と化学療法、15:2761-2766, 1988.
9. 大内憲明、的場直矢、平幸雄、高橋堅治、酒井信光、佐藤馨、藤田直孝、望月福治、西平哲朗、森昌造。癌患者血清における腫瘍関連抗原 TAG-72 の発現：RIA キット CA72-4 を用いた臨床的検討。癌と化学療法、15:2767-2772, 1988.
10. 俣野重雄、秋元実、大内憲明、平川久、阿部基、原田雄功、森昌造。進行乳癌に対する局所動注療法の長期生存例の検討。癌と化学療法、16:2917-2919, 1989.
11. 俣野重雄、秋元実、平川久、大内憲明、阿部基、西平哲朗、森昌造。Estrogen receptor 陽性ヒト乳癌培養細胞株 HMA-1 の樹立とその性状。医学のあゆみ、150:229-230, 1989.
12. 秋元実、大内憲明、俣野重雄、平川久、阿部基、西平哲朗、森昌造。宿主栄養状態と 5-FU の腫瘍内濃度毒性発現に関する実験的検討。癌と化学療法、16:3609-3613, 1989.
13. 大内憲明、井田伸夫、鈴木精義、設楽光男、上沖修三、原田雄功、阿部基、平川久、俣野重雄、秋元実、森昌造。乳癌における CA15-3 enzyme immunoassay の基礎的ならびに臨床的検討。乳癌の臨床、5:293-298, 1990.
14. 大内憲明、森昌造。乳癌および異型病変に対する選択的乳腺区域切除術。外科診療、32:815-820, 1990.
15. 阿部基、秋元実、大内憲明、平川久、生垣久範、原田雄功、森昌造。腫瘍占拠部位と n 因子の予後の関係。乳癌の臨床、5:463-465, 1990.
16. 大内憲明、佐藤真一、佐藤孝子、的場直矢、望月福治。胃癌および結腸癌における CA19-9 の発現：免疫組織化学的検討。医学と薬学、24:1487-1490, 1990.
17. 阿部基、秋元実、大内憲明、俣野重雄、平川久、古田昭彦、西平哲朗、森昌造。OK-432 大量投与による vascular leak syndrome の検討。Biotherapy, 5:912-915, 1991.
18. 秋元実、西平哲朗、平川久、阿部基、大内憲明、森昌造。乳癌の肝転移に対する OK-432 大量局注と rIL-2 肝動注による免疫療法の効果とその機序。日本外科学会雑誌、92:64-74, 1991.
19. 大内憲明、森昌造。癌の DNA 診断：乳癌の DNA 解析。癌と化学療法、18:30-36, 1991.
20. 平川久、秋元実、麻生久、石井二三男、阿部基、大内憲明、森昌造。宿主要因としての低蛋白栄養による lentinan の効果修飾。Biotherapy, 5:235-239, 1991.

21. 大内憲明、阿部基、原田雄功、古田昭彦、生垣久範、森昌造。乳癌患者血清における c-erbB-2 蛋白の発現。日本外科学会雑誌、92:1530, 1991.
22. 武田元博、松本恒、大内憲明、阿部基、古田昭彦、原田雄功、生垣久範、森昌造。乳癌骨転移の MRI。乳癌の臨床、6:116-124, 1991.
23. 原田雄功、大内憲明、阿部基、古田昭彦、生垣久範、森昌造。乳癌予後因子としての c-erbB-2 遺伝子産物と TAG-72 抗原。乳癌の臨床、6:347-349, 1991.
24. 阿部基、大内憲明、力石秀美、原田雄功、熊谷勝男、森昌造。乳癌転移と血清 IL-6。日本外科学会雑誌、93:107, 1992.
25. 大内憲明、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、上沖修三、椎葉健一、森昌造。マンモグラフィによる乳癌集団検診の試み（第一報）。日乳癌検診学会誌、1:185, 1992.
26. 吉田弘一、木村道夫、大内明夫、大内憲明、上沖修三、椎葉健一、森昌造。宮城県における集団検診の現状。日乳癌検診学会誌、1:184, 1992.
27. 大内憲明、平川久、阿部基、古田昭彦、原田雄功、生垣久範、森昌造。乳癌胸壁再発に対する胸壁全層切除術の成績と予後因子の検討。日本外科学会雑誌、94:745-750, 1993.
28. 大内憲明、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、上沖修三、椎葉健一、森昌造。乳がん検診における新展開：画像診断併用による乳がん検出率の向上。日乳癌検診学会誌、2:109, 1993.
29. 吉田弘一、木村道夫、大内明夫、大内憲明、上沖修三、椎葉健一、森昌造。マンモグラフィによる高危険群の重点的検診。日乳癌検診学会誌、2:107, 1993.
30. 小川美樹、山下恵子、菊地一恵、吉田弘一、大内憲明、坪野吉孝。乳がん自己検診の普及度に関する調査とその分析。日乳癌検診学会誌、2:185, 1993.
31. 大内憲明、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、上沖修三、椎葉健一、松野正紀、森昌造。マンモグラフィ併用検診の精度と問題点。日乳癌検診学会誌、3:201-204, 1994.
32. 大貫幸二、大内憲明、吉田弘一、木村道夫、松野正紀、森昌造。一方向マンモグラフィでの病変検出率とその背景因子の検討：マンモグラフィの一次検診導入に向けて。日乳癌検診学会誌、3:33-37, 1994.
33. 佐藤仁、原田精一、原口雅行、大内憲明、大貫幸二。マンモグラフィ導入検診における撮影実施上の問題点。日乳癌検診学会誌、3:17-19, 1994.
34. 大内憲明、古田昭彦、森昌造。乳癌の乳管内進展：乳房温存術における危険因子。癌と化学療法、21:183-189, 1994.
35. 田枝督教、大内憲明、能勢真人、森昌造。乳癌細胞における b1-6 分岐糖鎖の発現：3次元培養法を用いた細胞-関質間相互反応の解析。乳癌の臨床、9:269-271, 1994.
36. 石田孝宣、大内憲明、田枝督教、原田雄功、森昌造。表面抗原の免疫組織化学的検討による乳腺、大腸重複癌術後症例における肝転移巣の原発診断。乳癌の臨床、9:488-492, 1994.
37. 標葉隆三郎、高屋潔、森昌造、平幸雄、酒井信光、岡崎肇、木村道夫、渡辺至、大内憲明、市来正隆、鈴木博、石井洋、秋元実、豊田統夫、並木健二、金田巖、遠藤渉。外科領域の DIC に対するアンチトロンビン III 濃縮製剤（アンスロビン P）の有用性の検討。新薬と臨床、44:51-58, 1995.
38. 大内憲明、石田孝宣、森昌造。乳がん診療における説明と同意：アンケート調査による日本の現状。外科 57:567-571, 1995.
39. 大内憲明。乳管小葉区域切除術 (Duct-lobular segmentectomy)。手術、49 (12): 1061-1065, 1995.
40. 大貫幸二、大内憲明、平川久、森昌造。初発進行乳癌に対する動注免疫化学療法の治療経験。乳癌の臨床、10:94-95, 1995.
41. 古田昭彦、石田孝宣、大内憲明。乳房温存療法の治療成績：病理学的因子との関連を中心に。乳癌の臨床、10 (4): 606-613, 1995.
42. 大内憲明、大貫幸二、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、椎葉健一、里見進、松野正紀。早期乳癌比率と中間期乳がん発生率からみたマンモグラフィ併用検診の適正な検診間隔。日乳癌検診学会誌 5(2): 245-248, 1996.

43. 大貫幸二、**大内憲明**、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、椎葉健一、横田憲一、松野正紀。マンモグラフィ併用検診における中間期乳癌：視触診による検診との比較。日乳癌検診学会誌、5(1): 69-74, 1996.
44. 木村道夫、吉田弘一、大内明夫、**大内憲明**、椎葉健一、松野正紀、武田鉄太郎。早期乳癌発見を目的とした集団検診(宮城県対がん協会方式)。日乳癌検診学会誌、5(1): 17-22, 1996.
45. 竹花教、木村道夫、平川久、大谷明夫、**大内憲明**、里見進。乳癌組織における urokinase-type plasminogen activator 受容体(uPAR)の発現局在と臨床病理学的因子との関連。外科治療、74(6): 978-979, 1996.
46. 石田孝宣、**大内憲明**、古田昭彦、里見進。多数切片による乳癌病巣の拡がり：断端検索と乳房温存術後の乳房内再発との関連。乳癌の臨床、11: 761-765, 1996.
47. 大貫幸二、**大内憲明**、吉田弘一、木村道夫、大内明夫、椎葉健一、菅原暢、松野正紀、里見進。スクリーニングマンモグラフィ上の石灰化への対応：診断精度の向上をめざして。日乳癌検診学会誌、6: 43-49, 1997
48. **大内憲明**、遠藤登喜子、辻一郎、松本徹、森本忠興、福田護、飯沼武、大貫幸二、黒石哲生、堀田勝平、館野之男。マンモグラフィ導入による乳癌検診の問題点と対策：厚生省班研究報告。日乳癌検診学会誌、6: 137-143, 1997.
49. 大貫幸二、辻一郎、**大内憲明**、黒石哲生、飯沼武、深尾彰、里見進、久道茂。乳癌検診の費用効果分析。日乳癌検診学会誌、6: 145-151, 1997.
50. 天野吾郎、石橋忠司、**大内憲明**。新しい画像処理による乳癌進展の解析と乳房温存療法への応用。INNERVISION 12 (8): 76, 1997.
51. 天野吾郎、**大内憲明**、石田孝宣、石橋忠司、里見進。3次元MRIによる乳癌進展の解析：多数切片作製による病理組織像との対応。乳癌の臨床、12: 640-641, 1997.
52. **大内憲明**、飯沼武、森本忠興、大貫幸二、黒石哲生。49歳以下のマンモグラフィ検診による死亡リスク減少効果：欧米における臨床試験のレビュー。日乳癌検診学会誌、7: 13-23, 1998.
53. 遠藤登喜子、岩瀬拓士、大貫幸二、小田切邦雄、角田博子、東野英利子、**大内憲明**。乳房画像診断用語集 Breast imaging lexicon。日乳癌検診学会誌、7: 63-70, 1998.
54. 遠藤登喜子、岩瀬拓士、大貫幸二、小田切邦雄、角田博子、東野英利子、松本満臣、横江隆夫、**大内憲明**。検診マンモグラムにおける読影所見の記載方法 Reporting system。日乳癌検診学会誌、7: 71-73, 1998.
55. 遠藤登喜子、岩瀬拓士、大貫幸二、小田切邦雄、角田博子、東野英利子、松本満臣、横江隆夫、**大内憲明**。マンモグラム読影医師の実態調査報告。日乳癌検診学会誌、7: 257-266, 1998.
56. 原田雄功、金田巖、**大内憲明**、里見進。広背筋組織弁を用いた一期的乳房形成術。手術、52(6): 839-843, 1998.
57. **大内憲明**、遠藤登喜子、東田善治、堀田勝平、今村恵子、館野之男、飯沼武。マンモグラフィによる乳癌検診を実施するにあたっての実態調査：厚生省班研究報告。日本乳癌検診学会誌、8: 15-22, 1999.
58. 今村恵子、福田護、遠藤登喜子、小山内司郎、東田善治、緒方晴樹、中山義昭、中島康雄、松本徹、**大内憲明**。マンモグラフィの精度管理のためのファントム画像データベース第3報：デジタル評価と視覚評価。日乳癌検診学会誌、8(1): 63-70, 1999.
59. 加藤二久、松本満臣、東田善治、西澤かな枝、朝原正喜、荻原明、寺田央、堀田勝平、鈴木隆二、今村恵子、秋山芳久、西谷源展、壽藤紀道、加藤浩、**大内憲明**。乳房撮影線量の全国調査。日乳癌検診学会誌、8(2): 165-173, 1999.
60. 辻一郎、金村政輝、**大内憲明**、武井寛幸、横江隆夫、鯉淵幸夫、大貫幸二、深尾彰、里見進、久道茂。視触診法による乳癌検診の死亡率減少効果に関する評価。日乳癌検診学会誌、8(2): 135-140, 1999.

61. 古田明美、石橋忠司、高橋昭喜、山田章吾、**大内憲明**、天野吾郎、後藤邦彦、渡辺みか。乳癌 MRI 画像における造影剤増強効果と癌組織内の血管新生に関する研究。日本医学放射線学会誌、59 (12): 682-688, 1999.
62. 原田雄功、**大内憲明**、大貫幸二、天野吾郎、清原博史、吉田龍一、古田昭彦、生垣久範、木島穰二、里見進。進行・再発乳癌に対する少量・毎週 Decetaxel と 5'-DFUR 併用療法に関する臨床的検討。癌と化学療法、27 (4): 579-584, 2000.
63. 辻一郎、**大内憲明**、金村政輝、久道茂。マンモグラフィ検診における成績評価システムに関する提言。日乳癌検診学会誌、9 : 41-49, 2000
64. **大内憲明**、大貫幸二、堀田勝平。マンモグラフィによる乳がん検診の手引書 (精度管理マニュアル) の提言と実践。日乳癌検診学会誌、9 : 11-23, 2000
65. **大内憲明**。乳癌検診の現状と問題点。癌の臨床 46 (5): 499-508, 2000.
66. 堀田勝平、石岡亮、萩原明、寺田央、八木浩史、**大内憲明**。撮影技術に関して解決すべき諸問題。日乳癌検診学会誌、9 : 33-39, 2000
67. 東田善治、萩原明、朝原正喜、今村恵子、寺田央、堀田勝平、鈴木隆二、加藤二久、畑田俊和、田中勇、野村純恵、玉丸君子、**大内憲明**。マンモグラフィを用いた乳癌検診システムの確立のための画質調査。日乳癌検診学会誌、9: 211-218, 2000.
68. 東田善治、萩原明、朝原正喜、今村恵子、寺田央、堀田勝平、鈴木隆二、加藤二久、秋山芳久、西谷源展、西澤かな枝、**大内憲明**。乳房 X 線撮影線量の全国調査 : 線量に与える因子の解析。日乳癌検診学会誌、9 : 281-286, 2000
69. **大内憲明**。マンモグラフィによる乳がん検診の精度管理と費用効果。日本がん検診・診断学会雑誌、7: 5-11, 2000.
70. 朝原正喜、星川敦司、東田善治、三木章弘、門田俊秀、加藤二久、萩原明、寺田央、堀田勝平、鈴木隆二、今村恵子、**大内憲明**。乳房撮影用フィルムにおける写真特性と現像条件に関する実験的研究。日乳癌検診学会誌、9: 237-245, 2000.
71. 大貫幸二、**大内憲明**、木村道夫、大内明夫、椎葉健一、菅原暢、原田雄功、松野正紀、里見進。40 歳代と 50 歳代以上のマンモグラフィ併用検診の比較。日乳癌検診学会誌、9: 139-145, 2000.
72. **大内憲明**。マンモグラフィによる乳がん検診の精度管理と費用効果。日本がん検診診断学会誌、7 (2): 36-42, 2000.
73. **大内憲明**、天野吾郎、石橋忠司。乳癌における血管新生と MRI 画像特性に関する研究。Innervision、15 : 79-80, 2000
74. 田中耕策、萩原明、今村恵子、寺田央、朝原正喜、東田善治、鈴木隆二、加藤二久、堀田勝平、**大内憲明**。マンモグラフィ精度管理のためのファントム画像においてみられたアーチファクトの分析。日乳癌検診学会誌、10: 123-128, 2001.
75. 森本忠興、遠藤登喜子、岡崎正敏、福田護、**大内憲明**、堀田勝平。マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の役割について。日乳癌検診学会誌、10 (1): 71-87, 2001.
76. 江原範重、依光和夫、今村恵子、**大内憲明**、中島康雄。マンモグラフィファントム画像の画質評価のための自動計測。Jpn J Med Physics 21: 159-161, 2001
77. 古妻嘉一、野口眞三郎、弥生恵司、増田慎三、中谷守一、竹下正憲、寺田央、森本健、沢井清司、遠藤登喜子、**大内憲明**。アンケート調査によるマンモグラフィ読影講習会の精度管理。日乳癌検診学会誌、10: 89-99, 2001.
78. 辻一郎、小泉亮、**大内憲明**。欧米における乳癌検診の効果評価をめぐる最近の動向。日乳癌検診学会誌、10: 159-164, 2001.
79. 原田雄功、**大内憲明**。Tumor dormancy therapy としての Decetaxel 少量毎週投与。日本外科系連合学会誌、26 (2): 197-202, 2001.
80. 大貫幸二、小泉亮、**大内憲明**、久道茂、松野正紀、千田典男、安田恒人、藤原朋子、石橋和雄。開業医 (医師会) が行う視触診へのマンモグラフィ導入の結果。日乳癌検診学会誌、10: 248-252, 2001.

81. 古関義人、根東義明、**大内憲明**。宮城県における医療用ASP網(みやぎメディカルメール)の構築。Innervision, 16 (7): 96-99, 2001.
82. **大内憲明**、渋谷一誠、木村晴茂、鬼怒川博久、國井康男、大貫幸二、大澤寛寿、酒井信光、高木靖、永井宏。医師会型マンモグラフィ併用検診：Miyagi Trial から Sendai Trial へ。日乳癌検診学会誌、11：48-55、2002.
83. 遠藤登喜子、**大内憲明**、辻一郎、東野英利子、福田護、藤田広志、市原周、高橋かおる、朝戸裕。50歳未満の適正な乳がん検診のあり方に関する研究中間報告。日乳癌検診学会誌、11:137-142, 2002.
84. 大貫幸二、**大内憲明**、木村道夫、大内明夫、椎葉健一、松野正紀。40歳代のマンモグラフィ併用検診における検診間隔の検討。日乳癌検診学会誌、11: 143-148, 2002.
85. 古関義人、根東義明、**大内憲明**。地域医療連携を目指す電子カルテモデル事業の展開 - 宮城県地区における取り組み。Innervision 17 (7): 113-116, 2002.
86. 齋藤美穂子、山田隆之、大貫幸二、石橋忠司、**大内憲明**。Digital mammography。乳癌の臨床、17 (4): 291-295, 2002.
87. 齋藤美穂子、大貫幸二、山田隆之、齋藤春夫、石橋忠司、**大内憲明**、高橋昭喜。マンモグラフィ併用検診における computer-aided detection (CAD) system の有用性。日乳癌検診学会誌、11 (3): 251-256, 2002.
88. 金殷植、藤盛啓成、**大内憲明**、水野豊、関口悟、川岸直樹、大河内信弘、里見進。膵管内 Collagenase 注入による消化法と Dextran 不連続濃度勾配法によるラット膵島分離法および腎被膜下移植法の工夫。移植 37 (4), 171-176、2002.
89. 古関義人、根東義明、**大内憲明**、根本健二。宮城県における ASP の構築。Digital Medicine 7: 40-41, 2002
90. 大森芳、**大内憲明**、辻一郎。がん検診精度管理のためのコンピュータシステムの開発。日乳癌検診学会誌、12 (1): 16-25 2003.
91. 古妻嘉一、遠藤登喜子、岩瀬拓士、大貫幸二、永井宏、東野英利子、角田博子、大村峰夫、増田慎三、中谷守一、森本忠興、**大内憲明**。マンモグラフィ読影講習会の精度管理の現状と改善策の検討。日乳癌検診学会誌、12 (1): 30-37, 2003.
92. 大貫幸二、黒沢郁夫、渋谷大助、松野正紀、**大内憲明**。乳癌検診における精密検査の精度についての検討。日乳癌検診学会誌、12 (1): 88-93, 2003.
93. 長谷川志賀子、大貫幸二、水窪純、北見淳、大山勝彦、小泉亮、**大内憲明**。マンモグラフィの年齢階級別、乳房の構成要素別(乳腺と脂肪の比)における乳癌描出能の検討。日乳癌検診学会誌、12 (1): 101-107, 2003.
94. 森島勇、角田博子、遠藤登喜子、東野英利子、大貫幸二、岩瀬拓士、**大内憲明**。マンモグラフィ講習会改善点の検討。日乳癌検診学会誌、12 (1): 94-100, 2003.
95. 森谷卓也、遠藤希之、武山淳二、小熊光恵、石田和之、荻谷嘉之、大島瑞穂、阿部薫夫、平川久、木村道夫、**大内憲明**、笹野公伸。非浸潤性乳管癌の臨床病理学的特徴。臨床放射線、48(7): 810-819, 2003.
96. 辻一郎、坪野吉孝、**大内憲明**。乳癌検診の有効性に関する欧米の論争—それをどう考えるか—。日乳癌検診学会誌、12 (2): 177-183, 2003.
97. 石田孝宣、大貫幸二、武田元博、鈴木昭彦、**大内憲明**。原発巣からみた転移性肝癌に対する治療方針；乳癌。日本外科学会雑誌、104 (10): 707-710、2003.
98. 遠藤希之、森谷卓也、大貫幸二、**大内憲明**、笹野公伸。非浸潤性乳管癌と異型乳管過形成の病理。臨床画像 19(9): 926-936, 2003 総説
99. **大内憲明**、石田孝宣、大貫幸二、武田元博、石橋忠司。非浸潤性乳管癌・放射線科医師に直面する課題と展望。臨床放射線、48 (7): 803-809, 2003.
100. 森谷卓也、遠藤希之、坂元和宏、渡辺みか、鈴木貴、三上芳喜、平川久、木村道夫、**大内憲明**、笹野公伸。異型乳管過形成 (ADH) の病理診断と臨床的対応。乳癌の臨床 18(5):387-395,2003。

101. **大内憲明**。婦人科がんスクリーニングの有用性と問題点：マンモグラフィスクリーニングの現状と課題。日本産科婦人科学会雑誌、55 (2): 150-151, 2003
102. 黒住昌史、秋山太、市原周、小山徹也、越川卓、津田均、林透、森谷卓也、嵩真佐子、**大内憲明**、遠藤登喜子。乳がん検診体制における病理診断の位置付けに関するアンケート調査集計。日乳癌検診学会誌、12 (2): 224-228, 2003.
103. 岡崎正敏、石栗一男、今村恵子、遠藤登喜子、**大内憲明**、大貫幸二、王丸明子、小田切邦雄、寺田央、土橋一慶、福田護、堀田勝平、森本忠興。マンモグラフィ検診精度管理中央委員会(精中委)施設画像評価委員会の活動状況。日本がん検診・診断学会誌、10: 176-182、2003。
104. 庄子由美、梅澤昭子、星邦彦、根本建二、**大内憲明**。私の病院の取り組み：医療の安全文化をいかに醸成するか。医療マネジメント学会雑誌、4 (3): 445-449 2003
105. 今村恵子、寺田央、岡崎正敏、堀田勝平、遠藤登喜子、東野英利子、大貫幸二、逸見典子、石栗一夫、福田護、森本忠興、**大内憲明**。マンモグラフィ実施機関についての施設認定について。新医療、4:2-5, 2004
106. **大内憲明**。世界の乳癌検診の現状と成果。日乳癌検診学会誌、13 (1): 9-17, 2004.
107. 飯沼武、大貫幸二、**大内憲明**、遠藤登喜子。40-49 歳女性の 2 年間隔マンモグラフィ検診の有効性。日乳癌検診学会誌、13 (1): 47-57, 2004.
108. 大貫幸二、石田孝宣、武田元博、椎葉健一、松野正起、川名聡、菊地敦子、渋谷大助、**大内憲明**。受診歴別から見た乳癌検診の精度管理。日乳癌検診学会誌、13 (1): 58-62, 2004.
109. 古妻嘉一、遠藤登喜子、岩瀬拓士、大貫幸二、永井宏、東野英利子、角田博子、大村峰夫、増田慎三、中谷守一、森本忠興、**大内憲明**。マンモグラフィ検診の精度管理におよぼす読影講習会企画の意義。日乳癌検診学会誌、13 (1): 63-68, 2004.
110. 宇佐美伸、大貫幸二、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、原田雄功、平川久、椎葉健一、大内明夫、渋谷大助、松野正紀、**大内憲明**。微細石灰化像の基礎と臨床：検診発見の微細石灰化病変に対する診断方法についての検討。日本乳癌検診学会誌、13(2): 176-183 2004.
111. 小田原記子、大貫幸二、原田雄功、斉藤千春、針生一恵、高橋久子、鈴木昭彦、島田剛延、西野善一、松野正紀、**大内憲明**、渋谷大介。スクリーニングマンモグラフィ呼び出し受診者に対する意識調査。日本乳癌検診学会誌、13(3): 265-271 2004.
112. 鬼怒川博久、大貫幸二、渋谷一誠、永井宏、大沢寛寿、伊藤賢司、酒井信光、宮川菊雄、**大内憲明**。医師会型マンモグラフィ併用乳癌検診における精度管理。日本乳癌検診学会誌、14 (2): 142-148, 2005.
113. 柴田亜希子、高橋達也、**大内憲明**、深尾彰。地域がん登録を用いた視触診による乳がん検診の評価。日本公衛誌、52(2): 128-136, 2005
114. 大貫幸二、鈴木昭彦、鈴木聡長、長谷川圭三、大山勝彦、石田孝宣、武田元博、松野正起、渋谷大助、**大内憲明**。日常業務における技師個人別のポジショニング評価。日乳癌検診学会誌、14(1): 19-23, 2005.
115. **飛松好子**、**本郷道夫**、**山田章吾**、**大内憲明**、林富、篠澤洋太郎、竹内和久、加賀谷豊、藤盛啓成、石井誠一。医学教育における地域連携に基づく早期体験の効果 1 年次と 2 年次との比較。医学教育、36(1): 55-60, 2005
116. 斉藤千春、大貫幸二、高橋久子、針生一恵、鈴木昭彦、松野正紀、**大内憲明**、渋谷大介。要精検者に対する精度管理。日本乳癌検診学会誌、14(2):157-163, 2005.
117. 古妻嘉一、遠藤登喜子、岩瀬拓士、宇津野栄、大貫幸二、東野英利子、角田博子、大村峰夫、笠原善郎、川島博子、鈴木昭彦、田村元、藤光律子、増田慎三、森本忠興、**大内憲明**。アンケート調査によるマンモグラフィ読影講習会の精度管理。日本乳癌検診学会誌、15(3): 268-283, 2005
118. 武藤亮、土井秀之、渡辺道雄、福田かおり、林盛彦、村上和重、阿部立也、福島啓介、関根祐樹、藤盛啓成、**大内憲明**、里見進。副甲状腺機能低下が関節炎に伴う骨量低下に及ぼす影響。内分泌外科、22(2): 100-106, 2005

119. 鈴木昭彦, 大貫幸二, **大内憲明**. 2施設同時併用方式による乳癌検診. 乳癌の臨床, 19(6): 598-599, 2005
120. 酒寄真人, 千葉奈津子, 河原正典, 白石千子, 武田元博, 野水整, 野口慎三郎, **大内憲明**, 竹之下誠一, 石岡千加史. 家族性乳癌の遺伝子検査に関わる問題点. 家族性腫瘍, 6 (1): 7-11, 2006.
121. 栗山進一, 大貫幸二, 鈴木昭彦, 宮本彰, 辻一郎, **大内憲明**. 40歳代超音波乳がん検診の救命効果の検討のためのアンケート調査結果. 日本乳癌検診学会誌, 15(1):100-105, 2006.
122. 森本忠興, 福田護, 岡崎正敏, 遠藤登喜子, **大内憲明**, 光山昌珠, 佐野宗明, 東野絵利子, 今村恵子, 永井宏, 土橋一慶, 堀田勝平, 逸見典子, 今村恵子, 木村千明, 横江隆夫, 岩瀬拓士, 寺田央, 富永祐民, 飯沼武, 坂本吾偉. マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の現状. 日本乳癌検診学会誌, 15(1):4-11, 2006.
123. **大内憲明**. 日本女性の乳癌死を減少させることは可能か. 日本乳癌検診学会誌, 15(1):43-95, 2006.
124. 山本友行, 今村恵子, 藤崎達也, 大内幸敏, 加藤喜弘, 福田護, 中島康雄, 寺田央, 堀田勝平, 岡崎正敏, **大内憲明**. マンモグラフィ精度管理用ファントム画像のコンピュータを用いた画質評価: 2台のデジタイザについての比較. 日本乳癌検診学会誌, 15(2):227-223, 2006.
125. **大内憲明**. 精度及び効率からみた乳がん検診. 日本乳癌検診学会誌, 15(2):148-152, 2006.
126. 福田護, 沢井清司, 高木富美子, 島田菜穂子, 野末悦子, 霞富士雄, 岡崎邦泰, 大村峯夫, **大内憲明**. 自治体調査による乳癌検診の現状: 2002年, 2004年, 2005年の比較. 日本乳癌検診学会誌, 15(2):207-208, 2006.
127. 桜井遊, 武田元博, 小林芳男, 中島護雄, 亀井尚, 粕谷厚生, 川添良幸, **大内憲明**. 新規ナノサイズヨウ化銀ビーズを用いた造影効果とX線センチネルリンパ節生検への応用. 乳癌基礎研究, 15 : 43-47, 2006.
乳癌基礎研究, 15 : 43-47, 2006.
128. 山田章吾, 小川芳弘, 有賀久哲, **大内憲明**, 仲田栄子, 晴山雅人, 白土博樹, 阿部由直, 根本健二, 大西洋, 西村恭昌, 中村和正, 早淵尚文. 早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための研究: 乳癌. Innervation, 21 (7): 25-25, 2006,
129. 栗山進一, 大貫幸二, 鈴木昭彦, 市村みゆき, 森久保寛, 辻一郎, **大内憲明**. シミュレーション分析による40歳代超音波乳がん検診の救命効果及び効率の検討. 日本乳癌検診学会誌, 16(1):93-98, 2007.
130. 石原和子, 内田健夫, **大内憲明**, 小坂健, 垣添忠生, 斎藤博, 澁谷いづみ, 瀬戸山史郎, 吉田紀子. 厚生労働省がん検診事業の評価に関する委員会. 今後のわが国におけるがん検診事業評価の在り方について報告書. 予防医学ジャーナル, 436: 8-22, 2008
131. 内田健夫, **大内憲明**, 垣添忠生, 金子昌弘, 斎藤博, 佐川元保, 祖父江友孝, 坪野吉孝. 市町村事業における肺がん検診の見直しについてがん検診に関する検討会中間報告. 予防医学ジャーナル, 433 : 8-21, 2007
132. **大内憲明**, 鈴木昭彦, 桜井遊, 河合賢朗, 成川洋子, 石田孝宣. がん対策のための戦略研究: 超音波による乳癌検診. 日本乳癌検診学会誌, 17(1): 15-21, 2008.
133. 叢莉蔓, 武田元博, 渡辺みか, **大内憲明**. シリカコーティング蛍光ナノ粒子によるセンチネルリンパ節到達様式の検討. PCEM, 28:11-13, 2008
134. 鈴木昭彦, 伊藤聡彦, **大内憲明**. 乳癌検診システムの精度向上に向けて. 日本乳癌検診学会誌, 18(1): 13-19, 2009.
135. 鈴木昭彦, 桜井遊, 渋谷大助, 石田孝宣, **大内憲明**. デジタルマンモグラフィハードコピー診断をソフトコピー診断に移行する際の影響調査. 日本乳癌検診学会誌, 19(1): 41-46, 2010.
136. **大内憲明**. 乳癌検診: 現在から将来への展望. 日本乳癌検診学会誌, 19(2): 98-107, 2010.

137. 大内憲明、河合賢朗、成川洋子、玉城研太郎、石田孝宣。大規模臨床研究の更なる発展に向けて：がん対策のための戦略研究。東北医学雑誌、122(1): 13-18, 2010
138. 日景充、権田幸祐、武田元博、亀井尚、大内憲明。Fluorescent sentinel lymph node biopsy under endoscopic surgery using nano-objects。東北医学雑誌、122(1): 91-94, 2010
139. 日景充、権田幸祐、武田元博、亀井尚、小林正樹、熊坂増高、濱中洋平、濱田庸、中川智彦、宮田剛、大内憲明。量子ドットを用いたリンパネットワークの微細構造イメージング。ナノ学会会報、9 (1) : 13-17, 2010
140. 石田孝宣、多田寛、甘利正和、大内憲明。乳房温存手術の up to date : LTF 法を用いた再建法。手術、55(5): 557-561, 2011
141. 佐竹洋明、太田みどり、大内憲明、石田孝宣、河合賢朗、伊藤聰彦、古賀詔子。受診率 50%達成に向けて:仙台市の取組み。日本乳癌検診学会誌、20 (2): 102-105, 2011.
142. 雑賀公美子、斎藤博、大内憲明、祖父江友孝。乳癌死ひとりを回避するのに必要な日本人女性のマンモグラフィ検診必要対象者数。日本乳癌検診学会誌、20 (2): 121-126, 2011.
143. 福田幾夫、橋本浩、鈴木保之、里見進、海野倫明、大内憲明、中路重之。東日本大震災における手術室：東北外科集談会からの報告-将来の激甚災害にそなえるために。日本外科学会雑誌、113(2): 241-251, 2012
144. 石田孝宣、鈴木昭彦、大内憲明。乳癌診療 Update—最新診療コンセンサス 2012 : 乳癌検診の現状と今後の展望—次世代の検診システム構築に向けて。医学のあゆみ、242 (1): 11-16, 2012.
145. 鈴木昭彦、石田孝宣、甘利正和、多田寛、渡部剛、玉城研太郎、大内憲明。実現可能で有効な乳癌検診—仙台市乳がん検診で出来たことと今後の課題。日本乳癌検診学会誌、21(1): 17-22, 2012
146. 鈴木昭彦、石田孝宣、大内憲明。乳癌を究める：画像診断 診断精度向上のための注意点。外科、74(7): 685-689, 2012.
147. 多田寛、石田孝宣、大内憲明。乳房温存療法における LTF を用いた一期的乳房形成のテクニック。手術、66(10): 1449-1454, 2012.
148. 中川智彦、権田幸祐、亀井尚、叢莉蔓、久保田洋介、大内憲明。金ナノ粒子を用いた CT イメージング。ナノ学会会報、11(1): 27-30, 2012
149. 中川智彦、権田幸祐、小林芳男、叢莉蔓、亀井尚、猪瀬弘光、長須遼子、大内憲明。CT Imaging of Tumor with Silica-Coated Au Nanoparticle シリカコーティング金粒子によるがん CT イメージング。東北医学会雑誌、124(1): 139-141, 2012
150. 叢莉蔓、権田幸祐、多田寛、濱中洋平、甘利正和、石田孝宣、大内憲明。Imaging of Sentinel Lymph Node in an Animal Model with Silica-Coated Fluorescent Nanoparticles。東北医誌、125:171-173,2013
151. 中島康雄、奥田逸子、戸崎光宏、磯本一郎、門澤秀一、田淵隆、印牧義英、丸山克也、中村清吾、荻野徹男、川島博子、後藤真理子、角田博子、秦博文、横江隆夫、福田護、大内憲明、苛原稔、遠藤登喜子、岡崎稔、小澤信義、笠原善郎、鈴木隆二、須田嵩、園尾博司、田中真紀、玉城信光、丹黒章、辻一郎、東野英利子、古川順康、堀田勝平。乳がん発症ハイリスクグループに対する乳房 MRI スクリーニングに関するガイドライン。日本乳癌検診学会誌、22(2):155-176, 2012
152. 中野徹、小澤洋平、直島君成、亀井尚、宮田剛、大内憲明。食道癌肉腫 7 症例の臨床病理学的検討。日本臨床外科学会雑誌、7(5):1169-1174,2014
153. 大貫幸二、宇佐美伸、若林剛、柏葉匡寛、大内憲明。岩手県における乳癌検診の精度管理と精密検査体制への取り組み。日本乳癌検診学会誌、22(1):24-30, 2013.
154. 遠藤登喜子、大内憲明、大貫幸二、笠原善郎、園尾博司。都道府県のがん検診精度管理委員会における乳がん検診の精密検査機関基準の現状。日本乳癌検診学会誌 23 (2), 207-212, 2014。

155. 宮城重人、大内憲明。新しい診療の紹介：腹腔鏡下肝切除って本当に安全な手術か。宮城県医師会報 826、882、2014
156. 藤尾淳, 村山和隆, 山形洋平, 渡邊君子, 猪村武弘, 稲垣明子, 大林尚美, 島弘季, 関口悟, 藤盛啓成, 五十嵐和彦, 大内憲明, 里見進, 後藤昌史。臍島分離におけるコラゲナーゼHの作用機序に関する研究。移植 50(2,3): 216-228, 2015
157. 鈴木昭彦、石田孝宣、多田寛、渡部剛、宮下穰、佐藤章子、根本紀子、藤井里佳、大内憲明。マンモグラフィ検診ソフトコピー診断の現状と問題点。日本乳癌検診学会誌、24(1): 50-53, 2015
158. 石田孝宣、鈴木昭彦、成川洋子、鄭迎芳、大内憲明。J-START はどのように行われたか：史上最大規模 RCT への挑戦。日本乳癌検診学会誌、25 (2): 100-103, 2016
159. 鈴木昭彦、石田孝宣、成川洋子、鄭迎芳、大内憲明。J-START はどのように行われたか：研究組織作り、組織構成、CRC 養成。日本乳癌検診学会誌、25 (2): 107-109, 2016
160. 成川洋子、鄭迎芳、鈴木昭彦、石田孝宣、大内憲明。J-START はどのように行われたか：関連施設との連携とデータ収集・追跡。日本乳癌検診学会誌、25 (2): 107-109, 2016
161. 大内憲明。40 歳代乳がん検診における超音波検査の意義 (J-START)。日本乳癌検診学会誌、25 (2): 118-121, 2016

III. 総説・解説記事 英文(～2017 年2 月)

- 1) Stereomicroscopic differential diagnosis between duct papillomatosis and intraductal carcinoma. (The 13th International Cancer Congress, September 1982, Seattle, WA, USA.). [The 13th International Cancer Congress, September 1982, Seattle, WA, USA., (1982), ?]
Ohuchi N Takahashi T Tezuka F Abe R.
- 2) Reversibility and aggravation of portal hypertension in biliary atresia patients. (International Symposium on Biliary Atresia and Its Related Disorders. April 1983, Sendai, Japan.). [International Symposium on Biliary Atresia and Its Related Disorders. April 1983, Sendai, Japan., (1983), ?] Kasai M Ohi R Ohuchi N.
- 3) Histological studies of the liver in biliary atresia patients: further observations. (International Symposium on Biliary Atresia and Its Related Disorders. April 1983, Sendai, Japan.). [International Symposium on Biliary Atresia and Its Related Disorders. April 1983, Sendai, Japan., (1983), ?] Ohi R Ohuchi N Takahashi T Kasai M.
- 4) Postoperative changes of intrahepatic portal veins in biliary atresia. (The Annual Meeting of the Pacific Association for Pediatric Surgeons. May 1983, Fukuoka, Japan.). [The Annual Meeting of the Pacific Association for Pediatric Surgeons. May 1983, Fukuoka, Japan., (1983), ?] Ohuchi N Takahashi T Ohi R Kasai M.
- 5) Studies on intraductal papillary proliferations of the breast based on 3-D reconstruction. (The 3rd EORTC, Breast Cancer Working Conference, 1983, Amsterdam, the Netherlands.). [The 3rd EORTC, Breast Cancer Working Conference, 1983, Amsterdam, the Netherlands., (1983), ?]
Abe R and Ohuchi N.
- 6) Human carcinoma cell surface antigens and oncogenes as defined by monoclonal antibodies. Tumor Markers and Their Genes. (A US-Japan Cooperative Cancer Research Program Conference, Jan. 15-16, 1985, NIH, Bethesda, MD, USA.). [A US-Japan Cooperative Cancer Research Program Conference, Jan. 15-16, 1985, NIH, Bethesda, MD, USA., (1985), ?]
Thor A Hand PH Colcher D Weeks MO Ohuchi N Schlom J.
- 7) Monoclonal antibody RAP-5 defines increased ras oncogene expression in atypical hyperplastic lesions and carcinomas of the breast. (The 8th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Nov. 7-8, San Antonio, TX, USA.). [The 8th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Nov. 7-8, San Antonio,

- TX, USA.,
- (1985), ?]Ohuchi N Thor A Page DL Schlom J.
- 8) A monoclonal antibody (B72.3) defines pan-carcinoma oncofetal antigen in human tissues and cell preparations.(The 5th Annual Congress for Hybridoma Research, Jan. 26-29, 1986, Baltimore, MD, USA.). [The 5th Annual Congress for Hybridoma Research, Jan. 26-29, 1986, Baltimore, MD, USA., (1986), ?]Thor A Ohuchi N Szpak CA Johnston WW Schlom J.
 - 9) Immunohistochemical analysis of ras p21 expression in benign and malignant breast tissues using monoclonal antibodies. (The 5th Annual Congress for Hybridoma Research, Jan. 26-29, 1986, Baltimore, MD, USA.).[The 5th Annual Congress for Hybridoma Research, Jan. 26-29, 1986, Baltimore, MD, USA., (1986), ?]Ohuchi N Thor A Page DL Hand PH Schlom J.
 - 10) Monoclonal antibodies define and quantitate ras p21 expression in early stages of mammary carcinogenesis.(International Academy of Pathology, 75th Annual Meeting, March 10-14, 1986, New Orleans, MI, USA.).[International Academy of Pathology, 75th Annual Meeting, March 10-14, 1986, New Orleans, MI, USA.,(1986), ?]Thor A Ohuchi N Hand PH Page DL Vilasi V Caruso A Halter SA Schlom J.
 - 11) Monoclonal antibody B72.3 defines tumor associated antigen (TAG-72) in ovarian carcinomas. (International Academy of Pathology, 75th Annual Meeting, March 10-14, 1986, New Orleans, MI, USA.). [International Academy of Pathology, 75th Annual Meeting, March 10-14, 1986, New Orleans, MI, USA., (1986), ?]Thor A Gorstein F Ohuchi N Szpak CA Schlom J.
 - 12) Monoclonal antibody defines a pan-carcinoma oncofetal antigen in human surgical and cytology tissue preparations. (International Symposium on Monoclonals and DNA Probes in Diagnostic and Preventive Medicine, April 8-10, 1986, Florence, Italy.). [International Symposium on Monoclonals and DNA Probes in Diagnostic and Preventive Medicine, April 8-10, 1986, Florence, Italy., (1986), ?]Thor A Ohuchi N Szpak CA Johnston WW Schlom J.
 - 13) Translation of tumor-associated and proto-oncogene products in human mammary carcinoma cell populations.(4th International Congress of Senology, August 1986, Paris, France.). [4th International Congress of Senology, August 1986, Paris, France., (1986), ?]Schlom J Thor A Ohuchi N Hand PH Wunderlich D Muraro R Weeks MO Colcher D Page DL Szpak CA Johnston WW.
 - 14) Expression of tumor-associated antigen in the cytosol of atypical hyperplasias of the breast defined by monoclonal antibody DF3. (9th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Oct. 30 - Nov. 1, 1986, San Antonio, TX, USA.). [9th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Oct. 30 - Nov. 1, 1986, San Antonio, TX, USA., (1986), ?]Ohuchi N Page DL Merino M Thor A Viglione MJ Kufe D Schlom J.
 - 15) Does monoclonal antibody DF3 distinguish papillary carcinomas from benign papillomas of the breast?(International Academy of Pathology, 76th Annual Meeting, March 7-13, 1987, Chicago, IL, USA.).[International Academy of Pathology, 76th Annual Meeting, March 7-13, 1987, Chicago, IL, USA., (1987), ?]Ohuchi N Merino M Carter D Simpson JF Kufe D Schlom J.
 - 16) Oncogene expression in adenocarcinomas of the lung as determined by in situ hybridization and immunohistochemistry.(International Academy of Pathology, 76th Annual Meeting, March 7-13, 1987, Chicago, IL, USA.).[International Academy of Pathology, 76th Annual Meeting, March 7-13, 1987, Chicago, IL, USA., (1987), ?]Carter D Ohuchi N Kasinsky B Merino Schlom J.
 - 17) Potential use of monoclonal antibody B72.3 for the diagnosis and management of gastrointestinal malignancies.(International Symposium of Gastroenterology, Nov., 1987, Kofu, Japan.). [International Symposium of Gastroenterology, Nov., 1987, Kofu, Japan., (1987), ?]Colcher D Simpson JF Ohuchi N Carrasquillo JC Larson SM Schlom J.
 - 18) [In vivo application of monoclonal antibodies in the management of human carcinomas] (Gan To

- KagakuRyoho). [Gan To Kagaku Ryoho, 15 (4 Pt 2-1), (1988), 1109-1114]
 Ohuchi N, Colcher D, Schlom J
- 20) Thyroid lymphography. (first Symposium on Lymphology in China, August, 1988, China.). [first Symposium on Lymphology in China, August, 1988, China., (1988), ?]
 Matoba N Ohuchi N Taira Y Sakai N Tanimura S Katayama M Oe H Sato K Takahashi M.
 - 21) Complementation of monoclonal antibodies DF3 and B72.3 in reactivity to breast cancer. (The 3rd International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 17-19, 1988, San Francisco, CA, USA.). [The 3rd International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 17-19, 1988, San Francisco, CA, USA., (1988), ?] Ohuchi N Akimoto M Mori S Kufe D Schlom J.
 - 22) DF3 antigen expression in tissue section correlates with serum CA15-3 concentration in patients with recurrent breast cancer. (Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, March 5-9, 1989, Tel Aviv, Israel.). [Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, March 5-9, 1989, Tel Aviv, Israel., (1989), ?] Ohuchi N Akimoto M Mori S.
 - 23) Clinical evaluation of CA72-4 radioimmunoassay for serum TAG-72 antigen in patients with carcinoma. (6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan.). [6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan., (1989), ?] Ohuchi N Mori S Akimoto M Matoba N Takahashi K Gero E Schlom J.
 - 24) Immunohistochemical analyses of tumor-associated glycoprotein in gastric and breast carcinomas. (6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan.). [6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan., (1989), ?] Ohuchi N Ohtani H Mori S.
 - 25) [Surgical treatment for intraductal proliferative lesions] (Nippon Geka Gakkai Zasshi). [Nippon Geka Gakkai Zasshi, 90 (9), (1989), 1406-1409] Kimijima I, Abe R, Ohuchi N, Akimoto M
 - 26) Serum TAG-72 in gastrointestinal cancer patients defined by monoclonal antibodies: comparison with CA19-9 and CEA. (First International Conference on Human Antibodies and Hybridomas. April 18-20, 1990, Orlando, FL, USA.). [First International Conference on Human Antibodies and Hybridomas. April 18-20, 1990, Orlando, FL, USA., (1990), ?] Ohuchi N Akimoto M Matano S Hirakawa H Abe M Harada Y Mori S.
 - 27) Establishment and characterization of new human mammary carcinoma cell line, HMA-1. (The 4th International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 5-6, 1990, San Francisco, CA, USA.). [The 4th International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 5-6, 1990, San Francisco, CA, USA., (1990), ?] Ohuchi N Matano S Hirakawa H Abe M Harada Y Ikegaki H Furuta A Taeda Y Yaegashi S Takehana K, Takeda M, Ohnuki K, Mori S.
 - 28) Generation of monoclonal antibodies against HMA-1 human mammary carcinoma cell line. (4th International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 5-6, 1990, San Francisco, CA, USA.). [4th International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 5-6, 1990, San Francisco, CA, USA., (1990), ?] Harada Y Masuko T Ohuchi N Mori S Hashimoto Y.
 - 29) [DNA analysis of breast cancer] (Gan To Kagaku Ryoho). [Gan To Kagaku Ryoho, 18 (1), (1991), 30-36] Ohuchi N, Mori S
 - 30) Elevated serum levels of interleukin-6 in breast cancer patients with visceral metastasis. (Biennial /meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.). [Biennial /meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy., (1991), ?] Abe M Ohuchi N Ida N Hirakawa H Nishihira T Mori S Kumagai K.
 - 31) Distribution of breast cancer-associated antigens defined by monoclonal antibodies AM-3 and AM-19, generated against HMA-1 cell line. (Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer

- Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.). [Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy., (1991), ?]Harada Y Masuko T Ohuchi N Ikegaki H Taeda Y Matano S Mori S.
- 32) Duct-lobular segmentectomy for intraductal proliferative lesions of the breast: a long term follow-up study based on the histopathology. (Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.). [Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy., (1991), ?]Ohuchi N Furuta A Abe M Harada Y Ikegaki H Mori S Iwasaki H.
- 33) Expression of sialosyl-Tn antigen and c-erbB-2 oncogene product in breast cancer tissues: correlation with patient survival. (Biennial /meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.). [Biennial /meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy., (1991), ?]Ohuchi N Harada Y Abe M Furuta A Ikegaki H Taeda Y Yaegashi S Takehana K Ohnuki K Takeda M, Mori S.
- 34) O-linked mucin glycoproteins in primary breast cancer and patient survival. (14th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec. 6-7, 1991, San Antonio, TX, USA.). [14th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec. 6-7, 1991, San Antonio, TX, USA., (1991), ?] Ohuchi N Harada Y Abe M Taeda Y Ikegaki H Furuta A Mori S.
- 35) Combination chemotherapy with etoposide, adriamycin and cis-platinum (EAP) for refractory breast cancer. (14th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec. 6-7, 1991, San Antonio, TX, USA.). [14th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec. 6-7, 1991, San Antonio, TX, USA., (1991), ?]Ikegaki H, Ohuchi N, Abe M, Harada Y, Furuta A, Yaegashi S, Takehana K, Ohnuki K, Takeda M, Mori S.
- 36) Correlation between c-erbB-2 oncogene product and estrogen receptor in breast cancer tissues. (5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA.). [5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA., (1992), ?]Ohuchi N
- 37) Antitumor activity of adriamycin conjugated monoclonal antibody for breast cancer in vitro. (5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA.). [5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA., (1992), ?]Ikegaki H.
- 38) Alteration of p53 tumor suppressor gene and accumulation of p53 protein in primary breast cancer tissues. (5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA.). [5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA., (1992), ?]Yaegashi H
- 39) Management of intraductal carcinoma: EIC is unfavorable pathologic factor for limited surgery. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada., (1993), ?]Ohuchi N Furuta A Abe M Harada Y Ikegaki H Mori S.
- 40) Mass screening combined with mammography improves detection rate of early breast cancer in Japan. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada., Ohuchi N Yoshida K Kimura M Ouchi A Kamioki S Shiiba K Matsuno s Mori S Abe R.
- 41) Intraductal component breast carcinoma and its multicentricity visualized by computer-assisted 3-D mapping. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada., (1993), ?]Furuta A Ohuchi N Takahashi T Tezuka F Mori S.

- 42) Characterization of novel breast cancer-associated antigen, AM-3. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada, Harada Y Ohuchi N Masuko T Mori S Hashimoto Y.
- 43) p53 gene mutation in breast cancer and activated Ki-ras gene in phyllodes tumor. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada, Yaegashi S Ohuchi N Mori S Sekiya T.
- 44) Biophoton emission of human cancer cell lines. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada] Takeda M Usa M Ohuchi N Kobayashi M Devaraj B Nishihira T Taguchi Y Mori S Inaba F.
- 45) Expression of b1-6 branched oligosaccharides on breast cancer cells against surrounding matrices in threedimensional culture. (Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.). [Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada] Taeda Y Ohuchi N Nose M.
- 46) Stimulation of polyomavirus DNA replication by wild-type p53 through the DNA binding site. (The 8th International Conference of the International Society of Differentiation. October 22-26, Hiroshima, Japan. [The 8th International Conference of the International Society of Differentiation. October 22-26, Hiroshima, Japan, (1993),] Kanda T Segawa K Ohuchi N Mori S Ito Y.
- 47) Characterization of new breast cancer associated antigen and its potential clinical application. (The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt.). [The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt,] Ohuchi N, Harada Y, Ikegaki H, Masuko T, Mori S.
- 48) PCR-SSCP analysis of mutated p53 gene and activated Ki-ras gene in breast cancer. (The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt.). [The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt] Yaegashi S Ohuchi N Kijima J Taeda Y Mori S Sekiya T.
- 49) Expression of b1-6 branched oligosaccharide in breast cancer. (The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt.). [The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt] Taeda Y, Ohuchi N, Nose M, Mori S.
- 50) Membrane glycoproteins and oncogenes as markers in breast cancer (Cancer Mol Biol). [Cancer Mol Biol, 1(1), (1994), 1-10] Ohuchi N, Taeda Y, Yaegashi S, Harada Y, Mori S
- 51) [Intraductal spread of carcinoma: a risk for breast conserving surgery] (Gan To Kagaku Ryoho). [Gan To Kagaku Ryoho, 21 Suppl 2, (1994), 183-189] Ohuchi N, Furuta A, Mori S
- 52) Dissociation of the domains of p53 responsible for stimulation of transcription and replication. (The 1994 Meeting on Molecular Biology of Papovaviruses & Adenoviruses. August 17-21, 1994, Cold Springharbor, New York, USA). [The 1994 Meeting on Molecular Biology of Papovaviruses & Adenoviruses. August 17-21, 1994, Cold Springharbor, New York, USA] Kanda T. Segawa K. Ohuchi N. Mori S.
- 53) Intraductal spread of carcinoma: its definition and grading based on 3-D reconstruction. (The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan, (1994), ?] Furuta A Tezuka F Takahashi T Ohuchi N Mori S.
- 54) Functional analysis of p53 using polyomavirus transcription and replication systems. (The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai,

- Japan). [The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan, (1994), ?]Kanda T Ito Y Ohuchi N Mori S.
- 55) Altered glycosylation of membrane glycoproteins associated with progression of human mammary cancer. (The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September, 25-28 1994, Sendai, Japan). [The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September, 25-28 1994, Sendai, Japan, (1994), ?]Hiraizumi S Ohuchi N Takasaki S Kobata A.
- 56) Antitumor effect of an immunoconjugate of adriamycin and monoclonal antibody reactive with breast cancer cells. (The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [The 20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan]Ikegaki H Masuko T Ohuchi N Suzuki S Mori S Hashimoto Y.
- 57) Characterization of new breast carcinoma-associated antigen: comparison with MUC1 and TAG-72 antigens. (20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan]Harada Y Ohuchi N Masuko T Mori S.
- 58) Detection of a new polymorphism and nucleotide alterations of the neurofibromatosis gene in breast cancer. (20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan]Yaegashi S Sachse R Ohuchi N Mori S Sekiya T.
- 59) Intra-arterial immunochemotherapy with cis-platin and OK-432 for advanced breast cancer. (20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan]Ohnuki K Ohuchi N Hirakawa H Mori S.
- 60) Accentuated mass screening for women of high risk breast cancer group by physical examination with mammography. (20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan). [20th Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, September 25-28, 1994, Sendai, Japan]Yoshida K Kimura M Ouchi A Ohuchi N Shiiba K Matsuno S Mori S.
- 61) Intraductal Spread of Carcinoma: 3-D Definition and its Significance on Breast Conserving Surgery. (The Second Meeting of the Hellenic Society for Breast Cancer Research, November 9-11, 1994, Athens, Greece). [The Second Meeting of the Hellenic Society for Breast Cancer Research, November 9-11, 1994, Athens, Greece, (1994), ?]Ohuchi N.
- 62) False negative rate of breast cancer screening by physical examination with or without mammography. (18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA). [18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA]Ohuchi N, Ohnuki K, Fukao A and Matsuno S.
- 63) Intraductal spreading of carcinoma is a risk factor for local recurrence in breast conserving surgery. (18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA). [18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA]Furuta A, Ishida T, and Ohuchi N.
- 64) Correlation between intraductal spreading of carcinoma and tumor-associated antigens. (18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA). [18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA]Ishida T, Furuta A and Ohuchi N.
- 65) A system guideline in a nationwide introduction of mammography for breast cancer screening in

- Japan. (The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July, 1996.). [The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July, 1996., (1996),?] Ohuchi N, Endo T, Tsuji I, Matsumoto T, Fukuda M, Morimoto T.
- 66) Management of minimal breast cancer: duct-lobular segmentectomy is a choice of treatment for disease with nipple discharge. (The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July, 1996.). [The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July 1996] Ohuchi N, Hirakawa H, Harada Y, Furuta A, Ishida T, Ohnuki K, Satomi S.
- 67) A system guideline in a nationwide introduction of mammography for breast cancer screening in JAPAN. (21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France). [21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France] Ohuchi N, Endo T, Tsuji I, Matsumoto T, Fukuda M and Morimoto T.
- 68) MUC1 and sialyl-Tn antigens are overexpressed in intraductal components as carcinoma extends. (21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France). [21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France] Ishida T, Ohuchi N, Furuta A and Satomi S.
- 69) Cost-effectiveness analysis of breast cancer screening combined with mammography in Japan. (21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France). [21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, July 3-5, 1996, Paris, France] Ohnuki K, Ohuchi N, Tsuji I, Fukao A and Satomi S.
- 70) Immunohistochemical significance of intraductal component of breast cancer. (10th International Conference on Diagnostic Quantitative Pathology, October 28 - November 1, 1996, Sendai). [10th International Conference on Diagnostic Quantitative Pathology, October 28 - November 1, 1996, Sendai] Ishida T, Ohuchi N, Furuta A, Satomi S.
- 71) Grading of intraductal spread of carcinoma in breast using a computer-assisted 3-D reconstruction. (10th International Conference on Diagnostic Quantitative Pathology, October 28 - November 1, 1996, Sendai). [10th International Conference on Diagnostic Quantitative Pathology, October 28 - November 1, 1996, Sendai] Furuta A, Ohuchi N, Ishida T, Takahashi T, Tezuka F, Satomi S.
- 72) Sensitivity not improved by mammography alone in breast cancer screening as compared to clinical examination. (The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December, 1996.). [The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December 1996.] Ohuchi N, Ohnuki K, Kanemura S, Yoshida K, Kimura M, Ouchi A, Shiiba K, Fukao A, Matsuno S and Satomi S.
- 73) Five-year results of breast-conserving surgery without radiation for primary breast cancer in Japan. (The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December, 1996.). [The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December 1996] Ohuchi N, Ishida T, Furuta A, Harada Y, Ohnuki K and Satomi S.
- 74) Common ancestor of BRCA1 mutation at codon 63 in Japanese breast cancer patients. (19th San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec 10-14, 1996, San Antonio, TX, USA). [19th San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec 10-14, 1996, San Antonio, TX, USA] Kijima J, Murakami Y, Ohuchi N and Sekiya T.
- 75) Change of breast cancer screening in Japan: A nationwide introduction of mammography. (International Breast Cancer Screening Database Program, Stowe, VT, USA, October, 1997.). [International Breast Cancer Screening Database Program, Stowe, VT, USA, October, 1997] Ohuchi N.
- 76) Relationships between infant feeding methods and risk factors of breast cancer. (The 2nd Asian-Pacific Congress of Epidemiology jointly with The 8th Scientific Meeting of Japan

- Epidemiological Association. Tokyo, January 28-30, 1998.). [The 2nd Asian-Pacific Congress of Epidemiology jointly with The 8th Scientific Meeting of Japan Epidemiological Association. Tokyo, January 28-30, 1998., (1998), ?]Minami Y, Ohuchi N, Watanabe Y, Fukao A, Hisamichi S.
- 77) Natural history of ductal carcinoma in situ: Analysis of biopsy specimens from women who subsequently developed invasive breast cancer. (The 22nd International Association for Breast Cancer Research, Athens, Greece, September, 1998.). [The 22nd International Association for Breast Cancer Research, Athens, Greece, September, 1998., (1998), ?]Ohuchi N, Akiyama F, Akashi-Tanak S et al.
- 78) Perspective of mammographic screening of breast cancer in Japan. (The 12th International Symposium in Basic and Clinical Research on Breast Cancer, Tokyo, Japan, April, 1999). [The 12th International Symposium in Basic and Clinical Research on Breast Cancer, Tokyo, Japan, April 1999]Ohuchi N.
- 79) The current status and perspective of mammographic screening in Japan. (The Japan-Korea Seminar on Cancer Screening, Sendai, July 5, 1999.). [The Japan-Korea Seminar on Cancer Screening, Sendai, July 5, 1999]Ohuchi N.
- 80) Nationwide survey of quality assessment of mammography and perspective of mammographic screening for breast cancer in Japan.. (Surveillance of Breast Cancer Screening Programmes: International Breast Cancer Screening Network, CSPO, Viale Volta 171, Florence, Italy, August 30-31, 1999.). [Surveillance of Breast Cancer Screening Programmes: International Breast Cancer Screening Network, CSPO, Viale Volta 171, Florence, Italy, August 30-31, 1999., (1999), ?]Ohuchi N and Higashida Y.
- 81) Recent trend in breast cancer mortality and perspective of mammography screening in Japan. (The 7th Sino-Japan Symposium on Cancer Treatment, Taipei, Taiwan, October 30, 1999.). [The 7th Sino-Japan Symposium on Cancer Treatment, Taipei, Taiwan, October 30, 1999], Ohuchi N.
- 82) [Effectiveness of breast cancer screening] (Nippon Rinsho). [Nippon Rinsho, 58 Suppl, (2000), 483-488]Ohnuki K, Ohuchi N
- 83) Quality control of mammography screening for breast cancer in Japan, present and future. (The 13th Intl. Symposium on Cancer Screening, Tokyo, April 26-28, 2000.). [The 13th Intl. Symposium on Cancer Screening, Tokyo, April 26-28, 2000]Ohuchi N.
- 84) Definition, classification and feature of non-invasive carcinoma of the breast. (The 8th United States – Japan Clinical Trials Summit on Breast Cancer. Kyoto, Japan, April 5-7, 2001).]Ohuchi N.
- 85) Breast-conserving surgery: a principle based on carcinoma extension. (The 13th Annual Meeting of the Chinese General surgery, Beihai, China, June 02-04, 2001.). [The 13th Annual Meeting of the Chinese General surgery, Beihai, China, June 02-04, 2001]Ohuchi N.
- 86) Surgical Management of DCIS based on Histopathology and Biology. (The 3rd Biennial Meeting of the Asian Breast Cancer Society, Seoul, Korea, June 14-15, 2001). [The 3rd Biennial Meeting of the Asian Breast Cancer Society, Seoul, Korea, June 14-15, 2001]Ohuchi N.
- 87) Mammography screening and breast conserving therapy: Current status in Japan. (The 5th Gonryo International Symposium in Medical Sciences. Shenyang, China, June 5, 2001). Ohuchi N.
- 89) Asynchronous LOH analysis of ductal carcinoma in situ from patients who subsequently developed invasive ductal carcinoma. (The 22nd International Association for Breast Cancer Research, Dusseldorf, Germany, June 13-16, 2001.). [The 22nd International Association for Breast Cancer Research, Dusseldorf, Germany, June 13-16, 2001]Amari M Moriya T Harada Y Ishida T Ohnuki K Ohuchi N.
- 90) [Tumor markers in breast cancer] (Gan To Kagaku Ryoho). [Gan To Kagaku Ryoho, 28 (7), 2001, 1035-1040]Harada Y, Ohuchi N, Ishida T, Ohnuki K
- 91) Mammography screening in Japan - How did we succeed in introducing into public health? (The Meeting of the Korean Radiological Society, Seoul, November 22-23 2001.). [The Meeting of the

- Korean Radiological Society, Souel, November 22-23 2001]Ohuchi N.
- 92) Performance parameter evaluation of mammography screening in women aged 40-49: a comparison with women aged 50-69. (The Biennial Meeting of the International Breast Cancer Screening Network, Montpellier, France, May 30-31, 2002.). [The Biennial Meeting of the International Breast Cancer Screening Network, Montpellier, France, May 30-31, 2002]Ohuchi N et al.
 - 93) Current Review of Breast Cancer Diagnosis and treatment in Japan. (The China-Japan Medical Conference at the Jurin University, Chanchung, China, August 25-29, 2002). [The China-Japan Medical Conference at the Jurin University, Chanchung, China, August 25-29, 2002]Ohuchi N.
 - 94) Innovative Achievements in Cancer Imaging - Mammography for Screening and MRI for Breast-conserving Surgery. (The 33rd International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund, Tokyo, November 11-14, 2002). [The 33rd International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund, Tokyo, November 11-14, 2002]Ohuchi N.
 - 95) Biophoton Cancer Imaging and Generation of Nano-size Sensing Capsule. (The 1st Symposium on Future Medical Engineering Based on Bio-nanotechnology, Sendai, January 28, 2003). [The 1st Symposium on Future Medical Engineering Based on Bio-nanotechnology, Sendai, January 28, 2003]Ohuchi N Takeda M Kawazoe Y Kasuya A Kamei T Satake M.
 - 96) Nano-Size Sensing Capsule for Future Medical Application. (The 1st Nanomedicine Workshop, Honolulu, USA, March 19, 2003). [The 1st Nanomedicine Workshop, Honolulu, USA, March 19, 2003]Ohuchi N, Kawazoe Y, Kasuya A, Takeda M, Nakajima M, Tada H, Kamei T Satake M.
 - 97) Innovative Cancer Imaging by Biophoton Emission. (The 1st Nanomedicine Workshop, Honolulu, USA, March 19, 2003.). [The 1st Nanomedicine Workshop, Honolulu, USA, March 19, 2003]Takeda M Ohuchi N Nakajima M Tada H Kobayashi M.
 - 98) Current status and perspectives of mammography screening in Japan (Acta Obst Gynaec Jpn). [Acta Obst Gynaec Jpn, 55 (8), (2003), 513-519]Ohuchi N
 - 99) Breast cancer cell imaging by nanocrystals semiconductor quantum dots conjugated with anti-HER2 antibody. (24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003). [24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003]Tada H Kamei T Satake M Takeda M Nakajima M Kasuya A Kawazoe Y Ohuchi N.
 - 100) Generation of Transgenic Mouse to Conditionally Active Notch1 Signaling. (24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003). [24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003]Suzuki A, Shiraishi K, Ohuchi N, Sato T, Das I, Kitajewski J.
 - 101) Breast cancer cell imaging by nanocrystals semiconductor quantum dots conjugated with anti-HER2 antibody. (24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003). [24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003]Tada H Kamei T Satake M Takeda M Nakajima M Kasuya A Kawazoe Y Ohuchi N.
 - 102) Mammography screening targeted women aged 40-49: Current status and perspectives of breast cancer screening in Japan. (IBSN Council Meeting, May 26-28, 2004.). [IBSN Council Meeting, May 26-28, 2004]Ohuchi N.
 - 103) [Role of radiotechnologists in mammography screening for breast cancer] (Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi). [Nippon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi, 60 (9), (2004), 1269-1272]Ohuchi N.
 - 104) Frontier of nano-biology and nano-medicine. (The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application.

- Sendai, February 15, 2005.) [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005] Higuchi H, Watanabe T, Tada H, Ohuchi N.
- 105) Application of nanoparticles for optical fluorescence probe and X-ray CT in biomedicine. (The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005.). [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005] Kasuya A, Takeda M, Nakajima M, Kamei T, Ohuchi N, Kobayashi Y, Kobayashi M.
- 106) Nano-sized fluorescent particles as new tracers for sentinel node detection: an experimental model for determination of appropriate size and wavelength. (The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005). [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005., (2005), ?] Nakajima M, Takeda M, Kobayashi M, Suzuki S, Ohuchi N.
- 107) In vivo breast cancer cell imaging with semiconductor quantum dots conjugated with monoclonal anti-Her 2 antibody. (The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005.). [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005] [Tada H, Higuchi H, Watanabe T, Kamei T, Ohuchi N.
- 108) An effort to investigate the functional difference of transcription factor Renx1 isoforms derived from two distinct promoters. (The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005.). [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005] Li S, Nakazato M, Yoshida N, Ogata T, Kon s tolfer J, Rothenberg E, Watanabe T, Satake M, Ohuchi N.
- 109) Biophoton imaging for detection of cancer growth. (The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005.). [The 5th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 15, 2005] Takeda M, Kobayashi M, Nakajima M, Kasuya A, Ohuchi N.
- 110) Generation of CdSe nanocrystal semiconductor quantum dots conjugated with anti-HER2 antibody for molecular imaging of breast cancer. (The AACR Special Conference 2005: Oncogenomics, San Diego, CA, February 2-6, 2005). [The AACR Special Conference 2005: Oncogenomics, San Diego, CA, February 2-6, 2005] Ohuchi N, Tada H, Higuchi H, Kasuya A.
- 111) X-ray absorption of the gold nanoparticles with thin Silica shell. (2005 International Conference on Nanoscience and Nanotechnology, November 10-12, 2005, Gwangju, Korea). [2005 International Conference on Nanoscience and Nanotechnology, November 10-12, 2005, Gwangju, Korea, (2005), ?] Yeon-Su Park, Luis M. Liz-Marzan, Kasuya A, Kobayashi Y, Nagao D, Komono M, Sergiy Mamykin, Andriy Dmytruk, Takeda M, Ohuchi N.
- 112) Establishment of Mammography Screening Program in Japan, and Perspective of Breast Cancer Screening in Asia. (2nd International Asian Conference of Cancer Screening (IACCS), Taipei, Taiwan, November 21-22, 2005). [2nd International Asian Conference of Cancer Screening (IACCS), Taipei, Taiwan, November 21-22, 2005] Ohuchi N.

- 113) Nanosized Silver-Iodide Beads as New Contrast Media For Medical Application. The 7th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology. (21st Century Center of Excellence(COE) Program Held as symposia in the 12th International conference on biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005). [21st Century Center of Excellence (COE) Program Held as symposia in the 12th International conference on biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005] Sakurai Y, Takeda M, Kawazoe Y, Kasuya A, Kobayashi Y, Kamei T, Nakajima M, Ohuchi N.
- 114) In Vivo Breast Cancer Cell Imaging Using Quantum Dot Conjugated With Anti-Her2 Antibody. The 7th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology. (21st Century Center of Excellence (COE) Program Held as symposia in the 12th International conference on biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005.). [21st Century Center of Excellence (COE) Program Held as symposia in the 12th International conference on biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005] Hiroshi Tada Hideo Higuchi Tomonobu M Watanabe and Noriaki Ohuchi
- 115) RSNA 2006 Diagnostic performance of detecting breast cancer on screening mammogram: Comparison of hardcopy film, 3-megapixel liquid-crystal-display (LCD) monitor and 5-megapixel LCD monitor. (RSNA 2006) Yamada T MD PhD Sendai JAPAN; Suzuki AMDPHD; Uchiyama NMD; Ohuchi N; Takahashi S MD
- 116) Comparison of phase contrast mammography to screen-film mammography and computed radiography with regard to lesion characterization in breast tissue specimens. (?). [?, (2006), ?] Yamada T MD PhD Sendai JAPAN; Ishibashi TMD PhD; Saito M MD; Suzuki AMDPHD; Ohuchi N; Takahashi S MD
- 117) [Establishment of imaging-based breast cancer screening system] (Nippon Rinsho). [Nippon Rinsho, 65 Suppl 6, (2007), 221-225] Akihiko S, Takanori I, Ohuchi N.
- 118) [Current status of breast cancer screening] (Nippon Rinsho). [Nippon Rinsho, 65 Suppl 6, (2007), 213-219] Ohuchi N.
- 119) [Lifestyle factors responsible for the increasing incidence of breast cancer] (Nippon Rinsho). [Nippon Rinsho, 65 Suppl 6, (2007), 22-26] Minami Y, Kakugawa Y, Ohuchi N. 1154]
- 120) Current topics in breast cancer clinical research, 2007. (Int J Clin Oncol). [Int J Clin Oncol, 13 (1), (2008), 1-2] Ohuchi N.

総説・解説記事 和文(～2017年2月)

1. 阿部力哉、木村道夫、大内憲明、秋元実、上沖修三、沢野彰、岩崎秀康。乳管内乳頭腫に対する手術。手術、39:121-126, 1985.
2. 大内憲明。乳癌および乳頭腫の発生部位と組織構築。東北医誌、98:40-42, 1985.
3. 阿部力哉、大内憲明。3次元像による乳頭腫、乳癌の発生部位および進展の解析。最新医学、41:32-39, 1986.
4. 大内憲明、Colcher D, Schlom J. 腫瘍マーカーの進歩：in vivo におけるモノクローナル抗体の臨床応用。癌と化学療法、15:1109-1114, 1988.
5. 大内憲明、森昌造、的場直矢、平幸雄、高橋堅治、望月福治。癌における腫瘍関連抗原 TAG-72 の発現：新しい腫瘍マーカー CA72-4 を用いた基礎的ならびに臨床的検討。第8回腫瘍マーカー研究会記録別冊。1989, 9, 19.
6. 君島伊造、阿部力哉、大内憲明、秋元実。乳管内増殖性病変に対する外科治療。日本外科学会雑誌、90: 1406-1409, 1989.
7. 大内憲明。癌の DNA 診断：乳癌。MEDICO, 22:10-12, 1991.
8. 大内憲明、俣野重雄、原田雄功。ヒト乳癌細胞株 HMA-1 と単クローン抗体の作製。乳癌基礎研究、1:35-36, 1991.

9. 大内憲明、古田昭彦、森昌造。乳癌の乳管内進展。Pharma Medica, 9:19-25, 1991.
10. 原田雄功、大内憲明。ヒト乳癌細胞株 HMA-1 における腫瘍関連抗原、癌遺伝子の発現。乳癌基礎研究、2:58-60, 1992.
11. 阿部基、大内憲明。癌の進展と Interleukin (IL)-6。乳癌基礎研究、2:48-52, 1992.
12. 大内憲明。乳癌の手術：乳管腺葉区域切除術。南江堂、東京、1993, pp. 170-177.
13. 大内憲明、八重樫定則、森昌造。内科医のための分子生物学：乳癌。Modern Physician, 12:1169-1172, 1992.
14. 大内憲明、八重樫定則、田枝督教、森昌造。癌遺伝子と乳癌。外科診療、35:3-6, 1993.
15. 原田雄功、大内憲明。新しい乳癌関連抗原の解析と本抗原を標的とした臨床応用への検討。乳癌基礎研究、3:57-60, 1993.
16. 古田昭彦、大内憲明。乳癌の発生・進展に関する病理組織学的研究。乳癌基礎研究, 3:3-5, 1993.
17. 原田雄功、益子高、大内憲明。新しい乳癌関連抗原。治療、76:106-108, 1994.
18. 石田孝宣、大内憲明、原田雄功、古田昭彦。乳腺異型病変における腫瘍関連抗原の発現。乳癌基礎研究、4:18-20, 1994.
19. 古田昭彦、大内憲明。乳癌の乳管内進展と多中心性。乳癌基礎研究 4: 25-27, 1994.
20. 大内憲明、松野正紀、森昌造。日本における乳がん検診の新しい展開。Journal of Epidemiology, 4:69-70, 1994
21. 大内憲明、古田昭彦。乳房温存療法のすべて：温存療法で問題となる乳癌の生物学的特性。メジカルビュー社、東京、pp. 36-46, 1994.
22. 大内憲明。CA72-4. Medicina 31: 177-178, 1994
23. 大内憲明。管内性乳癌：その特性と治療方針。医学のあゆみ、173:708-709, 1995.
24. 飯沼武、植野映、大内憲明。乳癌検診に適するモダリティ。日乳癌検診学会誌、4:159-170, 1995.
25. 石田孝宣、大内憲明、古田昭彦、里見進。乳房温存療法における癌の乳房内再発の危険因子：乳管内進展を中心に。乳癌基礎研究 5: 25-28, 1996.
26. 大内憲明、石田孝宣。Tis に対する乳房温存療法の適応。臨床外科、51: 33-37, 1996.
27. 石田孝宣、大内憲明、里見進。乳がん診療におけるインフォームド・コンセント。臨床と研究、74 (4) 853-857, 1997.
28. 大内憲明。マンモグラフィ導入による乳癌検診。産婦人科の世界、55: 301-304, 1997
29. 原田雄功、大内憲明、石田孝宣、里見進。DCIS：最近の知見と乳房温存療法。Breast Cancer Today, 1997.
30. 大内憲明。マンモグラフィを導入した乳がん検診システムの将来展望。映像情報、30 (2):81-85, 1998.
31. 大内憲明。婦人科がん検診の有効性をめぐって：乳がん検診の有効性評価。婦人科、50 (9)、125-129, 1998.
32. 大内憲明。乳癌を巡る最近の話題：乳癌検診の有効性評価とそのあり方。Pharma Medica、16 (8): 13-19, 1998.
33. 大内憲明。乳癌検診における画像診断の役割。臨床画像（メジカルビュー社）、14 (10)、1280-1285, 1998.
34. 有我直宏、大内憲明、里見進、澤井高志。乳癌における MATRILYSIN (MMP-7)発現の免疫組織学的検討。乳癌基礎研究、7: 53-58, 1998.
35. 大内憲明。乳腺切除範囲の pros and cons：乳房扇状部分切除の要点。臨床外科、54 (1): 33-36, 1999

36. 大内憲明、遠藤登喜子。乳癌の画像診断—早期診断および乳房温存療法における役割—。臨床放射線、44 (5): 551-552, 1999.
37. 大内憲明。マンモグラフィによる乳癌検診—諸外国とわが国の現状—。臨床放射線、44 (5): 553-559, 1999.
38. 大内憲明。乳癌進展の解析に基づいた乳房温存手術法の確立。東北医学雑誌、111 (1): 24-26, 1999.
39. 大貫幸二、大内憲明。乳癌検診の有効性。産婦人科治療、79 (2): 184-188, 1999.
40. 原田雄功、大内憲明。乳癌の転移。からだの科学、日本評論社、209 (11): 88-91, 1999.
41. 大内憲明。乳癌検診—マンモグラフィの導入に向けて。外科、61 (11): 1225-1232, 1999.
42. 大内憲明、堀田勝平。乳癌検診の展望：マンモグラフィの導入に向けて。日本放射線技術学会雑誌、55 (10), 973-9979, 1999.
43. 鈴木聡長、大山、渋谷大助、大貫幸二、大内憲明。カセットレス乳房X線撮影装置 (MGU-200B) を搭載した乳がん検診車の製作と使用経験。メディカルレビュー、77 : 2-7, 2000
44. 大内憲明。乳癌検診の現状と問題点。癌の臨床、46 : 499-508、2000.
45. 大貫幸二、大内憲明。集団検診の意義—有効性評価、費用効果分析—。日本臨床、58:483-488、2000
46. 大内憲明、遠藤登喜子。がん検診の再生—乳がんマンモグラフィ検診元年。INNERVISION、15: 1-11, 2000.
47. 大内憲明。老人保健強化推進特別事業から学んだマンモグラフィ検診のあり方。INNERVISION、15: 21-23, 2000.
48. 石田孝宣、大内憲明。乳癌における HER2 (c-erbB-2) の amplification & overexpression。Pharma Medica, 18(6): 111-116, 2000.
49. 森谷卓也、鈴木貴、有我直宏、笹野公伸、大内憲明。ADH, ALH と乳管内増殖性病変。病理と臨床、19(5): 460-466, 2001
50. 大内憲明。腫瘍外科学：基礎から臨床へ。東北医誌、112 : 25-29、2000.
51. 大内憲明。Surgical Oncology: 基礎から臨床へ。東北医誌、112 : 15-18、2000.
52. 大内憲明。乳がん検診の有効性評価について。埼玉県乳がん検診セミナー第 14 回記録、30-42、2000.
53. 石田孝宣、森谷卓也、大内憲明。非浸潤性乳管癌の取り扱い。臨床産婦人科、55(4): 518-523, 2001.
54. 森谷卓也、鈴木貢、遠藤希之、有我直宏、笹野公伸、大内憲明。ADH, ALH と乳腺上皮内増殖性病変。病理と臨床、19 : 460-466, 2001.
55. 大貫幸二、大内憲明。乳腺良性疾患の画像診断—外来診療における画像診断の位置づけ—。外科治療、85(2) : 128-134, 2001.
56. 森本忠興、遠藤登喜子、大内憲明、岡崎正敏、福田護、小田切邦雄、永井宏、土橋一慶、堀田勝平、石栗一男、前越久、今村恵子、岩瀬拓士、横江隆夫、富永祐民、飯沼武、坂本吾偉。マンモグラフィ検診精度管理中央委員会の役割について。日乳癌検診学会誌、10: 71-87, 2001.
57. 石田孝宣、大貫幸二、森谷卓也、石橋忠司、大内憲明。乳癌に対する乳房扇状部分切除術。臨床外科、56(11): 348-354, 2001.
58. 甘利正和、大内憲明。乳がんの遺伝子異常とがん発症のメカニズム。分子がん治療、2 (2): 69-74. 2002
59. 大貫幸二、大内憲明。進歩めざましい乳癌診断法：マンモグラフィ導入の読影法。臨床と研究、79: 11-15、2002.

60. 大内憲明、田澤篤。乳癌発症のメカニズム。外科 64 : 743-747、2002、(総説)
61. 浅石和昭、弥生恵司、森谷卓也、市原周、井内康輝、森本忠興、大内憲明。異型乳管過形成(Atypical ductal hyperplasia)。日乳癌検診学会誌、11: 193-198, 2002.
62. 大貫幸二、大内憲明。宮城県におけるマンモグラフィ検診の経緯と実情について。日本乳癌検診学会雑誌、11: 213-214, 2002
63. 大内憲明。乳癌乳房温存手術における有茎組織弁のレーザードップラ法を用いた血流測定一第27回手術手技研究会奨励研究賞受賞講演。手術、56(5): 661-665, 2002.
64. 武田元博、石田孝宣、大貫幸二、大内憲明。乳癌治療の最前線一乳癌の新しい治療戦略。外科治療、87(6): 630-634, 2002.
65. 大貫幸二、大内憲明。マンモグラフィ所見のカテゴリー分類。乳癌診療 Tips & Traps、6: 2-3, 2002.
66. 大内憲明。乳がんの診断と治療は新しい時代へ：マンモグラフィ検診と乳房温存療法。茅ヶ崎医師会報、61 : 27-29、2002
67. 古関義人、根東義明、根本建二、大内憲明。地域医療ネット：宮城県における医療ASPカレントセラピー。20(12) 33-37, 2002
68. 大内憲明。乳がん検診の歴史、マンモグラフィの基礎と臨床。INNERVISION, 17: 1-4 2002
69. 大内憲明。マンモグラフィ検診の現状と展望：国際的視野において、マンモグラフィの基礎と臨床。INNERVISION, 17: 5-9, 2002
70. 大内憲明、武田元博、川添良幸、佐竹正延、粕谷厚生。クラスター利用ナノ医療。ナノ学会会報、1(2): 101-105, 2003
71. 大内憲明。婦人科がんスクリーニングの有用性と問題点。日本産科婦人科学会雑誌、55(8): 513-519, 2003.
72. 大内憲明。マンモグラフィスクリーニングの現状と課題。日本産科婦人科学会雑誌、55(8): 959-965, 2003
73. 大内憲明。巻頭言：日本の乳がん検診。日乳癌検診学会誌、12(2): 133, 2003.
74. 山下孝、大内憲明。非浸潤性乳管癌治療をめぐる新知見と今後の展望。臨床放射線、48(7): 801-802, 2003.
75. 森谷卓也、遠藤希之、石田孝宣、大貫幸二、武田元博、大内憲明、笹野公伸。非浸潤性乳管癌と境界病変—その病態と取り扱い—。Breast Cancer Today, 19(3); 2-9 2003
76. 大内憲明。乳がん検診とマンモグラフィ：世界の乳がん検診の現況。新医療、30(12):126-129,2003.
77. 鈴木昭彦、石田孝宣、森谷卓也、大内憲明。乳腺症と乳癌。産科婦人科治療、87(6):642-646,2003.
78. 大内憲明。世界の乳癌検診の現状と成果。日本乳癌検診学会誌、13(1): 9-17, 2004
79. 宇佐美伸、大貫幸二、大内憲明。乳がん検診のあり方。臨床婦人科産科、58(7) : 863-867、2004
80. 大内憲明。乳がん検診の現状とこれから。保健師ジャーナル、60(6) :530-535,2004
81. 大内憲明。乳がんの早期発見とその治療。石巻市医師会報、204(5): 18-19, 2004.
82. 鈴木昭彦、大貫幸二、大内憲明。更年期と臨床検査 更年期女性と乳癌検診。臨床病理レビュー、131:168-174, 2004
83. 大内憲明、石橋忠司。CADをめぐる国内動向：乳がん検診の現状とCADへの期待。INNERVISION、19(10): 18-21, 2004
84. 宇佐美伸、大貫幸二、大内憲明。産婦人科医に必要な乳がんの知識：乳がん検診のあり方。臨床婦人科産科、58(7): 863-867, 2004
85. 大内憲明、堀田勝平。乳がん検診：マンモグラフィ導入における診療放射線技師への期待。日本放射線技術学会雑誌、60(9): 1269-1272, 2004.

86. 鈴木昭彦、大貫幸二、**大内憲明**。更年期女性と乳癌検診。臨床病理レビュー、131:168-174,2004
87. **大内憲明**。医療のリスクマネージメント。宮城県医師会報。706: 1000-1003, 2004。
88. 鈴木昭彦、石田孝宣、大貫幸二、武田元博、**大内憲明**。乳房の診察に必要な解剖学的知識。産婦人科の実際、53(8): 1115-1120, 2004
89. **大内憲明**。乳がんマンモグラフィ検診のセカンドステージ。INNERVISION, 20 (1): 2-4, 2005.
90. 武田元博、粕谷厚生、川添良幸、**大内憲明**。ナノセンシングカプセルの医療応用と未来展望。Bio Clinica, 20 (1): 37-40, 2005.
91. 鈴木昭彦、**大内憲明**。宮城県におけるマンモグラフィ併用乳癌検診への取り組み。INNERVISION, 20 (1): 19-21, 2005.
92. **大内憲明**。乳がん検診ガイドライン作成の経緯とがん登録。JACR モノグラフ、10: 9-15, 2005.
93. **大内憲明**。増え続ける乳癌：変わる診断と治療。治療学、39 (2) : 5-7,2005
94. 石田孝宣、**大内憲明**。治療の進歩：乳房温存手術。治療学、39 (2) : 41-44,2005
95. **大内憲明**、光山昌珠、平岡真寛。死亡率低減に向けての新たな展開。治療学、39 (2) : 69-97,2005
96. **大内憲明**。乳がん検診の新指針：マンモグラフィ検診の推進を。Human Imaging, 47: 2-3, 2005.
97. **大内憲明**、武田元博、中島護雄、多田寛、樋口秀男。生理機能、疾患、薬物動態と DDS：分子イメージング、DDS による診断・機能評価。PHARM TECH JAPAN, 21(12): 1991-1994, 2005
98. 甘利正和、石田孝宣、**大内憲明**。乳癌画像診断の進歩と LTF による乳房温存療法。外科治療、93(1): 74-78, 2005
99. 甘利正和、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、中島護雄、**大内憲明**。胸部・乳腺外科：乳房温存手術のクリニカルパス。外科治療、92 : 52-59,2005。
100. 甘利正和、石田孝宣、鈴木昭彦、武田元博、**大内憲明**。原発巣からみた対応：診断と治療：乳癌の遠隔転移。外科、67(8): 885-889, 2005
101. 甘利正和、石田孝宣、**大内憲明**。コモンキャンサーズ最新情報：乳がん検診の方法、効用と問題点。Medicina, 42(11): 1963-1965, 2005
102. **大内憲明**。乳がん検診の過去・現在・未来。臨床と研究、82(10): 1607-1611, 2005.
103. **大内憲明**。更年期へのストラテジー更年期を人生の素敵な季節にするために：乳がん検診の現状とこれから。保健師ジャーナル、60(6): 530-535, 2005
104. **大内憲明**、鈴木昭彦、山田隆之。伸展する CAD の診療支援：マンモグラフィによる乳がん検診の精度管理と CAD。新医療、33(1): 103-107,2006
105. 鈴木昭彦、鬼怒川博久、渋谷一誠、宮川菊雄、**大内憲明**。マンモ受診向上へのアプローチ：仙台市でのマンモ併用検診の現況報告。新医療、32(12): 115-117, 2005
106. 鈴木昭彦、大貫幸二、**大内憲明**。マンモグラフィ併用乳癌検診の要精検率：Screen Film vs Digital。映像情報 Medical、37(3): 218-221, 2005
107. **大内憲明**。わが国における乳癌の動向。Hormone Frontier in Gynecology、13(1): 63-67, 2006
108. 中島護雄、武田元博、**大内憲明**。蛍光ナノ粒子による癌センチネルリンパ節検出とナノ医療の展望。日本機械学会誌、109 (1047): 90-93, 2006
109. **大内憲明**、武田元博、中島護雄、多田寛、樋口秀男。分子イメージング、DDS による診断・機能評価（日本 DDS 学会編）「DDS 研究の現状と将来展望」、Pharm Tech Japan 21(12): 59-62、2005
110. **大内憲明**。乳がん検診の精度管理：教育プログラムとがん検診の事業評価。日本がん検診診断学会誌、13 (2): 98-103, 2006.

111. 甘利正和、石田孝宣、**大内憲明**。乳がん検診の方法、効用と問題点。Medicina、42 : 1963-7965,2005。
112. 鈴木昭彦、**大内憲明**。画像診断による新しい乳癌検診システムの構築。日本臨床、64(3): 402-404, 2006
113. **大内憲明**、鈴木昭彦、石田孝宣。乳腺疾患を取り巻くガイドラインと最新の知見：最適な診療を目指して—マンモグラフィガイドライン。臨床外科、61 (3): 289-293, 2006
114. **大内憲明**。マンモグラフィ併用乳がん検診と死亡率の関係。日本医事新報、4277: 95-96, 2006.
115. **大内憲明**。マンモグラフィの乳がん検診を全国初の導入：地域からの発想、豊かな地域づくり、仙台市。厚生労働、61 (4): 30-35, 2006.
116. **大内憲明**、遠藤登喜子、東野英利子、栗山進一、福田護、藤田広志。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成 15 年度厚生労働省がん研究助成金による研究報告書、国立がんセンター、pp. 426-430, 2004
117. **大内憲明**、遠藤登喜子、東野英利子、栗山進一、福田護、藤田広志。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成 16 年度厚生労働省がん研究助成金による研究報告書、国立がんセンター、pp. 308-312, 2005
118. **大内憲明**、内山菜智子、東野英利子、栗山進一、福田護、山田隆之。乳がん検診の精度及び効率の向上に関する研究。平成 17 年度厚生労働省がん研究助成金による研究報告書、国立がんセンター、2006 (印刷中)
119. **大内憲明**。マンモグラフィによる乳がん検診の現状と将来展望。医報とやま、1419: 14-18, 2006.
120. 多田寛、樋口秀男、渡邊朋信、**大内憲明**。抗 HER2 抗体標識量子ドットを用いたマウス腫瘍内での単粒子イメージング。可視化情報 26(1): 181-182, 2006
121. 樋口秀男、渡邊朋信、多田寛、武田元博、**大内憲明**。バイオナノイメージングとナノ医療。応用物理 75(6): 695-698, 2006
122. **大内憲明**。癌の診断と治療に向けたイメージング技術の進展：ナノテクノロジーのがん医療への期待
バイオテクノロジージャーナル、7(1): 22-24, 2007
123. 樋口秀男、渡邊朋信、李松花、多田寛、**大内憲明**。蛍光性量子ドットによるがん細胞の単一分子ナノイメージング。バイオテクノロジージャーナル、7(1): 30-35, 2007
124. 武田元博、小林芳男、小林正樹、櫻井遊、中島護雄、**大内憲明**。ナノサイズセンシングクラスターの新規開発と外科治療への応用。バイオテクノロジージャーナル、7(1): 36-40, 2007
125. **大内憲明**。癌検診のエビデンス・乳癌検診。EBM ジャーナル、8(2): 58-61, 2007
126. **大内憲明**。がんの予防と効果的ながん検診。からだの科学、253 : 142-148, 2007
127. **大内憲明**。乳癌：基礎臨床研究のアップデート。日本臨床、65 (6): 1-2, 2007
128. **大内憲明**。乳癌検診の現状と課題。日本臨床、65 (6): 213-219, 2007
129. 南優子、角川陽一郎、**大内憲明**。ライフスタイルの変化と乳癌疾患。日本臨床、65 (6): 213-219, 2007
130. 樋口秀男、**大内憲明**。量子ドットを用いたがん細胞の分子ナノイメージング。 Medical Bio、November 2007: 55-59, 2007.
131. 渡部剛、多田寛、石田孝宣、**大内憲明**。新しい診断と治療の ABC,乳癌治療のガイドライン：標的を重視した治療へ。最新医学別冊、最新医学社、大阪、pp240-247, 2007
132. 河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、櫻井遊、**大内憲明**。がん早期発見術：乳癌検診。治療 90(1); 105-109, 2008

133. 武田元博、小林芳男、小林正樹、桜井遊、権田幸祐、樋口秀男、**大内憲明**。機能性ナノ粒子による生体イメージングの医療展開。ナノ学会会報、6 (2): 49-54, 2008.
134. 河合賢朗、石田孝宣、武田元博、多田寛、**大内憲明**。外科医に必要な化学療法の知識：乳癌の集学的治療と化学療法。外科治療増刊、98：241-249,2008。（永井書店）
135. **大内憲明**。東北大学病院の外来診療棟整備構想について。宮城県医師会報、749(6): 421, 2008
136. **大内憲明**、鈴木昭彦、桜井遊、石田孝宣。乳がん検診の現況と問題点。日医雑誌 137 (4): 663-666, 2008.
137. **大内憲明**、河合賢朗、南優子。マンモグラフィ検診の国際比較。乳癌の臨床、23 (3): 173-181, 2008.
138. 河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、桜井遊、**大内憲明**。乳癌検診の意義と実態：今後の展望について。Focus on Oncology, 9: 12-15, 2008.
139. 河合賢朗、石田孝宣、原田成美、甘利正和、**大内憲明**。若年者乳がん検診の現状と問題点。Pharma Medica, 27 (2): 11-14, 2009
140. 大貫幸二、**大内憲明**。日本におけるマンモグラフィ併用検診の過去・現在：同時併用検診と要精検率低下策。日乳癌検診学会誌、18 (2):134-141, 2009
141. **大内憲明**。マンモグラフィ検診の現状と課題を探る：わが国の乳がん検診受診率と事業評価の現状。INNERVISION, 24 (8): 60-64, 2009.
142. 権田幸祐、武田元博、**大内憲明**。ナノ医療のための in vivo ナノイメージング。現代化学、2009年11月、東京化学同人、464：49-54、2009
143. 権田幸祐、渡邊朋信、**大内憲明**、樋口秀男。がん転移の生体ナノイメージング。生物物理、2011年、日本生物物理学会、51 (2)：82-83、2011
144. 甘利正和、**大内憲明**。術後内分泌療法の適応はどのような症例か？（大津敦、古瀬純司、中川一彦編）EBM 2011-2012 がん化学療法・分子標的治療法。中外医学社、pp.275-279, 2010
145. 石田孝宣。非浸潤がんの術後内分泌療法は有効か？（大津敦、古瀬純司、中川一彦編）EBM 2011-2012 がん化学療法・分子標的治療法。中外医学社、pp.264-267, 2010
146. 甘利正和、**大内憲明**。CA15-3。Medicina、47：550-552,2010（医学書院）
147. **大内憲明**。医心人心 人は何のためにがん検診を受けるのだろうか？USPSTF ガイドライン改定に想う
宮城県対がん協会平成21年度事業年報
148. 権田幸祐、樋口秀男、渡邊朋信、武田元博、**大内憲明**。ナノイメージングで探る癌転移の仕組み。Surgery Frontier 18 (1): 50-57, 2011.
149. 権田幸祐、渡邊朋信、**大内憲明**、樋口秀男。がん転移の生体ナノイメージング。生物物理、51 (2): 82-83, 2011
150. **大内憲明**。40歳代マンモグラフィ検診の利益と不利益：USPSTF 推奨グレード改定の経緯。日本乳癌検診学会誌、20 (1): 4-7, 2011.
151. **大内憲明**。震災復興に向けた医学系研究科・医学部の取り組みについて。特定非営利活動法人良陵協議会会報「けやき」、第23号、p.2、2011（11月）
152. 濱田庸、権田幸祐、佐藤成、山家智之、里見進、**大内憲明**。血管新生における血管内皮増殖因子受容体分布の生体分子イメージング。ナノ学会会報、10 (1)：35-39、2011
153. 中川智彦、権田幸祐、亀井尚、叢莉蔓、久保田洋介、**大内憲明**。金ナノ粒子を用いたCTイメージング。ナノ学会会報。11 (1)：27-30、2012
154. 中川智彦、権田幸祐、小林芳男、叢莉蔓、亀井尚、猪瀬弘光、長須遼子、**大内憲明**。CT Imaging of Tumor with Silica-Coated Au Nanoparticle シリカコーティング金粒子によるがんCTイメージング。東北医学会雑誌、124 (1)：139-141、2012

155. 石田孝宣、鈴木昭彦、**大内憲明**。乳癌診療 Update—最新診療コンセンサス 2012：乳癌検診の現状と今後の展望—次世代の検診システム構築に向けて。医学のあゆみ、242 (1): 11-16, 2012.
156. 鈴木昭彦、石田孝宣、甘利正和、多田寛、渡部剛、玉城研太郎、**大内憲明**。実現可能で有効な乳癌検診—仙台市乳がん検診で出来たことと今後の課題。日本乳癌検診学会誌、21 (1): 17-22, 2012.
157. 多田寛、石田孝宣、**大内憲明**。乳房温存療法における LTF を用いた一期的乳房形成のテクニック。手術、66(10): 1449-1454, 2012.
158. 鈴木昭彦、石田孝宣、**大内憲明**。乳癌を究める 画像診断 診断精度向上のための注意点。外科、74(7): 685-689, 2012.
159. 鈴木昭彦、**大内憲明**。エビデンスに基づく乳癌診療の最前線：乳がん検診の薦め-受診者にとって利益のある検診とは。臨牀と研究、90 (10): 1303-1307, 2013
160. **大内憲明**、煎本正博。我が国の乳癌検診ガイドラインを検証する。日本乳癌検診学会誌、23 (1): 38-41, 2014
161. 鈴木昭彦、石田孝宣、**大内憲明**。乳がん検診の最新事情乳房超音波検診 日本から世界への発信 J-START、乳癌 BOOK、12 (8): 31-33, 2014
162. 宮下穰、石田孝宣、**大内憲明**。乳癌診療の新しい展開：ホルモン受容体/HER2 分子診断、Pharma Medica、32 (4): 9-12, 2014
163. 鈴木昭彦、石田孝宣、**大内憲明**。総合健診とがん：乳がん検診における超音波診断の役割、総合健診、41 (2): 315-321, 2014
164. **大内憲明**、鯉淵幸生。新しい検診システム。日本乳癌検診学会誌、24 (1): 85-88, 2015
165. 鈴木昭彦、石田孝宣、**大内憲明**。乳がん検診の動向と展望：J-START の現状と課題、INNERVISION、30 (8): 4-6, 2015
166. **大内憲明**、斎藤博。J-START はどのように行われたか：大規模 RCT の企画、運営、集計の経験。日本乳癌検診学会誌、25 (2): 114-116, 2016
167. 権田幸祐、**大内憲明**。蛍光ナノバイオによるがん病態イメージング、Medical Imaging Technol、34 (2): 61-67, 2016
168. 高野真由美、権田幸祐、濱田庸、徳永正之、本多明香里、北村成史、**大内憲明**。Elucidation of Mechanisms of Lymph Node Metastasis by Using Newly-Established Mouse Tumor Model。東北医学会雑誌、128 (1), 2017

IV. 症例報告

1. 木下康通、地守研三、大滝正道、鈴木彦一、佐々木厚、安藤紀昭、**大内憲明**、松田耕策、岡部治男。遺伝性球状赤血球症を伴った Sheehan 症候群。医学のあゆみ、117:1029-1038, 1981.
2. 遠藤尚文、**大内憲明**、大井龍司、葛西森夫、沢井高志、京極方久。7年間の経過で死亡した肝内胆管形成不全の一例。小児科、25:753-756, 1984.
3. 植木浜一、阿部力哉、木村道夫、**大内憲明**。腋窩リンパ節転移により発見された乳癌の3例。リンパ学、7:41-45, 1984.
4. **大内憲明**、森昌造。癌のDNA診断:乳癌における癌遺伝子研究の動向。日本臨床、47:658-662, 1989.
5. 阿部基、秋元実、**大内憲明**、俣野重雄、平川久、森昌造、柿坂光彦。異所性男性乳癌の一例。外科、51:741-744, 1989.
6. 渡邊至、大貫幸二。CA125 高値を呈した Pseudo-Meigs 症候群の1手術例。手術 56(8):1125-1128, 2002
7. 小澤洋平、藤島史喜、岡本宏史、手島仁、宮田剛、亀井尚、**大内憲明**、笹野公伸。Long-segment Barrett 食道を背景とした Barrett 食道腺癌2病変と食道胃接合部腺癌が認められた若年男性の1切除例。日本消化器外科学会雑誌。47(3):173-181, 2014

8. 藤尾淳、吉田竜一、神波力也、並木健二、大内憲明。腹腔内出血により発見された壁外有茎性発育した胃 gastrointestinal stromal tumor の 1 例。外科 77 (5):573-577, 2015

V. 国際学会発表(～2017 年2月)

1. **Ohuchi N**, Takahashi T, Tezuka F, Abe R. Stereomicroscopic differential diagnosis between duct papillomatosis and intraductal carcinoma. The 13th International Cancer Congress, September 1982, Seattle, WA, USA.
2. **Ohuchi N**, Takahashi T, Ohi R, Kasai M. Postoperative changes of intrahepatic portal veins in biliary atresia. The Annual Meeting of the Pacific Association for Pediatric Surgeons. May 1983, Fukuoka, Japan.
3. **Ohuchi N**, Thor A, Page DL, Schlom J. Monoclonal antibody RAP-5 defines increased ras oncogene expression in atypical hyperplastic lesions and carcinomas of the breast. The 8th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Nov. 7-8, San Antonio, TX, USA.
4. **Ohuchi N**, Thor A, Page DL, Hand PH, Schlom J. Immunohistochemical analysis of ras p21 expression in benign and malignant breast tissues using monoclonal antibodies. The 5th Annual Congress for Hybridoma Research, Jan. 26-29, 1986, Baltimore, MD, USA.
5. **Ohuchi N**, Page DL, Merino M, Thor A, Viglione MJ, Kufe D, Schlom J. Expression of tumor-associated antigen in the cytosol of atypical hyperplasias of the breast defined by monoclonal antibody DF3. 9th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Oct. 30 - Nov. 1, 1986, San Antonio, TX, USA.
6. **Ohuchi N**, Merino M, Carter D, Simpson JF, Kufe D, Schlom J. Does monoclonal antibody DF3 distinguish papillary carcinomas from benign papillomas of the breast? International Academy of Pathology, 76th Annual Meeting, March 7-13, 1987, Chicago, IL, USA.
7. **Ohuchi N**, Akimoto M, Mori S, Kufe D, Schlom J. Complementation of monoclonal antibodies DF3 and B72.3 in reactivity to breast cancer. The 3rd International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 17-19, 1988, San Francisco, CA, USA.
8. **Ohuchi N**, Akimoto M, Mori S. DF3 antigen expression in tissue section correlates with serum CA15-3 concentration in patients with recurrent breast cancer. Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, March 5-9, 1989, Tel Aviv, Israel.
9. **Ohuchi N**, Mori S, Akimoto M, Matoba N, Takahashi K, Gero E, Schlom J. Clinical evaluation of CA72-4 radioimmunoassay for serum TAG-72 antigen in patients with carcinoma. 6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan.
10. **Ohuchi N**, Ohtani H, Mori S. Immunohistochemical analyses of tumor-associated glycoprotein in gastric and breast carcinomas. 6th International Conference on Human Tumor Markers, May 23-26, 1989, Tokyo, Japan.
11. **Ohuchi N**, Akimoto M, Matano S, Hirakawa H, Abe M, Harada Y, Mori S. Serum TAG-72 in gastrointestinal cancer patients defined by monoclonal antibodies: comparison with CA19-9 and CEA. First International Conference on Human Antibodies and Hybridomas. April 18-20, 1990, Orlando, FL, USA.
12. **Ohuchi N**, Matano S, Hirakawa H, Abe M, Harada Y, Ikegaki H, Furuta A, Taeda Y, Yaegashi S, Takehana K, Takeda M, Ohnuki K, Mori S. Establishment and characterization of new human mammary carcinoma cell line, HMA-1. The 4th International Workshop on Monoclonal Antibodies and Breast Cancer. Nov. 5-6, 1990, San Francisco, CA, USA.
13. **Ohuchi N**, Furuta A, Abe M, Harada Y, Ikegaki H, Mori S, Iwasaki H. Duct-lobular segmentectomy for intraductal proliferative lesions of the breast: a long term follow-up study based on the histopathology. Biennial Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.
14. **Ohuchi N**, Harada Y, Abe M, Taeda Y, Ikegaki H, Furuta A, Mori S. O-linked mucin glycoproteins in primary breast cancer and patient survival. 14th Annual San Antonio Breast Cancer Symposium, Dec. 6-7, 1991, San Antonio, TX, USA.
15. **Ohuchi N**, Harada Y, Abe M, Furuta A, Ikegaki H, Taeda Y, Yaegashi S, Takehana K, Ohnuki K, Takeda M, Mori S. Expression of sialosyl-Tn antigen and c-erbB-2 oncogene product in breast

- cancer tissues: correlation with patient survival. Biennial /meeting of the International Association for Breast Cancer Research, May 26-29, 1991, Saint Vincent, Italy.
16. **Ohuchi N**, Correlation between c-erbB-2 oncogene product and estrogen receptor in breast cancer tissues. 5th International Workshop on Breast Cancer Research and Immunology, Nov. 1992, Walnut Creek, CA, USA.
 17. **Ohuchi N**, Furuta A, Abe M, Harada Y, Ikegaki H, Mori S. Management of intraductal carcinoma: EIC is unfavorable pathologic factor for limited surgery. Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.
 18. **Ohuchi N**, Yoshida K, Kimura M, Ouchi A, Kamioki S, Shiiba K, Matsuno s, Mori S, Abe R. Mass screening combined with mammography improves detection rate of early breast cancer in Japan. Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.
 19. **Ohuchi N**, Yaegashi S, Mori S, Sekiya T. p53 gene mutation in breast cancer and activated Ki-ras gene in phyllodes tumor. Biennial Meeting of International Association for Breast Cancer Research, April 1993, Banff, Canada.
 20. **Ohuchi N**, Harada Y, Ikegaki H, Masuko T, Mori S. Characterization of new breast cancer associated antigen and its potential clinical application. The Second International Cancer Molecular Biology Symposium. Nov. 1993, Cairo, Egypt.
 21. **Ohuchi N**. Intraductal Spread of Carcinoma: 3-D Definition and its Significance on Breast Conserving Surgery. The Second Meeting of the Hellenic Society for Breast Cancer Research, November 9-11, 1994, Athens, Greece
 22. **Ohuchi N**, Ohnuki K, Fukao A, Matsuno S. False negative rate of breast cancer screening by physical examination with or without mammography. 18th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 10-13, 1995, San Antonio, Texas, USA
 23. **Ohuchi N**, Hirakawa H, Harada Y, Furuta A, Ishida T, Ohnuki K, Satomi S. Management of minimal breast cancer: duct-lobular segmentectomy is a choice of treatment for disease with nipple discharge. The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July 3-5, 1996.
 24. **Ohuchi N**, Endo T, Tsuji I, Matsumoto T, Fukuda M, Morimoto T. A system guideline in a nationwide introduction of mammography for breast cancer screening in Japan. The 21st Meeting of the International Association for Breast Cancer Research, Paris, France, July 3-5, 1996.
 25. **Ohuchi N**, Ohnuki K, Kanemura S, Yoshida K, Kimura M, Ouchi A, Shiiba K, Fukao A, Matsuno S, and Satomi S. Sensitivity not improved by mammography alone in breast cancer screening as compared to clinical examination. The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December 1996.
 26. **Ohuchi N**, Ishida T, Furuta A, Harada Y, Ohnuki K and Satomi S. Five-year results of breast-conserving surgery without radiation for primary breast cancer in Japan. The 19th San Antonio Breast Cancer Symposium, San Antonio, TX, USA, December 1996.
 27. **Ohuchi N**. Change of breast cancer screening in Japan: A nationwide introduction of mammography. International Breast Cancer Screening Database Program, Stowe, VT, USA, October 1997.
 28. **Ohuchi N**, Akiyama F, Akashi-Tanak S, et al. Natural history of ductal carcinoma in situ: Analysis of biopsy specimens from women who subsequently developed invasive breast cancer. The 22nd International Association for Breast Cancer Research, Athens, Greece, September 1998.
 29. **Ohuchi N**. Perspective of mammographic screening of breast cancer in Japan. The 12th International Symposium in Basic and Clinical Research on Breast Cancer, Tokyo, Japan, April 1999.
 30. **Ohuchi N**. The current status and perspective of mammographic screening in Japan. The Japan-Korea Seminar on Cancer Screening, Sendai, July 5, 1999.
 31. **Ohuchi N** and Higashida Y. Nationwide survey of quality assessment of mammography and perspective of mammographic screening for breast cancer in Japan.. Surveillance of Breast Cancer Screening Programmes: International Breast Cancer Screening Network, CSPO, Viale Volta 171, Florence, Italy, August 30-31, 1999.
 32. **Ohuchi N**. Recent trend in breast cancer mortality and perspective of mammography screening in Japan. The 7th Sino-Japan Symposium on Cancer Treatment, Taipei, Taiwan, October 30, 1999.

33. **Ohuchi N.** Quality control of mammography screening for breast cancer in Japan, present and future. The 13th Intl. Symposium on Cancer Screening, Tokyo, April 26-28, 2000.
34. **Ohuchi N.** Definition, classification and feature of non-invasive carcinoma of the breast. The 8th United States - Japan Clinical Trials Summit on Breast Cancer. Kyoto, Japan, April 5-7, 2001
35. **Ohuchi N.** Breast-conserving surgery: a principle based on carcinoma extension. The 13th Annual Meeting of the Chinese General Surgery, Beihai, China, June 02-04, 2001.
36. **Ohuchi N.** Surgical Management of DCIS based on Histopathology and Biology. The 3rd Biennial Meeting of the Asian Breast Cancer Society, Seoul, Korea, June 14-15, 2001
37. **Ohuchi N.** Mammography screening in Japan - How did we succeed in introducing into public health? The Meeting of the Korean Radiological Society, Seoul, November 22-23 2001.
38. **Ohuchi N,** et al. Mammography screening and breast conserving therapy: Current status in Japan. The 5th Gonryo International Symposium in Medical Sciences. Shenyang, China, June 5, 2001.
39. **Ohuchi N.** Surgical Management of DCIS based on Histopathology and Biology. The 3rd Biennial Meeting of the Asian Breast Cancer Society, Seoul, Korea, June 14-15, 2001
40. **Ohuchi N.** Current Review of Breast Cancer Diagnosis and treatment in Japan. The China-Japan Medical Conference at The Jurin University, Changchung, China, August 25-29, 2002.
41. **Ohuchi N.** Japan (NCI-JSPS) Cooperative Cancer Research Program Scientist Exchange Summary Report. The United States-Japan Cooperative Cancer Research Program Annual Report: April 2000 through March 2001. The National Cancer Institute and Japan Society for the Promotion of Science. 2002
42. **Ohuchi N,** et al. Performance parameter evaluation of mammography screening in women aged 40-49: a comparison with women aged 50-69. The Biennial Meeting of the International Breast Cancer Screening Network, Montpellier, France, May 30-31, 2002.
43. **Ohuchi N.** Recent advances in the diagnosis and treatment of breast cancer. The 14th Annual Meeting of the Chinese General Surgery, Changsha, China, June 15-19, 2002.
44. **Ohuchi N.** Current Review of Breast Cancer Diagnosis and treatment in Japan. The China-Japan Medical Conference at The Jurin University, Changchung, China, August 25-29, 2002.
45. **Ohuchi N.** Innovative Achievements in Cancer Imaging - Mammography for Screening and MRI for Breast-conserving Surgery. The 33rd International Symposium of the Princess Takamatsu Cancer Research Fund, Tokyo, November 11-14, 2002.
46. **Ohuchi N,** Takeda M, Kawazoe Y, Kasuya A, Kamei T, Satake M. Biophoton Cancer Imaging and Generation of Nano-size Sensing Capsule. The 1st Symposium on Future Medical Engineering Based on Bio-nanotechnology, Sendai, January 28, 2003.
47. **Ohuchi N,** Kawazoe Y, Kasuya A, Takeda M, Nakajima M, Tada H, Kamei T, Satake M. Nano-Size Sensing Capsule for Future Medical Application, The 1st Nanomedicine Workshop, Honolulu, USA, March 19, 2003.
48. **Ohuchi N,** Tada H, Kamei T, Satake M, Takeda M, Nakajima M, Kasuya A, Kawazoe Y. Breast cancer cell imaging by nanocrystal semiconductor quantum dots conjugated with anti-HER2 antibody. 24th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, Sacramento, CA, USA, November 1-5, 2003
49. **Ohuchi N.** Mammography screening targeted women aged 40-49 - Current status and perspectives of breast cancer screening in Japan. IBSN Council Meeting, May 26-28, 2004
50. **Ohuchi N,** Tada H, Higuchi H, Kasuya A. Generation of CdSe nanocrystal semiconductor quantum dots conjugated with anti-HER2 antibody for molecular imaging of breast cancer. The AACR Special Conference 2005: Oncogenomics, San Diego, CA, February 2-6, 2005.
51. **Ohuchi N,** Higuchi H, Watanabe T, Tada H. Frontier of nano-biology and nano-medicine. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
52. Kasuya A, Takeda M, Nakajima M, Kamei T, **Ohuchi N,** Kobayashi Y, Kobayashi M. Application of nanoparticles for optical fluorescence probe and X-ray CT in biomedicine. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
53. Nakajima M, Takeda M, Kobayashi M, Suzuki S, **Ohuchi N.** Nano-sized fluorescent particles as new tracers for sentinel node detection: an experimental model for determination of appropriate size

- and wavelength. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
54. Tada H, Higuchi H, Watanabe T, Kamei T, **Ohuchi N**. In vivo breast cancer cell imaging with semiconductor quantum dots conjugated with monoclonal anti-Her 2 antibody. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
 55. Li S, Nakazato M, Yoshida N, Ogata T, Kon s, tolfer J, Rothenberg E, Watanabe T, Satake M, **Ohuchi N**. An effort to investigate the functional difference of transcription factor Renx1 isoforms derived from two distinct promoters. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
 56. Takeda M, Kobayashi M, Nakajima M, Kasuya A, **Ohuchi N**. Biophoton imaging for detection of cancer growth. The 5th Internal symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology, Nano-science and Technology for Medical Application. Sendai, February 2005.
 57. **Ohuchi N**. Epidemiology & Breast Cancer Screening. The 3rd Congress of the World Society for Breast Health & The 5th Biennial Meeting of the Asian Breast Cancer Society, Tokyo. 2005/04/21-23
 58. Yeon-Su Park, Luis M. Liz-Marzan, Atsuo Kasuya, Yoshio Kobayashi, Daisuke Nagao, Mikio Konno, Sergiy Mamykin, Andriy Dmytruk, motohiro Takeda, **Ohuchi N**. X-ray absorption of the gold nanoparticles with thin Silica shell. 2005 International Conference on Nanoscience and Nanotechnology, November 10-12, 2005, Gwangju, Korea
 59. **Ohuchi N**, Establishment of Mammography Screening Program in Japan, and Perspective of Breast Cancer Screening in Asia. The 2nd International Asian Conference of Cancer Screening (IACCS), Taipei, Taiwan, November 21-22, 2005.
 60. Yuu Sakurai, Motohiro Takeda, Yoshiyuki Kawazoe, Atsuo Kasuya, Yoshio Kobayashi, Takashi Kamei, Morio Nakajima, **Ohuchi N**, Nanosized Silver-Iodide Beads As New Contrast Media For Medical Application. The 12th International Conference on Biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005.
 61. Hiroshi Tada, Hideo Higuchi, Tomonobu M Watanabe, And **Ohuchi N**, In Vivo Breast Cancer Cell Imaging Using Quantum Dot Conjugated With Anti-Her2 Antibody. The 12th International Conference on Biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005.
 62. **Ohuchi N**. Chairman of the Symposium, Nanomedicine.. The 12th International Conference on Biomedical Engineering, Singapore, December 7-10, 2005.
The 7th International Symposium on Future Medical Engineering based on Bio-nanotechnology
21st Century Center of Excellence (COE) Program supported by JSPS, Chairman
Held as symposia in the 12th International conference on biomedical Engineering, Singapore
 63. **Ohuchi N**. Establishment of Mammography Screening Program in Japan, and Perspective of Breast Cancer Screening in Asia. 2nd International Asian Conference of Cancer Screening (IACCS), Taipei, Taiwan, November 21-22, 2005
 64. AKasuya, Y Kawazoe, V Kumar and **Ohuchi N**. Size and shape dependent properties of nanoparticles and their applications. International Conference on Nanoscience and Nanotechnology, 2006 (ICNSNT2006). University of Madras, Chennai, India. August 26-28, 2006.
 65. **Ohuchi N**, Takeda M, Nakajima M, Sakurai Y, Kawai M, Ishida T, Higuchi H. Application of nanotechnology for breast cancer research: Nano-DDS and molecular imaging based on visualization of single particle in vivo. 25th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, September 15-18, 2006, Montreal, Canada
 66. Yeon-Su Park, Andriy Dmytruk, Igor Dmitruk, Yasuto Noda, Atsuo Kasuya, and **Ohuchi N**. Aqueous-Phase Synthesis of Ultra-Stable Small CdSe Nanoparticles. GJ-NST2006, Gwangju, Korea
 67. Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Imaging of EGFR for biological study. The 8th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Singapore, December 4-5, 2006.

68. Sakurai Y, Takeda M, Kasuya A, Kobayashi Y, Kamei T, Amari M, Cong L, **Ohuchi N**. Nano size silver iodide beads as novel contrast media and their in vivo distribution. The 8th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Singapore, December 4-5, 2006.
69. Tada H, Higuchi H, Watanabe T, **Ohuchi N**. In vivo cancer targeting and imaging with quantum dots conjugated with anti-Her2 antibody. The 8th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Singapore, December 4-5, 2006.
70. Sakurai Y, Takeda M, Kasuya A, Kobayashi Y, Kamei t, Amari M, Cong L, **Ohuchi N**. Nano size silver iodide beads as novel contrast media for sentinel lymph node navigation surgery. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
71. Tada H, Higuchi H, Watanabe T, **Ohuchi N**. In vivo imaging using quantum dots in mice. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
72. Li-Shishido S, Watanabe MT, Tada H, Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Reduction in nonfluorescence state of quantum dots on an immunofluorescence staining. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
73. Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Imaging of EGFR with quantum dots. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
74. Cong L, Takeda M, **Ohuchi N**. Silica coated nano-particles for biomedical contrast imaging. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
75. Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Trastuzumab regulates receptor recycling on cancer cell. The 9th International Symposium of Future Medical Engineering based on Bio-manotechnology, Sendai, January 7-9, 2007.
76. **Ohuchi N**, Tada H, Sakurai Y, Kawai M, Takeda M, Higuchi H. Cancer research based on nano-bio technology: Nano-DDS and molecular imaging of single particle *in vivo*. International Symposium on Nano-medicine (ISNM) 2007, Okazaki, April 20-22, 2007.
77. Sakurai Y, Takeda M, Cong L, Amari M, Kobayashi Y, **Ohuchi N**. Distribution of nano particle after intravenous injection to the rabbits. ISNM2007 and MB-ITR2007, 04/19-21/2007, Okazaki, Japan
78. Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Imaging of EGFR with quantum dots. ISNM2007 and MB-ITR2007, 04/19-21/2007, Okazaki, Japan
79. Kawai M, Higuchi H, **Ohuchi N**. Interstitial nano-particle tracking and analysis of movements in the human tumor xenograft in mice. The 4th International Congress of Nanotechnology 2007, Clean Tech Congress 2007, San Francisco, November 5-8, 2007
80. Sakurai Y, Takeda M, Cong L, Kasuya A, Kobayashi Y, **Ohuchi N**. Nanosized Silver Iodide Beads As X-Ray Contrast Media and its In Vivo Distribution. The 4th International Congress of Nanotechnology 2007, Clean Tech Congress 2007, San Francisco, November 5-8, 2007
81. Harada N, Ishida T, Yamada T, Moriya T, Takahashi S, **Ohuchi N**. Multidetector-row helical computed tomography with skin markaer for a decision on the extent of resection in bbreast conserving surgery. The 93rd Annual Meeting of the Radiation Society of North America, November 25-30, 2007, Chicago.
82. Takeda M, Tada H, Kawai M, Sakurai Y, Higuchi H, **Ohuchi N**, In vivo Single Molecular Imaging and Sentinel Node Navigation using Nano-biotechnology for Medical Application. The 3rd Tohoku-NUS Symposium on Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region, 10-11 Dec 2007, National University of Singapore
83. Kawai M, Takeda M, Higuchi H, **Ohuchi N**, Tumor Interstitial Nano-particle Delivery and Analysis in the Human Tumor Xenograft in Mice. The 3rd Tohoku-NUS Symposium on Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region, 10-11 Dec 2007, National University of Singapore

84. Hamanaka Y, Takeda M, Tada H, Kawai M, Sakurai Y, Amari M, Suzuki A, Ishida T, **Ohuchi N**, In vivo tracking of anti-cancer drugs and the active sites conjugated with quantum dots. The 3rd Tohoku-NUS Symposium on Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region, 10-11 Dec 2007, National University of Singapore
85. Sakurai Y, Takeda M, Cong L, Amari M, Kasuya A, Kobayashi Y, Kamei T, **Ohuchi N**, In vivo Distribution of Silver Iodide Beads in Cancerous Legions. The 3rd Tohoku-NUS Symposium on Nano-Biomedical Engineering In The East Asian- Legions, 10-11 Dec 2007, National University Of Singapore
86. **Ohuchi N**, Takeda M, Kawai M, Tada H, Sakurai Y, Gonda K, Higuchi H. Novel imaging techniques with functional nano-objects for cancer diagnosis. Hot Topics in Molecular Imaging 2008 (TOPIM'08), European Society for Molecular Imaging, Les Houches, France, February 4-8, 2008. (Plenary Lecture)
87. Kawai M, Higuchi H, Gonda K, Takeda M, **Ohuchi N**. In vivo imaging of vascular permeability using nano-objects in mice tumor. Hot Topics in Molecular Imaging 2008 (TOPIM'08), European Society for Molecular Imaging, Les Houches, France, February 4-8, 2008.
88. **Ohuchi N**, Takeda M, Kawai M, Tada H, Sakurai Y, Gonda K, Higuchi H. Molecular imaging with functional nano-objects for cancer diagnosis. The 5th International Symposium on Nano-Biomedical Engineering Education and Research Center. March, 27-28, 2008, Matsushima, Japan
89. **Ohuchi N**. Plenary lecture: Drug resistance as a target for cancer chemotherapy by Fujita N. The 26th Congress of the International Association for Breast Cancer Research, September 22-24, 2008, Kurashiki, Japan (Chairman)
90. **Ohuchi N**, Kawai M, Suzuki A, Ishida T. Breast cancer screening in Japan. 6th international Asian conference of cancer screening, September 18, 2009, Souel, Korea
91. **Ohuchi N**. Japan Strategic Anti-cancer Randomized Trial (J-START) on the Effectiveness of Ultrasound for Breast Cancer Screening. Annual Meeting of Korean Society for Breast Screening, September 19, 2009, Souel, Korea
92. **Ohuchi N**. Keynote lecture on Nanomedicine. President, 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
93. Takeda M, Yamaguchi T, **Ohuchi N**. Interdisciplinary research for nano-biomedicine in Tohoku University. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
94. Gonda K, Miyashita M, Watanabe TM, Takeda M, Higuchi H. **Ohuchi N**. Development of novel antibody-based therapeutic agents targeting cancer metastasis. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
95. Higuchi H, **Ohuchi N**. Imaging of single motor molecules in living cells and mice with nanometer precision. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
96. Hamanaka Y, Gonda K, Takeda M, Shiraishi K, Yokoyama M, **Ohuchi N**. in vivo real-time tracking of polymeric micelles for DDS visualization. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
97. Hamada Y, Takeda M, Gonda K, Hikage M, Hamanaka Y, Sato A, **Ohuchi N**. Single molecular imaging of the dynamics of angiogenesis factor in hemi hind limb ischemic mice. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
98. Hikage M, Takeda M, Gonda K, Kamei T, Kobayashi M, Kumasaka M, Watanabe M, Miyata G, **Ohuchi N**. Fluorescent sentinel lymph node biopsy under endoscopic surgery using nano-objects. 3rd International Symposium on Nanomedicine. Novemeber 4-6, 2009, Okazaki
99. **Ohuchi N**. Research for cancer cell imaging and therapy based on nano-biotechnology. SMART-Tohoku GCOE joint Workshop on Micro & Nano-Bioengineering. Singapore, January 11-12, 2010. (Plenary Lecture)
100. **Ohuchi N**. Cancer rsearch based on nano-biotechnology: molecular imaging of cancer cells and sentinel lymph node detection. 12th International Symposium of Tohoku University Global COE Programme Global Nano-BME Education and Research Network Centre, March 26-27, 2010, Sendai
101. **Ohuchi N**. Randomized Controlled Trial on Effectiveness of Ultrasound for Breast Cancer Screening in Women aged 40-49 (J-START). 2010 Taipei International Breast Cancer Symposium (2010TIBCS), September 3-5, 2010 (Plenary Lecture)

102. Miyashita M, Ishida T, Tamaki K, Amari M, Sasano H, **Ohuchi N**. Histopathological Subclassification of Triple Negative Breast Carcinoma using Prognostic Scoring System. 33th San Antonio Breast Cancer Symposium. 10 December, 2010. Texas, USA.
103. Tamaki K, Sasano H, Sato Y, Miyashita M, Ishida T, Tamaki N, **Ohuchi N**. Vasohibin-1 in human breast carcinoma: A potential negative feedback regulator of angiogenesis. San Antonio Breast Cancer Symposium, December 2010
104. **Ohuchi N**, Tada H, Miyashita M, Gonda K. Nanomedicine in breast cancer diagnosis and therapy: Visualization of molecular pathways and quantification of HER2 protein by fluorescent-labeled antibody. 3rd Global Breast Cancer Conference, 6-8 October, 2011, Seoul, Korea (Invited)
105. **Ohuchi N**, Gonda K, Tada H, Amari M. Nano-bio imaging of disease mechanisms with fluorescent nano-particles. 14th Biomaterial and Nano-bio Technology. 2012 Northeastern Asian Symposium. Sep. 19-20, 2012. Sendai, Japan
106. **Ohuchi N**, Toru Nakano, G Miyata, K Onodera, H Ichikawa, T Kamei, Y Taniyama, M Yamada, C Sato, A Sato, S Satomi. Esophagectomy and reconstruction for the treatment of secondary esophagoaortic fistula after thoracic endovascular aneurysm repair. The 13th World Congress of International Society for Diseases of Esophagus. 17 October 2012. Venice Italy
107. **Ohuchi N**, Masaaki Kawai, Yuko Minami, Yoshikazu Nishino, Yoichiro Kakugawa. Body mass index and survival after breast cancer diagnosis in Japanese women. The 35th The 2012 CTRC-AACR San Antonio Breast Cancer Symposium (SABCS). 4, December, 2012. Texas, USA
108. Ito M, Yasuda Y, Furuta A., Kaneda I, **Ohuchi N**. Validation of brca mutation-carrier probability model, brcapro in the Japanese population. The 5th IMPAKT breast cancer conference. Brussels, Belgium, 2, May 2013, Brussels, Belgium
109. **Ohuchi N**. Welcome remarks on "Cutting Edge Biomedical Research", NIH-Tohoku University-JSPS Symposium, Sendai, Japan, May 9-10, 2013
110. **Ohuchi N**, Tada H, Gonda K. Breast cancer molecular imaging using nano-biotechnology for clinical application. NIH-Tohoku University-JSPS Symposium, Sendai, Japan, May 9-10, 2013
111. **Ohuchi N**. (Invited Speaker) Effectiveness of Ultrasonography Screening for Breast Cancer; Up-dated Data from the RCT of 76,196 Women Aged 40-49 (J-START), 12th International Workshop on Breast Imaging (IWDM2014), June 29- July 2, 2014, Gifu, Japan
112. Miyasita M, Gonda K, Tada H, Watanabe M, Ishida T, **Ohuchi N**. Quantitative diagnosis of HER2 expressing breast cancer by single particle quantum dot imaging. NIH-Tohoku University JSPS Symposium. 10 May 2013 Sendai. Japan
113. Yamada M, Nakano T, Miyata G, Kamei T, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Tejima J, Takaya K, Nakagawa T, Zuguchi M, Naoshima K, Sato A, **Ohuchi N**. Localization of the tumor and lymph node metastasis of the esophago-gastric-junction cancer. 10th International Gastric Cancer Congress. 20, June 2013. Verona, Italy
114. Yamada M, Nakano T, Sato C, Nakanishi C, Miyata G, Kamei T, Kawagishi N, Sato A, **Ohuchi N**. Analysis of vessel preservation and dissection depth using a novel piezo actuator-driven pulsed water jet. The 35th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society. 6 July 2013. Osaka. Japan
115. Miyagi S, Maida K, Kawagishi N, Nishimura R, Miura Y, Jinbo T, Asami K, Nakanishi W, Nakanishi C, Takeda I, Satoh K, **Ohuchi N**, Satomi S. Risk Factors for Portal Vein Stenosis in Living Donor Liver Transplantation. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation, 3 September 2013. Kyoto. Japan
116. Miyagi S, Kawagishi N, Nishimura R, Miura Y, Jinbo T, Asami K, Nakanishi W, Nakanishi C, Takeda I, Satoh K, **Ohuchi N**, Satomi S. The five cases of living donors that underwent laparoscopic or open surgery because of other diseases during the follow-up period after living donor

- transplantation. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 3 September 2013. Kyoto, Japan
117. Nakano T, Miyata G, Kamei T, Naoshima K, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Tejima J, **Ohuchi N**. Effects of low-carbohydrate enteral nutrition on stabilization of blood sugar levels after esophageal surgery: a randomized controlled trial. 35th European society of parenteral and enteral nutrition congress. 31 August 2013. Leipzig, Germany
 118. Murakami K, Kawagishi N, Nakanishi C, Takeda I, Miyagi S, Sato K, Sekiguchi S, Fujishima F, **Ohuchi N**. Fibrosing Cholestatic Hepatitis Developing within One Month, The 13th Congress of Asian Society of Transplantation, 3 September 2013. Kyoto, Japan
 119. Nakanishi C, Kawagishi N, Satoh K, Miyagi S, Takeda I, Sato A, **Ohuchi N**. Living-Donor Liver Transplantation for Primary Biliary Cirrhosis in a Single Center Experience: Impact of HLA Mismatch and Anti-M2 Level Before Transplantation. 16th Congress of the European Society of Organ Transplantation. 8 September 2013. Wien, Austria
 120. Nakanishi C, Kawagishi N, Satoh K, Miyagi S, Takeda I, Sato A, **Ohuchi N**. Alcohol resumption after living-donor liver transplantation for alcoholic cirrhosis: Impact of the Great East Japan Earthquake. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 3 September 2013. Kyoto, Japan
 121. Maida K, Akamatsu Y, Hara Y, Kashiwade T, Miyagi S, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Short Oxygenated Warm Perfusion (SOWP) with Prostaglandin E1 before Cold Preservation Improves Survival of Liver Grafts from Non-Heart-Beating Donor Rats. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 4 September 2013. Kyoto, Japan
 122. Yoshida S, Yamagata Y, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Igarashi Y, Inagaki A, Fujimori K, Ohashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. The influence of collagen-III expression on the efficiency of cell isolation by collagenase H. 14th World Congress of the International Pancreas and Islet Transplant Association (IPITA 2013) IPITA/TTS Young Investigator Award Winner. 26 September 2013. California, USA
 123. Miyazawa K, Miyagi S, Maida K, Murakami K, Fujio A, Kashiwade T, Nakanishi W, Hara Y, Nakanishi C, Yamaya H, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Edaravone, a free radical scavenger, improve the graft viability on liver transplantation from non-heart-beating donors. The 13th Congress of Asian Society of Transplantation. 5 September 2013. Kyoto, Japan
 124. Nishimura R, Nishioka S, Fujisawa I, Shiku H, Shimada M, Sekiguchi S, Fujimori K, Ushiyama A, Matsue T, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Tacrolimus inhibits the revascularization of isolated pancreatic islets. 14th World Congress of the International Pancreas and Islet Transplant Association. 24, September 2013. Monterey, CA, USA
 125. Yoshida S, Yamagata Y, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Igarashi Y, Inagaki A, Fujimori K, Ohashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. The influence of collagen-III expression on the efficiency of cell isolation by collagenase H. 14th World Congress of the International Pancreas and Islet Transplant Association (IPITA 2013), 26 September 2013, California, USA
 126. **Ohuchi N**. (Special Lecture) J-START, an RCT on effectiveness of screening US in women aged 40-49, 2014 Asian Breast Cancer Conference, October 17-19, 2014, Taipei, Taiwan
 127. **Ohuchi N**. (Opening Remarks and Keynote Lecture) Highlights from the frontiers of biomedical science, NIH-Japan-JSPS Symposium, October 23-24, 2014, Bethesda, MD, USA
 128. Murakami K, Kasajima A, Kawagishi N, Sato Y, Sasano H, **Ohuchi N**. Clinicopathological relevance of vasohibin-1-associated angiogenesis in hepatocellular carcinoma. The American Association for the Study of Liver Diseases. The Liver Meeting 2013. 5, November 2013, Washington, DC

129. Miyashita M, **Ohuchi N**, Ishida T. The clinical significance of breast MRI in the management of ductal carcinoma in situ diagnosed on needle biopsy. 36th San Antonio Breast Cancer Symposium, December 2013, San Antonio, USA
130. Miyashita M, **Ohuchi N**, Ishida T, Tada H, Gonda K. Quantitative diagnostic technology for HER2 positive breast cancer by molecular imaging: the potential predictive factor of anti-HER2 therapy. 36th San Antonio Breast Cancer Symposium. December 2013, San Antonio, USA
131. Kubota Y, Gonda K, Kobayashi Y, Kamei T, Nakagawa T, Matsudo H, Shibuya K, **Ohuchi N**. In Vivo Dual Imaging of Lymph Node Using X-ray CT and Fluorescence. 7th International Symposium on Nanomedicine (ISNM2013). 7 November 2013. Kyushu, Japan
132. Fujio A, Murayama K, Yamagata Y, Watanabe K, Imura T, Inagaki A, Ohbayashi N, Shima H, Sekiguchi S, Fujimori K, Igarashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, and Goto M. Collagenase H is crucial for isolation of rat pancreatic islets. 14th International pancreas & islet transplant association. 26/September 2013. Monterey, CA, USA
133. Kawagishi N, Fujio A, Nakanishi W, Miura Y, Nishimura R, Tokodai K, Hara Y, Nakanishi C, Takeda I, Miyagi S, Sato K, **Ohuchi N**. Eleven years' follow-up in a single center analysis on late acute rejection more than 3 months after living and deceased donor liver transplantation. Cutting edge of the transplantation (American Society of Transplantation), 14/ February 2014. Phoenix, Arizona, USA
134. Hikage M, Gonda K, Kamei T, **Ohuchi N**. Single Particle Imaging of the Sentinel Lymph Node under Endoscopic Surgery. A3 conference on Nanoscale Imaging of Cancers, 2 February 2014, Daejeon, Korea
135. Kawagishi N, Kashiwadate T, Maida K, Fujio A, Miura Y, Nakanishi W, Tokodai K, Nakanishi C, Miyagi S, Satoh K, **Ohuchi N**. Long-Term Outcome Of ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation In A Single Center Experience. 21th International liver transplantation society. 5/June 2014, London
136. Kawagishi N, Tokodai K, Nakanishi C, Miyagi S, Sato K, **Ohuchi N**. Long-Term Results on The Immunosuppression Withdrawal in Pediatric Recipients of Parental Living Donor Liver Transplants. World Transplant Congress 2014, 27/July 2014, SAN FRANCISCO, USA
137. Nishimura R, Sato K, Miura Y, Jimbo T, Fukushima D, Kawagishi N, Yamaya H, **Ohuchi N**. Serum albumin and neutrophils in patients with end-stage liver disease: relationships with ATP levels in CD4-positive T cells. World Transplant Congress 2014, 27 July 2014, San Francisco, USA. Tokodai K, Amada N, Haga I, Nakamura A, Kashiwadate T, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Pre-transplant HbA1c Is a Useful Predictor for the Development of New-Onset Diabetes in Renal Transplant Recipients Receiving No or Low-dose Erythropoietin. World Transplant Congress 2014, 28 July 2014, San Francisco, USA.
138. Sato K, **Ohuchi N**. Prolonged higher levels of bilirubin after pediatric living donor liver transplantation is a predictor of calcineurin-inhibitor associated neurological disorders. World Transplant Congress 2014, 29 July 2014, San Francisco, USA.
139. Nishimura R, Ushiyama A, Sekiguchi S, Fujimori K, Satomi S, **Ohuchi N**, Goto M. Does the immunological incompatibility between the donor and recipient affect pancreatic islet revascularization? World Transplant Congress 2014, 29 July 2014, San Francisco, USA.
140. Sato K, **Ohuchi N**. The vascular reconstruction for post-Kasai biliary atresia splenic malformation in living donor liver transplantation. World Transplant Congress 2014, 30 July 2014, San Francisco, USA.
141. A Fujio A, Takeda I, Nakanishi W, Nishimura R, Miura Y, Tokodai K, Miyagi S, Sato K, Kawagishi

- N, Fujimori K, **Ohuchi N**. A Single Center Experience of Living Donor Liver Transplantation for Acute Liver Failure. World Transplant Congress 2014, 30 July 2014, San Francisco, USA.
142. Sato K, **Ohuchi N**. Experience in the approach to splenorenal shunts in living donor liver transplant recipients. World Transplant Congress 2014, 31 July 2014, San Francisco, USA.
143. Okamoto H, Miyata G, Kamei T, Nakano T, Abe S, Katsura K, Taniyama Y, Sakurai T, Teshima J, Hikage M, **Ohuchi N**. Murine Double Minute 2 Predicts Response of Advanced Esophageal Squamous Cell Carcinoma to Definitive Chemoradiotherapy. 14th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus. 23 September 2014, Vancouver, Canada
144. Ozawa Y, Nakamura Y, Fujishima F, Saulo JA Felizola, Takeda K, Ito K, Kamei T, **Ohuchi N**, Sasano H. Decreased AT-rich interactive domain 1A expression contributes to invasive growth in esophageal squamous cell carcinoma. 14th World Congress of the International Society for Diseases of the Esophagus. 24 September 2014, Vancouver, Canada
145. Miyashita M, Sasano H, Tamaki K, Hirakawa H, Watanabe G, Tada H, Suzuki A, Ishioka C, Ishida T, **Ohuchi N**. Prognostic significance of tumor-infiltrating CD8+ and FOXP3+ lymphocytes in residual tumors and alterations in these parameters after neoadjuvant chemotherapy in triple-negative breast cancer. 2015 ASCO. 31 May 2015, Chicago, USA
146. Satho C, Sekiguchi A, Matudaira I, Kotosaki Y, Yanai R, Takeuchi H, Taki Y, Kaai K, Tada H, Ishida T, Kawashima R, **Ohuchi N**. Neural plasticity of the thalamic volume 6 months after surgical operations in patients with breast cancer. Organization for Human Brain Mapping 2015/6/18, Honolulu, Hawaii, USA
147. Maida K, Akamatu Y, Hara Y, Kashiwadate T, Miyagi S, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Effect of Machine Perfusion and Prostaglandin E1 on the Metabolism of Arachidonic Acid in Liver Grafts from Donors after Cardiac Death. 第14回The Congress of the Asian Society of Transplantation (CAST). 2015/8/24, Singapore
148. Nakano N, Kamiya K, Kamei T, Taniyama Y, Sakurai T, Sato C, Fukutomi T, Ozawa Y, **Ohuchi N**. Preoperative prediction on postoperative complications and prognosis by nutritional status assessed by Controlling Nutritional Status (CONUT) Score. ESPEN congress 2015 6/September 2015, Lisbon, Portugal
149. Shimizu K, Miyagi S, Miyazawa K, Maida K, Kashiwadate T, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Resveratrol, an activator of sirtuins, prevents warm ischemia-reperfusion injury in liver grafts from non-heart-beating donors in rats. The 14th Congress of the Asian Society of Transplantation. 26/August 2015, Singapore
150. Miyagi S, Kawagishi N, Kashiwadate T, Fujio A, Tokodai K, Hara Y, Nakanishi C, **Ohuchi N**, Satomi S. The relationship between bile duct reconstruction and complications in living donor liver transplantation. The 14th Congress of Asian society of Transplantation (CAST2015). 26/August 2015, Singapore
151. Okamoto H, Kamei T, Onodera K, Kikuchi H, Kamba R, Nakano T, Taniyama Y, Sakurai T, Sato C, **Ohuchi N**. Treatment of spontaneous esophageal rupture (Boerhaave syndrome) using thoracoscopic surgery and sivelestat sodium hydrate. 15th World Congress of the International Society of Diseases of the Esophagus. 19/September 2015, Singapore
152. Hukuoka K, Yoshida S, Imura T, Inagaki A, Igarashi Y, Miyagi S, Ohhashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Gotou M. Application of a prominent oxygen-permeable bag for short-time hepatocyte preservation prior to transplantation. 2015 IPITA • CTS • IXA joint congress. 16 November 2015, Melbourne, Australia
153. Yoshida S, Yamagata Y, Nakagawa K, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Igarashi Y, Inagaki A, Miyagi S, Ohashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Characterization and optimization of enzyme

- components for hepatocyte isolation. 18 November 2015, Melbourne, Australia
154. Yoshida S, Yamagata Y, Murayama K, Watanabe K, Imura T, Igarashi Y, Inagaki A, Miyagi S, Ohashi K, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. The influence of the synergistic effect of neutral protease derived from *Clostridium histolyticum* and clostripain on the hepatocyte isolation. 18 November 2015, Melbourne Australia
 155. Kawagishi N, Shimizu K, Yoshida S, Maida K, Miyazawa K, Hara Y, Nakanishi C, Miyagi S, **Ohuchi N**, Satomi S. ABO INCOMPATIBLE LIVER GRAFT IS A RELIABLE CHOICE IN TERMS OF THE LONG-TERM SURVIVAL. American Society of Transplantation, Cutting Edge of Transplantation 2016. 25 February, Phoenix, Arizona
 156. **Ohuchi N**. Japan strategic anti-cancer randomized trial (J-START): An RCT assessing the efficacy of adjuvant ultrasonography for breast cancer screening. 12th OOTR Annual Conference AOS 2016 Asian Oncology Summit. 3-4 March 2016, Kyoto Japan
 157. Tokodai K, Amada N, Haga I, Nakamura A, Jimbo T, Hara Y, Nakanishi C, Miyagi S, Kawagishi N, **Ohuchi N**. The Five-time Point Oral Glucose Tolerance Test as A Predictor of New-Onset Diabetes after Kidney Transplantation. The 1st Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2016. 8 April 2016 Tokyo Japan.
 158. Tokodai K, Amada N, Haga I, Nakamura A, Jimbo T, Hara Y, Nakanishi C, Miyagi S, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Limited Utility of Blood Cultures in the Management of Kidney Transplant Recipients with Community-Acquired Infections. The 1st Transplantation Science Symposium Asian Regional Meeting 2016. 9 April 2016 Tokyo Japan.
 159. Nakano T, Sato C, Nakagawa A, Tominaga T, **Ohuchi N**. A Laser-induced pulsed water jet for layer selective submucosal dissection of the esophagus. 24th International congress of the European Association for Endoscopic Surgery. 15 June 2016 Amsterdam Holland.
 159. Fukuoka K, Matsumura M, Imura T, Inagaki A, Igarashi Y, Miyagi S, Ohashi K, Enosawa S, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Optimization of procedure for short-time hepatocyte preservation prior to transplantation. 26th International congress of the transplantation society. 20 August 2016 Hong Kong.
 160. Miyagi S, Miyazawa K, Yoshida S, Maida K, Kashiwadate T, Tokodai K, Hara Y, Nakanishi C, Goto H, Kamei T, Kawagishi N, **Ohuchi N**, Satomi S. Early term results of biliary reconstruction using microsurgical outer-knotted suture technique in living donor liver transplantation World Transplant Congress (WTC2016). 20 August 2016 Hong Kong.
 161. Suzuki-Uematsu S, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. Optimization of pre-vascularization procedures for improving islet engraftment under the skin. International Congress of the Transplantation Society. 20 August 2016 Hong Kong.
 162. Miyazaki Y, Imura T, Yamagata Y, Maeda H, Murayama K, Watanabe K, Inagaki A, Igarashi Y, **Ohuchi N**, Satomi S, Goto M. The influence of dissociation enzymes on isolated islets during pancreatic islet isolation procedures. International Congress of the Transplantation Society. 20 August 2016 Hong Kong.
 163. Tokodai K, Kawagishi N, Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Kamei T, **Ohuchi N**. Effect of recipient age (<3 years) during liver transplantation on the prevalence of post-transplant class II anti-human leukocyte antigen antibody. International Congress of the Transplantation Society. 20 August 2016 Hong Kong.
 164. Onodera Y, Matsuura T, Kamei T, Nakano T, Taniyama Y, Sakurai T, Heishi T, Takeyama D, Kamiya K, Kubota Y, **Ohuchi N**. Evaluation of intratumoral blood flow with computed tomography perfusion imaging in esophageal cancer. 15th International Society for Diseases of the Esophagus. 20 September 2016 Singapore.
 165. Ishida H, Kasajima A, Kamei T, Fujishima F, Konno T, Ito K, Ozawa Y, Nakano T, Nakamura Y,

Tanaka Y, Kurosumi M, **Ohuchi N**, and Sasano H. Clinicopathological and immunohistochemical characteristics of esophageal small cell carcinoma: A comparison study. 15th World Congress of the ISDE. 19 September 2016 Singapore.

166. Tokodai K, Shimizu K, Yoshida S, Maida K, Nakanishi W, Hara Y, Nakanishi C, Miyagi S, Kawagishi N, **Ohuchi N**. Simple splenectomy for serious intestinal hemorrhage from portal hypertensive gastro-enteropathy after pediatric living donor liver transplantation: A report of three cases. Asian Transplantation Week 2016. 28 October 2016 Korea.

167. Tokodai K, Kawagishi N, Miyagi S, Nakanishi C, Hara Y, Kamei T, **Ohuchi N**. Effect of recipient age at liver transplantation on the prevalence of post-transplant donor-specific HLA-DR antibody. The 11th Korea Japan Transplantation Forum. 29 October 2016 Korea.

国内学会発表（～2017年2月）

第2回静岡乳腺画像診断研究会、三島

大内憲明。マンモグラフィ検診の現状と問題点。第2回静岡乳腺画像診断研究会、三島、2005/01/08

ナノ学会第3回大会、仙台市民会館

- ① 大内憲明。特別セッション「ナノ医療」司会、ナノ学会第3回大会、仙台市民会館、2001/05/08-10
- ② 大内憲明。実行委員、ナノ学会第3回大会、仙台市、2001/05/08
- ③ 多田寛、大内憲明、他。抗HER2抗体標識CdSeナノ粒子を用いた乳癌細胞のin vivo 蛍光イメージング。ナノ学会第3回大会、仙台市、2001/05/08
- ④ 武田元博、大内憲明、他。新規X線造影剤シリカコーティングAgIナノビーズの基礎的検討。ナノ学会第3回大会、仙台市、2001/05/08、シンポジウム、

第105回日本外科学会総会、名古屋

- ① 大貫幸二、大内憲明、他。がん登録を用いた乳癌検診の精度評価。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、ポスター
- ② 石田孝宣、大内憲明、他。マンモトームで診断された非触知乳癌：MRIは拡がり診断どこまで有用か？。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、サージカルフォーラム
- ③ 武田元博、大内憲明、他。担癌動物の腫瘍成長速度の生物フォトン発行強度との相関。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、サージカルフォーラム
- ④ 桜井遊、大内憲明、他。新規ナノサイズヨウ化銀ビーズを用いたX線センチネルリンパ節生検の検討2。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、サージカルフォーラム
- ⑤ 多田寛、大内憲明、他。CdSeナノクリスタル-トラスツツマブComplexを用いたHER2発現乳癌マウスモデルでのin vivo 蛍光イメージング。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、ポスター
- ⑥ 原田成美、大内憲明、他。Multidetector CT (MD-CT)による腋窩リンパ節転移診断の評価。第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13、ポスター
- ⑦ 大内憲明。サージカルフォーラム乳癌（発癌、悪性度）司会、第105回日本外科学会総会、名古屋、2005/05/11-13

第44回日本消化器集団検診学会総会、山形

大内憲明。画像を用いたがん検診の教育プログラム：マンモグラフィ検診からの提言。第44回日本消化器集団検診学会総会、山形、2005/05/14-15、教育講演

第13回日本乳癌学会総会、倉敷

- ① 鈴木昭彦、大貫幸二、石田孝宣、武田元博、甘利正和、大内憲明。仙台市におけるマンモグラフィ併用乳癌検診。第13回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005年6月10-11日

- ② 大内憲明。乳癌治療における新薬開発の現状と将来展望、第 13 回日本乳癌学会総会、倉敷、2005/06/10-11 (ワークショップ座長)
- ③ 大内憲明。乳癌診療ガイドライン。第 13 回日本乳癌学会総会、倉敷、2005/06/10-11、ワークショップ、倉敷、2005/06/10-11
- ④ 古妻嘉一、遠藤登喜子、森本忠興、岩瀬拓士、大貫幸二、東野英利子、角田博子、大村峯夫、増田慎三、中谷守一、大内憲明。マンモグラフィ読影講習会の教育効果と制度管理。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑤ 大貫幸二、清原博史、鈴木昭彦、大内憲明。マンモグラフィ検診における年代別・乳房の構成別の感度。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑥ 原田成美、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。60 歳以上におけるマンモグラフィ単独検診の検討。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑦ 中島護雄、武田元博、小林正樹、鈴木昭彦聡、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、多田寛、櫻井遊、原田成美、河合賢朗、大内憲明。蛍光ビーズを用いたセンチネルリンパ節生検法の検討。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑧ 桜井遊、石田孝宣、武田元博、大内憲明。アンストラサイクリン系、タキサン系薬剤無効症例に対してのカペシタビン使用症例の検討。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑨ 河合賢朗、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。当科における過去 12 年間の非浸潤癌に対する乳房温存療法の成績。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑩ 伊藤正裕、森谷卓也、笠島敦子、宇佐美伸、石田孝宣、笹野公伸、大内憲明。乳癌組織におけるリンパ管内皮細胞マーカーを用いた免疫組織化学の有用性。第 13 回日本乳癌学会総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑪ 宇佐美伸、森谷卓也、笠島敦子、伊藤正裕、原田成美、石田孝宣、笹野公伸、大内憲明。手術標本との対比から見た針生検標本における各種病理所見の信頼度。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日
- ⑫ 笠島敦子、森谷卓也、宇佐美伸、伊藤正裕、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。乳房温存療法における病理組織標本作製方法に関する検討。第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日

第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷

大内憲明。乳癌治療における新薬開発の現状と将来展望、第 13 回日本乳癌学会学術総会、倉敷、2005 年 6 月 10-11 日 (ワークショップ座長)

第 150 回東北外科集談会、盛岡

河合賢朗、石田孝宣、大内憲明、他。乳腺嚢胞内癌 10 例の検討。第 150 回東北外科集談会、盛岡、2005/06/11

第 13 回がん検診診断学会、横浜

大内憲明。各種がん検診の精度管理：乳がん検診の精度管理、第 13 回がん検診診断学会、横浜、2005/07/01-02、シンポジウム

第 64 回日本癌学会学術集会、札幌

- ① 大内憲明、武田元博、多田寛、中島護雄、樋口秀男。CdSe ナノ粒子・抗 HER2 抗体複合体による乳癌細胞イメージング。第 64 回日本癌学会学術集会、札幌、2005 年 9 月 14-16 日 (シンポジウム)
- ② 渡辺剛、高橋信、中田英之、加藤俊介、石田孝宣、大内憲明、石岡千加史。網羅的遺伝子発現解析を用いた p53 依存性に転写抑制される遺伝子群の単離と、その転写抑制メカニズムの解明。第 64 回日本癌学会学術集会、札幌、2005 年 9 月 14-16 日

- ③ 高橋信、柴田浩行、石田孝宣、大内憲明、森谷卓也、石岡千加史。乳癌における TP53 変移の有無を予測する遺伝子群発露プロファイルの検討。第 64 回日本癌学会学術集会、札幌、2005 年 9 月 14-16 日

第 43 回日本癌治療学会、名古屋

- ① 石田孝宣、大内憲明、他。マンモグラフィ検診は乳癌の治療をかえることができるか？第 43 回日本癌治療学会、名古屋、2005 年 10 月 25-27 日（ワークショップ）
② 大内憲明、最新画像診断により乳癌治療はどうなる、第 43 回日本癌治療学会、名古屋、2005 年 10 月 25-27 日（ワークショップ座長）

第 15 回日本乳癌検診学会、京都

- ① 大内憲明、精度及び効率からみた乳がん検診。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日、特別講演
② 中島護雄、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、宇佐美伸、桜井遊、河合賢朗、大内憲明。65 歳以上マンモグラフィ併用検診においてマンモグラフィ撮影使用基準前後での比較。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日（パネルディスカッション）
③ 森本忠興、福田護、大内憲明、他。マンモグラフィ精度管理中央委員会の現状。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日、（特別企画）
④ 大内憲明、日本女性の乳癌死を減少させることは可能か。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日、（シンポジウム 司会）
⑤ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、渋谷大助、大内憲明。デジタルマンモグラフィによる検診一要精検率の変化。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日（ワークショップ）
⑥ 福田護、沢井清司、大内憲明、他。自治体アンケートによる乳癌検診の現状—2002 年、2004 年、2005 年の比較。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日、（パネルディスカッション）
⑦ 大渡久美子、鈴木昭彦、大内憲明、他。実践トレーニングされた検査技師による 30 歳代の超音波乳癌検診。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日、（パネルディスカッション）
⑧ 小田原紀子、鈴木昭彦、大内憲明、他。精密検査後の集団検診受診率に関する検討。第 15 回日本乳癌検診学会、京都、2005 年 11 月 4-5 日

第 106 回日本外科学会総会、東京

- ① 中島護雄、大内憲明、他。蛍光ビーズを用いたセンチネルリンパ節生検法の検討。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
② 甘利正和、大内憲明、他。当科における同時性、異字性両側乳癌の検討。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
③ 宇佐美伸、大内憲明、他。乳腺針生検における予後因子検索の精度。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
④ 石田孝宣、大内憲明、他。乳癌の温存乳房内再発：予後のマーカーとなるか？第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
⑤ 武田元博、大内憲明、他。ガドリニウムナノ粒子を用いた新規 MRI 造影剤の基礎的検討。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
⑥ 鈴木昭彦、大内憲明、他。診療科別の乳がん検診の現状。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
⑦ 桜井遊、大内憲明、他。新規ナノサイズヨウ化銀ビーズを用いた造影効果と X 線センチネルリンパ節生検の検討。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京
⑧ 大内憲明。乳腺診断・座長。第 106 回日本外科学会総会、2006 年 3 月 29-31 日、東京

ナノ学会第 4 回大会、京都

- 河合賢朗、樋口秀男、渡辺朋信、多田寛、大内憲明。抗 EGFR 抗体標識量子ドットを用いたヒ

ト乳癌細胞のマウス in vivo イメージング。ナノ学会第4回大会、2006年5月19-21日、京都
第14回日本乳癌学会総会、金沢

- ① 森本忠興、大内憲明。乳癌検診の現状と問題点。第14回日本乳癌学会学術総会、金沢、2006年7月7-8日（シンポジウム座長）
- ② 渡辺亨、大内憲明、他。乳癌診療ガイドラインの検証。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢（シンポジウム）
- ③ 大貫幸二、大内憲明、他。シミュレーション分析によるマンモグラフィ単独検診の救命効果と経済効率。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢（シンポジウム）
- ④ 鈴木昭彦、大内憲明、他。検診を繰り返し受診中に発見された非早期乳癌の検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑤ 多田寛、大内憲明、他。Quantum dotを用いたHER2発現乳癌担癌マウス腫瘍内での蛍光単粒子イメージング。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑥ 笠島敦子、大内憲明、他。浸潤性乳癌手術例に対する脈管侵襲評価方法に関する検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑦ 河合賢朗、大内憲明、他。Intracystic papillary carcinoma 12例の検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑧ 宇佐美伸、大内憲明、他。乳腺初期浸潤癌におけるリンパ節転移能の獲得：臨床病理学的検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑨ 森谷卓也、大内憲明、他。HER2過剰発現に対する免疫組織学的検査法：抗体の種類による特性の検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑩ 中島護雄、大内憲明、他。多剤耐性再発乳癌に対するVinorelbineの使用経験。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑪ 櫻井遊、大内憲明、他。新規ナノサイズヨウ化銀ビーズを用いた造影効果と体内動態の検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑫ 甘利正和、大内憲明、他。当科における粘液癌16症例の検討。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢
- ⑬ 大内憲明、乳癌検診の現状と問題点。第14回日本乳癌学会総会、2006年7月7-8日、金沢（シンポジウム座長）

第61回日本体力医学会大会、神戸

樋口秀男、大内憲明。顕微鏡技術を用いたタンパク質・細胞・マウスの単一分子イメージング。

第61回日本体力医学

会大会、神戸国際会議場 シンポジウム「バイオイメージング技術の体力科学研究への応用、09/24-26、2006

第65回日本癌学会学術総会、横浜

- ① 元博、中島護雄、小林芳男、小林正樹、櫻井遊、亀井尚、叢莉曼、甘利正和、粕谷厚生、石田孝宣、鈴木昭彦、大内憲明。機能性ナノ粒子を用いたセンチネルリンパ節イメージング。第65回日本癌学会学術総会、2006年9月28-30日、横浜（シンポジウム）
- ② 樋口秀男、多田寛、渡辺朋信、大内憲明。機能性ナノ粒子を用いたがん細胞の単一ナノイメージング。第65回日本癌学会学術総会、2006年9月28-30日、横浜（シンポジウム）
- ③ 大内憲明、森山紀之。がん領域における分子イメージングの現状と今後の展望。第65回日本癌学会学術総会、2006年9月28-30日、横浜（シンポジウム座長）
- ④ 渡辺剛、加藤俊介、高橋信、中田英之、石田孝宣、大内憲明、石岡千加史。p53新規標的遺伝子 heat shock protein の同定とその転写制御の解析。第65回日本癌学会学術総会、2006年9月28-30日、横浜
- ⑤ 三木康宏、鈴木貴、山口ゆり、森谷卓也、林慎一、大内憲明、笹野公伸。ヒト乳癌アロマターゼの腫瘍内局在と発現機序の検討。第65回日本癌学会学術総会、2006年9月28-30

日、横浜

第 65 回日本公衆衛生学会、富山

大内憲明。がん検診のあるべき方向性（特別研修プログラム）。第 65 回日本公衆衛生学会、10/26-27、富山

第 65 回日本臨床外科学会、広島

大内憲明。乳房温存療法の最適化に向けて：LTF 術式開発から 12 年（招待講演 1）。第 65 回日本臨床外科学会、11/09-11、広島、

第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台

- ① 大内憲明。マンモグラフィ検診の評価と今後の展望（会長講演）。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006
- ② 鈴木昭彦、栗山進一、大貫幸二、武田元博、石田孝宣、西野善一、辻一郎、大内憲明。マンモグラフィ併用乳がん検診の生存率向上効果に関する研究。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006（シンポジウム）
- ③ 河合賢朗、鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、白石千子、宇佐美伸、多田寛、渋谷大助、大内憲明。地域がん登録を用いた乳癌検診感度。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006（パネルディスカッション）
- ④ 山田隆之、鈴木昭彦、内山菜智子、縄野繁、大内憲明。デジタルマンモグラフィにおける液晶モニタの診断能の検証。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006（ワークショップ）
- ⑤ 多田寛、石田孝宣、武田元博、大貫幸二、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。仙台市医師会型マンモグラフィ併用乳癌検診における精度管理。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006
- ⑥ 山田隆之、鈴木昭彦、宇佐美伸、斎藤美穂子、石橋忠司、大内憲明。外科切除標本における phase contrast mammography, CR, スクリーンマンモグラフィの比較。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006
- ⑦ 栗山進一、大貫幸二、鈴木昭彦、市村みゆき、森久保寛、東野英利子、辻一郎、大内憲明。シミュレーション分析による 40 歳代超音波乳がん検診の救命効果及び公立の検討。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006（ワークショップ）
- ⑧ 鷺尾尚子、鈴木昭彦、河合賢朗、小田桐千恵、小野博美、渋谷大助、大内憲明。平成 17 年度の乳腺超音波検診の実績。第 16 回日本乳癌検診学会総会、仙台、11/17-18、2006

日本放射線腫瘍学会第 19 回学術大会、仙台

大内憲明、北原規。他科の医師が放射線治療に期待するもの（シンポジウム、座長）。日本放射線腫瘍学会第 19 回学術大会、11/23-25/2006、仙台

4/11-13、第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪

- ① 大内憲明、ワークショップ「乳癌に対する minimally invasive surgery」、座長、第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13、
- ② 宇佐美伸、石田孝宣、大内憲明。乳癌のリンパ節転移は浸潤計何 mm から生ずるか？第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ③ 河合賢朗、石田孝宣、大内憲明。年代別乳癌検診感度の検討。第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ④ 多田寛、鈴木昭彦、武田元博、石田孝宣、大内憲明。仙台市医師会マンモグラフィ併用乳癌検診での 2 次読影で救済された癌症例の検討。第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ⑤ 岡村佳世子、石田孝宣、大内憲明。乳房温存術において術中迅速病理診断は有用か？（全周性断端検索 100 例の検討）。第 107 回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13

- ⑥ 小宮裕文、石田孝宣、大内憲明。126例の非触知乳癌のまとめ。第107回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ⑦ 甘利正和、石田孝宣、大内憲明。進行・再発乳癌におけるカペシタビンの治療効果の検討。第107回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ⑧ 桜井遊、武田元博、大内憲明。X線造影剤として開発したナノサイズヨウ化銀ビーズ体内動態の検討。第107回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13
- ⑨ 小野寺浩、宮崎修吉、大内憲明、里見進。切除可能食道癌に対する根治的化学放射線療法とSalvage手術。第107回日本外科学会定期学術総会、大阪 2007/04/11-13

ナノ学会第5回大会、筑波

- ① 大内憲明、武田元博、多田寛、桜井遊、河合賢朗、樋口秀男。ナノ科学・バイオ技術の医療分野への展開。ナノ学会第5回大会、筑波、05/21-23/2007 (特別講演)
- ② 河合賢朗、樋口秀男、大内憲明。マウス腫瘍新生血管における透過性のin vivo imaging。ナノ学会第5回大会、筑波、05/21-23/2007

第19回日本内分泌外科学会総会、名古屋

渡辺通雄、藤盛啓成、中野知之、峰岸道人、中島範昭、土井秀之、大内憲明、里見進。骨転移を伴い急速増悪した甲状腺低分化癌の一例。第19回日本内分泌外科学会総会、名古屋、05/31-06/01/2007

第153回東北外科集談会、仙台

玉城研太郎、宇佐美伸、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、桜井遊、渡部剛、深町佳世子、大内憲明。ステレオガイド下マンモトームを再施行して悪性の診断が得られた乳癌の一例。第153回東北外科集談会、06/16/2007、仙台

第15回日本乳癌学会総会、横浜

- ① 大内憲明、多田寛、河合賢朗、武田元博、石田孝宣、樋口秀男。生体超微細1分子可視化によるナノDDSと乳癌標的治療。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜(会長指定シンポジウム)
- ② 大貫幸二、遠藤登喜子、大内憲明、森谷卓也、光山昌珠。デジタルマンモトームとアナログマンモトームの大規模比較読影実験。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜(パネルディスカッション)
- ③ 玉城研太郎、鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、宇佐美伸、多田寛、大内憲明。乳癌Stage IV症例の治療戦略とその効果。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜(シンポジウム)
- ④ 深町佳世子、石田孝宣、武田元博、甘利正和、鈴木昭彦、桜井遊、渡部剛、大内憲明。乳房温存手術における術中迅速病理診断—全周性断端検索の有用性。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑤ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、宇佐美伸、多田寛、大内憲明。超音波併用マンモグラフィ検診に向けた検診精度シミュレーション。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑥ 古妻嘉一、遠藤登喜子、森本忠興、岩瀬拓士、大貫幸二、角田博子、東野英利子、大内憲明。マンモグラフィ読影講習会の教育効果と精度管理。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑦ 河合賢朗、武田元博、石田孝宣、鈴木昭彦、甘利正和、桜井遊、原田成美、渡部剛、大内憲明。蛍光ナノ粒子を用いたTrastuzumabのReceptor recycling effectに関する検討。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑧ 石田孝宣、大内憲明、武田元博、野口眞三郎、福島雅典、高塚雄一、増田慎三、西村令喜、天野吾郎。アントラサイクリン、タキサン不応性転移性乳癌に対するトラスツズマブとカペシタビン併用療法の安全性評価。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜

- ⑨ 森谷卓也、平川久、石田孝宣、木村道夫、田澤篤、君島伊造、大内憲明、笹野公伸。基底細胞型乳癌に関する臨床病理学的検討、第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑩ 甘利正和、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、大内憲明。若年者乳癌の臨床病理学的検討。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑪ 桜井遊、武田元博、小林芳男、甘利正和、叢莉蔓、大内憲明。ナノサイズヨウ化銀ビーズによる腫瘍・センチネルリンパ節造影効果の検討。第15回日本乳癌学会総会、横浜、2007年6月29-30日
- ⑫ 渡部剛、高橋信、石田孝宣、石岡千加史、大内憲明。乳癌予後規定因子としてのalphaB-crystallinの有用性。第15回日本乳癌学会総会、06/29-30/2007、横浜
- ⑬ 沢井清司、大内憲明。ワークショップ：若年者検診をどうするか 第15回日本乳癌学会学術総会、横浜、2007年6月29-30日（ワークショップ座長）
- ⑭ 大内憲明。モーニングセミナー：進行再発乳癌の極意 第15回日本乳癌学会学術総会、横浜、2007年6月29-30日（モーニングセミナー座長）

第154回東北外科集談会、青森市

大内憲明。日本外科学会生涯教育セミナー「乳癌のガイドライン」

第154回東北外科集談会、青森市、2007年9月15日

第66回日本癌学会学術総会、横浜、66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association

- ① Ohuchi N, Miki Y. In the front of breast cancer research: towards steady decrease of cancer mortality. Symposium on Specific Tumors. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜
- ② Ohuchi N, Basic research for novel diagnosis of breast cancer: Nano-DDS and molecular imaging of single particle in vivo. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜
- ③ Watanabe G, Kato S, Ishida T, Ohuchi N, Ishioka C. aB-crystallin, a novel p53-target gene product, interacts with p53 and is required for p53-dependent apoptosis. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜
- ④ Sakurai Y, Takeda M, Liman C, Kobayashi Y, Kasuya A, Amari M, Suzuki A, Ishida T, Moriya T, Ohuchi N. In vivo distribution of silver iodide beads in cancerous lesions. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜
- ⑤ Higuchi H, Ohuchi N. Nano-imaging of single quantum dots in living cells and mice tumor. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜
- ⑥ Kawai M, Higuchi H, Ohuchi N. In vivo imaging of vascular permeability using nanocrystals in mice tumor. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association, 第66回日本癌学会学術総会、2007年10月3-5日、横浜

日本乳癌学会東北地方会

- ① 東北大学大学院医学系研究科腫瘍外科学分野教授として、大学院生の研究指導、教育に従事
- ② 医学部外科学教授として、医学部学生の教育指導に従事
- ③ 東北大学病院乳腺・内分泌外科科長として、診療及び臨床研究に従事、ならびに東北大学病院研修医等の指導に従事
- ④ 東北大学病院MEセンター長として、医療機器全般に関する管理監督業務に従事
- ⑤ 新外来棟整備検討プロジェクト委員長として、東北大学病院の将来設計、運用、企画立案等に従事
- ⑥ 医療安全推進委員会委員として、東北大学病院における医療安全活動に従事

第40回日本甲状腺外科学会学術集会、東京

- ① 中島範昭、藤盛啓成、中野知之、峯岸道人、渡辺通雄、大内憲明、里見進。当科における甲状腺分化癌局所遺残症例の検討。第40回日本甲状腺外科学会学術集会、東京、2007、10月18-19日、
- ② 峯岸道人、渡辺通雄、中野知之、中島範昭、土井秀之、藤盛啓成、大内憲明、里見進。巨大頸部・腋窩リンパ節に転移を認めた甲状腺微小癌の一例

第45回日本癌治療学会総会、京都

大内憲明。がん先端医療の現在地・分子イメージング、教育シンポジウム、第45回日本癌治療学会総会、京都、2007年10月24-26日

日本乳癌画像研究会、東京

原田成美、山田隆之、石田孝宣、鈴木昭彦、甘利正和、森谷卓也、大内憲明。乳房温存療法におけるCTスキンマーカを用いたMDCT下マッピングの有用性。日本乳癌画像研究会、2008年2月23日、東京

第6回日本乳癌学会東北地方会、仙台

木島穰二、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、河合賢朗、玉城研太郎、笹野公伸、大内憲明。組織型から見たガイドライン間における治療方針の違い。第6回日本乳癌学会東北地方会、2008年3月1日、仙台

ナノ学会第6回大会、福岡

- ① 権田幸祐、渡邊朋信、武田元博、大内憲明、樋口秀男。量子ドットを用いた腫瘍細胞の膜伸縮運動の*in vivo*イメージング。ナノ学会第6回大会、福岡、2008年05/07-09
- ② 叢 莉蔓、小林芳男、武田元博、櫻井遊、甘利正和、大内憲明。シリカコーティング蛍光ナノビーズによるセンチネルリンパ節生検と分子画像診断。ナノ学会第6回大会、福岡、2008/05/07-09
- ③ 武田元博、小林芳男、小林正樹、櫻井遊、権田幸祐、樋口秀男、大内憲明。ナノヨウ化銀ビーズによるCT造影法の外科応用に関する基礎的検討。ナノ学会第6回大会、福岡、2008/05/07-09
- ④ 河合賢朗、武田元博、石田孝宣、大内憲明。蛍光ナノ粒子を用いた担がんマウスにおける腫瘍間質ナノドラッグデリバリーシステムの解析。ナノ学会第6回大会、福岡、2008/05/07-09
- ⑤ 日景充、亀井尚、武田元博、小林正樹、大内憲明。新規ナノ粒子をトレーサーとした鏡視下手術の基礎的検討。ナノ学会第6回大会、福岡、2008/05/07-09

第108回日本外科学会定期学術集会、長崎

- ① 大内憲明。非浸潤性乳管癌(DCIS)の組織及び生物学的特性に基づく治療の適正化。第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/05/15-17(シンポジウム、基調講演)
- ② 伊藤正裕、森谷卓也、石田孝宣、宇佐美伸、笠島敦子、笹野公伸、大内憲明。乳癌におけるリンパ管侵襲の病理学的評価の重要性。第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/05/15-17
- ③ 河合賢朗、樋口秀男、武田元博、石田孝宣、鈴木昭彦、甘利正和、宇佐美伸、櫻井遊、渡部剛、大内憲明。腫瘍間質におけるナノスケールでの分子挙動解析によるDDSの解明。第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/05/15-17
- ④ 渡部 剛、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、櫻井遊、伊藤正裕、原田成美、河合賢朗、渋谷大助、大内憲明。検診MMG導入による非浸潤癌増加と、非浸潤癌の画像特性の検討。第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/05/15-17
- ⑤ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、大内憲明。乳腺針生検の診断精度の検討。第108回日本外科学会定期学術集会、長崎、2008/05/15-17

第20回日本内分泌外科学会総会、仙台

- ① 大内憲明。乳がん内分泌療法：target-specific therapy up-date。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13、(シンポジウム)

- ② 大内憲明。(司会) 乳癌内分泌療法内分泌療法の効果予測因子の手術/生検検体を用いた検索の実際。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13、(シンポジウム)
- ③ 大内憲明。(司会) ハーセプチンが変えた乳癌薬物療法。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13、(教育セミナー)
- ④ 中島範昭、藤盛啓成、渡辺通雄、峯岸道人、中野知之、土井秀之、大内憲明、里見進。当科における縦隔甲状腺腫症例の検討。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13
- ⑤ 岩根 尊、関口悟、川岸直樹、赤松順寛、渡辺通雄、中島範昭、藤盛啓成、大内憲明、里見進。重症心不全を合併した褐色細胞腫の一例。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13
- ⑥ 渡辺通雄、藤盛啓成、中野知之、峯岸道人、中島範昭、大内憲明、土井秀之、里見進。再発を繰り返す副甲状腺癌の一例。第20回日本内分泌外科学会総会、仙台、2008/06/12-13

第155回東北外科集談会、仙台

宮下 穰、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、河合賢朗、大内憲明。乳癌術前化学療法における画像上効果判定と病理学的効果判定の比較。第155回東北外科集談会、2008/06/14、仙台

第60回日本細胞生物学会、横浜

榎田幸祐、渡邊朋信、武田元博、大内憲明、樋口秀男。量子ドットを用いた腫瘍細胞の *in vivo* イメージング。第60回日本細胞生物学会 ワークショップ「癌浸潤転移における細胞運動のメカニズム」、横浜)、2008年7月1日

第19回日本在宅医療学会、千葉

石田孝宣、大内憲明。外来化学療法における継続/中止の分岐点：乳がんの現状と課題。第19回日本在宅医療学会、2008年7月27日 千葉

第13回日本産婦人科乳癌学会、徳島

大内憲明。超音波による乳がん検診の有効性を検証するための比較試験、第13回日本産婦人科乳癌学会、徳島、09/14/2008 (特別講演)

第16回日本がん検診診断学会、東京

大内憲明。超音波による乳がん検診：EBM創成のための大規模比較試験、第16回日本がん検診診断学会、東京、09/19/2008 (特別講演)

第16回日本乳癌学会学術総会、大阪

- ① 大内憲明、福田護。事業評価からみた乳癌検診の現状と今後の課題 (パネルディスカッション・司会)、第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27
- ② 紅林淳一、大内憲明。 Translating Research into Practice (JBCS-IABCR Joint Symposium, Chairman (Moderator)), 第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27
- ③ 大内憲明。乳癌予後予測検査 MammaPrint による個別化医療の実現 (ランチョンセミナー・司会)、第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27
- ④ 石田孝宣、大内憲明 (ワークショップ)。がん戦略研究 (J-START) : 乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑤ 宮下 穰、鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、桜井遊、伊藤正裕、河合賢朗、大内憲明。マンモグラフィ検診繰り返し受診者から発見された乳癌の検討。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑥ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、桜井遊、河合賢朗、渋谷大助、大内憲明。ソフトコピー診断による乳癌検診の実際。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日

- ⑦ 桜井 遊、鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、渡部剛、渋谷大助、大内憲明。ソフトコピー診断の問題点：石灰化症例のカテゴリー判定に関する検討。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑧ 濱中洋平、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、武田元博、大内憲明。トラスツズマブ投与の有無による乳癌脳転移の検討。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑨ 原田成美、石田孝宣、山田隆之、大内憲明。乳房温存療法におけるCTスキャンマーカを用いたMDCT下マッピングの有用性。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑩ 森谷卓也、渡辺みか、小塚祐司、鹿股直樹、石田孝宣、大内憲明、紅林淳一、園尾博司。トリプルネガティブ(TN)乳癌の病理組織学的特性に関する検討。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑪ 増子さつき、高橋信、石田孝宣、大内憲明、森谷卓也、笹野公伸、野水整、角川陽一郎、石岡千加史。Multiple RT-PCR法を用いた乳癌予後予測遺伝子診断の研究。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑫ 河合賢朗、武田元博、石田孝宣、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。蛍光ナノ粒子による腫瘍間質ドラッグデリバリーシステムの生体内1分子イメージング。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑬ 玉城研太郎、笹野公伸、石田孝宣、大内憲明、森谷卓也。新しい血管新生抑制因子(Vasohibin)の乳癌疾患における検討と乳癌標的治療への展望。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑭ 小塚祐司、森谷卓也、秋山太、黒住昌史、Tse Gray, Tan Puray Hoon、鹿股直樹、大内憲明、紅林淳一、園尾博司。乳癌の組織型分布：アジアにおける国際比較。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑮ 渡部 剛、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。非浸潤癌60症例に対するMMG,US,MRIの感度と病理所見の対比。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑯ 甘利正和、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、大内憲明。浸潤性小葉癌における乳房温存療法の問題点。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日7
- ⑰ 藪内伸一、鈴木幸正、遠藤公人、桃野哲、武田元博、大内憲明。乳癌原発腺様嚢胞癌の一例。第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008年9月26-27日
- ⑱ 大内憲明。事業評価からみた乳癌検診の現状と今後の課題（パネルディスカッション・司会）、第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27
- ⑲ Noriaki Ohuchi. Translating Research into Practice (JBCS-IABCR Joint Symposium, Chairman (Moderator)), 第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27
- ⑳ 大内憲明。乳癌予後予測検査 MammaPrint による個別化医療の実現（ランチョンセミナー・司会）、第16回日本乳癌学会学術総会、大阪、2008/09/26-27

第41回甲状腺外科学会、東京

峯岸道人、中野知之、中島範昭、渡辺道雄、丸岡伸、藤盛啓成、大内憲明、里見進。甲状腺分化癌骨転移症例の検討。第41回甲状腺外科学会、東京、10/17/2008

第67回日本癌学会学術総会、名古屋

- ① 岡きま子、鈴木貴、赤平純一、三木康宏、小野寺好明、小野克彦、長崎修治、森美紀、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。乳癌におけるNUD2の発現に関する免疫組織化学的検討。第67回日本癌学会学術総会、2008年10月28-30日、名古屋
- ② 小野川徹、鈴木貴、片寄友、力山敏樹、阿部高明、石田孝宣、森川孝則、岡上能斗竜、前田晋平、大内憲明、笹野公伸、江川新一、海野倫明。新規乳癌独立予後因子としての有機アニオントランスポーターLST-2/SLCO1B3の癌細胞特異的発現とその腫瘍生物学的意義。

第 67 回日本癌学会学術総会、2008 年 10 月 28-30 日、名古屋

第 46 回日本癌治療学会総会、名古屋

大内憲明。がん対策のための戦略研究とがん検診のあり方、シンポジウム「がん検診のあり方を考える」、第 46 回日本癌治療学会総会、10/30-11/01、名古屋

第 125 回バイオメカニクス研究会 (日本生体医工学会専門別研究会)、東北大

権田幸祐、武田元博、樋口秀男、大内憲明。In vivo ナノイメージングで観えてきた癌転移の仕組み。

第 125 回バイオメカニクス研究会 (日本生体医工学会専門別研究会)、(東北大)2008 年 10 月 28 日

バイオマテリアル学会シンポジウム 2008、東京大学

大内憲明、権田幸祐、武田元博。機能性量子ドットによる生体内単分子イメージングと抗がん剤ナノ DDS」、バイオマテリアル学会シンポジウム 2008、2008 年 11 月 17-18 日、東京大学)

第 51 回日本甲状腺学会、宇都宮

中島範昭、藤盛啓成、峰岸道人、渡辺道雄、大友浩志、土井秀之、大橋俊則、大内憲明、里見進。マーシャル諸島共和国首都マジュロ環礁におけるヨード摂取状況の現状、第 51 回日本甲状腺学会、宇都宮、11/22/2008

第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋

- ① 佐々木政子、鈴木昭彦、河合賢朗、高橋久子、斎藤純子、渋谷大助、大内憲明。当センターにおける似出張検診と労働環境、(パネルディスカッション)、第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋、12/05-06/2008
- ② 玉城研太郎、石田和之、河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、森谷卓也、玉城信光、大内憲明。乳房超音波と病理。第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋、12/05-06/2008
- ③ 宮下 穰、鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、桜井遊、河合賢朗、原田成美、玉城研太郎、大内憲明。検診繰り返し受診者から発見された乳癌の検討。第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋、12/05-06/2008
- ④ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、桜井 遊、河合賢朗、大内憲明。乳癌診療システムの精度向上に向けて、(パネルディスカッション)、第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋、12/05-06/2008
- ⑤ 大内憲明。乳がん検診従事者の労働環境、(パネルディスカッション司会)、第 18 回日本乳癌検診学会総会、名古屋、12/05-06/2008

第 70 回日本臨床外科学会、東京

大内憲明。外科医のための最新病理学・乳腺部門 (特別企画司会)、第 70 回日本臨床外科学会、東京 11/27-29/2008

第 31 回日本分子生物学会・第 81 回日本生化学会合同大会、神戸

権田幸祐、渡邊朋信、武田元博、樋口秀男、大内憲明。In vivo イメージングで観えてきた癌転移の仕組み、第 31 回日本分子生物学会・第 81 回日本生化学会合同大会、神戸、2008 年 12 月 9-12 日、神戸

2009 年生体運動合同班会議、東京大学

権田幸祐、渡邊朋信、武田元博、大内憲明、樋口秀男。がん細胞の膜のダイナミクスは転移の進行にともない劇的に変化する。2009 年生体運動合同班会議、東京大学、2009/01/09-10

第 6 回日本乳癌学会東北地方会、仙台

- ① 原田成美、石田孝宣、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明、山田隆之。MDCT 下に切除範囲を決定した乳房温存療法の治療成績。第 6 回日本乳癌学会東北地方会、2009 年 3 月 7 日、仙台

- ② 櫻井 遊、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、武田元博、大内憲明。アンストラサイクリン系、タキサン系薬剤無効症例に対するビノレルビン治療成績の検討。第6回日本乳癌学会東北地方会、2009年3月7日、仙台

第22回東北甲状腺談話会、盛岡

中島範昭、渡辺通雄、峰岸道人、中野知之、藤盛啓成、大内憲明。巨大な嚢胞を形成した甲状腺乳頭癌の3例。第22回東北甲状腺談話会、2009年3月21日、盛岡

第109回日本外科学会定期学術集会、福岡

- ① 大内憲明、光山昌珠。乳がん術前化学療法と手術療法。シンポジウム・司会、第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡
- ② 甘利正和、石田孝宣、大内憲明。カペシタビンは進行・再発乳癌治療の第一選択薬となりうるか？第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡・ポスター
- ③ 河合賢朗、石田孝宣、大内憲明。超音波検査による30歳代乳癌検診の試み。第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡・ポスター
- ④ 鈴木昭彦、石田孝宣、大内憲明。マンモグラフィソフトコピー診断による乳がん検診の実際。第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡・ポスター
- ⑤ 櫻井 遊、武田元博、大内憲明。乳がん検診におけるソフトコピー診断の現状と問題点。第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡・口演
- ⑥ 日景 充、亀井 尚、武田元博、権田幸祐、大内憲明。ナノ粒子を用いたセンチネルリンパ節生検の基礎的検討。第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡
- ⑦ 玉城研太郎、石田孝宣、大内憲明。乳がん Stage 別予後:時代の変遷とともに乳がん生存率は改善したか？第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡
- ⑧ 原田成美、石田孝宣、大内憲明。乳癌手術におけるCTスキャンマーカを用いた術式・切除範囲決定のシミュレーション。第109回日本外科学会定期学術集会、2009年4月2-4日、福岡

第25回DDS学会

権田幸祐、渡邊朋信、河合賢朗、武田元博、樋口秀男、大内憲明。In vivo ナノイメージングで解き明かすがん転移とDDSの仕組み。第25回DDS学会。2009年7月3-4日、ワークショップ「分子イメージング」

第7回ナノ学会、東京

- ① 権田幸祐、渡邊朋信、武田元博、樋口秀男、大内憲明。生体ナノ計測で解き明かすがん転移メカニズム。第7回ナノ学会、2009年5月9-11日、東京
- ② 日景充、武田元博、亀井尚、権田幸祐、大内憲明。ナノ粒子をトレーサーとした鏡視下手術の基礎的検討。第7回ナノ学会、2009年5月9-11日、東京

第21回日本内分泌外科学会、岡山市

- ① 峯岸道人、高橋淑朗、中野知之、中島範昭、渡辺通雄、藤盛啓成、大内憲明、里見進。脂肪変性を伴った副甲状腺腺種。第21回日本内分泌外科学会、2009年5月29-30日、岡山市
- ② 中野知之、土井秀之、手島仁、峰岸道人、中島範昭、渡辺通雄、藤盛啓成、大内憲明、里見進。副甲状腺癌由来の細胞株の樹立のその生物学的特徴の検討。第21回日本内分泌外科学会、2009年5月29-30日、岡山市、

第8回国際バイオEXPO、特別講演、東京ビッグサイト

大内憲明。がん治療に向けたナノバイオ研究最前線、第8回国際バイオEXPO、特別講演、東京ビッグサイト、2009年7月1-3日

第17回日本乳癌学会学術総会、東京

- ① 河合賢朗、南優子、辻一郎、大内憲明。女性ホルモン剤使用と乳癌罹患に関するコホート研究。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日

- ② 玉城研太郎、石田孝宣、石田和之、宮下穰、玉城信光、笹野公伸、甘利正和、大内憲明。乳房超音波所見と病理増の対比。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ③ 甘利正和、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、大内憲明。転移再発乳癌治療における経口抗がん剤（カペシタビン）の位置付け。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ④ 宮下 穰、石田孝宣、玉城研太郎、大内憲明。トリプルネガティブ乳癌に対する臨床病理学的検討。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ⑤ 原田成美、石田孝宣、山田隆之、大内憲明。術前化学療法施行例での腋窩リンパ節評価におけるMDCTの有用性。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ⑥ 櫻井 遊、石田孝宣、武田元博、鈴木昭彦、甘利正和、大内憲明。進行・再発乳癌に対するビノレルビン治療への効果：アンスラサイクリンおよびタキサン系薬剤の無効例。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ⑦ 深町佳世子、武田元博、石田孝宣、河合賢朗、櫻井 遊、甘利正和、鈴木昭彦、大内憲明。術後難治性リンパ腫を発症したリンパ脈管筋腫症（LAM）合併乳癌の一例。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ⑧ 大内憲明。班研究報告・司会。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日
- ⑨ 大内憲明。モーニングセミナー「乳がん早期発見のコツ」・司会。第17回日本乳癌学会学術総会、東京、2009年7月3-4日

第41回日本臨床分子形態学会、神戸市

鈴木貴、高木清司、三木康宏、森谷卓也、大内憲明、笹野公伸。乳癌における性ホルモン局所合成。第41回日本臨床分子形態学会、2009年9月4-5日、神戸市

第68回日本癌学会学術総会、横浜市

- ① 権田幸祐、武田元博、樋口秀男、大内憲明。転移性がん細胞の膜ダイナミックスのin vivoイメージング。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日
- ② 日景 充、武田元博、亀井尚、権田幸祐、濱中洋平、大内憲明。ナノサイズ粒子をトレーサーとした鏡視下蛍光センチネルリンパ節生検の開発。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日
- ③ 濱中洋平、権田幸祐、武田元博、白石貢一、横山昌幸、大内憲明。高分子ミセル生体内1分子イメージングによるDDS動態評価。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日
- ④ 武田元博、河野雅弘、甘利正和、中島護雄、石田孝宣、大内憲明。末梢リンパ球へマトゴルフィリン染色によるがん診断。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日
- ⑤ 丸尾陽平、玉城研太郎、森谷卓也、高橋弥生、伊藤靖史、平川久、玉城信光、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。ヒト乳癌におけるVasohibin-1発現の検討。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日
- ⑥ 大内憲明。生体イメージング・司会。第68回日本癌学会学術総会、横浜市、2009年10月1-3日

第42回日本外科学会学術集会、名古屋

- ① 中島範昭、藤盛啓成、渡辺通雄、峯岸道人、中野知之、高橋淑朗、大内憲明、里見進。当科における高齢者甲状腺乳頭癌手術症例の検討。第42回日本外科学会学術集会、2009年10月15-16日、名古屋
- ② 渡辺道雄、藤盛啓成、高橋淑朗、中野知之、峯岸道人、中島範昭、武田裕、大内憲明、里見進。甲状腺切除後に再発を繰り返した頸部炎症性腫瘍の一例。第42回日本外科学会学術集会、2009年10月15-16日、名古屋

第23回日本乳腺甲状腺超音波診断会議（JABTS）特別講演、東京

大内憲明。超音波学の発展と J-START(大規模臨床試験)。第 23 回日本乳腺甲状腺超音波診断会議 (JABTS) 特別講演、2009 年 10 月 10-11 日、東京

第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌 (特別企画:鼎談)

- ① 大内憲明。乳癌検診の過去、現在、未来 : 現在から将来への展望。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日 (特別企画:鼎談)
- ② 大内憲明。超音波による乳がん検診:導入への課題とインフラ整備。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日 (イブニングセミナー)
- ③ 玉城研太郎、石田孝宣、大内憲明、宮下穰、笹野公伸、玉城研信光。乳腺針生検と摘出標本の比較。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日
- ④ 宮下穰、石田孝宣、石田和之、武田元博、甘利正和、中島護雄、玉城研太郎、大内憲明。乳腺組織診における良悪性鑑別困難症例に対する検討。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日
- ⑤ 河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、大貫幸二、渋谷大助、大内憲明。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日 (パネルディスカッション)
- ⑥ 大内憲明。パネルディスカッション:超音波併用乳癌検診の確立に向けて。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日 (司会)
- ⑦ 鈴木昭彦、石田孝宣、武田元博、甘利正和、中島護雄、河合賢朗、渋谷大助、大内憲明。デジタルマンモグラフィハードコピー診断をソフトコピー診断に移行する際の影響調査。第 19 回日本乳癌検診学会総会、札幌、2009 年 11 月 5-6 日

第 371 回東北医学会特別シンポジウム、仙台 (長陵会館)

大内憲明。大規模臨床試験の更なる発展に向けて : がん対策のための戦略研究。第 371 回東北医学会特別シンポジウム、仙台 (長陵会館)、2009 年 11 月 20 日

第 4 回低侵襲医療機器実現化フォーラム、東京 (東京慈恵医大)

大内憲明。ナノ・バイオテクノロジーによる乳がんの 1 分子イメージング・DDS と大規模臨床試験。第 4 回低侵襲医療機器実現化フォーラム、主催 : (財) 医療機器センター研究開発部、2009 年 11 月 24 日、東京 (東京慈恵医大)

平成 21 年度群馬県医学会がん対策講演会 (特別講演)、前橋

大内憲明。がん検診の有効性評価とがん対策のための戦略研究。平成 21 年度群馬県医学会がん対策講演会 (特別講演)、前橋、2009 年 12 月 12 日

第 16 回日本産婦人科乳癌学会、東京 (特別講演)

大内憲明。超音波による乳がん検診 : 導入への課題と道のり。第 16 回日本産婦人科乳癌学会、2010 年 3 月 7 日、東京 (特別講演)

東京医科大学茨城医療センター地域がん拠点病院研修会、土浦 (特別講演)

大内憲明。乳がん検診の現状と今後。東京医科大学茨城医療センター地域がん拠点病院研修会、2010 年 3 月 24 日、土浦 (特別講演)

第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋

- ① 大内憲明、舟橋啓臣。特別企画ビデオセッション「乳腺・内分泌」、第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋、2010 年 4 月 8-10 日 (司会)
- ② 大内憲明。わかりやすい術後ホルモン療法。第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋、2010 年 4 月 8-10 日 (ランチョンセミナー司会)
- ③ 日景充、亀井尚、武田元博、大内憲明。ナノスケール蛍光粒子を用いた革新的センチネルリンパ節イメージング。第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋、2010 年 4 月 8-10 日
- ④ 宮下穰。トリプルネガティブ乳癌における予後予測因子の検討。第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋、2010 年 4 月 8-10 日
- ⑤ 河合賢朗。複数回のステレオガイド下マンモトーム生検にて診断された乳癌症例の検討。第 110 回日本外科学会学術集会、名古屋、2010 年 4 月 8-10 日

- ⑥ 深町佳世子。マイクロX線CTによる腫瘍断層構造計測の試み。第110回日本外科学会学術集会、名古屋、2010年4月8-10日
- ⑦ 甘利正和、若年者乳癌の臨床病理学的検討。第110回日本外科学会学術集会、名古屋、2010年4月8-10日
- ⑧ 濱中洋平、In vivo イメージングによる蛍光標識高分子ミセルの腫瘍内動態解析。第110回日本外科学会学術集会、名古屋、2010年4月8-10日
- ⑨ 玉城研太郎、血管新生に対するネガティブフィードバックレギュレーター：Vasohibin-1の乳腺疾患における発現の検討。第110回日本外科学会学術集会、名古屋、2010年4月8-10日
- ⑩ 岡きま子、ヒト乳癌における Nudix-type motif 2 (NUDT2)の発現意義に関する検討。第110回日本外科学会学術集会、名古屋、2010年4月8-10日

ナノ学会第8回大会、岡崎

- ① 権田幸祐, 渡邊朋信, 武田元博, 大内憲明, 樋口秀男。転移性がん細胞の膜ダイナミックスの *in vivo* ナノイメージング。ナノ学会第8回大会, 2010年5月13-15日, 岡崎
- ② 日景允, 権田幸祐, 武田元博, 亀井尚, 小林正樹, 熊坂増高, 濱中洋平, 濱田庸, 中川智彦, 宮田剛, 大内憲明。量子ドットを用いたリンパネットワークの微細構造イメージング。ナノ学会第8回大会, 2010年5月13-15日, 岡崎
- ③ 根城均, 武田元博, 大内憲明。2次元高分解能分光による癌検出法の開発。ナノ学会第8回大会, 2010年5月13-15日, 岡崎

第24回日本乳腺甲状腺超音波診断会議、仙台

04/17 1200- ランチョンセミナー座長・東野 GE 04/18 は、鈴木・河合：石田君へ

第21回日本内分泌外科学会総会、岡山

第159回東北外科集談会、仙台

江幡明子、超音波ガイド下 VAB system(VACORA™)使用症例の検討

第18回日本乳癌学会総会、札幌

- ① PS3-02 大内憲明。乳がんナノテクノロジー研究の現状と今後の展望。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日 (Presidential Symposium)
- ② WS5-02 宮下穰、石田孝宣、甘利正和、中島護雄、河合賢朗、玉城研太郎、笹野公伸、大内憲明。内分泌感受性別に見た HER2 陽性乳癌の臨床病理学的検討。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ③ O-145 中島護雄、石田孝宣、武田元博、甘利正和、河合賢朗、岡きま子、玉城研太郎、大内憲明。乳癌死亡患者の終末期医療についての検討。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ④ O-180 玉城研太郎、石田孝宣、宮下穰、甘利正和、大内憲明、笹野公伸、玉城信光。乳腺針生検と摘出標本との比較：ホルモン受容体、組織型、核異型度は針生検でどこまで評価できるか？第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ⑤ O-298 濱中洋平、権田幸祐、武田元博、白石貢一、横山昌幸、大内憲明。抗がん剤内包高分子ミセルの腫瘍内 *in vivo* イメージング。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ⑥ A-0009 深町佳世子、武田元博、中島護雄、甘利正和、石田孝宣、大内憲明。マイクロX線CTを用いた腫瘍組織の構造解析。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ⑦ A-0123 甘利正和、石田孝宣、武田元博、中島護雄、河合賢朗、大内憲明。術前化学療法を施行した若年者乳癌の臨床病理学的検討。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日

- ⑧ A-0817 河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、玉城研太郎、大内憲明。検診受診率向上への取り組み:郵便並びに電話連絡を用いた繰返し検診。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日
- ⑨ 大内憲明。転移・再発乳癌に対する化学療法:今日までのエビデンスと明日からの実地臨床。第18回日本乳癌学会総会、札幌、2010年6月24-25日(司会)
- ⑩ 大内憲明、権田幸祐、河合賢朗、多田寛、武田元博。*in vivo* ナノイメージングによる乳癌研究:1分子可視化で判ってきたこと。第18回日本乳癌学会学術総会、2010年6月24-25日、札幌

第47回日本外科代謝栄養学会、横浜、

宮田剛、小野寺浩、市川宏文、亀井尚、星田徹、菊池寛、中野徹、殿塚規雄、手島仁、藤田基生、日景允、加藤貴志、後藤均、関口悟、川岸直樹、渡辺道雄、石田孝宣、佐藤成、大内憲明、里見進。医学部学生実習における術後回復チェックリストの効用。第47回日本外科代謝栄養学会、横浜、2010年7月9日

第69回日本癌学会、大阪

叢莉蔓、武田元博、権田幸祐、渡辺みか、濱中洋平、小林芳男、熊坂増高、小林正樹、大内憲明。動物モデルにおけるシリカコーティング蛍光性ナノ粒子を用いたセンチネルリンパ節のイメージング。第69回日本癌学会学術総会、2010年9月22-24日、大阪

シンポジウム19 わが国のがん対策「がん対策のための戦略研究・J-START」

第38回日本放射線技術学会秋季学術大会教育講演、仙台

第38回日本放射線技術学会秋季学術大会教育講演「J-STARTの現状と今後の展開」、仙台、2010年10月14-16日

第43回日本甲状腺外科学会、倉敷・園尾(欠)

第23回日本内視鏡外科学会総会、横浜

亀井尚、日景允、武田元博、中野徹、権田幸祐、濱中洋平、濱田庸、中川智彦、大内憲明、宮田剛、里見進。蛍光内視鏡下手術の開発。第23回日本内視鏡外科学会総会、横浜、2010年10月20日

第69回日本公衆衛生学会総会、シンポジウム「エビデンス形成とがん対策」東京

1345-1530 第69回日本公衆衛生学会総会、シンポジウム「エビデンス形成とがん対策」東京国際フォーラム、2010年10月27日

日本癌治療学会、京都

2010年10月28-30日 10/30 0900-1100 パネルディスカッション?

第58回日本ウイルス学会学術集会、徳島

鈴木康弘、Chandora Nath Roy、権田幸祐、大内憲明。Novel Live cell imaging revealed the involvement of intracellular organelles transporting systems in viral envelop induced cell fusion. 第58回日本ウイルス学会学術集会、2010年11月7-9日、徳島

第53回日本甲状腺学会学術集会、長崎

中島範昭、渡辺道雄、峯岸道人、中野知之、藤盛啓成、大内憲明、里見進、赤田徹弥、高橋悟朗、渋谷拓見、齋木佳克。敗血症に伴って発症した急性化膿性甲状腺炎の一例。第53回日本甲状腺学会学術集会、長崎、11/12

第19回日本婦人科がん検診学会特別講演「乳がん検診の現状と展望」、大阪

第19回日本婦人科がん検診学会特別講演「乳がん検診の現状と展望」、大阪、2010年11月13-14日

第20回日本乳癌検診学会総会、福岡

- ① 11/19 特別講演・司会、特別企画「40歳代MMG検診の利益と不利益—米国のガイドライン改定を受けて」司会・シンポジスト「USPSTF推奨グレード改定の経緯について」

- ② 11/20 ランチョンセミナー Current status and issues of BC screening for pre-menopausal women
- ③ 石田孝宣、河合賢朗、玉城研太郎、成川洋子、大内憲明。J-START からみえてきたもの。第20回日本乳癌検診学会総会、福岡、2010年11月19日
- ④ 玉城研太郎、石田孝宣、宮下穰、大内憲明、笹野公伸、玉城信光。乳房超音波検診の精度管理。第20回日本乳癌検診学会総会、福岡、2010年11月19日
- ⑤ 河合賢朗、石田孝宣、大貫幸二、西野善一、鈴木昭彦、渋谷大助、大内憲明。地域がん登録を用いた検診モダリティ別乳がん生存率の検討。第20回日本乳癌検診学会総会、福岡、2010年11月20日

4th Nanomedicine International Symposium、岡崎・上岡

第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会、神戸

Chandora Nath Roy, Junji Imamura, Kohsuke Gonda, Hiroyuki Gatanaga, Noriaki Ohuchi, Yasuhiro Suzuki. CXCR4-CXCL12 multimerizes on the cellular surface: evidences from nano imaging of cell surface binding. 第33回日本分子生物学会年会・第83回日本生化学会大会合同大会、2010年12月7-10日、神戸

生体運動研究合同班会議、大阪

濱田庸, 権田幸祐, 武田元博, 大内憲明。In vivo イメージングによる血管新生メカニズムの定量的解析。2011年生体運動研究合同班会議、2011年1月7-9日、大阪

第7回ナノバイオ国際シンポジウム、基調講演、東京

大内憲明。高精度蛍光ナノ計測による新世代がん診断法の開発。第7回ナノバイオ国際シンポジウム、基調講演、2011年2月16日、東京

第8回日本乳癌学会東北地方会、仙台

高木まゆ、石田孝宣、玉城研太郎、甘利正和、武田元博、大内憲明。若年者乳がんの臨床病理学検討。第7回日本乳癌学会東北地方会、仙台、2011年3月5日

第111回日本外科学会学術集会（紙上開催）

- ① 玉城研太郎、石田孝宣、甘利正和、宮下穰、大内憲明、笹野公伸、玉城信光。Vasohibin-1の乳腺疾患における発現の検討と血管新生マーカーの研究 / Vasohibin-1 expression in breast disorders.
- ② 河合賢朗、石田孝宣、鈴木昭彦、大貫幸二、渋谷大助、大内憲明。若年女性に対する超音波検査による乳癌検診の試み。Pilot Study of Ultrasound Breast Screening for Women Aged 30 to 39.
- ③ 宮下穰、権田幸祐、武田元博、渡辺みか、石田孝宣、笹野公伸、大内憲明。蛍光ナノ粒子を用いた定量的免疫組織化学法による乳癌 HER2 蛋白診断法の開発。Quantitative analysis of HER2 protein in breast cancer tissue using single particle quantum dot imaging.
- ④ 多田寛、石田孝宣、武田元博、甘利正和、河合賢朗、玉城研太郎、深町佳世子、佐藤章子、根本紀子、高木まゆ、大内憲明。進行再発乳癌における高用量トレミフェンの治療成績 / Clinical usefulness of high-dose toremifene in patients with recurrent or advanced breast cancer.

ナノ学会第9回大会、札幌

中川智彦, 権田幸祐, 武田元博, 小林芳男, 野沢卓也, 亀井尚, 叢莉蔓, 大内憲明。QD/SiO₂ コア-シェル粒子のシリカシェル厚変化が生体イメージングの耐光性へ及ぼす効果。ナノ学会第9回大会、2011年6月2-4日、札幌（総発表175題目中、38題の口頭発表に選抜）

- ① 濱田庸, 権田幸祐, 武田元博, 山家智之, 佐藤成, 大内憲明。血管新生における血管内皮増殖因子受容体分布の生体分子イメージング。ナノ学会第9回大会, 2011年6月2-4日, 札幌

第23回日本内分泌外科学会総会、東京

中野知之、高橋淑郎、中島範昭、渡辺道雄、藤盛啓成、大内憲明、里見進。当科における甲状腺様癌手術症例の検討。第23回日本内分泌外科学会総会、東京、2011年7月7日-8日

第19回日本乳癌学会学術総会、仙台

- ① 玉城研太郎、石田孝宣、宮下穰、武田元博、甘利正和、多田寛、河合賢朗、大内憲明。乳腺画像診断の未来像—生物学的現象を背景とした画像診断法の確立—。第19回日本乳癌学会学術総会、仙台、2011年9月2日
- ② 河合賢朗、石田孝宣、大貫幸二、鈴木昭彦、渋谷大助、大内憲明。40歳台マンモグラフィ検診の利益と不利益。第19回日本乳癌学会学術総会、仙台、2011年9月2日
- ③ 甘利正和、石田孝宣、大内憲明。閉経後転移・再発乳癌に対するAI (Steroidal, Non-steroidal) 逐次投与の検討。第19回日本乳癌学会学術総会、仙台、2011年9月2日
- ④ 多田寛、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、渡部剛、河合賢朗、玉城研太郎、大内憲明。乳房温存療法におけるLTFを用いた一期的乳房形成。第19回日本乳癌学会学術総会、仙台、2011年9月3日

18th International Symposium、仙台

- ① Ohuchi N, Hamada Y, Nakagawa T, Gonda K. Development of Fluorescent Nano-Particle and Nano-Imaging System for Advanced Nanomedicine. 18th International Symposium of Tohoku University Global COE Programme Global Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network Centre, Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region. 仙台、March 5-6, 2012
- ② Nakagawa T, Gonda K, Cong L, Kamei T, Kobayashi Y, Inose H, Nagase R, Ohuchi N. CT Imaging of Tumor by Silica-Coated Au Nanoparticle. 18th International Symposium of Tohoku University Global COE Programme Global Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network Centre, Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region. 仙台、March 5-6, 2012
- ③ Niizuma N, Gonda K, Tada H, Nemoto N, Kamei T, Ohuchi N. Change of the HER3 Expression Pattern between Primary Breast Cancer and Corresponding Lymph Node Metastases. 18th International Symposium of Tohoku University Global COE Programme Global Nano-Biomedical Engineering Education and Research Network Centre, Nano-Biomedical Engineering in the East Asian-Pacific Rim Region. 仙台、March 5-6, 2012

第2回全体会議・公開シンポジウム、京都

- ① 権田 幸祐、中川智彦、濱田庸、大内憲明。定量的 in vivo イメージング法の開発とマウス個体内分子メカニズム解析への応用。文部科学省 科学研究費補助金 新学術領域研究 “ナノメディシン分子科学”第2回全体会議・公開シンポジウム、京都、2012年3月7日
- ② 中川智彦、権田幸祐、叢莉蔓、亀井尚、大内憲明、小林芳男、野沢卓也。シリカコーティング金粒子によるがんCTイメージング。新学術領域研究 “ナノメディシン分子科学”第2回全体会議・公開シンポジウム、京都、2012年3月8-9日

5th International Symposium on Nanomedicine、名古屋

- ① Nakagawa T, Gonda K, Kobayashi Y, Cong L, Kamei T, Inose H, Nagasu R, Ohuchi N. CT Imaging of Tumor with Silica-Coated Au Nanoparticle. 5th International Symposium on Nanomedicine. 名古屋、2012年3/15-17日
- ② Hamada Y, Gonda K, Kawamura K, Sato A, Satomi S, Ohuchi N. New in vivo Molecular Imaging Technique for Clarification of Angiogenesis Mechanism(血管新生機構解明の為の新規生体分子イメージング技術) 5th International Symposium on Nanomedicine. 名古屋、2012年3月15-17日

第 112 回日本外科学会定期学術集会、千葉

甘利正和、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、大内憲明。閉経後転移・再発乳癌に対する AI (第三世代 3 剤) 逐次投与の効果。第 112 回日本外科学会定期学術集会、4/12-14、千葉 2012

第 154 回日本循環器学会東北地方会、盛岡

河村圭一郎、芹澤玄、佐藤成、大内憲明、里見進、伊藤健太、下川宏明。間歇性跛行を有する末梢動脈疾患患者に対する低出力体外衝撃波治療。第 154 回日本循環器学会東北地方会、6/2、盛岡 2012

第 163 回東北外科集談会、仙台

佐藤章子、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、大内憲明。進行再発乳癌におけるエリブリンの使用経験。

第 163 回東北外科集談会、6/4、仙台 2012

第 38 回日本急性肝不全研究会、金沢

川岸直樹、福島大造、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、関口悟、佐藤成、大内憲明。小児急性肝不全に対する生体肝移植の経験。第 38 回日本急性肝不全研究会、6/4、金沢 2012

第 24 回日本内分泌外科学会総会、名古屋

中島範昭、中野知之、高橋淑郎、田頭真実、藤盛啓成、渡辺道雄、大内憲明。骨転移を来した微小浸潤型甲状腺濾胞癌の 3 例。第 24 回日本内分泌外科学会総会、6/8、名古屋 2012

第 163 回東北外科集談会、仙台

① 原康之、宮城重人、川岸直樹、関口悟、佐藤和重、大内憲明、里見進。肝細胞癌に対する生体肝移植と肝切除の比較検討。第 163 回東北外科集談会、6/9、仙台

② 中村崇宣、谷山裕亮、亀井尚、宮田剛、笹野公伸、大内憲明。診断に難渋した Verrucous carcinoma の一例。第 163 回東北外科集談会、6/9、仙台 2012

第 30 回日本肝移植研究会、福岡

① 川岸直樹、福島大造、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、関口悟、佐藤成、大内憲明。東北大学病院における脳死肝移植の現状。第 30 回日本肝移植研究会、6/14、福岡

② 武田郁央、関口悟、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、佐藤成、大内憲明。小児肝肺症候群に対する生体肝移植の経験。第 30 回日本肝移植研究会、6/14、福岡 2012

ナノ学会 第 10 回大会、大阪

① N.S.Venkataramanan、根城均、水関博志、川添良幸、権田幸祐、多田寛、大内憲明。抗がん剤の効果的ドラッグデリバリーへ向けた第一原理計算。ナノ学会 第 10 回大会 (The 10th annual meeting of Society of Nano Science and Technology)、6/14-16、大阪 2012

② 中川智彦、権田幸祐、叢莉蔓、亀井尚、叢 莉蔓、久保田洋介、大内憲明。金ナノ粒子を用いた腫瘍の CT イメージング。ナノ学会 第 10 回大会 (The 10th annual meeting of Society of Nano Science and Technology)、6/14-16、大阪 2012

第 66 回日本食道学会学術集会、軽井沢

① 山田誠人、中野徹、佐藤千晃、中川敦寛、宮田剛、佐藤成、富永悌二、大内憲明。パルスウォータージェットメスで食道 ESD を行うための条件と組織物性値の検討。第 66 回日本食道学会学術集会、6/21、軽井沢 2012

② 佐藤千晃、亀井尚、中村崇宣、三田村篤、藤田基生、手島仁、桂一憲、谷山裕亮、阿部薫夫、中野徹、宮田剛、佐藤成、大内憲明。食道癌化学放射線療法後の遺残、再発に対する salvage ESD。第 66 回日本食道学会学術集会、6/21、軽井沢 2012

③ 佐藤千晃、中野徹、山田誠人、中川敦寛、亀井尚、宮田剛、佐藤成、富永悌二、大内憲明、里見進。内視鏡用レーザー誘発パルスウォータージェットメスによる全身麻酔下ブタ食道 ESD。第 66 回日本食道学会学術集会、6/22、軽井沢 2012

- ④ 中野徹、宮田剛、小野寺浩、市川宏文、亀井尚、谷山裕亮、手島仁、三田村篤、中村崇宣、佐藤成、大内憲明、里見進。バレット粘膜を伴う食道腺癌の手術症例の検討。第66回日本食道学会学術集会、6/22、軽井沢2012
- ⑤ 岡本宏史、藤島史喜、宮田剛、小野寺浩、市川宏文、亀井尚、中野徹、谷山裕亮、洞口正志、大内憲明。根治的CRT後サルベージ手術標本における臨床病理学的・免疫組織学的検討。第66回日本食道学会学術集会、6/22、軽井沢2012

第20回日本乳癌学会学術総会、熊本

- ① 甘利正和、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、大内憲明。luminal A 閉経後転移、再発乳癌に対する内分泌療法の効果。第20回日本乳癌学会学術総会、6/28、熊本2012
- ② 根本紀子、多田寛、石田孝宣、甘利正和、大内憲明、渡辺みか、笹野公伸、榎田幸祐。蛍光ナノ粒子を用いたHER3の蛍光免疫染色による高感度定量化の検討。第20回日本乳癌学会学術総会、6/30、熊本2012
- ③ 河合賢朗、南優子、西野善一、深町佳世子、大内憲明、角川陽一郎。Reproductive factor と内分泌受容体別乳がん罹患の症例対照研究。第20回日本乳癌学会学術総会、6/30、熊本2012

第67回日本消化器外科学会総会、富山

- ① 中野徹、宮田剛、小野寺浩、市川宏文、亀井尚、谷山裕亮、手島仁、三田村篤、中村崇宣、佐藤成、大内憲明、里見進、藤島史喜。Siewert type2 食道胃接合部癌手術症例の検討。第67回日本消化器外科学会総会、7/19、富山2012
- ② 亀井尚、宮田剛、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、藤田基生、手島仁、三田村篤、中村崇宣、佐藤成、大内憲明。成績からみた食道癌サルベージ手術の適応と合理的術式。第67回日本消化器外科学会総会、7/20、富山2012
- ③ 岡本宏史、藤島史喜、土田憲、後藤均、橋本宗敬、赤松大二朗、清水拓也、佐藤成、大内憲明。腹部大動脈瘤の手術中に偶然発見された空腸異所性膵IPMN様病変の1切除例。第67回日本消化器外科学会総会、7/20、富山2012

第22回東北血管外科地方会、仙台

赤松大二朗、佐藤成、後藤均、橋本宗敬、清水拓也、深山紀幸、土田憲、大内憲明。内腸骨動脈瘤一下大静脈瘻に対するEVAR施行中に心停止した一例。第22回東北血管外科地方会、9/15、仙台2012

第164回東北外科集談会、仙台

- ① 中西渉、原康之、福島大造、山谷英之、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、川岸直樹、関口悟、大内憲明。
当科における膵腎同時移植の現況。第164回東北外科集談会、9/15、仙台2012
- ② 中野知之、高橋淑郎、田頭真実、中島範昭、藤盛啓成、大内憲明。甲状腺内に原発病変を認めなかった甲状腺乳頭癌リンパ節転移の1例。第164回東北外科集談会、9/15、仙台2012
- ③ 江幡明子、甘利正和、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、大内憲明。マンモトーム生検で非浸潤性乳管癌と診断された症例の石灰化と癌病変の広がりとの検討。第164回東北外科集談会、9/15、仙台2012

第71回日本癌学会学術総会、札幌

- ① 渡部 剛、石田孝宣、古田昭彦、高橋徹、大内憲明。免疫染色によるp53機能不全群は乳癌、特にER+HER2-サブタイプにおいても予後不良因子となる。第71回日本癌学会学術総会、札幌、9/19、2012
- ② 伊藤 想一、宮下浩輝、鈴木康弘、小林美穂、大内憲明、佐藤靖史。内因性Vasohibin-1は癌細胞の血管内侵入に対する血管内皮の抵抗性を維持し、転移を抑制する。第71回日本癌学会学術総会、札幌、9/20、2012
- ③ 柴原 裕紀子、三木康宏、端秀子、小野寺好明、大内憲明、笹野公伸。乳癌におけるアロマターゼ阻害剤の投与に従うmicroRNAの変動およびlet-7fによるCYP19A1遺伝子の制御について。第71回日本癌学会学術総会、札幌、9/20、2012

- ④ Keely M McNamara, Miki Yasuhiro, Niramol Chanplakorn, Sansanee Wongwaisayawan, Pimpin Incharoen, Nakamura Yasuhiro, Suzuki Takashi, Miyasita Minoru, Tamaki Kentaro, Ishida Takanori, Ohuchi Noriaki, Sasano Hironobu.

Activation of androgenic pathways results in lower tumor cell proliferation in triple negative breast cancer. 71st Annual meeting of the Japanese cancer Association, Sapporo, 9/20,2012

- ⑤ 齋藤 涼子、三木康宏、飯田慎也、端秀子、高木清司、小野克彦、大内憲明、鈴木貴、笹野公伸。ER陽性乳癌におけるAhRを介したAromatase発現誘導。第71回日本癌学会学術総会、札幌、9/20,2012

10/4 第45回日本甲状腺外科学会、横浜

中島範昭、中野知之、藤盛啓成、石田和之、村上圭吾、高橋淑郎、田頭真実、大内憲明。当科における甲状腺低分化癌手術症例の病理学的特徴と予後の検討。第45回日本甲状腺外科学会、10/4、横浜2012

10/12 第16回日本内分泌病理学会、仙台

中野知之、高橋淑郎、田頭真実、中島範昭、笠島敦子、藤盛啓成、大内憲明、笹野公伸。Spontaneous regressionが疑われた甲状腺乳頭癌リンパ節転移の1例。第16回日本内分泌病理学会、10/12、仙台2012

10/13 第20回日本消化器関連学会週間、消化器外科学会、神戸

武田郁央、川岸直樹、関口悟、佐藤和重、宮城重人、中西史、山谷英之、佐藤成、大内憲明。劇症肝炎に対する生体肝移植の経験。第20回日本消化器関連学会週間、消化器外科学会、10/13、神戸2012

10/26 第50回日本癌治療学会学術総会、横浜

甘利 正和、石田 孝宣、鈴木 昭彦、多田 寛、渡部 剛、大内 憲明。nab-paclitaxelの治療効果および他剤との比較検討。第50回日本癌治療学会学術総会、10/26、横浜2012

11/9-10 第22回日本乳癌検診学会学術総会、沖縄

- ① 多田寛、河合賢朗、石橋忠司、山田隆之、鈴木昭彦、甘利正和、渡部剛、石田孝宣、角森昭教、大内憲明。

マンモグラフィ描出困難な症例の臨床病理学的特徴の解析。第23回日本乳癌検診学会学術総会、11/9-10、沖縄2012

- ② 河合 賢朗、角川陽一郎、南優子、大内憲明。疫学的にみた乳がんハイリスクグループ。第22回日本乳癌検診学会学術総会、11/9、沖縄2012

11/26-27 日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012、仙台

権田幸祐、中野寧、大内憲明。高精度蛍光ナノイメージングで拓くがん医学・医療研究の新展開。日本バイオマテリアル学会シンポジウム2012 "S12 バイオマテリアルとイメージング"。2012年11月27日、仙台2012

11/29 第55回日本甲状腺学会、福岡

中野知之、高橋淑郎、田頭真実、中島範昭、笠島敦子、藤盛啓成、大内憲明、笹野公伸。穿刺吸引細胞診で鑑別困難と診断された症例の検討。第55回日本甲状腺学会、11/29、福岡2012

11/29 第74回日本臨床外科学会、東京

原 康之、福島大造、中西史、武田郁央、関口悟、佐藤成、大内憲明。食道静脈瘤破裂から救命し生体肝移植し得た症候性原発性胆汁性肝硬変(PBC)の1例。第74回日本臨床外科学会、11/29、東京2012

11/29-12/1 6th ISNM, Matsue

- ① Gonda K, Nakagawa T, Tada H, Amari M, Nakano Y, Ohuchi N. Development of imaging technology for advanced cancer diagnosis. 6th International Symposium on Nanomedicine. November 29-December 1, 2012, Matsue. (招待講演)

- ② Satoh K, Gonda K, Tada H, Takahashi Y, Watanabe M, Amari M, Ishida T, Ohuchi N. Quantitative diagnosis of the histone modification levels in breast cancer tissue using quantum dots. 6th International Symposium on Nanomedicine. November 29-December 1, 2012, Matsue. (ポスター講演)
- ③ Cong L, Gonda K, Tada H, Hamanaka Y, Amari M, Ohuchi N. Imaging of sentinel lymph node in an animal model with silica-coated fluorescent nanoparticles. 6th International Symposium on Nanomedicine. November 29-December 1, 2012, Matsue. (ポスター講演)

12/6-7 第39回日本肝臓学会東部会、東京

- ① 川岸直樹、佐藤成、大内憲明。当院における脳死肝移植の現状。第39回日本肝臓学会東部会、12/6、東京2012
- ② 原康之、川岸直樹、中西史、山谷英之、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、関口悟、佐藤成、大内憲明。
肝移植後 fibrosing cholestatic hepatitis (FCH) に関する検討。第39回日本肝臓学会東部会、12/7、東京2012

第194回例会日本消化器病学会 東北支部

中西 史、関口 悟、川岸 直樹、佐藤 和重、宮城 重人、武田 郁央、阿佐美 健吾、神保 琢也、原 康之、中西 渉、佐藤 成、大内 憲明。東北大学におけるアルコール性肝硬変に対する肝移植。2/9、仙台2013

第113回日本外科学会定期学術集会、福岡

- ① 宮田剛、石橋生哉、海堀昌樹、谷口英喜、深柄和彦、若林秀隆、鷺澤尚宏、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、手島仁、佐藤成、大内憲明。外科手術後回復促進のための本質的戦略。第113回日本外科学会定期学術集会、4/11、福岡2013
- ② 多田 寛、権田幸祐、宮下譲、渡辺みか、甘利正和、鈴木昭彦、石田孝宣、大内憲明。蛍光ナノイメージングを用いた病理組織診断による分子標的治療の新たな展開。第113回日本外科学会定期学術集会、4/11、福岡2013
- ③ 岡本宏史、藤島史喜、宮田剛、亀井尚、中野徹、桂一憲、阿部薫夫、谷山裕亮、手島仁、佐藤成、大内憲明、笹野公伸。治療前生検組織での Murine double minute 2 発現を用いた食道扁平上皮癌に対する根治的放射線療法感受性予測と治療戦略の検討。第113回日本外科学会定期学術集会、4/11、福岡2013
- ④ 渡部 剛、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、多田寛、江幡明子、高橋信、石岡千加史、古田昭彦、渡辺みか、大内憲明。p53 変異を予測可能とする免疫染色の組み合わせと予後因子としての有用性。第113回日本外科学会定期学術集会、4/12、福岡2013
- ⑤ 江幡 明子、鈴木貴、高木清司、三木康宏、小野寺好明、中村保宏、藤島史喜、石田和之、渡辺みか、玉城健太郎、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。非浸潤性乳癌組織におけるエストロゲン導入遺伝子の発現。第113回日本外科学会定期学術集会、4/12、福岡2013
- ⑥ 佐藤千穂、関口敦、事崎由佳、野内類、竹内光、瀧靖之、河合賢朗、多田寛、石田孝宣、川島隆太、大内憲明。乳癌患者における術後認知機能障害の神経基盤の検討。第113回日本外科学会定期学術集会、4/12、福岡2013
- ⑦ 亀井 尚、宮田剛、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、手島仁、三田村篤、中村崇宣、佐藤成、大内憲明。胸腔鏡下食道切除術の標準化のための工夫。第113回日本外科学会定期学術集会、4/13、福岡2013
- ⑧ 宮城重人、中西渉、原康之、阿佐見健吾、神保琢也、山谷英之、中西史、武田郁央、佐藤和重、関口悟、川岸直樹、大内憲明、里見進。肝移植後致命的合併症である肝動脈閉塞症の現状と対策 - 特に解剖学的再建が不能となった症例への対応。第113回日本外科学会定

期学術集会、4/13、福岡 2013

⑨ 谷山裕亮、宮田剛、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、手島仁、三田村篤、中村崇宣、佐藤成、大内憲明。胸部食道癌 T4 症例に対しての放射線化学療法および salvage 手術の成績。第 113 回日本外科学会定期学術集会、4/13、福岡 2013

第 25 回日本内分泌外科学会、山形

高橋淑郎、田頭真実、中野知之、中島範昭、藤盛啓成、大内憲明。術前穿刺吸引細胞診で悪性または悪性疑い

とされ、永久標本にて良性と診断された 3 例の検討。第 25 回日本内分泌外科学会、5/24、山形 2013

第 41 回日本血管外科学会総会、大阪

深山 紀幸、佐藤成、後藤均、橋本宗敬、赤松大二朗、清水拓也、土田憲、高瀬圭、清治和将、大田英揮、大内憲明。

EVAR 後 Type II endoleak に対する治療戦略 当科における Endoleak の傾向および治療成績。第 41 回日本血管外科学会総会、大阪、5/30,2013

第 11 回ナノ学会、東京工業大学 百年記念館

河村 圭一郎、権田幸祐、佐藤成、濱田庸、中川智彦、久保田洋介、大内憲明。金ナノ粒子を用いた後肢動脈虚血モデルマウス血管新生の CT イメージング。第 11 回ナノ学会、6/8、東京 2013

第 165 回東北外科集談学会、仙台

太田依璃子（医学部 6 年）、宮城重人、関口悟、中西渉、原康之、阿佐美健吾、神保琢也、山谷英之、中西史、武田郁央、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明。膵腎同時移植後の消化管出血に対しソマトスタチンアナログが奏功した一例。第 165 回東北外科集談学会、6/8、仙台 2013

第 25 回日本肝胆膵外科学会学術集会、宇都宮 2013

① 川岸直樹、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、佐藤成、大内憲明。当院における脳死肝移植患者の長期成績。第 25 回日本肝胆膵外科学会学術集会、6/12、宇都宮

② 中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明。原発性胆汁性肝硬変に対する生体肝移植の長期成績に関する検討。第 25 回日本肝胆膵外科学会学術集会、6/12、宇都宮

③ 宮城重人、川岸直樹、中西渉、原康之、中西史、武田郁央、佐藤和重、関口悟、大内憲明、里見進。肝移植後致命的合併症である肝動脈閉塞症の対策と危険因子の検証。第 25 回日本肝胆膵外科学会学術集会、6/12、宇都宮

第 67 回日本食道学会学術集会、大阪 2013

① 谷山裕亮、宮田剛、亀井尚、阿部薫夫、桂一憲、手島仁、佐藤千晃、伊藤想一、高屋快、中川智彦、洞口正志、佐藤成、大内憲明。食道扁平上皮癌における NAC の現状と NACRT への展望。第 67 回日本食道学会学術集会、6/13、大阪

② 岡本宏史、藤島史喜、宮田剛、亀井尚、中野徹、桂一憲、阿部薫夫、谷山裕亮、手島仁、佐藤成、大内憲明、笹野公伸。治療前生検組織における MDM2・Ki-67 陽性率を用いた根治的 CRT の感受性・予後予測。第 67 回日本食道学会学術集会、6/14、大阪

③ 小澤洋平、藤島史喜、岡本宏史、谷山裕亮、宮田剛、亀井尚、佐藤成、大内憲明、笹野公伸。類基底細胞癌、腺癌、扁平上皮癌成分が同一病変内に観察された表在食道癌の 1 切除例。第 67 回日本食道学会学術集会、6/14、大阪

④ 中川智彦、宮田剛、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、手島仁、直島君也、洞口正志、高屋快、大内憲明。食道切除を要したアカラシア再発症例の 1 例。第 67 回日本食道学会学術集会、6/14、大阪

第 21 回日本乳癌学会学術総会、浜松 2013

- ① 鈴木 昭彦、石田孝宣、甘利正和、多田寛、渡部剛、濱中洋平、江幡明子、藤井里圭、大内憲明。マンモグラフィ検診における視触診の意義に関する検討。第 21 回日本乳癌学会学術総会、6/26、浜松
- ② 佐藤 章子、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、大内憲明。HER2陰性Luminalタイプ乳がんにおける病理組織学的再発予測因子の検討。第21回日本乳癌学会学術総会、6/26、浜松
- ③ 高木 まゆ、石田孝宣、甘利正和、玉城研太郎、雷哲明、平川久、三木康弘、笹野公伸、大内憲明。浸潤性乳管癌と浸潤性小葉癌のホルモン代謝における病理学的検討比較。第21回日本乳癌学会学術総会、6/26、浜松
- ④ 宮下 穰、天野吾郎、内村文昭、矢島美穂子、石田孝宣、大内憲明。術前診断DCIS症例におけるセンチネルリンパ節生検の省略基準 -自験例の後方視的解析から-。第21回日本乳癌学会学術総会、6/26、浜松
- ⑤ 根本 紀子、石田孝宣、甘利正和、鈴木昭彦、多田寛、笹野公伸、大内憲明。浸潤性微小乳頭癌 (IMPCa) 49例における乳管内進展 (ISC) の検討。第21回日本乳癌学会学術総会、6/27、浜松
- ⑥ 中川 紗紀、甘利正和、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、江幡明子、大内憲明。閉経後進行・再発乳癌におけるフルベストラントに関する検討。第21回日本乳癌学会学術総会、6/27、浜松
- ⑦ 渡部 剛、石田孝宣、高橋信、鈴木昭彦、甘利正和、多田寛、渡辺みか、古田昭彦、石岡千加史、大内憲明。p53変異を予測可能とする免疫染色の組み合わせと、サブタイプとの関連性。第21回日本乳癌学会学術総会、6/28、浜松
- ⑧ 藤井 里圭、花村徹、丹羽俊文、石田孝宣、大内憲明、林 慎一。アンドロゲン受容体依存性増殖を示すアロマターゼ阻害剤耐性モデル乳癌細胞株。第21回日本乳癌学会学術総会、6/28、浜松

第 8 回小児肝移植懇話会、熊本 2013

川岸直樹、西村隆一、神保琢也、阿佐美健吾、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、佐藤成、大内憲明。東日本大震災 2 日前に移植した劇症肝炎の 1 例。第 8 回小児肝移植懇話会、7/3、熊本

第 31 回日本肝移植研究会、熊本 2013

- ① 川岸直樹、神保拓也、阿佐美健吾、中西史、武田郁夫、宮城重人、佐藤和重、佐藤成、大内憲明。ステロイド抵抗性急性拒絶反応に対する当科における治療戦略。第 31 回日本肝移植研究会、7/4、熊本
- ② 中西史、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、武田郁央、阿佐美健吾、神保琢也、原康之、中西渉、佐藤成、大内憲明。東北大学におけるアルコール性肝硬変に対する生体肝移植の適応と移植後再飲酒の検討。第 31 回日本肝移植研究会、7/4、熊本
- ③ 村上圭吾、川岸直樹、石田和之、中西史、宮城重人、武田郁央、佐藤和重、藤島史喜、大内憲明。C 型肝硬変に対する生体肝移植後 1 か月以内に Fibrosing cholestatic hepatitis を発症した 1 例。第 31 回日本肝移植研究会、7/5、熊本

第 68 回日本消化器外科学会総会、宮崎 2013

- ① 川岸直樹、西村隆一、神保琢也、阿佐美健吾、中西渉、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、佐藤成、大内憲明。生体肝移植ドナーの長期における安全性の検討。第 68 回日本消化器外科学会総会、7/18、宮崎
- ② 中西史、中野徹、山田誠人、佐藤千晃、中川敦寛、川岸直樹、佐藤成、大内憲明。ピエゾ駆動方式パルスウォータージェットメスを用いた肝切除 (ブタ生存実験における検討)。

第 68 回日本消化器外科学会総会、7/18、宮崎

- ③ 小澤洋平、藤島史喜、岡本宏史、手島仁、宮田剛、亀井尚、佐藤成、大内憲明、笹野公伸。
Long-segment Barrett esophagus を背景とした多発 Barrett 食道癌と食道胃接合部腺癌が重複した 1 切除例。第 68 回日本消化器外科学会総会、7/19、宮崎

第 116 回宮城肝臓治療研究会、仙台 2013

西村隆一、宮城重人、中西史、三浦佑一、中西渉、阿佐美健吾、神保琢也、武田郁夫、佐藤和重、川岸直樹、佐藤成、

大内憲明。嚢胞性腫瘍を伴った肝腫瘍の 1 例。第 116 回宮城肝臓治療研究会、7/24、仙台

第 12 回日本組織移植学会総会・学術集会、埼玉市 2013

吉田諭、山形洋平、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、五十嵐康宏、稲垣明子、大内憲明、里見進、後藤

昌史。肝細胞移植に必要な細胞分離用酵素成分の考察。第 12 回日本組織移植学会総会・学術集会、8/3、埼玉市

第 49 回日本移植学会総会、京都 2013

① 村上圭吾、川岸直樹、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、関口悟、藤島史喜、大内憲明。C 型肝硬変に対する生体肝移植術施行後 28 病日に Fibrosing cholestatic hepatitis と診断した 1 例。第 49 回日本移植学会総会、9/6、京都

② 中西史、川岸直樹、関口悟、佐藤和重、宮城重人、武田郁央、佐藤成、大内憲明。アルコール性肝硬変に対する肝移植後再飲酒の検討：東日本大震災の影響。第 49 回日本移植学会総会、9/6、京都

③ 宮城重人、川岸直樹、中西渉、中西史、武田郁央、佐藤和重、大内憲明。肝細胞癌に対する生体肝移植と肝切除の比較検討。第 49 回日本移植学会総会、9/7、京都

④ 米田海、赤松順寛、原康之、柏舘俊明、宮城重人、川岸直樹、大内憲明。心停止下摘出肝グラフトに対する、常温酸素化バッファーによる短時間冷保存前灌流 (SOWP) およびプロスタグランジン E1 添加の効果。第 49 回日本移植学会総会、9/7、京都

⑤ 吉田諭、山形洋平、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、五十嵐康宏、稲垣明子、藤盛啓成、大橋一夫、大内憲明、里見進、後藤昌史。細胞分離の Collagenase H 至適化において対象組織が発現するコラーゲン III の意義。
第 49 回日本移植学会総会、9/7、京都

⑥ 宮澤恒持、宮城重人、米田海、村上圭吾、藤尾淳、柏舘俊明、中西渉、原康之、中西史、山谷英之、川岸直樹、大内憲明。心停止ドナーからの肝移植におけるフリーラジカルスキャンベンジャーであるエダラボンの効果。
第 49 回日本移植学会総会、9/7、京都

第 166 回東北外科集談会、青森市 2013

高橋淑郎、藤盛啓成、中島範昭、佐藤真実、大内憲明。甲状腺硝子化索状腫瘍の一例。

第 166 回東北外科集談会、9/14、青森市

第 46 回日本甲状腺外科学会、名古屋 2013

① 中島範昭、高橋淑郎、藤盛啓成、中野知之、佐藤真実、丸岡伸 (放射線治療科)、大内憲明。高危険度甲状腺分化癌における放射性ヨードアブレーションの予後改善効果の検討。
第 46 回日本甲状腺外科学会、9/27、名古屋

② 高橋 淑郎、藤盛啓成、中島範昭、佐藤真実、大内憲明。原発性副甲状腺機能亢進症術後偽痛風の検討。第 46 回日本甲状腺外科学会、9/27、名古屋

第 72 回日本癌学会学術総会、横浜 2013

① 中川智彦、権田幸介、亀井尚、久保田洋介、叢莉蔓、中川寧、大内憲明。金ナノ粒子を用いた腫瘍の CT イメージング。第 72 回日本癌学会学術総会、10/3、横浜

② Keely M McNamara, Alif M Nurani, Yoda T, Miki Y, Nishimura R, Arima N, Suzuki T, Miyashita

M, Tamaki K, Ishida T, Ohuchi N, Sasano H. Clinicopathological significance of Androgen Receptor status in recurrent triple negative breast carcinoma patients. 第72回日本癌学会学術総会、10/4、横浜

- ③ 櫻井美奈子、三木康宏、柴原裕紀子、鈴木貴、大内憲明、笹野公伸。RNA 結合蛋白 Musashi-1 と強制的に乳癌進展に寄与する Lin28 B の新規治療標的としての可能性。第72回日本癌学会学術総会、10/4、横浜
- ④ Monica S.M.Chan, Shi-Fan Chen, Saulo JA Felizola, Lin Wang, Nemoto N, Tamaki K, Ishida T, Ohuchi N, Sasano H. Changes of tumor infiltrating lymphocytes subtypes and neoangiogenesis in neoadjuvant chemotherapy of breast cancer. 第72回日本癌学会学術総会、10/4、横浜
- ⑤ 内田恵子、柴原裕紀子、三木康宏、端秀子、岩渕英里奈、根本紀子、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。乳癌の転移リンパ節における ER、PR、HER2、Ki-67 発現と術前化学療法との関与について。第72回日本癌学会学術総会、10/4、横浜
- ⑥ 藤井里圭、花村徹、丹羽俊文、笹野公伸、石田孝宣、大内憲明、林真一。アンドロゲン受容体シグナルを主要増殖因子とするアロマターゼ阻害剤耐性モデル乳癌細胞。第72回日本癌学会学術総会、10/4、横浜
- ⑦ 依田智美、Keely McNamara、三木康宏、高木清司、鈴木貴、石田孝宣、大内憲明、笹野公伸。Molecular Apocrine 乳癌における 17βHSD5 のアンドロゲンによる発現調節。第72回日本癌学会学術総会、10/5、横浜

第21回 JDDW2013 (日本消化器関連学会週間 2013)、東京

宮城重人、中西史、原康之、中西渉、柏舘俊明、神保琢也、阿佐美健吾、武田郁央、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明。

腹腔鏡下肝ブロック生検が診断に有用であった3例。第21回 JDDW2013 (日本消化器関連学会週間)、10/10、東京

第54回日本脈管学会、東京 2013

深山紀幸、後藤均、橋本宗敬、赤松大二朗、清水拓也、芹澤玄、濱田庸、土田憲、田島悠太、大内憲明。腹部大動

脈瘤に対する EVAR 後の瘤径変化。第54回日本脈管学会、東京、10/10

第51回日本癌治療学会学術集会、京都 2013

江幡 明子、石田孝宣、高木清司、三木康宏、平川久、角川陽一郎、天野吾郎、森奈緒子、中村保宏、渡辺みか、甘利正和、

笹野公伸、鈴木貴、大内憲明。閉経後非浸潤性乳管癌(DCIS)におけるレトロゾールの臨床病理学的効果。第51回日本癌

治療学会学術集会、10/26、京都

第56回日本甲状腺学会学術集会、和歌山 2013

① 中島範昭、高橋淑郎、藤盛啓成、佐藤真実、大内憲明。甲状腺分化癌全摘術後アブレーション後に遠隔再発をきたした症例の検討。第56回日本甲状腺学会学術集会、11/16、和歌山

② 高橋 淑郎、藤盛啓成、中島範昭、佐藤真実、大内憲明。甲状腺癌に対する 131-I 放射性ヨード大量内用療法後に急性リンパ性白血病(ALL)を発症した一例。第56回日本甲状腺学会学術集会、11/16、和歌山

第75回日本臨床外科学会、名古屋 2013

藤尾 淳、大内 憲明。腹腔内出血により発見された胃 Gastrointestinal stromal tumor (GIST) の1例。

第75回日本臨床外科学会、名古屋、11/21

第1回日本臨床外科学会宮城県支部総会、仙台 2013

藤尾 淳、宮城重人、中西 渉、西村 隆一、三浦 佑一、戸子台 和哲、武田 郁央、佐藤

和重, 川岸 直樹、大内 憲明。肝細胞癌に対する生体肝移植と肝切除の比較検討。第 1 回日本臨床外科学会宮城県支部総会、仙台 2014.1/25

第 196 回日本消化器病学会東北支部例会、仙台 2014

- ① 川岸直樹、藤尾淳、中西渉、三浦佑一、西村隆一、戸子台和哲、原康之、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。東北大学病院における脳死肝移植の長期成績。第 196 回日本消化器病学会東北支部例会、仙台、2014.2/8
- ② 中西史、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、武田郁央、戸子台和哲、大内憲明。原発性胆汁性肝硬変に対する生体肝移植の長期成績。第 196 回日本消化器病学会東北支部例会、仙台、2014.2/8

第 7 8 回日本心身医学会東北地方会、仙台 2014

佐藤千穂、関口敦、事崎由佳、野内類、竹内光、瀧靖之、河合賢朗、多田寛、石田孝宣、川島隆太、大内憲明。乳がん手術前後の脳構造変化および認知機能障害～縦断研究による検討。第 7 8 回日本心身医学会東北地方会、仙台、2014.2/22

第 4 回 The Environmental Response IV、仙台 2014

福富俊明、高木賢治、水島恒裕、大内憲明、山本雅之。Kinetic, thermodynamic and structural characterizations of association between Nrf2-DLX1 and Keap1。第 4 回 The Environmental Response IV、仙台、2014. 3/1

第 41 回日本膵・膵島移植研究会、名古屋 2014

西村 隆一、牛山 明、関口 悟、藤盛啓成、里見 進、大内憲明、後藤昌史。ドナーおよびレシピエントの組み合わせが膵島グラフト周囲の血管新生へ及ぼす影響。第 41 回日本膵・膵島移植研究会、名古屋、2014. 3/7

第 50 回日本腹部救急医学会総会、東京 2014

藤尾 淳、武田郁央、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、大内憲明。急性肝不全に対する生体肝移植の 13 例の経験。第 50 回日本腹部救急医学会総会、東京、2014. 3/7

第 120 回宮城県肝臓治療研究会、仙台 2014

三浦 佑一、宮城 重人、藤尾 淳、西村 隆一、中西 渉、戸子台和哲、中西 史、佐藤 和重、川岸 直樹、大内 憲明。肝細胞癌として手術され異なる病理診断となった肝腫瘍の 1 例、第 120 回宮城県肝臓治療研究会、仙台、2014.3/26

第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都 2014

- ① 原 康之、川岸直樹、中西渉、中西史、武田郁央、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。肝移植と生活習慣病（肥満・高血圧・脂質異常症・糖尿病）に関する検討、第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都、4/3
- ② 西村 隆一、佐藤 和重、武田 郁夫、宮城 重人、川岸 直樹、藤盛 啓成、大内 憲明。腹部パラガングリオーマ手術症例の臨床検討、第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都、4/5
- ③ 中西史、中野徹、山田誠人、佐藤千晃、宮澤恒持、清水健司、中川敦寛、川岸直樹、宮田剛、富永悌二、大内 憲明。ピエゾ駆動方式パルスウォータージェットメスを用いた肝切除（ブタ生存実験における超音波外科吸引装置 SonoSurg®との比較検討）。第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都、4/5
- ④ 小澤洋平、中村保宏、藤島史喜、Sauro J.A Felizola、武田健一郎、岡本宏史、伊東賢、亀井尚、宮田剛、大内憲明、笹野公伸。ヒト食道重層扁平上皮癌における c-Met 発現と分子標的薬のターゲット分子としての可能性。第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都、4/5
- ⑤ 佐藤 章子、鈴木貴、甘利正和、高木清司、三木康弘、玉城研太郎、渡辺みか、石田孝宣、笹野公伸、大内憲明。

浸潤性乳管癌における HIF-1 α 誘導遺伝子としての HexokinaseII の発現意義。 第 114 回日本外科学会定期学術集会、京都、4/5

第 78 回日本心身医学会東北地方会、仙台 2014

佐藤千穂、関口敦、事崎由佳、野内類、竹内光、瀧靖之、河合賢朗、多田寛、石田孝宣、川島隆太、大内憲明。乳がん手術前後の脳構造変化および認知機能障害～縦断研究による検討。 第 78 回日本心身医学会東北地方会、仙台、4/22

第 87 回日本超音波医学会第 87 回学術集会、横浜 2014

中島範昭、藤盛啓成、高橋淑郎、佐藤真実、大内憲明。マーシャル諸島における超音波を用いた甲状腺検診。 第 87 回日本超音波医学会第 87 回学術集会。 横浜、5/8

第 26 回日本内分泌外科学会、名古屋 2014

中島範昭、渡辺道雄、藤盛啓成、高橋淑郎、佐藤真実、大内憲明。全身転移に対し放射線照射療法にて病勢のコントロールを行っている放射性ヨード抵抗性甲状腺濾胞癌の 1 例。 第 26 回日本内分泌外科学会、名古屋、5/22

第 167 回東北外科集談会、仙台 2014

小野寺優、宮田剛、亀井尚、中野徹、桂一憲、桜井直、日景允、手島仁、新妻展近、山田誠人、丸山祥太、大内憲明。da Vinci S によるロボット支援下食道切除、縦隔リンパ節郭清の経験、第 167 回東北外科集談会、仙台、6/14

第 53 回日本生体医工学会大会、仙台 2014

中野徹、山田誠人、佐藤千晃、藤島史善、中西史、芹沢玄、川岸直樹、伊藤健太、下川宏明、大内憲明。ラット肝硬変モデルを用いた低出力体外衝撃波療法の基礎的検討、第 53 回日本生体医工学会大会、仙台、6/24

第 9 回日本小児肝移植懇話会、東京 2014

川岸直樹、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。東日本大震災 2 日前に移植した劇症肝炎の 1 例、第 9 回日本小児肝移植懇話会、東京、7/2

第 32 回日本肝移植研究会、東京 2014

- ① 戸子台和哲、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、中西史、三浦佑一、藤尾淳、米田海、大内憲明。当施設における高齢ドナーを用いた成人生体肝移植の治療成績、第 32 回日本肝移植研究会、東京、7/3
- ② 三浦佑一、川岸直樹、米田海、藤尾淳、中西涉、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、木村修、小暮高之、近藤泰輝、下瀬川徹、大内憲明。肝移植後の HCV に対する simeprevir の使用経験、第 32 回日本肝移植研究会、東京、7/3
- ③ 中西涉、宮城重人、川岸直樹、米田海、原康之、中西史、佐藤和重、大内憲明。生体肝移植における術後門脈狭窄の危険因子に関する検討、第 32 回日本肝移植研究会、東京、7/3

第 68 回日本食道学会学術集会、東京 2014

日景允、宮田剛、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、櫻井直、手島仁、大内憲明。超高齢者食道癌症例に対する治療選択～当院治療例の後方視的検討～、第 68 回日本食道学会学術集会、東京、7/3

第 68 回日本食道学会学術集会、東京 2014

- ① 石田裕嵩、谷山裕亮、藤島史喜、日景允、手島仁、桂一憲、櫻井直、阿部薫夫、中野徹、亀井尚、宮田剛、大内憲明。術前に扁平上皮癌と診断され術前化学療法を施行した食道癌肉腫の 1 例、第 68 回日本食道学会学術集会、東京、7/4
- ② 小野寺優、宮田剛、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、手島仁、日景允、大内憲明。術中所見で Supercharge を加えることで良好な結果が得られた食道切除後結腸再建の一例、第 68 回日本食道学会学術集会、東京、7/4
- ③ 岡本宏史、亀井尚、中野徹、桂一憲、阿部薫夫、谷山裕亮、櫻井直、手島仁、日景允、宮

田剛、大内憲明。治療前生検組織でのMDM2・p16免疫染色を用いた根治的CRTの感受性予測、第68回日本食道学会学術集会、東京、7/4

第15回 ホルモンと癌研究会、仙台2014

石田 孝宣、大内 憲明。東日本大震災による乳癌検診受診率への影響と対策、第15回 ホルモンと癌研究会、仙台、7/5

第22回 日本乳癌学会学術総会、大阪2014

①石田孝宣、大内憲明、鈴木昭彦、成川洋子。乳癌検診の評価とJ-START、第22回日本乳癌学会学術総会、大阪、7/11

②シンポジウム司会 大内憲明、黒住昌史 演者 河合覧朗、石田孝宣、市原周、山内英子、大阪、7/11

第69回日本消化器外科学会総会、郡山2014

① 川岸直樹、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。生体肝移植における免疫抑制剤離脱症例の長期予後、第69回日本消化器外科学会総会、郡山、7/16

② 日景 允、宮田剛、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、桂一憲、谷山裕亮、櫻井直、手島仁、大内憲明。当院における超高齢者(80歳以上)食道癌治療の現況と展望、第69回日本消化器外科学会総会、郡山、7/16

③ 西村 隆一、宮城 重人、中西 渉、三浦 佑一、戸子台 和哲、武田 郁夫、佐藤 和重、川岸 直樹、藤盛 啓成、大内 憲明。術前診断に苦慮した嚢胞性腫瘤を伴った肝腫瘍の1例、第69回日本消化器外科学会総会、郡山、7/17

④ 岡本宏史、原 康之、陳 正浩、萩原資久、小野寺雄二、堀井晋一良、亀井 尚、宮田 剛、橋爪英二、大内憲明。当科における食道癌手術症例の在り方と治療成績～地域中核病院における胸腔鏡下食道切除術、第69回日本消化器外科学会総会、郡山、7/18

⑤ 藤尾 淳、宮城重人、中西渉、西村隆一、三浦佑一、戸子台和哲、武田郁夫、佐藤和重、大内憲明。当科における肝切除周術期ERASプロトコルの検討、第69回日本消化器外科学会総会、郡山、7/18

第15回 日本検査血液学会、仙台2014

石田孝宣、大内憲明。乳癌における分子標的治療の進歩とコンパニオン診断の実際、第15回日本検査血液学会、仙台、7/20

第52回日本癌治療学会学術集会、横浜2014

① 宮下穰、石田孝宣、平川久、玉城研太郎、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、佐藤章子、根本紀子、藤井里圭、笹野公伸、大内憲明。トリプルネガティブ乳癌における術前化学療法と腫瘍免疫学的効果予測。口演 8/28

② 佐藤章子、石田孝宣、宮下穰、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、根本紀子、藤井里圭、大内憲明。トリプルネガティブ乳癌におけるHIF-1 α 誘導遺伝子としてのHexokinaseIIの発現意義。口演 8/29

第50回日本移植学会、東京2014

① 米田 海、川岸直樹、佐藤和重、宮城重人、中西史、戸子台和哲、三浦佑一、藤尾淳、柏舘俊明、大内憲明。当科のHTLV-1陽性レシピエントの長期予後。第50回日本移植学会、東京、9/11

② 松村 宗幸、水野豊 岡本道孝 澤直哉 川岸直樹 三浦一章 大内憲明。外科的切除により長期生存が得られた腎移植後多発性節外性natural killer/T-cell type PTLDの一例。第50回日本移植学会、東京、9/11

③ 吉田 諭、山形洋平、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、大橋一夫、大内憲明、里見進、後藤昌史。肝細胞分離におけるコラゲナーゼGの重要性。第50回日本移植学会、東京、9/12

第17回東北移植研究会、仙台2014

米田 海、戸子台和哲、柏舘俊明、藤尾淳、中西史、宮城重人、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明。当施設における高齢ドナーを用いた生体肝移植の成績と現状。第17回東北移植研究会、仙台、10/11

第18回肝臓学会大会 (2014 JDDW)、神戸2014

中野 徹、山田 誠人、藤島 史喜、伊藤 健太、中西 史、川岸 直樹、下川 宏明、大内 憲明。肝硬変モデルを用いた低出力体外衝撃波療法の線維化に与える影響。第18回肝臓学会大会 (2014 JDDW)、神戸、10/24

第76回日本臨床外科学会総会、郡山市2014

① 柿崎 裕太、中野徹 櫻井直 小澤洋平 新妻展近 丸山祥太 山田誠人 岡本宏史 日景允手島仁 桂一憲 亀井尚 宮田剛 大内憲明。食道癌術後再建胃管癌に対して3D-CTおよび術中ICG蛍光法を活用した1例。第76回日本臨床外科学会総会、郡山市、11/20

② 伊東賢、藤島史喜亀井尚中野徹手島仁小澤洋平石田裕嵩大内。摘出食道全長におよぶLong Segment Barrett Esophagusに発生したBarrett腺癌の1例、第76回日本臨床外科学会総会、郡山市、11/21

第41回臓器保存生物医学会総会、大阪2014

吉田 諭、山形洋平、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、大橋一夫、大内憲明、里見 進、後藤 昌史。肝細胞分離用酵素剤の至適化に関する検討。第41回臓器保存生物医学会総会、大阪、11/29

第29回東北静脈経腸栄養研究会、仙台2014

① 藤尾 淳、川岸直樹、柏舘俊明、米田海、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。当科における肝切除ERASプロトコールの検討。第29回東北静脈経腸栄養研究会、仙台、12/7

② 柏舘 俊明、川岸直樹、藤尾淳、米田海、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。周術期栄養介入とりハビリテーションを行い骨格筋量の低下を予防しえた肝切除の1例。第29回東北静脈経腸栄養研究会、仙台、12/7

第2回日本臨床外科学会宮城県支部総会、仙台2015

① 佐藤千穂、石田孝宣、中川紗紀、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、宮下穰、大内憲明。転移乳癌に対するベバシズマブとパクリタキセルの併用療法の検討。第2回日本臨床外科学会宮城県支部総会、1/31、仙台

② 米田海、佐藤和重、長谷川和住、宮澤恒持、柏舘俊明、藤尾淳、戸子台和哲、中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明。交通外傷により発症した大きなヘルニア門を持つ外傷性腹壁ヘルニアの一例。第2回日本臨床外科学会宮城県支部総会、1/31、仙台

③ 米田海、宮城重人、宮澤恒持、柏舘俊明、藤尾淳、戸子台和哲、中西史、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明。肝移植肝動脈再建における後壁2点支持吻合のドップラー超音波による評価。第2回日本臨床外科学会宮城県支部総会、1/31、仙台

第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会、神戸2015

中野徹、宮田剛、亀井尚、桂一憲、阿部薫夫、櫻井直、日景允、手島仁、直島君成、大内憲明。食道癌術後患者における脂質炭水化物比の異なる経腸栄養剤投与が血糖管理に及ぼす影響。第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会、神戸、2/12、

第126回宮城肝癌治療研究会、仙台2015

米田 海、中西史、宮澤恒持、柏舘俊明、藤尾淳、戸子台和哲、宮城重人、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明、村上圭吾。発肝腫瘍の1例。第126回宮城肝癌治療研究会、3/18、仙台

第115回日本外科学会、名古屋2015

① 宮城重人、中西史、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明、里見進。困難症例に対する肝移植の

工夫（要望ビデオディスカッション）一特に動脈再建について一。第115回日本外科学会、名古屋、4/16

- ② 戸子台 和哲、川岸直樹、宮澤恒持、米田海、柏館俊明、藤尾淳、原康之、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。当施設における高齢ドナーを用いた成人生体肝移植の長期成績。第115回日本外科学会、名古屋、4/16
- ③ 佐藤千穂、関口敦、河合賢朗、多田寛、石田孝宣、川島隆太、大内憲明。脳MRIを用いた乳癌手術前後の脳構造変化および認知機能障害の検討。第115回日本外科学会、名古屋、4/18
- ④ 岡本宏史、手島仁、谷山裕亮、日景允、櫻井直、桂一憲、阿部薫夫、中野徹、亀井尚、大内憲明。進行頸部食道癌に対する Docetaxel/CDDP/5-FU併用放射線療法(DCF-R)の短期成績とその有用性。第115回日本外科学会、名古屋、4/18

第101回日本消化器病学会総会、仙台2015

川岸直樹、佐藤和重、大内憲明。移植後長期における問題点の検討。第101回日本消化器病学会総会、仙台、4/23

第127回宮城肝癌治療研究会、仙台2015

米田 海、中西史、宮澤恒持、柏館俊明、藤尾淳、戸子台和哲、宮城重人、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明、村上圭吾。

糖原病 I a型に合併した多発肝腫瘍の1切除例。第127回宮城肝癌治療研究会 5/20、仙台

第33回日本肝移植研究会、神戸2015

原 康之、川岸直樹、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。成人生体肝移植後metabolic abnormalities(満

・高血圧・脂質異常症・糖尿病)に関する検討。第33回日本肝移植研究会、5/28、神戸

第27回日本内分泌外科学会、福島2015

佐藤真実、高橋淑郎、中島範昭、藤盛啓成、大内憲明。髄様癌との鑑別を要したカルシトニン非産生甲状腺神経内分泌腫瘍の1例。5/29、福島

第169回東北外科集談会、仙台2015

① 宮崎勇希、川岸直樹、宮澤恒持、米田海、藤尾淳、柏館俊明、戸子台和哲、原康之、中西史、宮城重人、佐藤和重、村

上圭吾、大内憲明。同時性・多中心性発癌が疑われた混合型肝癌の一例。6/13、仙台

② 宮崎勇希、川岸直樹、宮澤恒持、米田海、藤尾淳、柏館俊明、戸子台和哲、原康之、中西史、宮城重人、佐藤和重、

大内憲明。生体肝移植後の肝内胆管結石症に対して開腹下内視鏡アプローチを行った一例。6/13、仙台

第23回日本乳癌学会学術総会、東京2015

座長 大内憲明、角田博子 演者 大内憲明、坂佳奈子、福田護。乳癌検診における超音波検査の意義。7/4、東京。

第70回日本消化器外科学会総会、浜松2015

① 中西史、野徹、宮城重人、戸子台和哲、佐藤千晃、山田誠人、川岸直樹、大内憲明。ピエゾ駆動方式パルスジェットメスをを用いた肝切除（ブタを用いた超音波外科吸引装置との比較実験）。7/16、浜松

② 藤尾淳、宮城重人、戸子台和哲、原康之、中西史、川岸直樹、大内憲明。Effectiveness of perioperative enhanced recovery after surgery protocol as compared with conventional care in liver resection。 7/16、浜松

③ 福富俊明、亀井尚、中野徹、阿部薫夫、櫻井直、日景允、伊藤想一、岡本宏史、新妻展近、大内憲明。当院における胸部食道切除後結腸再建症例の検討。 7/17、浜松

第14回 日本組織移植学会総会、大阪2015

吉田諭、山形洋平、中川香奈子、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、宮城重人、大橋一夫、大内憲明、里見 進、後藤昌史。肝細胞分離用酵素剤の至適化。

第3回日本神経内分泌腫瘍学会学術総会、仙台2015

石田 裕嵩、笠島敦子、藤島史喜、今野卓朗、伊東賢、小澤洋平、中村保宏、亀井尚、田中洋一、黒住昌史、田久保海誉、大内憲明、笹野公伸。食道小細胞癌におけるSOX2過剰発現と免疫組織学的特性。9/12、仙台

第51回 日本移植学会、熊本2015

- ① 宮城重人、宮澤恒持、米田海、柏舘俊明、藤尾淳、戸子台和哲、中西史、佐藤和重、川岸直樹、大内憲明。生体肝移植における顕微鏡下胆道再建 (microsurgical outer knotted suture) の有用性。10/2、熊本。
- ② 福岡健吾、吉田諭、宮城重人、大内憲明、里見進、後藤昌史、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、大橋一夫。酸素透過性に優れる細胞培養バッグの肝細胞移植への応用。10/3、熊本。
- ③ 米田海、川岸直樹、宮澤恒持、柏舘俊明、藤尾淳、原康之、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。HTLV-1 陽性のレシピエントに生体肝移植を行った2症例。10/2、熊本。
- ④ 吉田諭、山形洋平、中川香奈子、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、宮城重人、大橋一夫、大内憲明、里見 進、後藤昌史。肝細胞分離における細胞分離酵素成分の役割解明と至適化。10/3、熊本。
- ⑤ 吉田諭、山形洋平、村山和隆、渡邊君子、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康宏、宮城重人、大橋一夫、大内憲明、里見 進、後藤昌史。肝細胞分離における中性プロテアーゼとクロストリパインの併用の有効性に関する検証。10/3、熊本。

第 53 回 日本癌治療学会、京都市 2015

石田孝宣、鈴木昭彦、大内憲明。基礎研究の臨床応用。

- ① 宮下穰、石田孝宣、鈴木昭彦、平川久、甘利正和、多田寛、渡部剛、原田成美、佐藤章子、大内憲明。腋窩リンパ節転移 1-3 個の乳癌症例における乳房切除後放射線療法の意義—適切な非照射群の選択は可能か—ワークショップ。
- ② 佐藤章子、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、宮下穰、原田成美、大内憲明。HER2 陽性進行再発乳癌における Pertuzumab の治療成績。ポスター示説。

第 25 回 日本乳癌検診学会 2015

石田孝宣、鈴木昭彦、大内憲明。J-START はどのように行われたか—史上最大規模 RCT への挑戦。

第 48 回 日本甲状腺外科学会学術集会、東京、表参道 2015

佐藤真実、中島範昭、深谷佐智子、高橋淑郎、峯岸道人、藤盛啓成、大内憲明。極めて多彩な病理所見を呈した低分化癌の 1 例。10/29、東京。

東北移植研究会、仙台 2015

福岡健吾、吉田 諭、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐 康宏、宮城 重人、川岸 直樹、大橋 一夫、大内 憲明、里見 進、後藤 昌史。肝細胞移植における移植前グラフト保存に関する検討。10/31

第 58 回 日本甲状腺学会学術集会、福島県 福島文化センター2015

佐藤真実、中島範昭、村上圭吾、高橋淑郎、峯岸道人、藤盛啓成、大内憲明。びまん性甲状腺腫大をきたした転移性甲状腺癌の 2 症例。11/6、福島県 福島文化センター。

第 42 回 日本臓器保存生物医学会、熊本 2015

宮城重人、宮澤恒持、米田海、川岸直樹、大内憲明、里見進。心停止ドナー肝移植の臨床応用に向けた基礎的研究の歩み。11/13

第 77 回 日本臨床外科学会、福岡 2015

氏家直人、中野徹、亀井尚、櫻井直、谷山裕亮、佐藤千晃、神谷蔵人、小澤洋平、久保田

洋介, 大内憲明。腹臥位胸腔鏡下食道切除術を施行した完全内蔵逆位の1例。

第77回 臨床外科学会、福岡 2015

神谷蔵人、佐藤千晃、小澤洋平、福富俊明、櫻井直、谷山裕亮、中野徹、亀井尚、大内憲明。O-282 食道切除後胃管再建胸骨後経路と後縦隔経路の長期生存例における QOL についての比較検討。11/27、福岡。

第77回 日本臨床外科学会総会、熊本 2015

米田海、宮城重人、吉田諭、宮澤恒持、藤尾淳、柏舘俊明、原康之、戸子台和哲、中西史、川岸直樹、大内憲明。糖原病 Ia 型に合併した肝細胞癌の1切除例。11/27、熊本。

第30回 東北静脈経腸栄養研究会、福島 2015

①吉田諭、宮澤 恒持、米田 海、柏舘 俊明、藤尾 淳、原 康之、中西 史、宮城 重人、川岸 直樹、大内 憲明、里見 進。膵腎同時移植後、膵液漏を合併した症例に対する栄養管理。

②原 康之、宮澤 恒持、米田 海、藤尾 淳、中西 史、宮城 重人、川岸 直樹、大内 憲明。肝細胞癌切除例の予後規定因子としての術前 controlling nutritional status (CONUT)の有用性について。12/12

第3回 日本臨床外科学会宮城支部総会 仙台 東北大学 星陵オーデトリウム 2016

鳩山恵一郎、久保田 洋介、小澤 洋平、神谷 蔵人、福富 俊明、佐藤 千晃、谷山 裕亮、櫻井 直、中野 徹、亀井 尚、大内 憲明。特発性食道破裂に対し胸腔鏡下に破裂部の縫合閉鎖術とドレナージ術を施行した6症例の検討。1/30

第200回 日本消化器病学会東北支部例会 仙台 2016

①川岸直樹、吉田諭、米田海、宮澤恒持、原康之、戸子台和哲、中西史、宮城重人、佐藤和重、大内憲明。脳死肝移植の長期成績と脳死登録制度の変更。2/6

②原 康之、川岸直樹、吉田諭、宮澤恒持、米田海、柏舘俊明、中西史、宮城重人、大内憲明。自然軽快した生体肝移植後 de novo B 型肝炎の1例。2/6

第15回 東日本肝移植周術期研究会 仙台 2016

清水健司、宮城重人、吉田諭、宮澤恒持、米田海、原康之、中西史、川岸直樹、大内憲明、里見進。生体肝移植における非解剖学的動脈再建を施行した症例。3/5

第43回 膵・膵島移植研究会 広島 2016

①宮崎勇希、猪村武弘、山形洋平、前田浩、村山和隆、渡邊君子、稲垣明子、五十嵐康宏、大内憲明、里見進、後藤昌史。膵島分離工程において消化酵素剤が分離膵島へ及ぼす影響。3/4

②植松 智海、稲垣 明子2、猪村 梢2、後藤 めぐみ2、五十嵐 康宏2、大内 憲明 3、里見 進1、後藤 昌史1,4。膵島皮下移植モデルにおけるCTを用いた移植前血管床評価の試み。3/4

第13回 日本乳癌学会東北地方会 仙台 2016

佐藤千穂、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、宮下穰、原田成美、佐藤章子、高木まゆ、中川紗紀、大内憲明。Luminal HER2 転移乳癌に対する治療経験。3/5

第88回 日本胃癌学会総会 大分県別府市 2016

中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、福富俊明、小澤洋平、神谷蔵人、久保田洋介、大内憲明。食道癌術後再建胃管癌に対する治療選択肢の検討。3/19

第116回 日本外科学会定期学術集会 大阪 2016

①大内憲明 (司会) 原発性乳癌に対するセンチネルリンパ節生検、乳房切除術、エキスパンダー挿入術。4/15。

②宮下穰、石田孝宣、平川久、玉城研太郎、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、原田成美、佐藤章子、笹野公伸、大内憲明。乳癌術前化学療法後遺残腫瘍における Residual Cancer Burden と各バイオマーカーの対比。4/14

③宮澤恒持、吉田諭、藤尾淳、米田海、柏舘俊明、原康之、中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明、里見進。当科における Hassab 手術症例 15 例の検討。4/14

④戸子台和哲、太田依璃子、渡辺勇、本間理、堀井晋一良、新妻展近、水落宏太、白幡康弘、菅原浩、原康之、中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明、里見進。Stage II 大腸癌根治術後の再発予測マーカーとしての病理学的脈管侵襲および浸潤増殖様式の意義。4/14

⑤多田寛、権田幸祐、宮下穰、鈴木昭彦、渡部剛、佐藤章子、原田成美、渡邊みか、石田孝宣、大内憲明。蛍光ナノ粒子 PID を用いた HER2・Ki67 定量化とヒストグラム解析による術前抗 HER2 療法の治療効果予測の検討。4/14

⑥渡部剛、千葉奈津子、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、宮下穰、野水整、大内憲明。BRCA 変異を予測する蛍光免疫染色： γ -tubulin を用いた評価。4/14

⑦佐藤千穂、関口敦、河合賢朗、多田寛、石田孝宣、川島隆太、大内憲明。脳 MRI を用いた初発乳癌術後半年の視床堆積における神経可逆性の検討。4/14

⑧谷山裕亮、亀井尚、中野徹、櫻井直、佐藤千晃、福富俊明、神谷蔵人、小澤洋平、久保田洋介、大内憲明。cStage II,IIIにおける NAC,NACRT の予後からみた今後の治療戦略。4/16

⑨小澤洋平、久保田洋介、神谷蔵人、福富俊明、佐藤千晃、櫻井直、谷山裕亮、中野徹、亀井尚、大内憲明。食道粘膜下腫瘍における術前診断と術式選択の検討。4/15

⑩柿崎裕太、宮城重人、中西史、原康之、米田海、藤尾淳、後藤均、亀井尚、川岸直樹、大内憲明、里見進。高度肝硬変症例に対する腹腔鏡下肝切除の安全性 特にアルブミンと腹水に関する検討。4/15

⑪福岡健吾、中西史、宮城重人、戸子台和哲、原康之、川岸直樹、大内憲明、里見進。成人生体肝移植術後 1 週間の経過が移植後短期および長期成績に及ぼす影響。4/15

⑫清水健司、宮城重人、宮澤恒持、米田海、柏舘俊明、原康之、後藤昌史、川岸直樹、大内憲明、里見進。心停止ドナー肝移植におけるレスベラトロールの温阻血再灌流障害軽減効果。4/15

⑬藤尾淳、川岸直樹、吉田諭、宮澤恒持、米田海、原康之、中西史、宮城重人、大内憲明。肝移植後長期における晩期拒絶反応症例の検討。4/15

⑭久保田洋介、亀井尚、小澤洋平、神谷蔵人、福富俊明、佐藤千晃、櫻井直、谷山裕亮、中野徹、権田幸祐、大内憲明。X線吸収能と蛍光能を持つ新規ナノ粒子を用いたリンパ節転移高精度検出法の開発。4/15

⑮原康之、川岸直樹、宮澤恒持、米田海、藤尾淳、柏舘俊明、戸子台和哲、中西史、宮城重人、大内憲明、里見進。当科における小児肝移植後キャリーオーバー症例の問題点。4/15

⑯宮城重人、宮澤恒持、吉田諭、米田海、中西史、原康之、後藤均、亀井尚、川岸直樹、大内憲明、里見進。正中弓状靭帯圧迫症候群患者に対する肝胆膵高難度手術の工夫。4/15

⑰河村圭一郎、後藤均、橋本宗孝、赤松大二郎、清水拓也、土田憲、田島悠太、梅津道久、大内憲明。血管外科に応援を依頼された他科手術症例の検討。4/15

⑱吉田諭、中西史、宮城重人、戸子台和哲、原康之、川岸直樹、大内憲明、里見進。小児生体肝移植において確実な再建を行うための工夫。4/16

⑲米田海、赤松順寛、原康之、宮城重人、柏舘俊明、宮澤恒持、川岸直樹、大内憲明。心停止肝グラフトに対する、短時間冷保存前灌流およびプロスタグランジンE1添加の効果。4/16

⑳櫻井直、亀井尚、中野徹、谷山裕亮、佐藤千晃、福富俊明、神谷蔵人、小澤洋平、大内憲明。肥満患者に対する腹臥位胸腔鏡下食道切除術の手術成績の検討。4/16

㉑中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、福富俊明、神谷蔵人、小澤洋平、大内憲明。食道胃接合部癌の臨床的腫瘍局在と病理像の比較による治療戦略の検討。4/16

22赤松大二郎、後藤均、橋本宗敬、清水拓也、土田憲、河村圭一郎、田島悠太、梅津道久、大内憲明。重症虚血肢に対する血行再建戦略の再考。4/16

23神谷蔵人、小澤洋平、久保田洋介、福富俊明、佐藤千晃、櫻井直、谷山裕亮、中野徹、亀井尚、大内憲明。食道切除後胃管再建において胸骨後経路と後縦隔経路が周術期・術後に与える影響の検討。4/16

24佐藤千晃、神谷蔵人、小澤洋平、福富俊明、久保田洋介、谷山裕亮、櫻井直、中野徹、亀井尚、大内憲明。食道癌術後胃管癌の治療戦略4/16

25佐藤章子、石田孝宣、鈴木昭彦、多田寛、渡部剛、宮下穰、原田成美、大内憲明。乳癌脳転移のサブタイプ別予後と臨床病理学的特徴。4/16

26原田成美、渡部剛、平川久、伊藤正敏、多田寛、鈴木昭彦、宮下穰、佐藤章子、佐藤千穂、石田孝宣、大内憲明。乳癌原発巣の診断における18F-FDG-PET/CTの予後予測因子としての可能性。4/16

27鈴木昭彦、石田孝宣、多田寛、渡部剛、宮下穰、大内憲明。検診発見石灰化症例の特徴とステレオガイド下マンモトーム生検の適応。4/16

28小野寺優、亀井尚、中野徹、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、福富俊明、神谷蔵人、小澤洋平、久保田洋介、大内憲明。腹臥位胸腔鏡下食道切除におけるバーチャル胸腔鏡による術前シミュレーション。4/16

第105回 日本病理学会学術総会2016

石田裕嵩、笠島敦子、三浦豪、藤島史喜、今野卓朗、伊東賢、小澤洋平、中村保宏、亀井尚、田中洋一、黒住昌史、大内憲明、笹野公伸。Immunohistochemical characteristics of esophageal small cell carcinoma:A comparison study with embryonic esophagus。5/12

第27回 内視鏡外科フォーラム東北 盛岡2016

中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、福富俊明、小澤洋平、神谷蔵人、久保田洋介、大内憲明。鏡視下食道癌手術における術中反回神経モニタリングとその工夫。5/21

第28回 日本内分泌外科学会 横浜2016

佐藤真実、中島範昭、峯岸道人、藤盛啓成、大内憲明。著明な高Ca血症をきたした原発性副甲状腺機能亢進症にデノスマブが著効した1例。5/27 (26-27)

日本肝胆膵外科学会 大阪2016

宮城重人、清水健司、宮澤恒持、吉田諭、米田海、中西渉、戸子台和哲、中西史、川岸直樹、大内憲明、里見進。生体肝移植時、顕微鏡下胆道再建の有用性。6/2

第171回 東北外科集団会、仙台2016

清水健司、原康之、吉田諭、宮澤恒持、米田海、中西渉、中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明。ハイブリット室で動脈塞栓後に手術を施行した腹部手術の二例。6/11

ナノ学会第14回大会、北九州2016

Zhaorong Guo, Hiroshi Tada, Narufumi kitamura1, Yoh Hamada, Kohsuke Gonda, Noriaki Ohuchi. Highly quantitative evaluation methods of progesterone receptor for breast cancer subtype classification by immunohistochemistry using fluorescence nano-particles.6/16

第52回 日本肝癌研究会、東京2016

清水健司、原康之、吉田諭、宮澤恒持、米田海、中西史、宮城重人、川岸直樹、大内憲明、里見進。40歳以下若年発症肝細胞癌の検討。7/1

第70回 日本食道学会定期学術集会、東京2016

①中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、神谷蔵人、小澤洋平、久保田洋介、大内憲明。食道胃接合部腺癌のリンパ節転移、至適郭清範囲、切除範囲および術式についての検討。7/4 (7/4-7/5)

②石田裕嵩、中野徹、藤島史喜、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、小澤洋平、高橋雅信、神宮啓一、亀井尚。A retrospective study of p16 expression and the treatment in esophageal small cell

carcinoma。7/5

第23回 肝細胞研究会、大阪2016

福岡健吾、松村宗幸、吉田論、猪村武弘、稲垣明子、五十嵐康弘、宮城重人、大橋一夫、絵野沢伸、大内憲明、里見進、後藤昌史。Optimization of procedure for short-time hepatocyte preservation prior to transplantation.7/7

第34回 日本肝移植研究会、旭川2016

川岸直樹、吉田論、米田海、宮澤恒持、原康之、戸子台和哲、中西史、宮城重人、大内憲明。生体肝移植後急性細胞性拒絶反応を長期にわたり繰り返している症例。7/8

第23回 肝細胞研究会、大阪2016

松村宗幸、猪村武弘、福岡健吾、稲垣明子、宮城重人、大橋一夫、大内憲明、里見進、後藤昌史。肝細胞移植における分離肝細胞に対するADP/ATP ratioを用いた新規評価方法の開発。7/8

第71回 日本消化器外科学会総会、徳島市2016

- ①小野寺優、亀井尚、中野徹、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、神谷蔵人、久保田洋介、小澤洋平、大内憲明。ICG蛍光法とレーザードップラー血流測定器を用いた胃管血流評価。7/14
- ②中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、佐藤千晃、神谷蔵人、小澤洋平、久保田洋介、大内憲明。食道癌放射線化学療法後のサルベージ手術の意義とクオリティー。
- ③石田裕嵩、笠島敦子、亀井尚、藤島史喜、小澤洋平、中野徹、田中洋一、黒住昌史、笹野公伸、大内憲明。食道小細胞癌の臨床病理学的因子と治療に関する後ろ向き研究。7/15

第172回 東北外科集団会、山形2016

石田裕嵩、中野徹、櫻井直、瓶子隆弘、武山大輔、佐藤千晃、久保田洋介、神谷蔵人、亀井尚、大内憲明。腹臥位による食道癌サルベージ手術の検討。9/10

第4回日本神経内内分泌腫瘍研究会学術集会2016

石田裕嵩、笠島敦子、亀井尚、岡直美、サマネ・ヤズダニキビ、藤島史喜、桜田晃、中村保宏、田中洋一、黒住昌史、石川雄一、岡田克典、大内憲明、笹野公伸。食道および肺小細胞癌に共通する免疫組織学的な腺上皮分化。9/24

第69回 日本胸部外科学会、岡山2016

中野徹 亀井尚 谷山裕亮 櫻井直 武山大輔 瓶子隆弘 佐藤千晃 大内憲明。胸腔鏡下食道癌サルベージ手術の安全性と手術手技の工夫。9/30

第52回 日本移植学会総会、東京2016

- ①福岡健吾、稲垣明子、中村保宏、松村宗幸、吉田論、猪村武弘、五十嵐康弘、宮城重人、大橋一夫、絵野沢伸、大内憲明、里見進、後藤昌史。移植前肝細胞の短期保存の至適化に関する研究。9/30
- ②宮崎勇希、猪村武弘、山形洋平、前田 浩、村山和隆、渡邊君子、稲垣明子、五十嵐康弘、大内憲明、里見 進、後藤昌史。膵島分離における消化酵素剤の膵島障害性に関する検討。10/1
- ③戸子台和哲 川岸直樹清水健司吉田悟宮澤恒持米田海原康之中西史宮城重人大内憲明里見進。小児肝移植後長期経過中における抗HLA抗体スクリーニングの意義に関する検討。9/30
- ④植松智海、後藤昌史、里見進、大内憲明。皮下膵島移植の生着を促進するための移植前血管床構築法の至適化。10/1

第49回 日本甲状腺外科学会学術集会、山梨2016

佐藤真実、中島範昭、高橋淑郎、藤盛啓成、大内憲明。甲状腺全摘術後にサイログロブリンが再上昇をきたした腺腫様甲状腺腫の1例。10/27

第59回 日本甲状腺学会学術集会、東京2016

佐藤真実、中島範昭、高橋淑郎、藤盛啓成、大内憲明。縦隔甲状腺腫に食道憩室を合併し

た1例。11/5

第78回 日本臨床外科学会、東京2016

中野徹、亀井尚、谷山裕亮、櫻井直、武山大輔、瓶子隆弘、佐藤千晃、大内憲明。食道胃接合部癌の局在と胸腔鏡下食道切除術の成績。11/24-26

第43回 日本臓器保存生物医学会、東京2016

①松村宗之、猪村武弘、福岡健吾、稲垣明子、宮城重人、大橋一夫、大内憲明、里見進、後藤昌史。肝細胞移植前の分離肝細胞評価法としてのADP/ATP assayの有用性に関する検証。11/27

②宮崎 勇希、猪村武弘、山形洋平、前田 浩、村山和隆、渡邊君子、稲垣明子、五十嵐康宏、大内憲明、里見 進、後藤昌史。膵消化酵素が膵島分離工程で膵島に与える影響。11/27

講演会・司会・座長

- ・ マンモグラフィ検診の現状と問題点。第2回静岡乳腺画像診断研究会、三島、2005年1月8日
- ・ 乳癌の診断と治療:とくにLTFによる乳房温存手術。室蘭市医師会学術講演会、2005年1月21日
- ・ 非浸潤癌の画像診断。第14回乳癌画像研究会、横浜、2005年2月11日(シンポジウム座長)
- ・ 乳癌診療ガイドライン:検診・診断。第6回よこはま乳癌シンポジウム、2005年9月17日
- ・ がん検診の事業評価とマンモグラフィ検診。第10回札幌乳癌検診セミナー、札幌、2005年10月14日
- ・ マンモグラフィ検診と乳がん診療 Up Date、平成17年度白河市医師会講演会、2005年10月7日
- ・ 乳がん検診の最新情報、九州乳房画像研究会、九州大学コラボステーション、2005年11月12日(特別講演)
- ・ マンモグラフィによる乳がん検診の現状と将来展望。富山県医師会がん学術セミナー、2005年11月13日(特別講演)
- ・ 乳がん検診へのマンモグラフィ導入の道のりと将来展望。第42回北九州乳腺カンファレンス、北九州、2005年11月22日(特別講演)
- ・ 増える乳がん～予防とマンモグラフィ。仙台市太白区生活習慣病予防習慣事業市民講演会、2005年1月25日
- ・ 乳がん検診の現状とデジタルマンモグラフィの展望。マンモグラフィ特別講演会、仙台、2005年1月29日
- ・ がん治療における連携と質の向上、厚生労働省がん医療均てん研修会、古川、2005年2月19日、(パネルディスカッション座長)
- ・ ナノサイズ・センシングカプセルの新規開発と医療応用、平成16年度厚生労働省萌芽的先端医療技術推進研究事業ナノメディシン研究成果発表会、東京、2005年2月22日
- ・ マンモグラフィ検診における精度管理について。平成16年度新潟県乳がん検診セミナー、2005年3月8日(特別講演)
- ・ 乳がんのはなし。第35回宮城婦人連盟健康と医療を考える中央集会講演、仙台、2005年6月14日
- ・ 異分野融合研究の推進とナノ医療。文部科学省科学技術振興調整費「医療工学技術者創成のための再教育システム」公開シンポジウム、2005年8月6日、東京
- ・ がん治療の今日—乳がん。(先端医療振興財団主催)がん制圧をめざす市民公開シンポジウム、横浜、2005年8月28日
- ・ がん検診—評価の視点。平成17年度がん征圧全国大会シンポジウム、鳥取、2005年9月8日
- ・ 乳がん検診:なぜマンモグラフィが必要か?平成17年度宮城県がん講演会、仙台、2005年9月30日

- ・ 日本女性の乳がん死を減らす近道は？2005年あけぼの会全国大会講演会、東京、2005年10月10日
- ・ Breast Cancer Seminar in 熊本「乳がん研究 Update:HX 試験、1分子イメージング、がん戦略研究」2008年2月14日
- ・ 第28回筑後乳腺カンファレンス講演「日本の乳癌検診の現状、将来、J-START」、大鵬・2008年2月20日
- ・ 北陸乳房画像研究会 エーザイ「乳がん検診のあり方とがん対策のための戦略研究(J-START)」2008年2月28日
- ・ 札幌乳がん検診セミナー「乳がん検診の今、未来、J-START」
2008年3月13日
- ・ GCOE 第9回国際シンポジウム、Novel Bio-imaging by Functional Nano-particles
2008年3月27日-28日
- ・ 第109回日本外科学会学術集会、04/03 シンポ6「乳がんの術前化学療法と手術療法」司会
2009年4月2日-4日
- ・ 第68回日本医学放射線学会総会・市民公開講座「乳がん診断と治療に貢献する放射線」司会
2009年4月11日
- ・ 第22回日本乳腺甲状腺超音波診断会議特別講演「超音波乳がん検診の科学的検証とインフラ整備」2009年4月25日-26日
- ・ ナノ学会第7回大会、東大2009年5月9日-11日
- ・ 宮城県・平成21年度市町村がん検診担当課長会議 講演「がん検診の精度管理について」2009年6月3日
- ・ 第8回国際バイオ EXPO 講演・がん治療に向けたナノバイオ研究最前線、東京ビッグサイト 2009年7月2日
- ・ 第25回日本 DDS 学会 ワークショップ分子イメージング、国立がんセンター東・松村(権田)2009年7月3日-4日
- ・ 脳外科セミナー CNS in Matsushima 特別講演「生体超微細1分子可視化技術によるナノDDS」
2009年7月30日
- ・ 第10回乳癌最新情報カンファレンス、H日航金沢 セミナー13 司会・岩瀬・武田 2009年8月21日-22日
- ・ 第3回岩手外科教育セミナー「乳癌研究:乳房温存から J-START、ナノ DDS まで」2009年9月4日
- ・ 日本対がん協会・平成21年度がん征圧全国大会」シンポジウム、和歌山県民文化会館
2009年9月10日
- ・ 「がん検診受診率 一層の向上をめざして:がん戦略研究 J-START と受診率向上」
2009年
- ・ NTT 東北病院市民講座「乳がんについて」2009年9月16日
- ・ Annual Meeting of Korean Society for Breast Screening, and 6th IACCS, Seoul,
2009年9月18日-19日
- ・ Lecture, 6th IACCS 2009年9月18日
- ・ Lecture, Society for Breast Screening 2009年9月19日
- ・ 第68回日本癌学会学術総会、一般演題「生体イメージング」座長
2009年10月3日
- ・ JABTS23 特別講演1「超音波学の発展と J-START(大規模臨床試験)」虎の門宮川, TFT
有明
- ・ JABTS 講習会、仙台医療センター 第3回東北大学病院市民公開講座「女性の病気から市民を守る」
2009年10月17日

- ・福島県立磐城高校講演 2009年10月22日
- ・ピンクリボンスマイルウオーク仙台大会トークショー, 勾当台公園
2009年10月31日
- ・第3回ナノメディスン国際会議、自然科学研究機構分子科学研究所、岡崎コンファレンスセンター
2009年11月4日-6日
- ・・3rd International Symposium on Nanomedicine (ISNM2009-2) and Molecular Imaging and
Systems Biology
- ・第19回日本乳癌検診学会総会、札幌イブニングセミナー 2009年11月5日
- ・パネルディスカッションII 司 2009年11月6日
- ・第371回東北医学会特別シンポジウム「大規模臨床試験の更なる発展に向けて:がん対策のた
めの戦略研究」、長陵会館 2009年11月20日
- ・マンモグラフィ更新講習会・オープニング講義、自治会館 2009年11月21日
- ・第4回低侵襲医療機器実現化フォーラム、(財)医療機器センター研究開発部 2009年11月24
日
- ・「ナノ・バイオテクノロジーによる乳がんの1分子イメージング・DDS と大規模臨床試験」、東京慈
恵医大 2009年11月
- ・JABTS 講習会「乳がん検診における超音波検査の有効性を検証するための比較試験」2009年
11月28日

講演会・司会・座長 2013年度

1. 第113回日本外科学会定期学術集会パネルディスカッション6、司会、
(福岡) 2013年4月11日
2. NIH Symposium in Sendai 講演 NIH Symposium in Sendai 2013年5月9日
3. S38 卒業生同窓会「春生会」講演 2013年5月25日
4. 第52回日本消化器がん検診学会総会 特別講演「EBMに基づいた乳がん検診: J-START
の意義」仙台 2013年6月8日
5. 第12回宮城外科フォーラム特別講演1座長「乳腺 DCIS と膵 IPMN への関心そして現状の
課題」、閉会の辞 2013年6月19日
6. 第21回日本乳癌学会総会 DPS: 乳がん検診の意義を問う、司会、座長
浜松 2013年6月26日
7. 第11回日本臨床腫瘍学会学術集会シンポジウム「HER2陽性乳癌に対する Evidence と
治療戦略」司会、座長 仙台 2013年8月29日
8. がん征圧全国大会シンポジウム「新しいがん検診のあり方を探る～乳がん～」講演札幌市
東京ドームホテル 2013年9月12日
9. 病理同窓会講演 2013年9月23日
10. 長陵同窓会青森支部総会講演 2013年9月28日
11. 鶴岡市講演「いごいご! がん検診～愛する家族への贈り物」講演会講師 2013年10月10
日
12. The 11th Breast Cancer Frontier Meeting(東京) 「第11回 Breast Cancer Frontier Meeting」(武
田薬品: 座長、中外製薬: 特別発言) 2013年11月2日
13. 1 第23回日本乳癌検診学会学術総会 東京
(会長講演座長)「日本乳癌検診学会に期待されること～国のがん対策の要として」(理事長講
演) 座長 2013年11月8日
14. 第23回日本乳癌検診学会学 東京
シンポジウム「乳癌検診ガイドラインを検証する」座長 2013年11月9日
15. 八戸長陵同窓会 特別講演 2013年11月15日

16. 第2回宮城県地域医療学会 基調講演 3 座長「宮城県の地域医療再生計画、復興計画について」仙台 2013年11月17日
17. 日本人類遺伝学会(兼業:講演)「乳がん検診及び研究の最前線」座長 仙台 2013年11月21日
18. ABC2 Lisbon Review in 仙台(兼業:座長) 2013年11月22日
19. PERJETA 発売記念講演会 2013年11月29日
20. POTNT エリア会議・大鵬 講演会 総括 2013年12月20日
21. 栗原市立中央病院講演会 演題:「乳がんの検診・診断及び治療について」栗原 特別講演 2013年1月14日
22. エーザイ 再発乳癌薬物治療 座談会 2013年2月7日
23. 保学術勉強会特別講演「乳がん検診、診断、治療の最前線」仙台 2013年2月13日
24. 第11回日本乳癌学会東北地方会 座長 2013年3月1日
25. 第20回日本産婦人科乳癌学会特別講演(大阪医科大学)大阪
「女性のライフステージにそった乳腺疾患の管理~産婦人科医だからできること~」2013年3月9日

講演会・司会・座長 2014年度

1. 外科学会教育講演会@北九州「乳癌研究・診療の最前線: ナノバイオから J-Start まで」特別講演 2014年5月9日
2. 呼吸器内科同窓会・講演 2014年5月24日
3. 「置賜乳腺ネットワーク」特別講演会「乳がん検診の最新動向; J-START を中心に」米沢 2014年6月16日
4. 第10回 Breast Cancer Workshop 座長 2014年6月21日
5. 第137回福島・県北臨床懇話会 特別講演「乳がんの検診、診断及び治療」2014年6月26日
6. 第18回日本がん分子標的治療学会学術集会特別シンポジウム(司会)「キャンサー・バイオバンク」仙台 2014年6月27日
7. IWDM2014 特別講演 岐阜 2014年6月30日
「Effectiveness of Ultrasonography Screening for Breast Cancer; Up-dated Data from the RCT of 76,196 Women Aged 40-49 (J-START)」
8. 第22回日本乳癌学会・シンポジウム9 司会 大阪 2014年7月11日
9. ファイザー乳癌ディベート 講演会 「乳がん薬物治療の最新情報」仙台 2014年7月25日
10. 平成26年度京都大学外科夏季研修会 特別講演「ナノ・バイオ研究から大規模RCT(J-START)まで」京都 2014年8月2日
11. 第73回日本癌学会学術総会モーニングレクチャー18(座長)「上皮の正常性維持と癌の悪性化における細胞接着分子 CADM1 の役割」横浜 2014年9月27日
12. Chugai Breast Cancer Seminar in Sendai(カドサイラ発売記念) 2014年10月3日
13. Keynote Lecture 「J-strat, an RCT on effectiveness of screening US in woman aged 40-49」10/17-19 Asian Breast Cancer Conference (ABCC)2014 「J-START,an RCT on effectiveness of screening US in woman aged 40-49」(Taiwan) 2014年10月18日
14. NIK-JSPS シンポジウム Bethesda(Washington DC) 2014年10月23日-24日
15. 第24回日本乳癌検診学会総会 シンポジウム 2 「新しい検診システム」前橋(会長講演座長) 2014年11月7日
16. 長陵同窓会山形県支部特別講演会 2014年11月15日
17. 乳腺外科講演会&那須セミナー第一三共 2014年12月12日
18. 第24回茨城がん学会にて基調講演の講師を務める

- 演題「エビデンスに基づくがん検診について」茨城 2014年2月2日
19. ジーラスタ発売記念講演会特別講演Ⅱの座長 和発酵キリン株式会社協
2015年2月21日
 20. 座長 第12回日本乳癌学会東北地方会 ランチョンセミナー
『ER陽性内分泌治療抵抗性乳癌に対する治療戦略』仙台 2015年3月7日
 21. 栗原市民公開講座『乳がん診断・治療の最前線』での講演 エーザイ株式会社
2015年3月15日

講演会・司会・座長 2015年度

1. 第57回東海乳腺疾患懇話会 特別講演「日本の乳がん検診の今後」 演者
アストラゼネカ株式会社 2015年4月11日
2. 第115回日本外科学会「ディベート 7DCIS に対する乳房癌切除+乳房一次再建・乳頭乳輪
温存皮下乳腺全摘 vs 皮下乳腺全摘」ディベート司会 名古屋
2015年4月16日
3. 2015年4月16日
4. 先端医療振興講演会 TRI 職員向け勉強会「超音波検査による乳がん検診の有効性を検証
するランダム化比較試験(J-START)」招待講演 神戸
2015年5月19日
5. 第88回日本超音波医学会ワークショップ「乳房超音波検診の意義を考える(J-START)の結
果から」東京 2015年5月23日
6. 福島高校講演 福島 2015年5月27日
7. 東北乳癌コンセンサス会議 座長 仙台 2015年6月12日
8. 第23回日本乳癌学会総会「J-START プライマリエンドポイントの結果から」シンポジウ
ム司会 2015年7月4日
9. ABCM in SENDAI「乳癌薬物治療の最新情報」基調講演 仙台 2015年7月10日
10. 第75回新潟癌治療研究会 特別講演 新潟 2015年7月25日
11. 乳がん個別化治療における oncotype DX カンファレンス 総合司会 東京
2015年7月31日
13. 大阪ブレストクリニック開院 10周年記念講演「J-START から今後の乳がん診断と乳腺診
療を考える」招待講演 大阪 2015年9月12日
14. 乳癌診療一伍一什収録「The APEX Web Forum of Halaven」司会 東京
2015年9月17日
15. 第74回日本癌学会学術総会 ナノテクノロジーによるがんの診断と治療から融合へ」シン
ポジウム座長 名古屋 2015年10月8日
16. 第14回宮城外科フォーラム「乳癌個別化医療の現状」座長 仙台
2015年10月14日
17. 第11回東北 Breast Cancer Workshop 座長 仙台 2015年10月17日
18. 中外 Breast Cancer Symposium 特別講演座長 仙台 2015年10月23日
19. 乳癌骨転移フォーラム「～乳癌における Bone Health を考える～」座長 仙台
2015年11月6日
20. 13th Breast Cancer Frontier Meeting 世話人 東京 2015年11月7日
21. 平成27年度予防医学推進事業特別講演「乳がん検診：最近の動向」特別講演 仙台 2015
年11月19日
22. 公衆衛生学同窓会講演「J-START はどのように行われたか」座長 仙台 2015年11月27
日
23. TAIHO Breast Cancer Meeting(乳癌学会関東地方会)「Made in Japan:その意義と可能性」座長
仙台 2016年1月15日
24. 塩釜医師会生涯研究会「日本のがん対策と乳がん」特別講演 塩釜

- 2016年1月23日
25. 1月29日 酒田地区医師会学術講演会「がん戦略研究 J-START と超音波検診導入へ向けての課題」特別講演 山形・酒田 2016年1月29日
 26. 第70回静岡県乳癌研究会 大規模 RCT, J-START から得られる知見」特別講演 静岡 2016年1月30日
 27. 青森県生活習慣病等集団検診従事者研修会「今後の乳がん検診：J-START 結果を併せて」特別講演 青森 2016年2月15日
 28. 平成27年度予防医学技術研究会「乳がん検診の最前線」教育講演 仙台 2016年2月25日
 29. 東北乳癌個別化医療研究会「Luminal HER2 について」座長 仙台 2016年2月26日
 30. 乳腺セミナーin 東北『乳がん画像診断の現状』J-START の現状の報告について 講師 仙台 2016年2月27日
 31. 乳がん学会東北地方会 イブニングセミナー 司会 仙台 2016年3月5日
 32. 平成27年度 市民向け成果発表会 すすむがん研究変わる未来ーがん研究者たちの挑戦ー『乳がんをもっと早期発見するためにー超音波検査が拓く新たながん検診〜』講師 東京 2016年3月19日

講演会・司会・座長 2016年度

1. 第105回日本病理学会総会
「乳がん関連蛋白の可視化・定量化：免疫組織化学からナノ病理へ」特別講演
仙台 後援（株式会社コングレ）仙台国際センター 2016年5月13日
2. 第38回 お茶の水乳腺研究会 「閉経前乳癌：J-START から考える診断と治療」特別講演
東京 後援（武田薬品工業株式会社）対象：医師、コメディカル
2016年5月24日
3. TOHOKU Breast Cancer Consensus meeting 『DCIS の診断と治療ーUP to DATEー』仙台 司会 後援（中外製薬株式会社）仙台勝山館 2016年7月1日
4. 第47回兵庫乳腺疾患研究会
『J-START：研究背景と結果がもたらす意義』特別講演
神戸 後援（アストラゼネカ株式会社）対象：医師、コメディカル 2016年7月9日
5. エキスパートに学ぶ〜外科医をめぐる最新トピックス〜Medical Symposium in 仙台
『化学療法に伴う発熱性好中球減少症の治療戦略』座長
仙台 後援（大正富山医薬品株式会社）対象：医師、コメディカル
2016年7月29日
6. 河合塾 仙台校 講演会 2016年8月27日
『医師に求められる人材とは』対象：東北大学医学部および医学部志望の塾生
7. 東北乳房再建セミナー 2016年9月7日
『乳房温存療法の変遷と治療成績』司会
仙台 後援（アラガン・ジャパン）対象：医師、コメディカル
8. 第24回日本がん検診・診断学会総会共催セミナー2
『新しいモダリティ超音波検査を用いた乳がん検診のランダム化比較試験（J-START）』講師
東京 後援（東レ株式会社）対象：医師：コメディカル 2016年9月17日
9. 第32回乳腺疾患フォーラム
『超音波併用乳がん検診のランダム化比較試験、J-START』特別講演
伊勢原 後援（日本化薬株式会社）2016年9月23日
10. 第5回城北乳腺疾患フォーラム 2016年9月30日

- 『デンスブレスト対策としての超音波併用検診 RCT、J-START』特別講演
東京 後援（大鵬薬品工業株式会社）対象：医師、コメディカル
11. Chugai Breast Cancer Seminar in Sendai
『HER2 陰性 ER 陽性乳癌に対する治療戦略』座長
仙台勝山館 後援（中外製薬）対象：医師、コメディカル 2016年10月14日
 12. Tokyo Breast Cancer Meeting 2016
『閉経前乳がんの課題』特別講演
東京 後援（ファイザー株式会社）対象：医師、コメディカル 2016年10月28日
 13. 亘理郡医師会学術講演会
『乳がん検診最新情報：マンモグラフィ併用超音波検査の意義』
福島 主催（医療法人 伸裕会 渡辺病院）共催（亘理郡医師会（医）伸裕会 渡辺病院）対象：医師、コメディカル 2016年11月14日
 14. Advanced Breast Cancer Forum in Miyagi
『ER 陽性 HER2 陰性進行再発乳癌の治療選択』特別講演 座長
仙台 主催（ノバルティスファーマ株式会社）対象：医師、コメディカル
2016年11月18日
 15. 第12回 東北 Breast Cancer Workshop
『乳癌の内分泌療法—個々の患者に最適なレジメンを求めて—』特別講演1 座長
仙台 主催（アストラゼネカ株式会社）対象：医師、コメディカル
2016年11月26日
 16. 第20回 秋田県乳腺疾患研究のつどい
『閉経前乳癌の課題：LTF 法による乳房再建長期成績と超音波併用検診 RCT（J-START）』
特別講演 演者
秋田 主催（共和発行キリン株式会社）対象：医師、コメディカル 2016年12月3日
 17. 仙台オープン病院講演会
『乳がん最新情報：超音波併用検診（J-START）と乳房温存手術（LTF）』
仙台 主催（仙台オープン病院） 2016年12月13日
 18. 乳がん子宮頸がん検診促進議員連盟勉強会講演会
『高濃度乳房対策としての超音波検査による乳がん検診：J-START のせいかと検診導入への課題』 東京 参議院議員会館 2016年2月8日